平成26年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業成果一覧

平成27年8月5日

那覇市	1
宜野湾市	19
石垣市	25
浦添市	35
名護市	42
糸満市	46
沖縄市	53
豊見城市	61
うるま市	66
宮古島市	73
南城市	80
国頭村	85
大宜味村	89
東村	91
今帰仁村	93
本部町	97
恩納村	104
宜野座村	105
金武町	108
伊江村	110
読谷村	113
嘉手納町	118
北谷町	122
北中城村	125
中城村	130
西原町	134
与那原町	137
南風原町	141
渡嘉敷村	149
座間味村	152
粟国村	155
渡名喜村	156
南大東村	158
北大東村	160
伊平屋村	162
伊是名村	168
久米島町	171
八重瀬町	175
多良間村	182
竹富町	183
与那国町	187

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	1	奥武山野球場イベント対応機能強化事業	H24～H26	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場の施設を整備し機能強化を行う。	・防護マット塗装工事完了 ・2階コンコース照明器具増設工事完了	・防護マット塗装工事完了 ・2階コンコース照明器具増設工事完了	◎
1	2	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24～H28	個性的な本市の伝統工芸品を国内外にアピールするため、それらを展示・販売・体験できる那覇市伝統工芸館を活用しイベント等を行う。	・イベント　各1200名 ・企画展　各850名(平成25年：837人)	・イベント　平均777名 ・企画展　平均1,710名	○
1	3	プラネタリウム番組開発等事業	H24～H28	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、集客力のある番組を委託制作する。	プラネタリウム年間観覧者数　25,000人 （基準値：平成23年 22.255人）	プラネタリウム年間観覧者数　20,000人	○
1	4	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25～H33	観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための経費及び運営等について支援を行う。	外国人観光客の案内所利用人数：7,000人 （基準値：平成24年度　3,703人）	外国人観光客の案内所利用人数：10,775人	◎
1	5	バス停上屋整備事業	H24～H28	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置：１３基完了	―	繰
1	6	交流オアシス整備事業	H24～H29	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース（交流スペース）の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	交流スペースの設置：６箇所完了	―	繰
1	7	歴史散歩道整備事業	H24～H32	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、歴史的な由来のある散歩道を調査選定し、路面改良、道路緑化・美化を行う。	歴史散歩道設置：２地区完了	―	繰
1	8	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草：4路線 ・街路樹の植樹：15本完了 ・天久安里線植栽工事：800㎡完了	―	繰
1	9	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、遊具・トイレ等の整備を行う。	・観光地周辺公園のトイレ整備：3棟完了 ・トイレ等の清掃：10公園完了 ・樹木の剪定：6公園完了	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	10	市花木等普及推進事業（公共空間への植樹）	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビレアにより、公共空間の緑化に取り組む。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽：28㎡約30㎡完了 全体のうち、約5.0%進捗させる。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽：40㎡完了	◎
1	11	ベランダ緑化推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：約200鉢 全体のうち、10.0%進捗させる。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：約110鉢	未
1	12	花いっぱい運動推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：約23,000鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,066鉢	◎
1	13	緑の診断・生育事業（公共空間）	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入れ替え等を行う。	樹木の診断本数：約30本	樹木の診断本数：10本	未
1	14	桜の名所づくり事業	H24～H28	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、平成24年度実施の桜の育成環境調査に基づき、那覇、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園を整備する。	桜の植栽本数：約40本完了 全体計画のうち、整備率20.0%進捗させる。	－	繰
1	15	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	・薬剤の樹幹注入：ﾃﾞｲｺﾞ　60本完了	・薬剤の樹幹注入：ﾃﾞｲｺﾞ　42本完了	○
1	16	那覇爬龍船競漕振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。	那覇ハーリー来場者数：210,000人 （基準値：平成23年　192,000人）	那覇ハーリー来場者数：117,000人	未
1	17	那覇大綱挽振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。	「那覇大綱挽」来場者数：280,000人 （基準値：平成25年　277,000人）	「那覇大綱挽」来場者数：273,000人	○
1	18	琉球王朝祭り首里振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。	琉球王朝祭り首里観客動員数：80,000人 （基準値：平成23年　55,000人）	琉球王朝祭り首里観客動員数：80,000人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	19	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25～H33	本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興・観光誘客を図るため、首里城祭実行委員会へ琉球王朝絵巻行列実施にかかる費用を補助する。	琉球王朝絵巻行列観客動員数：31,000人（基準値：平成23年　33,000人）	琉球王朝絵巻行列観客動員数：33,000人	◎
1	20	プロ野球キャンプ等支援事業	H24～H33	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数　8,000人/日（平成24年度　5,796人/日）	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数　7,952人/日	○
1	21	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24～H33	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	・読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数　8,000人/日　（平成24年度　5,796人/日） ・来場者満足度80%以上	・読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数　7,952人/日 ・満足度８７．４％	◎
1	22	国際通りとマチグヮーのにぎわい事業	H24～H33	ひやみかちマチグヮー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントなどを開催し、当該地域を活性化させる。	集客数：30,000人（平成24年：約23,000人）	集客数：54,017人	◎
1	23	国際通りトランジットマイル推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である那覇市国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	トランジットマイル開催時の通行者数：20,500人/日（平成24年：20,000人）	トランジットマイル開催時の通行者数：17,300人/日	○
1	24	中心商店街活性化支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。	中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援件数：10件	中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援件数：9件	○
1	25	一万人エイサー踊り隊推進事業	H24～H33	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	一万人エイサー踊り隊来場者数：93,000人（県外23,000人、県内70,000人）（平成24年　73,000人（県内外合計）））	一万人エイサー踊り隊来場者数：94,000人（県外20,000人、県内74,000人）	○
1	26	那覇まちまーい推進事業	H24～H33	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	那覇まちま～いへの参加者数：7,000人（平成24年　6,885 人）	那覇まちま～いへの参加者数：12,233人	◎
1	27	「JAZZ Night in 那覇」事業	H24～H26	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「NAHA JAZZ」イベントを実施する。	JAZZイベント来場者数：10,000人（平成24年　2,985人、平成25年10月末9,000人）	JAZZイベント来場者数：16,740人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	28	歴史博物館企画展事業	H24～H33	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	歴史博物館来場者数:17,000人/年	歴史博物館来場者数:17,665人/年	◎
1	29	観光イベント安全確保事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。	・那覇ハーリー来場者数：210,000人 （平成25年　204,000人） ・「那覇大綱挽」来場者数：280,000人 （平成25年　277,000人） ・琉球王朝祭り首里来場者数：80,000人 （平成25年　80,000人）	・那覇ハーリー来場者数：117,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数：273,000人 ・琉球王朝祭り首里来場者数：85,000人	○
1	30	牧志駅前交通広場等にぎわい事業	H25～H33	牧志駅前交通広場等において、周辺商店街への集客を目的に、音楽ライブなどのイベントを主に週末に実施する。	集客数：60,000人（1,200人×50回）	集客数：55,034人	○
1	31	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H24～H26	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通り等に無料公衆無線LAN環境を構築し、まち歩き観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	・NAHA_CITY_WIFI_AP（公衆無線LANポータルサイト）へのアクセス数の増 （月平均：33万回）	・NAHA_CITY_WIFI_AP（公衆無線LANポータルサイト）へのアクセス数の増 （月平均：66万回）	◎
1	32	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24～H33	国際観光都市としてグレードアップを図るため、てんぶす那覇に設置する大型ビジョンを活用して、観光プロモーション映像等により地域資源の魅力を発信し、またICT技術等との連携により新たな賑わいを創出する。	地域観光資源の発信力強化 パブリックビューイングを実施 イベント中継を実施	地域観光資源の発信力強化 パブリックビューイングを実施 イベント中継を実施	◎
1	33	観光宣伝誘致強化事業	H24～H33	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドマップ・ガイドブックを作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。また、市長を筆頭に県外への観光PR活動を実施する。沖縄国際映画祭関連イベントとして、国際通りにおいてレッドカーペットを実施し、県内外へ那覇をPRし、誘客宣伝を行う。	・県外PR業務開催：2都市 ・観光宣伝誘客委託：10団体 ・宿泊客アンケートの実施：250件 ・沖縄国際映画祭那覇市会場動員数：平成25年度5.8万人→6万人	・県外PR業務開催：2都市 ・観光宣伝誘客委託：0団体 ・宿泊客アンケートの実施：195件 ・沖縄国際映画祭那覇市会場動員数：6万人	○
1	34	那覇市内観光周遊バス実証実験事業	H24～H26	観光都市としてのグレードアップを図るため、市内観光地やホテル等を回るバスの運行についての実証実験を行う。	観光周遊バス一日乗車数：400人	観光周遊バス一日乗車数：380人	○
1	35	景観まちづくり推進事業	H24～H28	地域（観光）資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出を図り、景観形成を推進するため、首里金城地区及び壺屋地区景観形成資源実態調査業務、屋外広告物協定地区指定に向けた調査等の業務を実施する。	・首里地区及び壺屋地区の地域（観光）資源の活用計画案についてとりまとめる。 ・屋外広告物協定の基準（案）についてとりまとめる。	・首里地区及び壺屋地区の地域（観光）資源の活用計画案の作成 ・屋外広告物協定の基準（案）の作成	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	36	那覇西地域まちづくり総合実施計画策定事業	H25～H28	那覇西地域において、目標とするまちづくり構想となるよう、平成25年度に実施した現況調査業務の結果を踏まえた上で、現況調査業務で区分した平成26年度地区のまちづくりについて、地域まちづくり計画案を作成する。	住民との協働により、まちづくりの方向性や地域資源の活用などを示した地域まちづくり計画案としてとりまとめる。	住民との協働により、まちづくりの方向性や地域資源の活用などを示した地域まちづくり計画案の作成	◎
1	37	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24～H26	市民体育館を各種スポーツの全国大会、プロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう消防設備の施設整備し、機能強化を行う。	消防設備（誘導灯）取替工事完了 消防設備（煙感知器）取替工事完了	消防設備（誘導灯）取替工事完了 消防設備（煙感知器）取替工事完了	◎
1	38	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業	H24～H27	国際通りのトランジットモールでの定期的なダンスイベントを実施・定着させることで観光振興・観光誘客を図る。	ストリートダンスバトル来場者数：18,000人（平成24年　6,000人）	ストリートダンスバトル来場者数：17,500人	○
1	39	首里金城町無電柱化推進事業	H25～H31	観光地における快適な歩行空間を創出することで、観光資源としての地域づくりをさらに推進するために、電線類を地中化等し、道路上から電柱を無くしていく。	電線類等移設費補償実施：2路線	―	繰
1	40	歴史散歩道関連整備事業（下水道マンホール等設置）	H25～H29	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、快適に観光散策等ができるよう風景になじんだ下水道マンホール蓋等を設置する。	下水道マンホール蓋等の設置 227箇所	―	繰
1	41	観光イベント等映像発信事業	H25～H33	クルーズ船で訪れる観光客及び祭り・イベント会場の観光客向けに、移動式車載大型ビジョンを活用し、本市の観光情報を発信する。	移動式車載大型ビジョンによる県外・国外観光客への観光案内・PR等：90回/年	移動式車載大型ビジョンによる県外・国外観光客への観光案内・PR等：86回/年	○
1	42	那覇市観光基本計画策定事業	H25～H26	沖縄の玄関口である那覇市観光のさらなる振興を図るため、観光基本計画を策定する。	観光審議会を開催し、那覇市観光の今後の目標、事業計画等についてとりまとめる。	観光審議会を開催し、那覇市観光の今後の目標、事業計画等についてとりまとめた。	◎
1	43	亜熱帯庭園都市の公園魅力向上・活性化事業	H25～H26	観光地としての沖縄・那覇の地域素材を活かした魅力ある公園とするために、前年度に作成した企画書（案）を基に実施計画を作成する。また、観光客を主体に年間10万人近い来園者を有する福州園に、園の施設を紹介する映像コンテンツの作成及びガイドシステムを設置する。	①活性化に向けた実施計画をとりまとめる。 ②福州園案内システム整備工事設計業務：1件 福州園案内システム整備工事：1件 ・全体計画の進捗率：100％	―	繰
1	44	外国人観光客受入整備事業	H26～H33	外国人観光客増加に伴う観光関連事業所への外国人対応職員の派遣（英語、中国語、韓国語）、クルーズ船入港時の臨時観光案内所開設等の事業を行う。	海路からの市内への誘客数約　50,000人	海路からの市内への誘客数約　81,900人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	45	観光案内板多国語充実事業	H26～H28	国内外の観光客が、市内散策で活用するための多国語観光案内板を整備する。また、既存案内板のリニューアルを行い、観光客の利便性向上を図る。	・首里地区の案内サインの設置（3基） ・観光案内板の修正19基及び新設2基	・首里地区の案内サインの設置（2基） ・観光案内板の修正16基及び新設3基	○
1	46	国際会議等支援事業	H26～H33	観光都市としてのグレードアップを図るため、国際会議等の主催団体へ事業補助を実施し、開催を促進することで、国内外への観光情報発信強化を図る。	「東西センター国際会議in沖縄」 会議参加者：350人	「東西センター国際会議in沖縄」 会議参加者：360人	◎
1	47	マチグヮー総合案内所事業	H26～H28	牧志公設市場雑貨部1階に設置された案内所を利用して、中心商店街（マチグヮー）を訪れる観光客などの来街者へ向けて、当該地域の情報を集約し、名所や魅力を効果的に発信する。	案内所利用者数：3600人	案内所利用者数：14,612人	◎
1	48	国際通り客引き状況等調査事業	H26	国際通りでの強引な客引きの現状を把握し、今後の対応策を検討するための調査を実施し、観光客への安心・安全を図る。	国際通りにおける強引な客引き状況の実態を把握する。	国際通りにおける強引な客引き状況の実態を把握した。	◎
1	49	観光客に快適な都市環境創出事業	H26～H28	那覇市内の観光地周辺（国際通り周辺等）に生息する飼い主のいない猫を対象に不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制を図ることにより、糞尿被害、道路上の轢死等の環境衛生上の問題を軽減し、もって観光客に快適な都市環境を創出する。	飼い主のいない猫の不妊去勢手術：300匹	飼い主のいない猫の不妊去勢手術：306匹	◎
1	50	バリアフリー改装補助事業	H26～H30	高齢者や障がいのある方が観光を楽しむためには事前にインターネットで観光地の観光施設や宿泊施設、飲食施設のバリアフリーマップの情報収集が不可欠である。これらの多様化した要求に応じ、満足させる観光地を目指すには、既存の施設をバリアフリー化を図る飲食店等に補助を行う。	平成26年度：24件	平成26年度：5件	未
1	51	案内サイン設置事業	H26	観光客等の利便性をはかるため、観光客等が多く訪れる新都心地区内の案内板の更新を行う。	案内板の位置情報の更新：20箇所完了	案内板の位置情報の更新：20箇所完了	◎
1	52	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26～H28	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグヮーの良さを活かした地域観光に寄与する中核施設として、第一牧志公設市場の再整備を推進する。	市場再整備手法や市場運営管理手法等について取りまとめる。	基本構想の作成	◎
1	54	日米スポーツコンベンション歓迎事業	H26	プロスポーツコンベンション開催にあたり、歓迎ムードの構築、受入体制の充実を図り,にぎわいを創出する。また、県外からの観光客誘致のために各種広報活動も行う。	来場者数20,000人以上 沖縄・那覇の認知度の向上	来場者数20,000人以上 沖縄・那覇の認知度の向上につながった	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	55	那覇港起点港機能強化事業	H26	経済波及効果の大きい那覇港発着のクルーズ船を誘致するため、那覇港クルーズターミナルに起点港として必要なチェックインカウンター、X線装置、荷物運搬用具等を整備する。	クルーズ船起点港機能の整備完了 整備された備品： ①チェックインカウンター ②X線装置 ③荷物運搬用具 ④可動式通路	―	繰
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24～H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催を行う。	・市魚マグロ等イベント開催：5回 ・市魚マグロイベント来場者数40,000人 （基準値：平成24年20,000人）	・市魚マグロ等イベント開催：4回 ・市魚マグロイベント来場者数約50,000人	○
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を図る	漁船近代化機器等設置申請者数：20件（平成24年度申請件数20件）	漁船近代化機器等設置申請者数：17件	○
2	3	那覇市農業振興事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、強化ビニールハウスの設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。	強化ビニールハウス設置の補助申請者数：1件 （基準値：平成24年度0件）	強化ビニールハウス設置の補助申請者数：1件	◎
2	4	地産地消推進事業	H24～H26	本市産業の振興発展を図るため、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みを行い、本市農業の振興を行う。	学校給食における地場産物の使用する割合（野菜類）：３５％	学校給食における地場産物の使用する割合（野菜類）：３１．１％	○
2	5	ワッター野菜がジョートーサー事業	H24～H28	本市産業の振興発展を図るため、那覇の伝統野菜の保存・普及および地元の農家がつくった沖縄の伝統野菜のＰＲ活動及び啓蒙活動や亜熱帯農作物の加工品販売を促進する。	・鏡水大根生産者：8戸 （基準値：平成24年度6戸） ・種子の保存・優良化1万粒 （基準値：平成24年度7，000粒） ・地元野菜を活用した食材提案会参加者数：100人　（基準値：平成24年度64人）	・鏡水大根生産者：7戸 ・種子の保存・優良化1万粒以上 ・地元野菜を活用した食材提案会参加者数：110人	○
2	6	第3次那覇市水産業振興基本計画策定事業	H25～H26	本市の水産業振興を図るため、昨年度に実施した本市水産業に関する基礎調査を踏まえ、水産業振興基本計画を策定する。	本水産業振興基本計画を策定することにより、本市水産業の短・中・長期の課題を整理とりまとめる。	―	繰
2	7	漁港等整備事業	H26～H29	本市の水産業振興を図るため、昨年度実施した漁港等建設可能性調査の結果を踏まえ、新たな漁港等建設計画を策定する。	新たな漁港等建設計画を策定することにより、建設に関する問題点、課題等が整理され、今後の各種調査・計画スケジュールについて把握する。	新たな漁港等建設計画を策定することにより、建設に関する問題点、課題等が整理され、今後の各種調査・計画スケジュールについて把握した。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	8	外国人漁業研修生受入推進事業	H26～H33	市内漁業協同組合が行う外国人漁業研修生受入事業に対し費用の一部を助成する。マグロ漁船船員不足の解消による本市水産業振興を図る。	外国人研修生受入：25名	外国人研修生受入：13名	未
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外へ販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。	助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数： 商談件数150件　成約件数15件	助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数： 商談件数303件　成約件数33件	◎
3	2	頑張るマチグヮー支援事業	H25～H33	中心商店街の自主的な誘客活動等を支援し、中心商店街の活性化を図る。	各事業に対する満足度：70%以上	各事業に対する満足度：70%	◎
3	3	那覇の物産展事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためＰＲして、産業の振興を行う。	物産展の売上額：1,157万円 （対前年度売上額の5%増）	物産展の売上額：1,232万円	◎
3	4	沖縄の産業まつり事業	H25～H33	沖縄の産業まつりで本市の特産品コーナを確保し、本市の地場産業の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）の受賞企業に対し、その商品のＰＲ活動を支援する。	市の特産品コーナー出展店舗数：１０件 （市長賞受賞企業５社、その他５社）	市の特産品コーナー出展店舗数：８件	○
3	5	企業誘致活動サポート事業	H24～H33	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	H24、25実施意向調査の分析件数：8,000件 企業訪問件数：50件 フォローアップ活動件数：100件	H24、25実施意向調査の分析件数：8,000件 企業訪問件数：50件 フォローアップ活動件数：100件	◎
3	6	琉球漆器普及推進事業	H25～H29	本市琉球漆器産業の振興を図るため、専門家による経営改善支援を行うとともに、新商品開発を通して人材育成及び販路拡大を図る。	・琉球漆器のマーケティング調査を行い取りまとめる ・業務改善計画策定	・琉球漆器のマーケティング調査報告書作成 ・業務改善計画策定	◎
3	7	那覇市IT創造館基盤整備事業	H26	本市の情報通信関連産業の振興のため、中心拠点であるIT創造館の環境整備をし、利用者の利便性向上を図る。	IT創造館入居率：90%	―	繰
3	8	「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」（仮称）策定事業	H26	中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、これからの未来像・計画をまとめた「那覇市中心市街地活性化ﾋﾞｼﾞｮﾝ・基本計画」（仮称）を策定する。	中心市街地を活性化するために必要な具体的施策等について取りまとめる。	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	9	那覇市中心商店街通行量調査及び那覇市来街・来店者調査事業	H26	那覇市中心商店街の活性化に資する企画を検討する際に必要な基礎調査として、中心商店街における通行量調査及び来街・来店者調査を行う。	中心商店街における通行量及び来外・来店者動向の実態を把握する。	中心商店街における通行量及び来外・来店者動向の実態を把握した。	◎
4	1	ガントリークレーン整備事業事業	H24～H26	那覇港において、利便性の高い港湾の整備・拡充を実施し、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図るため、ガントリークレーンを増設する。	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン ・4号機製作1基	―	繰
4	2	那覇港総合物流センター整備事業	H25～H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター実施設計業務の完了	―	繰
4	3	那覇港輸出貨物増大促進事業	H26～H28	香港直行航路の社会実験を実施し、コスト、リードタイム等を検証しつつ、香港直航航路の定着への課題検討、定着への方策の検討を行う。	社会実験結果報告書の作成による改善点などの把握	―	廃止
5	1	なはし就職なんでも相談センター運営事業	H24～H33	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数：200人	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数：99人	未
5	2	介護職員初任者研修事業	H24～H33	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、介護職員初任者研修（旧：訪問介護員2級）資格を取得するための講座を実施する。	・介護職員初任者研修養成人数：200人	・介護職員初任者研修養成人数：220人	◎
5	3	中学生のための仕事と社会について考える講座事業	H24～H26	市民の就業支援を行うため、中学生を対象に社会における自己の役割や働くことの意義及び将来の進路選択について主体的に考える機会となるような体験・参加型講座を開催する。	キャリア教育講座受講生徒数：930名	キャリア教育講座受講生徒数：1,599名	◎
5	4	企業立地雇用施策基本指針策定事業	H26	本市雇用環境の改善、雇用施策の充実のため、雇用に関する基礎調査を実施し、「企業立地雇用施策基本指針」（仮称）を策定する。	企業立地雇用施策基本指針についてとりまとめる。	企業立地雇用施策基本指針の作成	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	5	活き活き人材育成支援施設整備事業	H26～H29	沖縄の主に産業振興分野の発展に寄与する人材を育成する施設を整備する。高校・専門学校・大学、既卒者、有職者を対象に、特に外国語（英語・中国語等）の通訳・翻訳・案内士資格取得のための基礎学力を育成する環境を整備し、観光産業分野等で活躍できる人材を育成する。その中で地域住民と在住外国人との交流、地域づくりやまちづくりの活動に利用できる施設も含めて整備を行う。H26年度は当該施設の基本構想の策定を行う。	・人材育成に資する施設整備等のあり方を構想として取りまとめる。	・人材育成に資する施設整備等のあり方を構想として取りまとめた。	◎
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したティーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	支援児童数：3,300人	支援児童数：3,300人	◎
6	2	小学校英語指導員配置事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を小学校各校に配置し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	市内小学校への英語指導員派遣率：100%	市内小学校への英語指導員派遣率：100%	◎
6	3	中学校英語指導員配置事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	市内中学校への英語指導員派遣率：100%	市内中学校への英語指導員派遣率：100%	◎
6	4	特別支援教育充実事業（小・中学校）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	支援児童生徒数：300人	支援児童生徒数：449人	◎
6	5	特別支援教育充実事業（幼稚園）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する園児に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数：幼稚園48人	特別支援教育ヘルパー配置数：幼稚園48人	◎
6	6	特別支援教育充実事業（幼稚園預かり保育）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する園児に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園22人	特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園22人	◎
6	7	預かり保育推進事業(ソフト交付金)	H25～H33	教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へとつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。	臨時預かり保育指導員配置園: 36園 配置人数: 36人	臨時預かり保育指導員配置園: 36園 配置人数: 36人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	8	学習支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒及び過卒生を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	・学習支援生徒数：５０人 ・高校入試合格率：９２％（学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合。）	・学習支援生徒数：５３人 ・高校入試合格率：１００％（学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合）	◎
6	9	学習ボランティア支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	学習ボランティア派遣人数：48人	学習ボランティア派遣人数：69人	◎
6	10	自立支援教室（きら星学級）事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行う。	・支援児童生徒数：３０人	・支援児童生徒数：４２人	◎
6	11	教育相談支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。	・相談支援件数：１,０００件 ・相談支援回数：２０,０００回	・相談支援件数：１,２７９件 ・相談支援回数：２４，８９６回	◎
6	12	メンタルヘルスカウンセリング事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。	・教育相談(延)件数：５,８００件	・教育相談(延)件数：６，６８９件	◎
6	13	青少年旗頭事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1.230人	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：945人	○
6	14	那覇市児童生徒県外交流事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。	交流事業で県外に派遣した児童生徒数：40人	交流事業で県外に派遣した児童生徒数：40人	◎
6	15	街頭指導事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。	・街頭指導実施回数：１,０５０回 ・青少年の指導人数：２,４００人	・街頭指導実施回数：１,０８８回 ・青少年の指導人数：１，９１８人	○
6	16	生徒サポーター派遣事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室等を設置して、「あそび・非行」傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	市内中学校への生徒サポーター派遣率：100％	市内中学校への生徒サポーター派遣率：100％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	17	スポーツ広場整備事業	H24～H26	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設としてスポーツ広場を整備する。	スポーツ広場の年間利用者数：５，０００人	スポーツ広場の年間利用者数：５，５８１人	◎
6	18	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	大会等派遣児童生徒数（累計）：320人	大会等派遣児童生徒数（累計）：336人	◎
6	19	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	大会等派遣児童生徒数（累計）：500人	大会等派遣児童生徒数（累計）：423人	○
6	20	離島等自然体験学習事業自然教室	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	自然体験活動を実施した児童生徒数：3,100人	自然体験活動を実施した児童生徒数：2,896人	○
6	21	幼稚園冷房機設置事業	H24～H26	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。	幼稚園冷房施設整備：3園完了	幼稚園冷房施設整備：3園完了	◎
6	22	小学校施設環境整備事業（冷房設置）	H24～H29	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	・小学校冷房施設整備：２０校完了 ・全体計画の進捗率：７４．１％	・小学校冷房施設整備：２０校完了 ・全体計画の進捗率：８６％	◎
6	23	中学校施設環境整備事業（冷房設置）	H24～H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	・中学校冷房施設整備：６校完了 ・全体計画の進捗率：８５．１％	・中学校冷房施設整備：４校完了 ・全体計画の進捗率：９３％	○
6	24	小学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・小学校校舎等外壁整備：２校完了 ・全体計画の進捗率：３０％	・小学校校舎等外壁整備：１校完了 ・全体計画の進捗率：２５％	未
6	25	中学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・中学校校舎等外壁整備：１校完了 ・全体計画の進捗率：３０％	・中学校校舎等外壁整備：１校完了 ・全体計画の進捗率：３０％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	26	学力向上に向けた調査研究事業	H25～H33	学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	・那覇市内３６全小学校の２年生・４年生を対象とした調査を実施し、平成29年度までに那覇市の児童生徒の学力を全国水準に高める。	２年：79.1　（平均78） ４年：68.4　（平均66）	◎
6	27	壺屋小学校屋外トイレ地域景観づくり事業	H26	学校活動上での児童による利用や壺屋地域や国際通りでのイベント等においての地域住民による利用など、幅広く利用頻度の高い施設であるため、屋外トイレを壺屋地域の景観に沿った外観に整備する。	壺屋小学校の屋外トイレの整備完了	ー	繰
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統芸能の継承発展のため沖縄芝居の公演を行う。また、市民ギャラリーの貴重な収蔵作品等を修復し、展示会を開催し市民文化の振興を図る。 ①沖縄芝居公演 ②市民ギャラリー収蔵絵画修復・展示会	①来場者数：1,200名 ②来場者数：　500名	①来場者数：1,050名 ②来場者数：　600名	○
7	2	市民文化育成発信事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展及び市民文化活動の活性化を図るため、児童生徒や一般市民の参加・創造型の自主事業を実施する。	・文化講演会実施5回（市内小中学校）、市民文化活動への助言・指導 ・市民音楽劇公演実施1回、ワークショップ参加者30名、来場者数250名 ・ふれあいジャズ公演実施1回、参加校20校、来場者数1,500名 ・参加者数30名、来場者数500名 ・参加団体10団体、来場者数1,300名 ・うちなーぐち講座参加者40名、成果発表公演来場者数250名 ・来場者数250名 ・応募者数100名、芸術展開催期間来場者1,000名	・文化講演会実施11回（市内小中学校）、市民文化活動への助言・指導の実施 ・市民音楽劇公演実施1回、ワークショップ参加者35名、来場者数430名 ・ふれあいジャズ公演実施1回、参加校18校、来場者数2,000名 ・参加者数35名、来場者数600名 ・参加団体6団体、来場者数1,200名 ・うちなーぐち講座参加者33名、成果発表公演来場者数400名 ・来場者数370名 ・応募者数133名、芸術展開催期間来場者1,550名	○
7	3	市民文化支援事業	H24～H33	沖縄振興に資する市民の実演芸術活動及び地域の伝統文化継承活動を支援するために補助金を交付する。 ①舞台公演事業補助金 文化団体等が行う舞台芸術の公演事業に対して補助金を交付する。 ②伝統芸能・文化の継承発展補助金 地域の歴史と深く関わる伝統芸能・民俗文化の継承発展に取り組む文化団体等へ交付する。	・文化団体等：4団体 ・伝統芸能・民俗文化団体：10団体	・文化団体等：4団体 ・伝統芸能・民俗文化団体：5団体	○
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24～H33	那覇市立保育所（9ヶ所）に入所している児童及び保育従事者を対象に、沖縄の伝統文化に特化した専門講師を派遣する。また、本事業の成果をおゆうぎ会等の行事で披露したり、卒園記念品として創作するなど、保育の質の向上及び充実を図る。	専門講師派遣回数　315回	専門講師派遣回数　313回	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	子どもフェスタ参加児童生徒数：730人	子どもフェスタ参加児童生徒数：720人	○
7	6	郷土資料整備事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書等を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客等を含めた利用者へ提供し活用を図る。	郷土関係資料の購入：約1,000点	郷土関係資料の購入：約1,196点	◎
7	7	文化芸術発信拠点施設整備事業（パレット）	H24～H26	沖縄振興に資する文化発信拠点としての役割を担うパレット市民劇場において、市民及び県民へ、より魅力的な舞台芸術活動等の場を提供するための施設整備と機能強化を図る。	可動式高所作業装置の購入	可動式高所作業装置1台購入	◎
7	8	壺屋の歴史・文化発信事業（特別展事業）	H24～H26	平成２４年度に購入した沖縄独特の厨子資料群を調査・研究資料とともに一般公開するため、特別展を開催する。展示会開催期間中は、関連する文化講座等を実施する。	・特別展観覧者数：3,000人 ・関連催事参加者数：100人	・特別展観覧者数：11,222人 ・関連催事参加者数：100人	◎
7	9	島クトゥバ継承・普及小冊子製作事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クトゥバ小冊子を製作し、小中学校の児童・生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	・しまくとぅば普及小冊子配布数：3,500冊×2種類	・しまくとぅば普及小冊子配布数： 低学年用3,400冊 高学年用3,600冊	○
7	10	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～H32	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた周辺環境整備計画策定、敷地調査を実施する。	①基本設計の発注に必要な敷地情報を把握する。 ②施設建設計画に反映させるため、施設建設による周辺環境への影響を把握する。	―	繰
8	1	認可外保育施設の環境整備事業	H24～H33	戦後は米国政権下のもと、日本政府による児童福祉政策が及ばず他県と比べ児童福祉整備が遅れた。それらの影響に対応した子育て施策の拡充を行うため、①認可外保育施設指導監督基準を満たした施設に対し施設改修費の補助、②害虫駆除等を行う。	①施設改善件数　10施設以上完了 ②衛生消毒及び害虫防除の実施件数　88施設完了	①施設改善件数　6施設 ②衛生消毒及び害虫防除の実施件数　84施設完了	○
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24～H33	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、民間施設等に賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う。	賃借料補助を行う児童クラブ数：24ヵ所	賃借料補助を行う児童クラブ数：28ヵ所	◎
8	3	ナハノホイク案内人（ナビィ）設置事業（コンシェルジュ設置）	H25～H28	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のため、非常勤の保育施設情報相談員を常駐させ、保育施設情報の提供を行う。	相談対応による保育施設情報の提供数　600件 （月当たり50件として12ヶ月）	相談対応による保育施設情報の提供数　246件	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25～H33	認可外保育施設において、保育従事者による「絵本読み聞かせ」を位置づけるため、専門講師による「読み聞かせ」研修会を実施じ、入所している児童に絵本を配付する。	首里、小禄、本庁・真和志地区で開催。 施設にあった絵本を配付し他の研修とも連携させ保育従事者の質向上を図る。	研修会：3回 配本施設：９０カ所	◎
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H25～H33	南米2か国の那覇市民会の子孫（2世・3世）を2ヵ月間研修生として受け入れる。市民との交流、沖縄文化の体験等により、自身のアイデンティティーのルーツを再確認する。 対象：ブラジル及びアルゼンチンからの那覇市出身者研修生（各1名）と那覇市民 期間：平成26年1月上旬～3月上旬（2ヶ月間）	研修生受入　年間2名	研修生受入　年間2名	◎
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25～H33	平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生8名を派遣する。また、隔年（H27・H29・H31・H33）で、長崎県より中学生40名が来沖し、本市中学生40名と合同で平和学習（南部戦跡巡り等）を行う。	長崎への平和学習派遣生徒：8人 平和に対する意識の向上	長崎への平和学習派遣生徒：8人 派遣生徒が提出した報告書により、平和に対する意識が向上したことを確認。	◎
10		未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24～H33	全体計画≪見直し版≫に基づき、平成25年度に引き続き、全体計画の周知活動や土地活用に関する勉強会の開催、がじゃんびら通信の発行による地権者等の「意識醸成」と若い世代を対象とする次世代の会等の開催よる「組織づくり」に向けた取り組み、その他必要な取り組みを行う。	・全体計画の説明会：30名 ・地権者勉強会：60名 ・情報誌の発行：2,000部 ・次世代の会：15名 ・その他必要な取り組み	・全体計画の説明会：37名 ・地権者勉強会：59名 ・情報誌の発行：2,000部 ・次世代の会：延べ51名 ・県内先進地視察等6名、地主会理事会と次世代の会の合同意見交換会24名	○
11	1	離島連携事業	H24～H26	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜・久米島の5つの離島と連携事業を行い、5町村との交流強化に取り組む。	離島5町村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数：5,550人	離島5町村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数：3,913人	○
11	2	離島体験学習支援事業	H24～H33	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。	離島等派遣延べ人数：150人派遣	離島等派遣延べ人数：219人派遣	◎
12	1	水資源有効利用推進事業	H24～H33	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。	雨水施設等の設置支援数：30件	雨水施設等の設置支援数：12件	未
13	1	救命講座普及啓発推進事業	H24～H33	自然災害に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	応急手当講習受講者数：6,000人	応急手当講習受講者数：5,929人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
13	2	小学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	小学校校舎屋上手摺整備：２校完了 ・全体計画の進捗率：１００％	小学校校舎屋上手摺整備：２校完了	◎
13	3	中学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	中学校校舎屋上手摺整備：１校完了 ・全体計画の進捗率：１００％	中学校校舎屋上手摺整備：１校完了	◎
13	4	地域（防災）案内付き掲示板設置補助事業	H25～H26	地域住民や観光客等の安全安心の向上及び地域の景観形成と自治会活動の活性化を図るため、防災情報に関する情報を取り込んだ沖縄らしいデザインの掲示板を作成する。自治会所有の掲示板について、当該掲示板設置あるいは、改修にあたっての費用を補助する。	新設又は改修により防災情報を取り込んだ沖縄らしい掲示板の割合　５０％ （割合＝新設又は改修を行った掲示板数／自治会所有の掲示板数）	３２％ （新設１７５基　改修１３基）	未
13	5	濃煙体験用エアーテント整備事業	H26	防火・防災イベント時や企業、自治会等の消防訓練などにおいて、火災時の煙の恐さを実体験し、万が一火災時においても適切な行動が取れるよう体験学習を積重ねることで、防火思想を普及させ災害に対する対応力を育成する。	・ファイヤーフェスタ/救急防災フェア開催：2回 イベント来場者数：2，000名 ・各種講習会：年10回 受講者数：500名 ・企業/自治会の防災訓練：5回 参加者：200名	・ファイヤーフェスタ/救急防災フェア開催：0回 イベント来場者数：0名 ・各種講習会：年1回 受講者数：21名 ・企業/自治会の防災訓練：0回 参加者：0名	未
13	6	津波避難ビル建設事業	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市の海抜が低い地域に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。また平時は、地域の交流拠点施設として利用し、地域コミュニティの活性化を図る。	津波避難ビルの建設 （建築場所：那覇市松山2-22-1） 万が一の大津波襲来時に約2,000名の方が避難可能	－	繰
13	7	中心商店街防災ネットワーク整備事業	H26	大規模な災害が発生した場合、中心商店街（浮島通り会、第一公設市場、平和通り商店街、新栄通り商店街、むつみ橋通り会、ガーブ川中央商店街、壺屋やちむん通り会）を訪れる観光客等に対し、災害情報を自動で一斉に放送できる防災ネットワークを整備する。	中心商店街を訪れる観光客等へ防災行政無線の災害情報等を素早く伝達する。 通り会、商店街で組織する自主防災組織において定期的に防災訓練を実施し自助・共助による防災体制の強化を図る。	・中心商店街を訪れる観光客等へ防災行政無線の災害情報等を素早く伝達するため、防災ネットワークを整備し、防災体制の強化を図った。	◎
13	8	那覇市コンビニＡＥＤステーション設置事業	H24～H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）：100％	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）：100％	◎
14	1	地下壕対策事業	H24～H33	沖縄の抱える様々な特殊事情（地下壕）に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。	地下壕の危険度軽減を図り（4箇所）、全体箇所数に対する実施率（危険度軽減率）を6％進捗させる。	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
14	2	戦略的交通まちづくり推進事業	H24～H33	日頃の車に頼りがちな生活を見直し、公共交通や自転車、徒歩など、より環境にやさしい移動手段を選択することで、都市環境の改善を促し、まちに人中心の賑わいを創り出そうというイベント「なはモビリティウィーク＆カーフリーデー」を実施する。	なはモビリティウィーク＆カーフリーデーの実施 9/16～22日の1週間、なはモビリティウィーク＆カーフリーデーを開催し、車に頼り過ぎない暮らしの社会啓発を行う。特に9/21はカーフリーデーイベントとして、トランジットモールをカーフリーゾーン（車のない空間の創出）に、啓発イベントを行い人中心の賑わいを創出する。	なはモビリティウィーク＆カーフリーデーの実施	◎
14	3	亜熱帯庭園都市形成推進調査（道路）	H24～H33	戦後無秩序に居住化されてきた特殊な地域も含め、道路基盤等の整備の遅れている地域に、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進すべく基礎調査を行う。	まちづくり基礎調査についてとりまとめる。	―	繰
14	4	亜熱帯庭園都市形成推進調査（市街地再生）	H25～H28	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収等により生じたまちづくりの課題）のために、都市機能の更新が進まない中心市街地の区域について、中心市街地の活性化に資する、地域に即したまちづくりを進めるための調査・検討を行う。	まちづくり基本方針についてとりまとめる	まちづくり基本方針の決定	◎
14	5	亜熱帯庭園都市形成推進調査事業（密集住宅市街地再生方針）	H24～H26	平成25年度方針案に基づき、具体的施策の導入を検討するとともに、整備優先地区の抽出や整備目標、整備プログラムを作成し、実現可能な整備方針への移行を段階的に進めていくため、「那覇市密集住宅市街地再生方針案（整備優先地区調査等）」を作成する。	土地利用の増進、災害に強いまちづくり、安心・安全で良好な住環境づくりの再生方針を定める。	再生重点地区等調査を踏まえ再生方針（案）を作成した。	○
14	6	アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25～H26	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録（1961年～1969年まで）を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。	電子化した議事録をホームページで公開する。 ホームページ閲覧者数（1ヶ月）：1000人	電子化した議事録をホームページで公開する。 ホームページ閲覧者数（1ヶ月）：1,970人	◎
14	7	亜熱帯庭園都市形成推進調査事業 （まちなか居住推進策検討業務）	H24～H27	中心市街地の人口流出に歯止めをかけ、若年層や子育て世帯の流入を促すような住宅政策としての具体的実施施策を検討し、まちなか居住を推進するための方針案を策定する。	報告書「那覇市まちなか居住推進方針（案）」についてとりまとめる。	推進方針案の策定	◎
15	1	歯科保健予防対策モデル事業	H25～H27	モデル地区を設定し、まちづくり協議会等の協力のもと、校区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施することによって、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図る。また、那覇市在住の妊婦に対し歯科健診を実施することで、出産後の乳幼児期やさらに妊産婦本人に対する口腔の健康管理の向上に繋げていきたい。	推進会議：定例開催 歯科健診：2回開催 食育教室、健康教室：各1回開催 歯みがき指導受診率：小学生の80% フッ化物洗口受診率：小学生の60% 妊婦歯科健診の受診率：30%	推進会議：１１回開催 歯科健診：１回開催 食育教室、健康教室：０回開催 歯みがき指導受診率：小学生の31% フッ化物洗口受診率：小学生の約3% 妊婦歯科健診の受診率：24%	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
15	2	職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業	H25～H27	前年度の職場の健康づくりの実態調査や健康づくりメニューブックを活かし、職場が主体的に企画・実施する健康づくりを支援する事業(10万円、20万円、30万円コースを設定し補助）の周知、公募、審査決定を行う。決定後は、健康づくりの取り組みの進捗確認、相談、報告会を実施し、さらにその取り組み後の状況を評価し検証する。	・公募、審査の実施。 ・各事業所に補助金を交付し支援する。 ・補助事業所の健康状況を評価・検証する。	・公募、審査の実施 ・3事業所支援・評価・検証	◎
15	3	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26～H33	市民の健康増進、生涯スポーツのまちづくりを目指し、市民健康ウォーキング大会を開催する。	那覇市健康ウォーキング大会参加者数：4,000人	那覇市健康ウォーキング大会参加者数：4,019人	◎
15	4	生活習慣病重症化予防モデル事業	H26～H29	本県は全国一肥満率が高く、また、要医療者が受診しない者が多いなどの健康課題があるため、健診結果からの特定保健指導の対象者のみでなく、要医療者や治療コントロール不良等の者に対しても保健指導を実施し、心疾患・糖尿病等の合併症・重症化を防ぎ、長寿県沖縄の復活のためのモデル事業を実施する。	・未治療者の6割が受療し重症化を防ぐ ・人工透析新規導入者：72人以下（国保加入者のデータ）（平成24年度：72人）	・未治療者の４６．９％割が受療 ・人工透析新規導入者：81人以下（国保加入者のデータ）（平成24年度：72人）	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	道路景観整備事業	H24～H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道を整備する。	・主要観光道路（市道）景観整備：1路線（歩道等）の約半分完了	-	繰
1	②	はごろも祭り・カチャシー大会運営事業	H24～H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャシー大会」を支援する。	はごろも祭り・カチャシー大会来場者数（来場者数：145，000人）	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 145，000人	◎
1	③	企画展開催事業	H24～H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催：3本	企画展を開催：3本	◎
1	④	宜野湾市産業まつり	H24～H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催（来場者数：25，000人）	宜野湾市産業まつりの開催（来場者数：25，000人）	◎
1	⑤	文化財説明坂・標識設置事業	H24～H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明坂を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）を設置する。	文化財標識・説明坂設置件数：3件 地域文化財案内板設置件数：1件	文化財標識・説明坂設置件数：3件 地域文化財案内板設置件数：1件	◎
1	⑥	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25～H33	本市の海浜公園及びその周辺で毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会（宜野湾市社会福祉協議会が事務局）に対して、事業運営の補助を行う。	大会参加者（実走者）目標数 全体220名（内県外参加者30名）	大会参加者 全体　266人 内県外参加者　42人	◎
1	⑧	琉球海炎祭支援事業	H25～H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭有料エリア来場者数：4，000人	5,088人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25～H33	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国へアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	・プロ野球キャンプ見学者数目標値（H26年度）：28，000人 基準値（H24年度）：22，300人	25,694人	○
1	⑩	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	H25～H33	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能充実等のため、H25年度事業にて策定を行った基本構想について、更に詳細な調査を行い、西海岸地域における開発基本計画の策定を行う。	詳細調査完了 宜野湾市西海岸地域開発基本計画の策定	検討調査報告書作成完了	未
1	⑪	エンタテイメント産業支援事業	H26～H28	エンタテイメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテイメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	オープンスクールイベント来場者数（来場者数：1，000人）	-	―
1	⑫	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26～H28	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を実施することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	トロピカルビーチ入域者数（来場者数：9月利用者24，000人）	31,000人	◎
1	⑬	博物館機能強化事業	H26～H33	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	4枚 常設展示室整備基本計画策定完了。 照明設備等整備完了。	4枚 常設展示室整備基本計画策定完了	◎
2	①	スクールカウンセラー活用事業	H24～H33	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談（不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等）を行い、教育相談の充実を図る。	・スクールカウンセラー配置市内4小学校（2名）	2名	◎
2	②	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	スクールソーシャルワーカー配置第一相談室 ＳＳＷアドバイザー（1名） 第一相談室ＳＳＷコーディネーター（3名） 市内小学校ＳＳＷ（5名） 市内中学校ＳＳＷ（8名）	(ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ1名、ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ3名、SSW14名)	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	③	適応指導教室事業	H24～H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室在籍児童生徒数：４名 ①不登校児童生徒を支援し、学校適応を促進 ②教育相談業務を充実、不登校児童生徒の「居場所づくり」を行う ③保護者との連携を密にし、信頼関係を築く	適応指導教室在籍児童生徒数：4名 ①集団への適応能力を向上させ、生徒全て上級学校へ進学することができた。 ②在籍児童生徒が1ヶ月あたり10日以上適応指導教室へ出席することができた。 ③保護者を交えた体験活動や教育に関する相談を実施した。（相談件数27件）	◎
2	④	児童生徒相談事業	H24～H33	市内の幼児、児童生徒（１８歳未満）及び保護者、教職員の悩みや教育上の問題について、教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	青少年教育相談指導員配置：４名（第二相談室） 臨床心理士配置：２名（第二相談室）	青少年教育相談指導員配置：４名（第二相談室） 臨床心理士配置：２名（第二相談室）	◎
2	⑤	非行防止等巡回活動事業	H24～H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員活動人数１６人	夜間街頭指導員活動人数１６人	◎
2	⑥	学習支援員活用事業	H24～H33	学習に遅れをとっている児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員の配置；１３校１３人 小学校９校９人、中学校４校４人	学習支援員の配置；１３校１３人 小学校９校９人、中学校４校４人	◎
2	⑦	派遣費補助金交付事業	H24～H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	派遣補助団体数：３０団体（文化活動団体数：５団体スポーツ活動団体数：２５団体）	11団体	未
2	⑧	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を補助する。	１６団体を目途に補助	８団体27名	未
3	①	文化財保存整備事業	H24～H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。平成２６年度は、市指定史跡「野嵩クシヌカー」の整備をめざし基本設計委託業務と、「本部御殿墓」の測量業務を実施する。	野嵩クシヌカー基本設計策定完了 本部御殿墓の測量業務完了	野嵩クシヌカー基本設計策定完了 本部御殿墓の測量業務完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	②	歴史公文書等整理･活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市（村）の公文書等を整理し、今後の市民･利用者の資料要求に迅速に対応することを目的とする。業務は、公文書等の整理を直営または委託し、保存、公開の基準づくりや利用に供するための検索システム作成などを行う。	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数：２００冊	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数：２５４冊	◎
4	①	預かり保育事業	H24～H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり保育利用者数：１，５００人 一時預かり保育利用者数：４００人	預かり保育利用者数：１，９２０人 一時預かり保育利用者数：５６０人	◎
5	①	中国厦門理工学院留学生派遣事業	H24～H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省厦門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	留学生派遣人数：１人	留学生派遣人数：１人	◎
5	②	平和市民啓発事業	H24～H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、８／９に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒８名を派遣する。	平和学習派遣生徒数：８人	平和学習派遣生徒数：８人	◎
5	③	小学校英語教育課程特例校事業	H24～H33	本市は、平成１５年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成１６年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的･継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。	小学校児童英語検定受験者数の増 Ｈ２５年度は２，０３２人の受験者数 Ｈ２６年度も約２，０００人余りの受験者を予定	１，９９９名	○
5	④	外国人教師招致事業	H24～H33	本市は、平成１５年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成１６年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的･継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	中学校英語検定受験者数の増 Ｈ２５年度は１，２８７人の受験者数 Ｈ２６年度も約１，５００人の受験者を予定	１，２１２名	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	⑤	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	・情報夏期講習会：計8回 ・情報教育研究会検証授業：計１２回 ・IT活用嘱託員・補助員の配置：計２名	・情報夏期講習会：計9回 ・情報教育研究会検証授業：計１２回 ・IT活用嘱託員・補助員の配置：計２名	◎
6	①	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、基地返還跡地転用推進基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	必要な土地についての取得率 普天間飛行場平成２５年度末１６．９％→平成２６年度末２０％以上 西普天間住宅地区平成２５年度末０％→平成２６年度末７５％以上	（普天間飛行場） 取得率：22% （西普天間住宅地区） 取得率：77.3%	◎
7	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24～H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	普天間飛行場跡地利用計画策定	平成26年度関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成	未
7	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同事業）	H24～H33	宜野湾市と沖縄県が平成１９年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	普天間飛行場跡地利用計画策定	平成26年度普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成	未
7	③	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24～H33	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	キャンプ瑞慶覧（宜野湾市地区）跡地利用計画策定完了	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用基本計画（案）作成	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	④	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24～H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘･確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供･公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成２３年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想（素案）」を基に、『遺跡（埋蔵文化財）以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想（案）」を作成する	重要文化財基本構想（案）作成完了	重要文化財基本構想（案）作成完了	◎
7	⑤	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24～H33	平成２６年度返還が予定されている西普天間住宅地区（キャンプ瑞慶覧）の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、基地内調査成果等に基づき当該地区の重要文化財保存整備実施計画を策定する。	重要文化財基本計画更新完了	重要文化財基本計画更新完了	◎
8	①	市民会館機能強化事業	H24～H29	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成２６年度はエレベーター設備設計業務と工事を実施する。	エレベーター改修による機能改善	エレベーター改修工事終了により機能改善が図られ、利便性の向上に繋がった。	◎
9	①	中央公民館機能強化事業	H24～H27	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつくまでの間、現在の研修室等を改修し、より利用しやすい施設として機能向上を図る。平成２６年度は舞台照明設備改修設計業務を実施する。	舞台照明設備改修設計完了	-	―

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24～H33	県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。	観光入域客数１００万人 メディア掲載件数１０媒体 誘客イベントの実施6回	観光入域客数１１２．３万人 メディア掲載件数１１媒体 誘客イベントの実施１１回	◎
1	②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24～H33	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ誘致2団体以上	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ誘致5団体	◎
1	③	石垣島観光物産ＰＲ事業	H24～H33	新空港開港後において、需要の安定化とリピーター層の拡大を図るため、満足度及び地元消費額の向上そして通年型の観光魅力を創出する各種取り組みを行う。国内個人客、海外からのインバウンド客向けの新たな観光コンテンツの創出を図る。	観光入域客数１００万人（平成２５年９３７，０００人） 観光動態調査報告書の策定 ボトム期集客イベントの開催による海外直行便の運航数2便（2月期前年比） 広報効果：一年を通じた各月の観光客数前年比増	観光入域客数１１２万人 観光動態調査報告書の策定 ボトム期集客イベントの開催による海外直行便の運航数2便 広報効果：9か月の観光客数前年比増	○
1	④	八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業	H24～H33	八重山博物館所蔵する資料のうち、劣化の著しい古文書等の資料を修復し修復済資料等を保管するための、資料収納箪笥を製作する。	資料１９件の修復 レプリカ作成1点 収蔵用箪笥1点の製作	資料２７件の修復 レプリカ製作なし 収蔵用箪笥2点	△
1	⑤	石垣島シネマフェスティバル事業	H24～H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。	・シネマフェスティバルの入場者：８０００人 ・プロジェクターの購入完了	・シネマフェスティバルの入場者：５０００人 ・プロジェクターの購入完了	△
1	⑥	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	H24～H30	来場者や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ中における見学者の誘導及び飛球対策に係る警備員の配置を行う。また総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。	プロ野球キャンプ見学者数：延べ1万3千人	プロ野球キャンプ見学者数：１８，３００人	◎
1	⑦	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24～H28	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う。	いしがきの原風景写真等デジタル化実施率：２０％ アーカイブス構築率：３０％	いしがきの原風景写真等デジタル化実施率：１３％ アーカイブス構築率：３０％	△
1	⑧	大浜地区歴史遺産活用事業	H25～H27	大浜地域は、多様な歴史遺産が存在する地域であり、これらの歴史遺産とフルスト原遺跡を連結させる紐帯として隣接地を購入し、公園広場と来訪者の駐車場を整備する。	用地の取得完了 プレハブの撤去完了	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	石垣市民会館設備改修事業	H25～H28	良好な環境を提供しやすい施設として整備することで、島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による公演の誘致を促進し、ファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客誘致につなげる。	公演誘致に適した環境の整備	―	繰
1	⑩	新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定事業	H25～H26	現石垣市立八重山博物館は、開館４０年余が経つことから、時代のニーズや八重山の現状にあった建設計画及び内容等の構想を検討するため、基本構想を策定する。	基本構想の策定	基本構想の策定	◎
1	⑪	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25～H33	本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行客を対象とした観光案内サービスを実施し、観光地としての信頼度を高める。	H２６年度案内所サービスの利用者数：４５，０００人	H２６年度案内所サービスの利用者数：５１，０６８人	◎
1	⑫	やいまぴとぅ人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした、組織化作業やそれらを結びつける人材ネットワークづくりを実施する。	①人材ネットワーク構築基本構想策定 ②郷友等諸団体のリサーチ（５０団体） ③郷友等諸団体の組織化（７団体） ④人材情報ネットワークシステムの構築	①人材ネットワーク構築基本構想策定 ②郷友等諸団体のリサーチ（４４４団体） ③郷友等諸団体の組織化（０団体） ④人材情報ネットワークシステムの構築	○
2	①	クルーズ船寄港誘致支援事業	H24～H33	大型クルーズ船の寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う。	大型クルーズ船の寄港回数：４回	大型クルーズ船の寄港回数：２回	未
2	②	美ら島ファミリーサポート整備事業	H24～H28	ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。	遊具施設の設置完了：２箇所	遊具施設の設置完了：１箇所	未
2	③	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24～H33	観光客の受入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備、改修を行う。	観光施設等の改修整備完了：１か所（米原キャンプ場：トイレ、シャワー等）	―	繰
2	④	バス停留所上屋整備事業	H24～H26	新空港の開港に伴い、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、バス停留所上屋を整備する。	バス停上屋の整備完了：１箇所	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑤	川平風致公園観光利便性向上施設整備事業	H25～H29	川平湾を訪れる観光客の利便性の向上や地域振興の為、物産販売所やグラスボートのチケット売場などの施設を統合した施設の基本設計業務を行う。また、公園区域外市有地の利活用のための測量設計を行う。	基本設計 測量設計完了	－	繰
2	⑥	平久保半島エコロード整備調査事業	H25～H28	平久保半島は、国立公園区域に指定されており、手付かずの自然景観が残っている。今年度は、エコロード整備に関する基本方針、平久保半島の地域資源等を活用した観光メニューの検討を含めた地域活性化に係る基本構想・基本計画を策定する。	平久保半島エコロード整備調査基本構想・基本計画の完了	－	繰
2	⑦	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25～H29	街区公園の利活用を目的として、石垣特有の拝所を中心とした街区公園整備を行う。今年度は測量設計業務を行う。	測量設計完了	測量設計完了	◎
2	⑧	イルカふれあい事業	H26	「イルカふれあい事業」を誘致し、一緒に泳いだり、給餌をしたり、イルカによるセラピー等を行うことで冬場も含めた新たな観光メニューを構築し、観光誘客を図る。	生簀本体の設置完了	生簀本体の設置完了	◎
2	⑨	VERAアクセス道路安全安心推進事業	H26～H27	本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所（国立天文台）」へのアクセス道路の整備を実施することにより、観光地としての安全・安心・快適を確保し、観光リゾート地の形成を目指す。	実施設計完了	実施設計完了	◎
2	⑩	石垣市道路網計画策定事業	H26	石垣市全体の道路交通機能について、観光地へのアクセス及び防災機能も含め望ましい道路の交通体系を構築するため、石垣市全体道路網計画を策定する。	石垣市全体道路網計画の策定完了	－	繰
2	⑪	旧石垣空港跡地利用計画策定事業	H26	旧空港跡地周辺エリアは観光客や多数の市民で賑わっており、新たな市街地を形成しつつあることから、近接する旧空港跡地についても、今後開発が活発化する前に具体的な計画を定め、インフラ整備の促進と適正な土地利用の誘導を目指す。	旧空港跡地利用計画の策定完了	－	繰
2	⑫	人工ビーチ施設整備事業	H26～H27	石垣港新港地区において整備を進めている、新港地区人工ビーチの供用に向け、利用者の利便性向上のため、ビーチ利用者が遊泳後に使用するシャワー施設・脱衣所・ロッカールーム等を整備する。	設計業務完了	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	①	青と緑の再生プロジェクト	H24～H26	川平湾の保全策として環境にやさしいＥＶ船の導入推進を図るために、ＥＶ船の導入効果の検証及び普及について調査を行い、ＥＶ船が利用できる充電施設を設置する。	充電施設の設置完了：1機 導入効果についての策定書	―	繰
3	②	石垣市エコアイランド事業	H24～H27	防犯灯及び街路灯をＬＥＤ化し省電力化を図り、低炭素島しょ社会の実現に向けた取り組みを推進する。また、安全で自然豊かな石垣島の水をとおし、自然環境保全の必要性を知ってもらうため、石垣島マラソンやイベントなどでＰＲボトルウォーターを提供し普及啓発を図る。	①防犯灯ＬＥＤ化完了：７７４基 ②既存街路灯のＬＥＤ化完了：５５基 ③ＰＲボトル２０，０００個製造	―	繰
3	③	オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業	H24～H33	ここ数年大量に発生しているオニヒトデの駆除を継続して行い、漁業資源や観光資源でもあるサンゴ礁の保全に努める。	１，０００ダイブ	１８ダイブ	未
3	④	石垣市資源循環アイランド推進事業	H25～H30	「石垣市資源循環産業都市構想（仮称）」を検討し、石垣市内外の産官学連携を一層強化することで、循環の島の構築と環境と調和した農業の確立を目指す。そのため、地域のバイオマス資源を活用したメタン発酵の実証試験を実施するためテストプラントを整備し、新たな産業（雇用）の創出、地域の活性化、循環石垣島ブランドの確立を図る。	液肥の供給体制の構築 （テストプラントの整備）	テストプラントの整備	◎
3	⑤	尖閣諸島自然環境基礎調査事業	H26	絶海の孤島である尖閣諸島の貴重で固有な野生生物等の生態系ならびに自然環境保護の観点など、今後これらを検討していくために資料収集等の基礎調査を行う。	既存資料の収集の完了 航空機による画像等撮影の完了 データベース作成の完了 ビデオ、ジオラマ作成の完了 報告書作成の完了	既存資料の収集の完了 データベース作成の完了 ビデオ、ジオラマ作成の完了 報告書作成の完了	○
3	⑥	野生動植物保全種及び保全地域等指定検討事業	H26	島内に生息する野生動植物の保全を図るため、石垣市自然環境保全条例に基づく保全種及び保全地域等の指定について検討する。	保全地域の指定について調査検討完了	保全地域の指定について調査検討完了	◎
3	⑦	南の島の猫アイランド事業	H24～H27	新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、緑地公園内生息の猫を対象として避妊、去勢等を実施する。また、新港地区緑地公園内の猫の生息数を調査する。	①避妊去勢手術：８０匹（生息数約１３０匹） ②緑地公園内の猫のリスト作成	―	―
4	①	ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24～H26	製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行うとともにバイヤーマッチング事業や商談会を企画する。また、出展者に対して、必要な助成をする。共同加工施設整備については、調査に基づく基本方針作成に取り組む。	（1）販路拡大・マーケティング商談会・物産展の開催実施（国内外） （2）加工施設の基本方針策定完了※事業で活動を実施した都市やその関係者等と具体的な商談や取引が発生する効果がある。	（1）販路拡大・マーケティング商談会・物産展の開催実施（国内外） （2）加工施設の基本方針策定完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	②	就業支援マッチング事業・人材育成事業	H24～H26	特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的には、セミナーや講習会等を実施する。	①八重山上布技術者人材育成事業の実施により新たな人材が輩出：15人 ②やきもの技術者人材育成によるやきもの振興：20人 ③特産品開発セミナーの実施：45人	①八重山上布技術者人材育成事業の実施により新たな人材が輩出：15人 ②やきもの技術者人材育成によるやきもの振興：40人 ③特産品開発セミナーの実施：49人	◎
4	③	商店街・中心市街地並びに商業振興事業	H24～H26	石垣市商工会、まちづくり会社をはじめとする民間まちづくり組織等を交えて、実施する事業を具体的にリストアップし、行政計画（アクションプラン）に位置付ける。また、事業の企画、調整、実施管理等の業務を行うマネージメント体制の構築を図る。	商業地及び中心市街地活性化計画（仮称）策定の完了	商業地及び中心市街地活性化計画（仮称）策定の完了	◎
4	④	文化産業創出事業	H25～H27	沖縄県の中でも更に独特の文化や伝統芸能等の豊富な地域資源を持つ本市において、それらを国内外へ広くPRし、文化産業の振興を図るため、本市に所縁のあるクリエイターによる展示会等を開催し、文化産業（第4次産業、第5次産業）の創出を図る。	①製作受注件数：3件 ②受講者数：10名 ③PR事業回数：3回	①製作受注件数：7件 ②受講者数：16名 ③PR事業回数：8回	◎
4	⑤	石垣市農林水産物等流通戦略構築実証事業	H25～H26	平成25年度実施の調査事業（品目調査、輸送ルート、マルシェ適地検討）の内容を踏まえ、各種実証事業を実施し、新石垣空港開港後における新たな流通戦略の構築へ向けた取り組みを行う。	流通ルート体系の構築	流通ルート体系の構築	◎
5	①	熱帯果樹栽培研究事業	H24～H27	熱帯果樹産業の振興を図るため、石垣市パパイヤ研究所のノウハウを活用し、パパイヤを使った食材の研究、商品化やパパイヤ以外の熱帯果樹の栽培研究を行う。	①パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜（2個体） ②マンゴー根域制限栽培の検証（連年結果） ③パッションフルーツの種苗配布（300株）	①パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜（2個体） ②マンゴー根域制限栽培の検証（連年結果） ③パッションフルーツの種苗配布（未実施）	△
5	②	"石垣産の牛"生産推進事業	H24～H33	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他石垣牛の宣伝や肥育牛の増頭支援など、肉用牛生産を一体的に推進する。	①空港等への消毒マット設置 ②導入80頭※計画に対する進捗率35% ③淘汰250頭 ④空港到着ロビーでの掲示 ⑤肥育牛の安定供給体制構築（30頭分の肥育牛牛舎整備補助）	―	繰
5	③	水産振興事業	H24～H33	養殖漁業の経営安定化を図るためヤイトハタの種苗の輸送補助を行い、新鮮な魚介類を安全に提供するため、清浄海水施設を改修する。また、沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための養殖実証試験を引き続き行う。	①ヤイトハタ種苗輸送数：60，000尾 ②清浄海水施設の改修の完了 ③実証試験の実施によるアカジン（スジアラ）養殖のユーグレナ添加餌料投与成長比較データの把握	―	繰
5	④	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25～H33	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう、支援を行う。	生鮮水産物の輸送費補助の完了	生鮮水産物の輸送費補助の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	⑤	特用植物利活用推進事業	H26	全国ハーブサミットの開催を機に、本市におけるハーブ文化を内外に発信すると共に、ハーブの利活用についてライブラリーとして取りまとめ、先人の知恵として継承していくと共に商品開発を推進する。	サミット、フェスティバル関連参加者6，000人	サミット、フェスティバル関連参加者9，108人	◎
5	⑥	特産品加工施設調査事業	H26	甘蔗加工施設建設及び機械導入により安定的に加工品の供給を図るため、加工場の整備に向けて、生産者及び実需者の意向調査を行うとともに、先進地の取り組みについて調査し、今後の整備事業導入に資する。	加工施設の規模を決定 先進事例調査1回	先進事例調査1回	△
5	⑦	さとうきび振興事業	H26	機械刈りにより収穫されたさとうきび原料に混入する副産物（葉柄、土砂等）や異物（大石、金物）を選別する機械を導入し、計画的な圧縮処理と品質向上を図る。また、選別された副産物（葉柄）を細かく破砕する機械を導入することにより、副産物の利用価値を高め農地での還元を図り、良好な土づくりを促進する。	トラッシュ除去率の改善： 現状47．19%→　目標55%	トラッシュ除去率の改善：54%	○
6	①	地域防災力強化育成事業	H24～H28	自主防災組織ごとに救急救助資機材と収納倉庫を整備し地域防災組織の強化と育成を図り、災害時に住民や観光客に衛生的な飲料水を供給出来るよう給水パックを購入し備蓄する。	救急救助資機材と収納倉庫の整備：10箇所 給水パック購入備蓄：5，000個	救急救助資機材と収納倉庫の整備：10箇所 給水パック購入備蓄：5，000個	◎
6	②	防災避難道路整備事業	H24～H26	予想される大地震時における安全な農村集落の環境整備をするため、津波避難道路を整備する。	白保地区防災避難道路整備の完了	白保地区防災避難道路整備の完了	◎
6	③	防災体制整備事業	H24～H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、情報伝達手段である防災無線について、未整備地区や難聴地区への整備及び改善を図り、情報伝達システム整備基本計画を策定する。また、津波避難ビル等への避難標識の設置、備蓄倉庫の整備を行う。	防災無線屋外拡声子局整備完了：2基 避難標識整備完了：8本 防災備蓄倉庫設置完了：1棟 海抜表示設置完了：20箇所 防災等情報伝達システム整備基本計画策定完了	防災無線屋外拡声子局整備完了：2基 避難標識整備完了：16本 防災備蓄倉庫設置完了：1棟 海抜表示設置完了：30箇所 防災等情報伝達システム整備基本計画策定完了	◎
6	④	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24～H26	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者が、安心安全に避難生活がおくれるよう「福祉避難所」の整備を行う。今年度は、基本計画に沿って具体的な「基本設計」に取り組む。	基本設計策定完了	基本設計策定完了	◎
7	①	ICT教育強化事業	H24～H33	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材の充実を図り、ICT教育を有効活用した教育環境整備を行う。	デジタル教科書（2教科）の整備完了（全小中学校） 学習プリント作成ソフト等の整備完了（全小中学校）	デジタル教科書（2教科）の整備完了（全小中学校） 学習プリント作成ソフト等の整備完了（全小中学校）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	②	外国語学習支援事業	H24～H33	小学校5年生、6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、市立小中学校へ外国語学習指導員の配置等の活動を支援をする。	外国語学習支援員配置数小学校：3人、中学校1人	外国語学習支援員配置数小学校：3人、中学校1人	◎
7	③	児童・生徒派遣費助成事業	H24～H33	児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する。	県内派遣完了：3，000人 県外派遣完了：250人	県内派遣完了：3，797人 県外派遣完了：301人	◎
7	④	ユースアドバイザー事業	H24～H33	こどもたちの環境整備を図るため、不登校、引きこもり等の児童・生徒への支援体制を整備する。	相談支援の受理件数15件	相談支援の受理件数12件	◎
7	⑤	すこやか子育て支援事業	H24～H33	幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施するため、保育士の配置を行う。	市内全園預かり保育の実施 幼稚園における預かり利用者の増加数：受入増数：130名見込み（24年実施4園も含めて） 市内預かり保育4園実施に伴う4園備品購入完了	市内全園預かり保育の実施 幼稚園における預かり利用者の増加数：受入増数：236名	△
7	⑥	「八重山の歴史と文化」編集・発刊事業	H25～H28	本市の中学生に郷土の歴史や文化に理解を深めてもらうための冊子を編集・刊行する。	郷土学習書の発刊：2500部	郷土学習書の発刊：2500部	◎
7	⑦	地域交流子育て相談事業	H25～H27	市街地の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談などの地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施する。	子育て相談業務件数：180件	子育て相談業務件数：98件	未
7	⑧	平和推進事業	H24～H33	次世代を担う児童生徒を対象に平和について学ぶ機会をつくる。また、「沖縄慰霊の日」に『全戦没者追悼式・平和祈念式』等を執り行い石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを強化する。	広島・長崎への平和大使派遣：小中高校生4人 平和フォーラム等参加者：700人 平和モニュメント屋外説明プレート作成：3体	広島・長崎への平和大使派遣：小中高校生3人 平和フォーラム等参加者：700人 平和モニュメント屋外説明プレート作成：2体	○
7	⑨	尖閣諸島関係資料収集事業	H25～H29	尖閣諸島に関するこれまでの動向を概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事を収集し、日付や内容等から目的の記事が検索できるようデータベースを構築する。	新聞等のデータベース化：500件	新聞等のデータベース化：1，007件	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	⑩	ICT教育充実事業（情報端末器配備事業）	H25～H26	情報端末器（タブレット型PC）を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別支援教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材の育成を図る。	タブレット型PCの整備（全中学校に1学級分）	タブレット型PCの整備（全中学校に1学級分）	◎
7	⑪	オオゴマダラ地域交流事業	H25～H29	奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。	○オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成完了 ○児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣完了 ○昆虫館取材後の学習報告会の完了	○オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成完了 ○児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣完了 ○昆虫館取材後の学習報告会の完了	◎
7	⑫	学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業	H25～H33	市街地校の各小中学校に学校教育支援員を配置し、授業等をサポートすることで、学校の状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行い、児童生徒の学力の向上を図る。	支援員導入率：72％	支援員導入率：100％	◎
7	⑬	体験学習助成事業	H25～H27	本市に住んでいる児童・生徒の体験学習の機会が制限されているため、他の地域に比べて児童・生徒の体験学習の機会の格差が生じている。他府県と本市の文化や芸術、産業での相違を学習しながら人的交流を推進し、学習向上を図り児童、生徒のコミュニケーションスキルを高める。また、東日本大震災の被害にあった地域を体験学習することにより、「共感」「思いやり」の心を育む。	体験学習報告会の開催：1回 アンケートを実施し、体験学習を通して「共感」や「思いやり」の心が育まれるなど、事後の意識向上率85％以上達成。	体験学習報告会の開催：1回 アンケートを実施し、体験学習を通して「共感」や「思いやり」の心が育まれるなど、事後の意識向上率90％	◎
7	⑭	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H24～H33	石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者に対し、地域の関係機関・個人がネットワークを形成し連携し、第一次的な窓口として総合相談センターにおいて相談対応を行う。また、対象者の把握のために実態調査を行う。	子ども若者の受理相談件数60件（H24：38件） 対象者の実態把握	子ども若者の受理相談件数75件 対象者の実態把握	◎
7	⑮	文化資産収蔵庫整備事業	H25～H26	戦火を逃れた貴重な地域の史料を収蔵保管する為、八重山圏域で唯一の図書館の4階に収蔵庫を増設する事により、適切な管理と津波被災から防除を行う。	収蔵庫の整備完了	収蔵庫の整備完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	⑯	郷土文化学習事業	H26	小学校低学年の郷土学習資料として「やえやま探検隊シリーズ」を編集し、市内各学校の集合学習に活用するため、発行する。	郷土資料の発行配布：1，000部	郷土資料の発行配布：1，000部	◎
7	⑰	いきいきスポーツ活動助成事業	H26～H30	地元から県大会や全国大会などに送り出せる体制づくりのためにトップアスリートとしての経験等を有した優れた指導者の活用を行う。また県外市町村の青少年と共通するスポーツを通して交流を図り、交流相手への興味、話題、関心を持つことを促す。	【バレーボール】 小学生バレーボール教室（4回） 中学生バレーボール教室（8回） 高校生バレーボール教室10回） 選抜合同強化練習（2回） 指導者講習会（2回） 【駅伝】 中学生駅伝（持久走）教室（10回） 高校生駅伝（持久走）教室（10回） 強化練習（4回） 指導者講習会（2回） 【友好都市スポーツ交流派遣】 交流者数17名（団員12名、リーダー1名、指導者4名）	【バレーボール】 小学生バレーボール教室（4回） 中学生バレーボール教室（4回） 高校生バレーボール教室（8回） 選抜合同強化練習（1回） 指導者講習会（1回） 【駅伝】 中学生駅伝（持久走）教室（9回） 高校生駅伝（持久走）教室（8回） 強化練習（2回） 指導者講習会（1回） 【友好都市スポーツ交流派遣】 交流者数12名	△
7	⑱	冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	H26～H33	本市児童の学力向上を図る為、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進する。	団体ごとの出席率70％達成 アンケートを実施し、家庭学習の習慣化70％以上達成。	団体ごとの出席率65％ アンケートを実施し、家庭学習の習慣化97％	○
7	⑲	学力先進地域調査事業	H26～H28	市内小中学校教諭を県外学力先進地域の小中学校へ派遣し、学力向上や授業改善に係る取組に対する意識を高め、各小中学校における実践的な学力向上の取組推進を図る。また、学力向上や授業改善に係る取組において、学校の中核となるミドルリーダーの育成を図る。	各学校へ調査内容（指導方法・学校運営等）の普及を図る。普及方法としては、いしがき教育の日（全体研修会）や管理職などの研修会。各学校から派遣された職員による校内研修等で行う。	研修会2回	◎
8	①	国際定期便誘致事業	H24～H33	国際航空路線の活発化及び定期就航を図るために、近隣の台湾、香港、韓国へのプロモーション及び路線安定化に向けた取り組みを行う。	インバウンド誘客目標0．8万人（H26）	インバウンド誘客8，632人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	①	福岡戸籍システム導入事業	H26	今後の親族関係、身分関係を正確に登録･公証するため、紙で記録されている福岡戸籍を電算化することで、長期保存を可能とする。	福岡戸籍等の3，000枚余の電算化の完了。	福岡戸籍等の3，000枚余の電算化の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	浦添市来ヵ来ヵ推進事業	H24～H29	H25年度にて作成された屋富祖通り地区の基本構想案をもとに住民ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟの実施及び基本構想策定をする。また、ｼﾝﾎﾞﾙﾛｰﾄﾞ沿線地区及び港川道路ｼﾘﾝｶｰ周辺地区の抽出された課題をもとにまちづくりの検討を実施する。	・ワークショップ参加者数：延べ40人 ・屋富祖通り地区の基本構想案をもとに基本構想策定（対象区域、まちづくりコンセプト、道路及び沿道空間の整備方針等） ・ｼﾝﾎﾞﾙﾛｰﾄﾞ沿線地区及び港川道路ｼﾘﾝｶｰ周辺地区の抽出された課題をもとに検討された基本構想案の策定	・ワークショップ参加者数：延べ31人 ・屋富祖通り地区の基本構想案選定、基本計画案の作成 ・ｼﾝﾎﾞﾙﾛｰﾄﾞ沿線地区及び港川道路ｼﾘﾝｶｰ周辺地区の抽出された課題をもとに検討された基本構想案の策定	○
1	②	浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業	H24～H28	観光地としての価値向上に資するため、草花配布等を行う。	・市民への草花配布件数：70件 （参考　H25年度実施） 草花配布件数63件 ・草花植付面積：3,250㎡ 植付延長：2,400m （参考　H25年度実施） 植付面積：3,001㎡ 植付延長：2,301m）	・市民への草花配布件数：63件 ・草花植付面積：3,807㎡ 植付延長：2,094m	○
1	③	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」	H24～H33	スポーツツーリズム推進を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、「てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」を開催する。	てだこｳｫｰｸ参加人数　7,700　人 （平成23年　7,542人）	てだこｳｫｰｸ参加人数　7,419人	○
1	④	ありんくりんクリーン事業	H24～H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために美化や安全対策等の環境整備を図る。	・文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施 （環境整備が必要な箇所：10箇所） （H24実績：11箇所　H25実績11箇所）	・文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施　12箇所	◎
2	①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、世界遺産の追加登録を目指す「浦添グスク周辺エリア」と基地跡地利用においても重要な役割を担う地区を含む「西海岸周辺エリア」を先導的エリアと位置付けながら、市全域を対象に景観法・都市計画法に基づく「景観地区」や「地区計画」等の地区指定を図りつつ、普遍的観光資源である地域景観資源を保全・再生、支援し活用することにより「住んで良し、訪れて良し」の浦添市の観光振興を含めた地域振興を目指す。	・風景づくりに係る人材育成数：３人 ・風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討（都市モノレール駅周辺やグスク周辺、西海岸エリアの各地区において景観地区指定等に向けたWSや協議会を行いウラオソイ風景づくりについて検討をおこなう。） ・古民家の活用方針の策定 ・まちづくり活動団体等への支援の実施：3団体	・風景づくりに係る人材育成数：３人 ・風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討 古民家の活用方針の策定 ・まちづくり活動団体等への支援の実施：3団体	◎
2	②	地域資源復元推進事業	H24～H28	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、観光の振興を図る。そのために、地域に所在する観光資源である市指定史跡等の文化財を整備するとともに、中頭方西海道や普天満参詣道などの歴史の道のルート上に石畳の舗装を施す。また、市内の文化財等に説明板を設置する。	・中頭方西海道ルート上への石畳舗装整備率：70.5% （舗装予定延長：680m　H24：0m　H25:420m　H26：60m） ・文化財等説明板の設置率：80% （設置予定総数10箇所　H24：0箇所　H25：1箇所　H26：7箇所）。	・中頭方西海道ルート上への石畳舗装整備率：70.5% ・文化財等説明板の設置率：81.8%	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	③	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24～H26	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史、文化の拠点である仲間地区の主要な道路について、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。	カラーアスファルト舗装整備率：60.4% 舗装予定総面積：8,840㎡ H24：2,660㎡　H25：1,930㎡　H26：750㎡	カラーアスファルト舗装整備率：55.9%	○
3	①	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24～H28	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。また、広報宣伝事業・体験教室などを実施する。平成26年度は親子向けの企画展を開催、客層の幅を広げる。	・親子向け企画展来場者：3,000人（40日間開催） ・年間来館者数：80,000人 ・常設観覧者数：2,200人	・親子向け企画展来場者：6,328人 ・年間来館者数：52,907人 ・常設観覧者数：4,062人	○
3	②	9月3日踊り観光・文化振興事業	H24～H28	沖縄に古くから伝わる「組踊」は、「組踊」は、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産保護条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を実施する。	イベント参加人数　2,000人 （参考） H24：2,200人　H25：2,372人	イベント参加人数　2,413人	◎
4	①	浦添「よりみち」観光振興事業	H24～H28	琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光に見られるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発。併せてヤクルトキャンプ地を生かした観光客誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。	・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介　1件 （H24：0件　H25：0件） ・新たな観光商品の開発　1件 （H24：3件　H25：0件） ・観光商品の事業所向け提案　1件 ・市産品展示販売会販売額　3，000千円 ・観光展等のイベント来場者　100人	・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介　1件 ・新たな観光商品の開発　2件 ・観光商品の事業所向け提案　2件 ・市産品展示販売会販売額　43,500円 ・観光展等のイベント来場者　186,924人	○
4	②	来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業	H24～H28	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。	・観光ポータルサイト開発　1件 ・観光情報の編纂・発信　1件	・観光ポータルサイト開発　1件 ・観光情報の編纂・発信　1件	◎
4	③	浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業	H24～H28	「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。	うらそえ織売上額　23,690千円 （基準値：平成23年9,910,614円）	うらそえ織売上額　5,945千円	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	④	浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業	H24～H28	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。	県外物産展等のイベント参加企業　４０社	県外物産展等のイベント参加企業　11社	未
4	⑤	島桑オジー＆オバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24～H28	特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ」を活用し、養蚕業（繭の生産）のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。	商品開発：２種類 事業に要する桑園契約面積：5,800坪 乾燥桑葉原料：600ｋｇ	商品開発：２種類 事業に要する桑園契約面積：6,434坪 乾燥桑葉原料：540kg	○
4	⑥	浦添市農業フェスタ支援事業	H24～H28	「農協まつり」における黒糖作りコーナー、集客イベント開催、会場整備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘致に取り組み観光振興・産業振興を図る。	農協まつり来場者数：2,800人 （平成23年：1,800人） イベント時会場入り数：300名 黒糖作りコーナー設置 会場整備：会場テント・音響設備等	農協まつり来場者数：3,178人 イベント時会場入り数：600名 黒糖作りコーナー設置 会場整備：会場テント・音響設備等	◎
5	①	創業者等相談事業	H24～H28	新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション・マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大・雇用者の増を図る。	創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 ３６０件	創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 338件	○
5	②	スーパー・コミュニケーショナル・スクール事業	H24～H28	国際社会に対応するため、スーパーコミュニケーショナルスクールにおいて英語と中国語を集中的にマスターさせ、人材の育成を図る	学年別クラスの学習終了 1期生　2年次の終了（卒業）　20名 2期生　1年次の終了（2年次へ進級）　20名	学年別クラスの学習終了 1期生　2年次の終了（卒業）　15名 2期生　1年次の終了（2年次へ進級）　6名	未
6	①	ガントリークレーン整備事業	H24～H26	那覇港において、利便性の高い港湾の整備・拡充を実施し、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図るため、ガントリークレーンを増設する。	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン ・4号機製作1基	―	繰
6	②	那覇港総合物流センター整備事業	H25～H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター実施設計業務の完了	―	繰
6	③	那覇港輸出貨物増大促進事業	H26～H28	香港直行航路等の社会実験を実施し、開設・定着への課題検討、方策の検討を行う。	社会実験結果報告書の作成による改善点などの把握	―	-

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	④	那覇港起点港機能強化事業	H26	経済波及効果の大きい那覇港発着のクルーズ船を誘致するため、那覇港クルーズターミナルに起点港として必要なチェックインカウンター、X線装置、荷物運搬用具等を整備する。	クルーズ船起点港機能の整備完了 整備された備品： ①チェックインカウンター ②X線装置 ③荷物運搬用具 ④可動式通路	―	繰
7		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ H33	スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助する。	・大会等派遣生徒数：450人	・大会等派遣生徒数：延419人	○
8	①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ H33	社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学校5年生全員を対象に自然・農業・漁業等の体験学習を行なう。	小学校5年生1,348人の参加（一人当たり4体験） ＰＡ（冒険体験）：1,348人 農業：403人 漁業：738人 登山：1,521人 カヌー自然体験：1,382人	小学校5年生1,356人の参加（一人当たり4体験） ＰＡ（冒険体験）：1,356人 農業：406人 漁業：876人 川遊び1,353人 登山：1,521人 カヌー自然観察1,354人 トレッキング71人	○
8	②	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員を各学校へ配置する。	H26年度目標値 全国学力テストにおいて　正答率：全国平均との差 小学校6年：国語A・・3P以内　国語B・・2P以内 小学校6年：算数A・・3P以内　算数B・・2P以内 中学校3年：国語A・・4P以内　国語B・・1P以内 中学校3年：数学A・・6P以内　数学B・・6P以内	全国学力テストにおいて　正答率：全国平均との差 小学校国語A：+2.2P　国語B：+0.5P 算数A：+3.2P　算数B：-0.6P 中学校国語A：-2.6P　国語B：-2.2P 数学A：-7.2P　数学B：-7.3P	○
8	③	課題を抱える児童生徒支援事業	H25 ～ H33	児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成する環境を整えるため、青少年相談員、臨床心理相談員、教育相談員、教育相談支援員、生徒サポーター、そして青少年指導員を配置し、青少年の環境浄化・教育相談を行う。	不登校児童生徒数の10％減	小学校　85％増 中学校　7％増	未
8	④	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ H33	適応指導教室に指導員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	・適応指導教室入級児童生徒全員を学校に足を向かせる。 ・年間3回以上の不登校児童生徒保護者交流会を実施する。	・適応指導教室入級児童生徒全員を学校に足を向かせる。（6名中5名） ・不登校児童生徒保護者交流会を実施　年3回	○
8	⑤	ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、IT指導員を定期的に派遣し、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末などを活用した情報教育授業を支援する。	小中学校の各学年において、ICTを活用した授業を総時数の2割実施する。	小学校：３５％ 中学校：２３％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	①	浦添の歴史文化整備保存事業	H25～H30	浦添市の収集・保有している資料の写真、証言記録をもとに『浦添市移民史　本編（仮題）』を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として浦添出身者の移民・出稼ぎ・移住の実態をまとめる。移民・出稼ぎ・移住」に関する講演会・展示会を開催する。	・移民史編集委員会の報告書作成 ・市内聴き取り調査結果報告の作成 ・『浦添市移民史本編』の編集・刊行 ・講演会・展示会入場者数：300人	・移民史編集委員会の報告書作成 ・市内聴き取り調査結果報告の作成 ・『浦添市移民史本編』の編集・刊行 ・講演会・展示会入場者数：1,653人	◎
9	②	歴史にふれる館整備事業	H24～H27	市内の遺跡出土の土器や石器等の遺物、市民寄贈の民具、近世浦添が窺える厨子甕や銘書などの展示活用及び保管収蔵の為、市立港川共同調理場移転後の施設を展示収蔵施設に改修する工事を実施する。合わせて収蔵品の搬入を委託実施する。	・「歴史にふれる館」の完成 ・収蔵品の搬入：蔵骨器2600点、民具390点、遺物収納用箱3500箱	・「歴史にふれる館」の完成 ・収蔵品の搬入：蔵骨器2600点、民具390点、遺物収納用箱3500箱	◎
9	③	琉球空手のルーツを探る事業	H24～H26	文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手（ティー）」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を行う。	・調査報告書の作成：100部 ・シンポジウム来場者数：300人	・調査報告書の作成：100部 ・シンポジウム来場者数：330人	◎
9	④	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～H32	国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実化を図る。具体的には浦添市の歴史・文化を理解しやすくするためにガイダンス施設の展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史・文化に関する情報発信の強化を図る。	・展示物作成：1点 ・文化財案内マップ等作成：8000部 （マップ配置先：市内ガイダンス施設など） ・歴史・文化情報発信等：NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会の活用 ・映像機器の導入	・展示物作成：1点 ・文化財案内マップ等作成：8000部 ・歴史・文化情報発信等 ・映像機器の導入	◎
10		浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25～H33	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入：2人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。また、積極的に市人会等の活動に参加し、現地における沖縄文化の継承及び本市と移住先国との交流の架け橋として、コミュニティーの発展に貢献することが期待される。	南米移住者子弟研修生受入：2人	◎
11	①	幼稚園てぃーだっ子のびのび事業	H24～H33	公立幼稚園における預かり保育の待機児童解消のため、担当教諭を増員し、預かり保育の拡充を図る	保護者が安心して就労できるよう5歳児の預かり保育希望者全員の受け入れ	・保護者が安心して就労できるよう5歳児の預かり保育希望者全員の受け入れ	◎
11	②	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24～H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行う。	家賃補助を受けた学童クラブ数：11か所	家賃補助を受けた学童クラブ数：10か所	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
12	①	災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24～H33	災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の住民の食料3日分を備蓄する。	非常用食糧の目標値達成率：60% (市の人口の5%の3食3日分の食糧に対する割合)	非常用食糧の目標値達成率：54.29%	○
12	②	災害時備蓄食糧保管倉庫等整備事業	H24～H28	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の整備や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。	備蓄倉庫整備率：60% （要整備数20庫　H26年度設置累計12庫） 発電機整備率：60% （要整備数20機　H26年度設置累計12機） 浄水機設置率：60% （要整備数20機　H26年度設置累計12機） 簡易トイレ整備率：60% （要整備数200個　H26年度設置累計120個） トイレ用簡易テント：60% （要整備数200個　H26年度設置累計120個） 発電機用オイル缶整備率：60% （要整備数20缶　H26年度設置累計12缶） 発電機用燃料携行缶整備率：60% （要整備数20缶　H26年度設置累計12缶）	備蓄倉庫整備率：60% （要整備数20庫　H26年度設置累計12庫） 発電機整備率：60% （要整備数20機　H26年度設置累計12機） 浄水機設置率：60% （要整備数20機　H26年度設置累計12機） 簡易トイレ整備率：60% （要整備数200個　H26年度設置累計120個） トイレ用簡易テント：60% （要整備数200個　H26年度設置累計120個） 発電機用オイル缶整備率：60% （要整備数20缶　H26年度設置累計12缶） 発電機用燃料携行缶整備率：60% （要整備数20缶　H26年度設置累計12缶）	◎
13	①	航空機騒音基礎調査事業	H24～H33	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	・騒音データ取得数（3か所計） 昼間（7：00～19：00）：　13,100回 夕方（19：00～22：00）：　1,690回 夜間（0：00～7：00）：　250回 （22：00～24：00）：　280回 ・測定結果をまとめてホームページ上で掲載する。	・騒音データ取得数（3か所計） 昼間（7：00～19：00）：　10,307回 夕方（19：00～22：00）：　1,676回 夜間（0：00～7：00）：　242回 （22：00～24：00）：　234回 ・測定結果をまとめてホームページ上で掲載	○
13	②	浦添市中学生平和交流事業	H25～H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では浦添市での戦争や平和祈念資料館等を活用した沖縄戦に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶとともに、平和を希求する心を培う。	浦添市立中学校5校より中学生平和交流団10人 長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。また、報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。 10月に開催される本市戦没者追悼式典において、平和のメッセージを朗読する。	浦添市立中学校5校より中学生平和交流団10人	◎
13	③	里道及び水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・約125kmの里道及び水路表示登記延長率：10%	約125kmの里道及び水路表示登記延長率：8%	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
13	④	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24～H33	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動への参加者：延べ27人（9人×3回）	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動への参加者：延べ37人	◎
13	⑤	牧港補給地区情報システム事業	H24～H33	平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理 ・跡地の先行取得調査業務への活用	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理 ・跡地の先行取得調査業務への活用	◎
13	⑥	浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業	H24～H33	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。	・用地取得率：14.3% （取得目標8,000㎡　H26年度累計取得8,000㎡）	用地取得率0.1%	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	学習指導支援者配置事業	H24～H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	支援児童数（小学校4校の3・4年生）：789人	小：525人 中：1，784人	未
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24～H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通した個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数：10人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数：16人	◎
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24～H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	支援児童数（小学校）：1，342人 支援生徒数（中学校）：2，210人 計：3，552人	支援児童数（小学校）：4，088人 支援生徒数（中学校）：2，202人	○
1	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	海外短期留学派遣生徒数：12人 派遣後のフォローアップ ・帰国報告会での発表 ・在籍中学校及び中学校区学推での発表 ・帰国報告書の作成	海外短期留学派遣生徒数：12人 派遣後のフォローアップ 報告会 在籍中学校及び学推での発表 報告書の作成	◎
1	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数：7人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数：16人	◎
1	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会派遣生徒数H26年度：80人	大会派遣生徒数H26年度：57人	○
1	⑦	小中一貫教育推進事業	H26～H33	小中一貫教育校の開校を目指して取り組んでいる屋我地地域において、児童生徒の学力向上、小中学校の教育課程の研究や小中連携を図るための非常勤講師を配置する。	教育課程研究報告書を作成し、児童生徒学力向上に向けた取り組みの検討へつなげる	報告書作成 学力向上に向けた取組の検討	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25～H27	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	堆肥工場の整備及び備品購入の完了	―	繰
2	②	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業（アグリパーク）	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	レストラン施設・観光農園施設・エントランス整備の完了	―	繰
3	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、人気球団である日本ハムファイターズと連携したイベント「沖縄へ行こう！！名護デー」を札幌ドームで開催し、札幌より観光客誘客を図る。	プロ野球キャンプ見学者数H26年度：24，000人（H25年度目標：20，000人）（H24年度実績：17，799人）	プロ野球キャンプ見学者数H26年度：28，228人	◎
3	②	名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H27	特産品の販路拡大のため、商品改良（品質表示、加工技術等）、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っていく	物産展の来場者数：2，550人 物産展の売上高：2，550千円	物産展の来場者数：8，976人 物産展の売上高：4，021千円	◎
3	③	観光情報発信事業	H25～H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝（マスメディア、イベント等）、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。また地元で撮影された映画を活用し、映画・映像の追体験を促す広報宣伝を国内の映画館等で実施する。	観光宣伝物の作成 ①映像DVD（春・夏版）セールス：100枚 ②旅行見本市（ツーリズムエキスポ）ブース来場者数1，000名広告 ③ガイドブックへの広告掲載発行部数90，000部	観光宣伝物の作成 ①映像DVD（春・夏版）セールス：100枚 ②旅行見本市（ツーリズムエキスポ）ブース来場者数：1，100名 ③ガイドブックへの広告掲載発行部数：380，000部	◎
3	④	真喜屋運動広場整備事業	H24～H27	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	真喜屋運動広場整備に係る実施設計完了	―	繰
3	⑤	名護市営市場機能強化整備事業	H25～H26	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。	整備工事（1件）の完了・雨除け通路の設置・パティオ屋根の設置・前広場雨除けの設置・植栽の実施等	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	名護市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H25～H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを利活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	無線LANサービスの開始：AP1カ所以上	無線LANサービスの開始：AP6カ所	◎
3	⑦	津嘉山酒造所施設公開活用推進事業	H26	国指定重要文化財である津嘉山酒造所は、沖縄に唯一残る戦前の木造泡盛工場であり。沖縄県を代表する文化施設である。まちなか観光拠点として施設（便益施設、泡盛資料館、駐車場）の整備を行うため、酒造所敷地の一部を購入する。	整備に必要な用地取得：100％（425㎡取得）	整備に必要な用地取得：100％	◎
3	⑧	二見以北4小学校跡地等利用事業	H24～H26	閉校となった二見以北の小学校をウミガメ等の海洋生物の調査研究施設として利活用するとともに、海洋生物や自然等の地域観光資源を生かした体験学習施設として利活用するため、必要な環境整備を行う。	便益施設の建築	便益施設建築工事の完了	◎
3	⑨	轟の滝周辺整備事業	H24～H28	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けて整備する。	・整備に必要な用地取得：（累計：88％）（累計：7，113㎡取得）・施設設計の完了	―	繰
3	⑩	陸上競技場機能強化事業	H26	県内レベル（沖縄県民体育大会等）の大会開催やスポーツコンベンションの誘致に向けて、更なる施設の機能向上を図るため、新たに必要が生じたフィニッシュレコーダー等の備品購入を実施する。	陸上競技場の機能強化	陸上競技場の機能強化	◎
4		名護市行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24～H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	行政区単位版ハザードマップ配付箇所数：55区 H24：5地区（9行政区）、 H25：22地区（25行政区）、 H26：21地区（21行政区）	行政区単位版ハザードマップ配付箇所数：21地区（21行政区）	◎
5		名護市自転車まちづくり推進事業	H24～H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン（自転車指導レーン）整備を実施する。	自転車レーンの整備率：14％ 整備目標：11，920m H24整備：1，120m H25整備：330m H26整備目標：300m	自転車レーンの整備率：48％ （整備実績：4000m）	◎
6	①	金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24～H26	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致目標達成率：80％（招致目標：20人、H24招致：15人、H25招致：20人、H26年度目標：20人）	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致目標達成率：60％	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	②	金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業	H25～H26	金融・情報関連企業が入居する施設（名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館）に、無停電電源装置（UPS）の設置を実施し、台風等の災害時に停電が発生した際、自家発電機が稼働するまでの間、UPSから電気を供給することにより停電を無くし、企業の事業継続性を確保する。	無停電装置の設置完了（名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館）	無停電装置の設置完了（名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館）	◎
7		名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	H24～H26	本市の臨時戸籍は、現在でも各種行政証明や戸籍訂正の資料として重要な役割をはたしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な臨時戸籍に係るサービスを確保するため臨時戸籍の電算化を実施する。	臨時戸籍の電算化率：100％	臨時戸籍の電算化率：100％	◎
8		名護市地域力発信交流拠点施設整備事業（運天原）	H25～H26	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の継承や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	地域力発信交流拠点施設（運天原）の完成	地域力発信交流拠点施設（運天原）の完成	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	沖縄らしい風景づくり事業	H24～H33	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進めるため、平成２５年度に風景づくり計画を策定した。その計画に基づき、景観形成重点地区である国道３３１号沿道地区とジョーグヮー地区の糸満独特の風景・まちなみ創生の整備を図る。また、米須集落地区における重点地区に向けての取組みを行う。	重点地区基本計画策定 米須集落地区風景づくり行動計画策定	重点地区基本計画策定 米須集落地区風景づくり行動計画策定	◎
1	②	生活感幸（観光）環境づくり事業	H24～H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の民俗地図等を作成する。本年度は、旧高嶺村の5か字について民俗調査を実施し民俗地図を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・旧高嶺村5か字の民俗地図の印刷 ・市史講座の参加者数５０人	・旧高嶺村5か字の民俗地図の印刷 ・市史講座の参加者数４７人	○
1	③	冬場のエコスポーツ拡大事業	H24～H28	冬場（冬季）の観光振興を図るために、全国的なマウンテンバイク競技大会の開催が可能なコースの整備及び大会プロモーションを実施する。	大会来場者数４５０人	大会来場者数６７０人	◎
1	④	新しい公共交通検討事業	H24～H28	本市への観光客の誘客を図るため、平成２５年度に策定した那覇空港直行バス実証実験運行計画に基づく実証実験を、平成２７年度に行うための準備を進めつつ、地域観光交通運行計画（沖縄県道７７号糸満与那原線以南の地域を対象）策定・実証実験に向けた準備を行う。	・観光プログラム５件作成 ・ポスター１，０００部配布、リーフレット３０，０００部配布 ・那覇空港直行バスの運行許認可を受ける。 ・那覇空港直行バス実証実験及び地域観光交通運行計画に関する中間報告 ・車両整備４台	－	繰
1	⑤	サンゴ移植造成事業	H26～H28	天然のサンゴを西崎地先に移植する。その後の経過観察にてサンゴの定着・増殖、それに伴う魚種・魚数の変化、水質の変化等を調査する。また、児童、高校生、市民ボランティアを活用して移植・学習会等を行うことで、サンゴ礁保全の普及啓発活動を行う。以上の事業を行うことにより、市民の環境保全に対する意識の向上及び資源の増大による水産業・観光業の振興を目的とする。	魚種類数・・・１割増 魚の数・・・１割増 サンゴの面積・・・１割増 サンゴ生存率・・・９５％	魚種類数・・・１０割増 魚の数・・・２６．７割増 サンゴの面積・・・８．６割増 サンゴ生存率・・・９７．５％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑥	伝統民俗文化継承発展事業	H26	伝統文化の継承と文化の創造発展を目的に、国指定無形文化財である「組踊」を本市に伝わる「白銀岩の由来」を題材に実演させることや糸満海人に歌い継がれてきた「ハーレー歌」、わらべ歌などの市の伝統文化を小中学生に実演体験させる舞台発表を行い、市の伝統民俗文化の啓蒙普及をはかる。	・児童生徒参加者数２６人 ・公演会来場者５００人 ・アンケート有効回答のうち興味や関心が増加した人の割合７割	・児童生徒参加者数２５人 ・公演会来場者４０１人 ・アンケート有効回答のうち興味や関心が増加した人の割合８．８割	○
2	①	省エネ設備化推進事業	H24～H29	本市の環境にやさしい（CO2削減）取り組みを進めるため、学校を含む公共施設の照明にLED対応器具を導入する。	自治会防犯灯を１００％LED設備化し、約６７０kgのCO2を削減する 市管理道路照明２１１基をLED設備化し、約１４０tのCO2を削減をする。	―	繰
2	②	燃料ごみ処理モデル事業	H24～H29	最終処分場を保有していない本市では、自区内処理ができず、廃棄物の減量化及び資源化を推進する必要があるため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治会への説明会等を行うなど同事業の拡大に取り組む。	・H２６年度再資源化（RPF）量１２１トン	・H２６年度再資源化（RPF）量１１７トン	○
3	①	スポーツ観光分野開拓事業	H24～H26	生涯スポーツを推進するスポーツ都市宣言のまちとして、さらに他自治体と異なるアマチュアスポーツのメッカの地としてPRし市外からの誘客をもたらすため、海洋スポーツフェスティバルやウォーキング大会を開催する。	スポーツイベント参加者数２，５００人／年	スポーツイベント参加者数１，８９５人／年	○
3	②	西崎運動公園有効活用調査	H26	冬季シーズンに温暖な気候の沖縄県の優位性を生かし、冬季を中心としたスポーツ団体や各種大会の誘致等により、西崎運動公園の有効な活用方法の調査を実施する。	有効活用計画の策定	有効活用計画未策定	未
3	③	運動公園・体育施設機能強化事業	H24～H27	本市は、アマチュアスポーツのメッカのまちとしてPRし、合宿や大会参加など県外から多くの選手を受け入れており、スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化に取り組む。	音響設備整備の完了	音響設備整備の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	観光地危険生物駆除事業	H25～H30	本市に多くある慰霊碑や塔は、山間部や岩場等ハブなどの危険生物が生息する箇所に多く建立されており、そこを訪れる観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除及び注意喚起看板を設置する。	ハブ捕獲頭数1，000匹／年	ハブ捕獲頭数120匹／年	未
4	②	防災行政無線増設事業	H26	本市は、観光客が多く訪れる地域であり、訪問先は海岸沿いやビーチが多い。海岸区域に防災無線が未整備な地域があり、防災行政無線を6基増設し、災害時に観光客や住民を防災行政無線により迅速に避難誘導を行う。	主要観光地カバー率100％	主要観光地カバー率100％	◎
5	①	多言語観光案内マップ作成事業	H24～H26	大型ホテルの営業に伴い増加傾向にある外国人観光客のさらなる誘客に向けて、外国人観光客の市内散策ができるよう、多言語マップ（ブック）を作成する。	多言語観光ガイドマップ（ブック）配布数2，000部	多言語観光ガイドマップ（ブック）配布数2，000部	◎
5	②	糸満ふるさと祭推進事業	H24～H29	ふるさと祭りを夏場の観光資源化と誘客力を高めるため、実行委員会へ補助金を交付する。	糸満ふるさと祭り来場者35，000人	糸満ふるさと祭り来場者55，853人	◎
5	③	平和の光イベント推進事業	H24～H29	冬場は本県並びに本市の観光客が閑散とするため、市内外の誘客を図るため、本県冬場の一大イベントである平和の光（イルミネーション）を実施する。	平和の光イベント来場者数80，000人	平和の光イベント来場者数90，637人	◎
5	④	体験交流促進事業	H24～H29	一次産業が盛んで体験型観光の最適地である本市の利点を生かし、観光客のさらなる誘客を図るため、体験型観光メニューの開発及び実施に取り組む。	体験観光メニュー開発5個 体験交流指導員等の育成5人 体験交流事業参加者数200人	体験観光メニュー開発5個 未達成 体験交流事業参加者数7，500人	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	⑤	接客スキルアップ事業	H24～H26	商業及び商店街の活性化に向けて、糸満市を訪れる中国及び東南アジア観光客が商店街へ回遊した際の接客技術等の向上を図るため、販売促進講座等を開催する。	講習会実施回数8回１６０人	講習会実施回数9回１６３人	◎
5	⑥	伝統行事観光化事業	H24～H29	市内の伝統行事を市内外からの観光客の誘客に活用するため、誘客マネジメント、観光客用観覧席の設置を行う。	誘客マネジメント（糸満ハーレー、糸満大綱引行事観覧席設置観覧席数１８０席） 観光動向調査2回	誘客マネジメント（糸満ハーレー、糸満大綱引行事観覧席設置観覧席数３９０席） 観光動向調査0回	△
5	⑦	民泊受入体制強化事業	H24～H29	市を訪れる観光客のさらなる増加を目指し、民泊事業の市民への周知と受け入れ世帯の開拓による教育旅行の拡充を図るため、安心･安全な受け入れに向けた研修や知識向上などの民泊受入体制の整備に取り組む。	民泊受入民家向け講習会受講者数１５０人 民泊受入世帯数６５世帯	民泊受入民家向け講習会受講者数１４１人 民泊受入世帯数７０世帯	○
5	⑧	道の駅いとまんアーケード上屋建築事業	H25～H26	観光客のさらなる誘客を目指し、市内で最も多くの観光客が来場する「道の駅いとまん」と周辺施設との連携強化を図り、雨天時や強い直射日光を避けて周辺施設の移動が可能となるよう、アーケード上屋の設置のため同施設管理組合を支援する。	アーケード上屋建築工事事業の完了	アーケード上屋建築工事事業の完了	◎
5	⑨	文化交流･情報発信拠点施設整備事業	H25～H29	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流･情報発信拠点施設を設置する。	○管理運営基本計画のとりまとめ ○展示基本計画のとりまとめ	○管理運営基本計画のとりまとめ ○展示基本計画のとりまとめ	◎
5	⑩	糸満漁港整備事業	H25～H28	海水交流の促進による水質の改善及び施設の利便性向上のため、糸満漁港ふれあい地区内ビーチを浚渫するとともに、養浜･通路･波除堤を整備する。また、観光漁業の推進を図るための調査及び施設整備を行う。	糸満漁港ふれあい地区内のビーチ浚渫に伴う工事の完了	糸満漁港ふれあい地区内のビーチ浚渫に伴う工事の完了	◎
6	①	糸満市水産振興センター設置事業	H24～H32	「漁業のまち」、「海人のまち」として市内外に知られ、市の発展に大きく貢献してきた水産業の振興に向けて、新たな水産技術の習得と応用による養殖･水産加工業等の新たな水産業の確立のための施設を整備する。	･敷地造成工事の完了 ･外構工事の完了	･敷地造成工事の完了 ･外構工事の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	②	糸満和牛群改良整備事業	H24～H29	農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入率：４１％→５５％ （導入予定数２６９頭Ｈ２４～Ｈ２５：１０９頭導入）	優良母牛導入率：５５％	◎
6	③	小規模農家支援事業	H24～H29	小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化に向けて、減農薬、減肥料及び鳥獣対策を推進するため、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。	防風ネット設置数３２箇所整備率：１００％（設置予定数９７箇所Ｈ２４～Ｈ２５：６５箇所） 簡易パイプハウス設置数４６基整備率：１００％（設置予定数１１０箇所Ｈ２４～Ｈ２５：６４箇所）	防風ネット設置数４７箇所整備率：１４６．８％ 簡易パイプハウス設置数４５基整備率：９７．８％	○
6	④	島ヤサイ生産拡大及び消費拡大事業	H26～H27	沖縄の観光資源にもなっている独特の食文化を継承し、流通及び消費拡大に繋げるとともに農家所得の向上を図るため、島ヤサイ栽培の実証用の防虫対策ハウスの設置と消費拡大に取り組む。	防虫ハウスの設置：２０基０．７ｈａ 料理教室の開催：５回→参加人数述べ１００人 学校給食への食材提供：２回 レシピ開発：５品目 アンケート調査：５回	防虫ハウスの設置：８基０．２３ｈａ 料理教室の開催：２回→参加人数述べ２０人 学校給食への食材提供：４０回 レシピ開発：１３品目 アンケート調査：９回	△
6	⑤	地場産品販路拡大事業	H24～H29	地場産品の販路が脆弱なため、姉妹都市・友好都市及び県内外において販路拡大を目的とした物産展を開催する。	物産交流会参加事業者数（延）６０事業者 物産交流展来場者数（延）３０，０００人 商談会実施回数６件 商談成立３件	物産交流会参加事業者数（延）６６事業者 物産交流展来場者数（延）３３８，６７３人 商談会実施回数８件 商談成立４件	◎
6	⑥	糸満フェア開催事業	H25～H29	本市の商工業の振興に向けて、多くの市民並びに県民へ地場産品をアピールし販路拡大を図るため、糸満フェアを開催する。	参加事業者数２０事業者 糸満フェア来場者数２６，０００人 Ｈ２６年売上高１，６５０，０００円	参加事業者数２５事業者 糸満フェア来場者数２２，０００人 Ｈ２６年売上高１１，５３６，０００円	○
6	⑦	衛星船舶電話購入設置補助事業	H26	漁業者の遠方操業における安全を確保し、緊急時の通報体制を強化するため、広域通信が可能な衛星船舶電話機の設置補助を行う。	対象漁船に対する整備率１００％	対象漁船に対する整備率７６．３％	○
7	①	平和の語り部育成事業	H24～H29	戦争を身をもって体験した語り部が減少する中、苛烈を極めた地上戦が行われた沖縄県糸満市として、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に継承するために、新たな「平和の語り部」を育成する。併せて、広く市民等に平和の啓発・発信するため、平和講演会並びにイベントを実施する。	語り部育成人数 第１課程：１８名 第２課程：１５名 第３課程：１３名計４６名 講演会観客数：約４００名	語り部育成人数 第１課程：１８名 第２課程：１５名 第３課程：１３名計４６名 講演会観客数：約４００名	◎
7	②	糸満市戦争遺構保全・活用整備事業	H26～H29	現在、市内に点在する避難壕や戦争で被害を受けた構築物は、かつての戦争の時代を物語る遺跡であり、後世に伝えることで歴史の生きた教材になりうる。調査、保全・整備と段階を経て作業を行い、本市の平和教育・観光に役立つ資源として活用する。	戦争遺構保全・活用基礎調査報告書	戦争遺構保全・活用基礎調査報告書	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	①	確かな学力を育むサポート事業	H24～H29	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不適応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・学習指導支援児童数小学校：１７５人 生徒数中学校：１０７人	・学習指導支援児童数小学校：１６５人 生徒数中学校：１２４人	○
8	②	英語指導事業	H24～H29	英語指導を通したコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・英語指導助手配置クラス数小学校：４５クラス、中学校：６１クラス	・英語指導助手配置クラス数小学校：４２クラス、中学校：６１クラス	○
8	③	障害児支援ヘルパー派遣事業	H24～H29	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともに、ヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。	支援園児・児童・生徒数 幼稚園：１１人、小学校：６１人、中学校：２人	支援園児・児童・生徒数 幼稚園：２４人、小学校：６７人、中学校：２人	◎
8	④	学びの体験事業	H24～H26	学力調査で全国一低い沖縄県の状況を改善するため、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における"学び"を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、学力向上を図るため、学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣する。	・報告会の開催（実践発表・報告書作成により派遣生徒等の意識向上。） ・報告書の配布（１，０００部学力向上における先進地の取り組みを周知する。）	・報告会の開催（実践発表・報告書作成により派遣生徒等の意識向上。） ・報告書の配布（２００部学力向上における先進地の取り組みを周知する。）	△
8	⑤	特別支援教育指導コーディーター配置事業	H25～H29	障がいのある児童生徒に関し、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面から支援する特別支援教育を行うため、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談年１２０回	市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談年１３８回	◎
8	⑥	教育用コンピュータ整備事業	H25～H29	学校のICT環境整備を行うことでパソコン・校内LANを通じたインターネットの活用等により、分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、コンピュータを導入する。	市内小中学校における教育用コンピュータの整備率：４３％	市内小中学校における教育用コンピュータの整備率：４５％	◎
8	⑦	適応指導教室設置事業	H25～H29	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	サポート児童生徒の平均登校日数：８０日	サポート児童生徒の平均登校日数：８０日	◎
8	⑧	情報教育支援員配置事業	H25～H29	児童生徒のコンピュータ授業支援及び教諭に対するコンピュータ教育の指導及び支援を行い、情報化時代に対応しうる人材を育成する情報教育を推進するため、市内小・中学校に情報教育支援員を派遣する。	市内小中学校１６校へ派遣	市内小中学校１６校へ派遣	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	⑨	教育環境整備事業	H25～H29	児童･生徒の教育環境改善を目的に、小学校校舎屋根断熱防水工事、空調設備設置工事、ハブ侵入防止対策工事、中学校の校舎屋根断熱防水工事及び空調設備設置工事を行う。	小学校屋根断熱防水施工：1校 小学校空調機設置：4校 ハブ侵入防止柵設置：1校 中学校屋根断熱防水施工：1校 中学校空調機設置：4校	小学校屋根断熱防水施工：1校 小学校空調機設置：4校 ハブ侵入防止柵設置：1校 中学校屋根断熱防水施工：1校 中学校空調機設置：3校	○
9	①	子育て応援ＮＰＯ活動支援事業	H24～H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、ＮＰＯを活用して相談や学習会などを開催する。	･相談活動８０件 ･訪問活動７０件 ･親対象の学習会１０回 ･支援者対象研修１２回	･相談活動８０件 ･訪問活動７０件 ･親対象の学習会７回 ･支援者対象研修９回	○
9	②	障がい者就労支援事業	H24～H28	障がいのある方の雇用は極めて厳しい状況にあり、住み慣れた地域での雇用の確保に向けて、障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、市内数ヶ所に販売所を設置するとともに、商品開発、商品ＰＲ等物販に係るノウハウを習得のための支援を行う。	新商品開発件数：１０件	新商品開発件数：１０件	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光基盤整備事業	H24～H26	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、Wi-FiスポットやAR基盤アプリケーションの整備、利用者等の意見を踏まえた機能の追加･改善をおこなう。	主要イベント来場者数　686．8千人 主要施設来場者数　2，324．5千人 観光ポータルサイト閲覧数　270千回	主要イベント来場者数　593．5千人 主要施設来場者数　2，457千人 観光ポータルサイト閲覧数　548千回	○
1	②	kozaﾌｨﾙﾑｵﾌｨｽ事業	H24～H33	映画･ドラマ等の撮影誘致を行うことで、伝統文化や景観など本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信し、誘客の拡大による地域経済の活性化を図る。	市内撮影誘致数　20件	市内撮影誘致数　21件	◎
1	③	音楽資源収集事業	H24～H28	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽･芸能資源の収集･整理、関係者への聞き取り調査、収集した資料を用いた企画展の開催、展示室の運営など音楽資料の常設展示（音楽ミュージアム）に向け取り組む。	企画展集客数　2，800人 展示室入場者数　8，000人	企画展集客数　3，912人 展示室入場者数　5，646人	○
1	④	音楽観光誘客事業	H24～H28	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光資源であるライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。 また、誘客を図るため、観光産業や音楽産業との連携によるプロモーションなどを実施する。	ライブハウス入場者数　12，400人 ライブハウス集客率　75％ 野外イベント及び沖縄芸能企画展集客数　3，630人 ワークショップ参加者数　130人	ライブハウス入場者数　3，630人 ライブハウス集客率　89％ 野外イベント及び沖縄芸能企画展集客数　3，400人 ワークショップ参加者数　348人	○
1	⑤	文化活動拠点施設改修事業	H24～H30	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設である沖縄市民会館の舞台機構や舞台照明、沖縄市民小劇場あしびなーの空調など設備の機能充実を図る。	沖縄市民会館　稼働率　70％以上 市民小劇場あしびなー稼働率　70％以上 利用者満足度　70％以上	沖縄市民会館　稼働率　57．89％ 市民小劇場あしびなー稼働率　72．54％ 利用者満足度　ー	△
1	⑥	国際交流事業	H24～H28	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。	語学講座（英･中･スペイン）　4，500名（延べ） 多言語相談窓口（生活･法律）（上記言語）　120名 日本語交流会　1，100名（延べ） 異文化理解講座　500名（延べ） 情報発信　5，000件（fﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ閲覧件数） 母語講座　60名（延べ）	語学講座（英･中･スペイン）　3，217名（延べ） 多言語相談窓口（生活･法律）（上記言語）　152名 日本語交流会　471名（延べ） 異文化理解講座　1．272名（延べ） 情報発信　21，370件（フェイスブック閲覧件数） 母語講座　未実施	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	エイサーのまち推進事業	H24～H33	エイサーを活用した観光振興および地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる（仮称）青年エイサー会館の整備に向け取り組むとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実、バナー掲揚やエイサーモニュメント設置によりエイサーのまち沖縄市をPRする。 また、エイサー体験等による観光誘客を促進するとともに、エイサー関連資源のブランド化およびエイサーによる文化交流活動等を支援する。	沖縄全島エイサーまつり来場者数　３３０千人 エイサーナイト来場者数　１２千人 主要イベント来場者数　６８４．８千人 主要施設来場者数　２，３２４．５千人 エイサー検定受験者数　６千人	沖縄全島エイサーまつり来場者数　３１０千人 エイサーナイト来場者数　１０．５千人 主要イベント来場者数　５９３．６千人 主要施設来場者数　２，４５７．４千人 エイサー検定受験者数　１０，２００人	○
1	⑨	伝統文化観光推進事業	H24～H33	本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ンマハラシー（美ら競馬）」の復活への支援を行うとともに、より効果的な馬の飼育・調教等の技術習得や各種団体と連携した誘客活動を実施する。	ンマハラシー観覧者　　2,000人×3回	ンマハラシー観覧者 ４，４２５人 （3回開催）	○
1	⑩	地域自然環境調査事業	H24～H28	沖縄市全域の生物の生息状況確認を目指し、嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境資源が現存する「嶽山原」地域をはじめ、市内に点在する緑地の調査を実施する。	市内陸域の動植物調査実施率　８０％ （市内緑地に占める割合」） 採集した標本を活用した展示会入館者 １，０００人 （沖縄市立郷土博物館の来館者目標） １５，５００人	市内陸域の動植物調査実施率　８０％ （市内緑地に占める割合」） 採集した標本を活用した展示会入館者 １，４０４人 （沖縄市立郷土博物館の来館者目標） ９，０３３人	○
1	⑪	文化財等整備事業	H24～H31	貴重な文化資源の保存・活用による観光を創出するため、経年劣化による破損が著しい「奉安殿」と「忠魂碑」の修復等をおこなうとともに、見学通路など周辺環境整備を実施する。 また、各地域における文化財の周知等を図るため説明板等を設置する。	「奉安殿」「忠魂碑」保存修理工事実施率 １００％ 周辺環境整備の実施設計実施率　１００％ 文化財説明板等の整備数　４地域	「奉安殿」「忠魂碑」保存修理工事実施率 １００％ 周辺環境整備の実施設計実施率　１００％ 文化財説明板等の整備数　０地域	△
1	⑫	文化財等公開デジタル化事業	H24～H27	本市の歴史、民俗、自然を広く紹介するためサーバシステムを整備し、沖縄市立郷土博物館が保有する写真資料や収蔵品等台帳の情報をシステムへ掲載・公開し、借用手続きの簡素化等により来館者が利用しやすい環境整備を図る。	公開システムを確認しての資料貸し出し １００件	公開システムを確認しての資料貸し出し ８５件	○
1	⑬	戦後文化資料等展示事業（デジタル化）	H24～H29	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である映像資料の収集等及び新聞記事資料のデジタル化を実施する。	新聞記事デジタル化作業進捗状況　１００％ 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」 来場者数　１３，００名	新聞記事デジタル化作業進捗状況　１００％ 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」 来場者数　１５，６４５名	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑭	観光宣伝事業	H25～H33	観光誘客の拡大を図るため、観光プロモーション活動や観光情報誌の製作等による情報を発信する。 また、更なる誘客効果の拡大を目指すため、観光戦略プランにおいて基本戦略として位置づけられている「魅力ある観光メニューの展開」として、新たに音楽を活用した観光メニューを展開する。	主要イベント来場者数　684．8千人 主要施設来場者数　2，324．5千人 観光ガイド養成数　20名 モニターツアー参加者数　60名	主要イベント来場者数　592．5千人 主要施設来場者数　2，467千人 観光ガイド養成数　22名 モニターツアー参加者数　149名	○
1	⑮	自主文化事業	H25～H27	本市独自の魅力ある文化芸術作品と観光を連携させ、沖縄市をＰＲしさらなる誘客を図るため、沖縄市発の市民ミュージカル「コザ物語」を市内外で公演する。	入場者数　1，500人	入場者数　1，448人	○
2	①	スポーツコンベンション推進事業	H25～H33	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ等団体のＰＲをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験およびイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。	スポーツ合宿述べ宿泊者数　12，000人 スポーツ合宿団体数　50団体	スポーツ合宿述べ宿泊者数　14，688人 スポーツ合宿団体数　118団体	◎
2	②	商店街スポーツイベント等連携促進事業	H25～H33	商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。	シャトルバスの利用者数　10％ （来場手段分担率10％以上） グッズ開発　3種類 まち歩きツアー参加者数　50人 パンフレット配布　10，000枚 ポイント発行数　5，000ポイント	シャトルバスの利用者数　5．9％ グッズ開発　4種類 まち歩きツアー参加者数　71人 パンフレット配布　10，000枚 ポイント発行数　3，012ポイント	○
3	①	道路景観形成推進事業	H24～H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽の整備計画をはじめ、沿道美化業務や道路植栽等整備工事、道路照明器具の整備等を行う。	沿道美化業務　6路線の完了 実施設計（道路植栽等）　1路線の完了 道路植栽等整備　1路線の完了 照明灯LED化スペース　16基の完了	沿道美化業務　2路線の完了 実施設計（道路植栽等）　1路線の完了 道路植栽等整備　1路線の完了 照明灯LED化取替　16基の完了	○
3	②	観光地周辺道路整備事業	H24～H27	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間における小広場（ポケットパーク）の整備を行う。	小広場（ポケットパーク）の整備　1箇所の完了	－	繰
4	①	こども科学力育成事業	H24～H33	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベント、出前科学教室を開催する。	科学関連イベント参加者数 63,800人	科学関連イベント参加者数 15,388人	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24～H33	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者等の配置によるきめ細やかな学習支援、キャリア教育コーディネーターによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネーターによる授業改善の指導・支援、児童生徒への外国語指導、外国人児童生徒への日本語指導等を行う。	キャリア教育コーディネーターの配置　2名 対応可能児童生徒数　1，270名 研修会・講演会等　5回 教科コーディネーターの配置　3名 対応可能児童生徒数　1，280名 授業日数　202日 日本語指導員の配置　4名 対応可能児童生徒数　26名 授業回数　1，630回 外国語指導助手の配置　25名 対応可能児童生徒数　14，814名 授業日数　202日 学習支援員の配置　25名 対応可能児童生徒数14,814名 授業日数202日 沖縄県学力到達度調査の対象学校における平均正答率30%（未満児童の割合をH25年度比較で20%削減）	キャリア教育コーディネーターの配置　2名 対応可能児童生徒数　3，431名 研修会・講演会等　26回 教科コーディネーターの配置　3名 対応可能児童生徒数　635名 授業日数　202日 日本語指導員の配置　4名 対応可能児童生徒数　41名 授業回数　1，4910回 外国語指導助手の配置　25名 対応可能児童生徒数　14，972名 授業日数　199日 学習支援員の配置　16名 対応可能児童生徒数　1，658名 授業日数　55日 沖縄県学力到達度調査の対象学校における平均正答率30%未満児童の割合（6.2%）がH25年度比較（5.5%）で0.7ポイント増	○
4	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24～H33	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	①臨床心理士1人　園児220名対応 ②介護福祉士2人　園児1名対応 ③幼稚園特別支援担当40人　園児78名対応 ④幼稚園特別支援教育支援員6人　園児142名対応 ⑤預かり保育特別支援教育支援員8人　園児33名対応 ⑥心理士2人　目標：検査件数160件 ⑦保健師1人　目標：相談及び指導助言件数60回、健診業務16回 ⑧看護師1人　目標：児童対応数1名 ⑨市スクールカウンセラー10人　目標：カウンセリング実施件数650件 ⑩心の教室相談員8人　目標：相談件数650件 ⑪市スクールソーシャルワーカー2人　目標：対応件数150件 ⑫学校支援教育補助者15人　目標：不登校児童生徒数　H23年度215件を基準として毎年20%減（H26：138件） ⑬特別支援教育補助者39人　目標：支援生徒数110名 ⑭教育相談員2人　目標：相談活動等300件 ⑮適応指導教室指導員2人　目標：適応指導教室正式入級数10名のうち70%を普通教室に通えるよう指導 ⑯巡回支援指導員4人　目標：巡回支援回数500回以上	①臨床心理士　園児218名対応 ②介護福祉士　園児1名対応 ③幼稚園特別支援担当　園児77名対応 ④幼稚園特別支援教育支援員　園児142名対応 ⑤預かり保育特別支援教育支援員　園児43名対応 ⑥心理士　検査件数176件 ⑦保健師相談及び指導助言件数80回、健診業務16回 ⑧看護師　児童対応数1名 ⑨市スクールカウンセラー1　カウンセリング実施件数2，735件 ⑩心の教室相談員　相談件数1，094件 ⑪市スクールソーシャルワーカー　応件数112件 ⑫学校支援教育補助者　不登校児童生徒数　292人 ⑬特別支援教育補助者　支援生徒数183名 ⑭教育相談員　相談活動等532件 ⑮適応指導教室指導員　適応指導教室正式入級数のうち42．8%を普通教室に通えるよう指導 ⑯巡回支援指導員　巡回支援回数757回	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	④	青少年指導育成事業	H25～H28	青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年指導員を配置し、電話･来所･訪問相談、登下校の巡回指導、夜間の街頭指導等を行う。	青少年教育相談指導員配置　8名 青少年指導員配置　126名 登下校の巡回指導　200回 夜間の街頭指導　250回	青少年教育相談指導員配置　8名 青少年指導員配置　129名 登下校の巡回指導　259回 夜間の街頭指導　256回	◎
4	⑤	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25～H29	国際社会で活躍できる人材育成のため、海外での短期ホームステイ活動を支援する。	派遣人数　生徒１４名 派遣後、アンケートによる意識調査を実施 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する	派遣人数　生徒１２名 派遣後、アンケートによる意識調査を実施 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用	○
5	①	こどもいきいき安心事業	H24～H28	こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保･充実のため、放課後児童支援センターによる放課後児童クラブの巡回指導等を実施するとともに、これまで行ってきた調査等を踏まえ、地域の公共施設等を活用したこどもの居場所づくりをすすめる。	放課後児童クラブへの訪問回数　３００回 放課後児童クラブ研修会参加者数　１００人	放課後児童クラブへの訪問回数　２０６回 放課後児童クラブ研修会参加者数　３３７人	○
5	②	園児の健やかな成長を支える保育事業	H24～H33	子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる「預かり保育」を実施する。	預かり保育学級数　24学級	預かり保育学級数　24学級	◎
6	①	若年者就労等支援事業	H24～H28	若年者の雇用創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者、企業等を対象に、専門の支援員等による地域巡回型の就労支援や人材育成に繋がる資格取得講座等の定期開催等を実施する。	①巡回就労相談人数　100人 ②アウトリーチ人数　480人（述べ） ③カウンセリング受診者数：270人 ④農業実習受講者数　240人 ⑤自立訓練受講者数　48人 ⑥学習支援人数　300人	①巡回就労相談人数　３３２人 ②アウトリーチ人数　４４５人（述べ） ③カウンセリング受診者数：１８４人 ④農業実習受講者数　２２９人 ⑤自立訓練受講者数　５０人 ⑥学習支援人数　５７６人	○
6	②	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H26	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区において運送費等にかかる物流促進支援を行う。	中城湾港における実証実験船貨物量　７５０t	中城湾港における実証実験船貨物量　５２３t	未
6	③	就労支援センター運営事業	H25～H28	雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。	就職決定者数　７００人	就職決定者数　６７１人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	④	中小企業人材育成支援事業	H25～H27	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳･翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座受講者数　１６２人 入札参加件数　１０件	人材育成講座受講者数　１７８人 入札参加件数　１１件	◎
6	⑤	雇用環境基盤検討調査事業	H24～H33	本市の雇用対策を図るため、企業誘致や雇用創出の受け皿となる基盤整備の調査検討を行う。	雇用基盤整備候補地区の交通量調査実施	雇用基盤整備候補地区の交通量調査実施	◎
6	⑥	（仮称）雇用促進施設整備事業	H26～H27	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	建物取得の完了：24,926.96㎡ （達成率100%） 用地取得の完了：7,449.75㎡ （達成率100%）	建物取得の完了：24,926.9556㎡ （達成率100%） 用地取得の完了：7,445.47㎡ （達成率99.9%）	○
7	①	伝統工芸産業支援事業	H24～H29	工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花花織事業協同組合の生産体制の強化や担い手の育成および販路拡大等に対し支援を行う。	知花花織生産後継者育成数　10名 スキルアップ研修参加者数　20名 新製品の開発　1件（累計3件） 展示会来場者数　400名	知花花織生産後継者育成数　10名 スキルアップ研修参加者数　38名 新製品の開発　3件 展示会来場者数　2,900名	◎
7	②	工芸による街づくり事業	H24～H29	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、（仮称）沖縄市工芸の郷の整備に向けた取り組みを実施する。	沖縄市工芸フェア来場者　20,000人 県内外出展業者数延べ　74店	沖縄市工芸フェア来場者　21,320人 県内外出展業者数延べ　73店	○
7	③	地域ブランド推進事業	H24～H29	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源（二次加工品等）を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。	コザスター商品認定数延べ　11商品 コザチョイス商品選定数延べ　83商品 新商品開発　3件	コザスター商品認定数延べ　8商品 コザチョイス商品選定数延べ61商品 新商品開発　3件	○
8	①	アグリビジネス推進事業	H24～H26	農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響を受けにくい栽培施設の整備に対し支援を行う。	栽培施設面積　5,000平米 支援農家　7戸	栽培施設面積　1,566平米 支援農家　2戸	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	①	地域防災対策事業	H24～H33	災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線子局のデジタル整備（H26～H27年度）や避難場所標識の設置等に取り組む。 また、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を実施する。	・災害用備蓄品の整備率　68.85% （備蓄目標　61,000食） H24～H26　42,000食 ・防災行政無線子局のデジタルカバー率 （市面積　49.00km²） 【市街地32.1km²　・　基地面積　16.9Km²】 H25～H26　カバー率（市街地32.1Km²） 56.63%　94/166 ・津波避難ビル・タワー（基本計画） ・自主防災組織の結成率　34.15% 自主防災組織結成目標数　41組織 H17～H25結成数　14組織 ・自主防災組織資機材整備率　24.39% 資機材整備予定組織数　41組織 H17～H25設置数　10組織 ・防災倉庫整備率　24.36%　19/78 （防災倉庫整備予定数　78箇所 H24～H26　19箇所）	―	繰
9	②	災害時緊急避難通路整備事業	H24～H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。	緊急避難通路　実施設計3ヶ所の完了 緊急避難通路　用地測量3ヶ所（H25年度実施設計カ所）の完了 緊急避難通路　用地購入3ヶ所（H25年度実施設計カ所）の完了	―	繰
9	③	救命処置普及強化事業	H25～H29	災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニにAEDを設置し、市民等の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	コンビニへのAED設置率　100% 応急講習会開催　受講者3,800人	コンビニへのAED設置率　98% 応急講習会開催　受講者4,170人	○
9	④	学校安全対策強化事業	H24～H33	安全教育（防災・交通・防犯）で、こどもたちの安全への意識を高めるために、土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップを、こどもたちが普段から活用する学習用具である下敷き(小学校区ごとに作成)にして幼稚園・小中学校に配布する。	小学校区ごとの安全下敷き作成・配布 約１７，０００枚	小学校区ごとの安全下敷き作成・配布 １２，４２９枚	○
10	①	里道および水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	里道6,300mの境界確定測量完了 水路4,375mの境界確定測量完了	里道6,395mの境界確定測量完了 水路2,501mの境界確定測量完了	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
10	②	沖縄市特定駐留軍用地内土地取得事業基金	H25～H33	特定駐留軍用地の指定を受けたキャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、基金を創設し公用地の先行取得をおこなう。	用地取得約　2,700㎡ 達成率:12.4%	用地取得約　0㎡ 達成率0%	未
11	①	東部海浜地区開発事業	H25～H28	スポーツコンベンション拠点を目指す東部海浜開発地区の公共施設基本計画策定等（多目的広場）に取り組むとともに、イベント等を活用したＰＲ業務を行う。	公共施設（多目的広場）に関する基本計画を策定 PRポスター100箇所の掲示、チラシ5,000部配布により、東部海浜開発事業の認知度向上を図る	公共施設（多目的広場）に関する基本計画案の作成 PRポスター200箇所の掲示、チラシ22,797部配布により、東部海浜開発事業の認知度向上を図る	△
12	①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24～H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。	動物舎施設　1棟の実施設計完了 動物舎施設　1棟の工事完了	－	繰
13	①	コミュニティーパーク整備事業	H24～H28	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計および造成工事等をおこなう。	（仮称）美東公園：施設整備工事及び修景施設調 査設計の完了 若夏公園：実施設計の完了	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	瀬長島観光拠点整備事業	H24～H28	H24年度策定の瀬長島観光拠点整備計画を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い島全体の利便性の向上を図る。	瀬長島内の施設及び設備等の整備を実施	ー	繰
1	②	観光振興地域環境美化強化事業	H25～H29	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹桝の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、ホテルへ繋がる市道沿いに、平成25年度に植栽した花木の管理を引続き行い、美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植樹桝の除草清掃（1390桝、3回除草清掃） ②プランターの植栽管理（464個）	①植樹桝の除草清掃（1390桝、3回除草清掃） ②プランターの植栽管理（464個）	◎
1	③	景観計画策定事業	H25～H27	豊かな自然や歴史文化等の地域独自の風土を感じさせる風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために景観計画を策定する。	景観計画素案の作成	景観計画素案の作成	◎
1	④	観光振興等支援事業	H25～H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業に対して補助することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討する。	主要観光施設における観光客数約271万人	主要観光施設における観光客数461万人	◎
1	⑤	観光ボランティアガイド養成事業	H26	豊見城市を訪れた観光客に対し、地域の魅力を詳しく紹介できるボランティアガイドを育成し、豊見城ファンを作れるよう取り組む。また、市内在住および在勤の外国人を活用し外国人観光客への対応も可能となるよう取り組む。	観光ボランティアガイドの養成 ボランティアガイド登録数6名	観光ボランティアガイドの養成 ボランティアガイド登録数12名	◎
1	⑥	とみぐすく祭り事業	H26～H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭りの来場者数：55，000人 基準年（24年）：50，000人	とみぐすく祭りの来場者数：90，765人	◎
1	⑧	文化観光創出事業	H24～H33	H25年度策定の土地利用基本計画を踏まえ、豊見城城址公園及びその周辺について、観光資源として活用するために園路等の整備に向けた調査・測量・設計等を実施し、用地の一部を取得する。	・園路等の基本設計等の完了 ・補償を含めた用地の一部取得の完了（取得予定面積の約37．2%）	ー	繰
2	①	防災情報通信設備整備事業	H24～H27	本庁舎と市内沿岸地域、集落地域、地域施設等を無線で結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する。25年度整備に加え、建替え等のあった、5箇所について本部機能施設等と連携した防災無線システムを構築する。	市内防災無線システム整備率98．5%	市内防災無線システム整備率97．8%	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	②	那覇空港周辺における航空機騒音測定業務	H24～H26	那覇空港周辺地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、地区内の騒音レベルを把握し、将来の快適な住民環境形成に資する。	航空機騒音の実態把握（3地点）	航空機騒音の実態把握（3地点）	◎
2	③	救助艇・水上バイク積載トレーラー牽引車両整備事業	H26	救助艇及び水上バイクを積載したトレーラーを牽引可能な車両を整備することにより、海、河川等における水難事故等への迅速な対応を可能にする。	水難事故現場へ救助艇及び水上バイクを同時に投入することができ迅速な救助活動が行える	水難事故現場へ救助艇及び水上バイクを同時に投入することができ迅速な救助活動が行える	◎
2	④	低炭素社会構築事業（省エネ設備導入促進事業）	H26～H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯（水銀灯、蛍光灯）等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス（CO2）の排出を抑制する。	・防犯灯等のCO2排出量を把握し、CO2排出量の削減目標を設定する。	・防犯灯等のCO2排出量を把握し、CO2排出量の削減目標を設定した。	◎
3	①	とみぐすく産業まつり事業	H25～H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村民、観光客に対し市内の各種産業のPRを行う事により、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。	とみぐす産業まつりの来場者数：32，500人 基準年：平成25年度30，190人	とみぐす産業まつりの来場者数：32，837人	◎
3	②	豊見城産マンゴー販売促進事業	H24～H27	豊見城産マンゴーは、県の拠点産地に認定されるなど、評価が高いことから産地ブランド化を目指して県内外での販売促進活動等を実施する。	豊見城産マンゴー販売促進活動6回 豊見城産マンゴー県外出荷量214t	豊見城産マンゴー販売促進活動6回 豊見城産マンゴー県外出荷量188t	○
3	③	産業立地可能性調査事業	H26	企業誘致による産業集積を積極・継続的に推進していくことが重要、かつ求められている。そのための企業誘致の受け皿となる産業用地の適地、および今後の企業誘致の方向性を定める。	・本土企業の立地意向調査2，500社 ・県内企業の移転、増設等の意向把握500社 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査20社 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	・本土企業の立地意向調査2，500社 ・県内企業の移転、増設等の意向把握500社 ・立地・移転・増設意向企業のヒヤリング調査20社 ・企業誘致の取組内容の基本方針策定	◎
3	④	西海岸地区活性化事業	H26	「西海岸地区整備基本構想」に位置づけされる与根地域（エアウェイゾーン、ヘルスケアゾーン等）を中心に空港近接性やIC周辺といった交通至便な特徴を最大限に活かした、物流機能をはじめとする企業立地を促進するため、関連法令等を遵守し実現可能な西海岸地区活性化基本計画書を策定する。	西海岸地区活性化基本計画の策定	西海岸地区活性化基本計画の策定	◎
3	⑤	県外販路拡大支援事業	H26	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図る目的のため県外において開催される展示会・見本市等への出展における経費の助成を行う。	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築する	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	とみぐすくPR動画制作事業	H26	豊見城市の特産品や観光資源をテーマにPR動画（多言語対応）を制作し、市外に発信することで経済交流・観光の振興を図る。	市、観光協会、商工会、姉妹都市、特産品販売店、市内観光地等20箇所以上のホームページへ掲載	市、観光協会、商工会、姉妹都市、特産品販売店、市内観光地等20箇所のホームページへ掲載	◎
4	①	預かり保育事業	H24～H28	市立幼稚園教育時間終了後、幼稚園施設内で預かり保育を実施し、園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	預かり保育をする園児：500名	預かり保育をする園児：499名	○
4	②	認可外保育園環境整備事業	H24～H26	市においては、子育て世代の人口増に伴い待機児童数が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させるとともに認可化を促す。	1施設（施設改修）	1施設（施設改修）	◎
4	③	気になる子巡回相談事業	H26～H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士を配置し、相談・支援を行う。	公立・法人・認可外保育施設に入園している児童で「気になる子」への対応や保護者への相談・支援件数50件	公立・法人・認可外保育施設に入園している児童で「気になる子」への対応や保護者への相談・支援件数113件	◎
4	④	幼稚園給食導入事業	H26～H27	市内幼稚園では、預かり保育の需要が高まっている状況を考慮し平成27年度より学校給食を導入するため、各幼稚園に給食配膳室を設置する。また、新たに発生する幼稚園への給食配送及び回収等業務に対応する給食センターのプラットホームを増設するため、実施設計等を行う。	・6幼稚園に給食配膳室を設置 ・給食センタープラットホーム拡張工事設計の実施	・6幼稚園に給食配膳室を設置 ・給食センタープラットホーム拡張工事設計の実施	◎
5	①	学力向上サポート事業	H24～H28	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力調査における県平均との差の改善：＋0．8	学力調査における県平均との差の改善：＋1．62	◎
5	②	情報教育補助員派遣事業	H24～H28	ICT教育補助員を派遣し、コンピュータを活用する授業で、教員をサポートしたり、児童生徒を指導を行うことにより、積極的にICTを活用した授業を実施する。	ICT機器等活用率：前年度比　+0.5ﾎﾟｲﾝﾄ （操作・理解、関心・意欲） 小学校＋0．5% 中学校＋0．5%	ICT機器等活用率：（操作・理解、関心・意欲） 小学校－12．8% 中学校－24．96%	未
5	③	適応指導教室学習支援員配置事業	H24～H28	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	学校復帰率：30%（学校復帰した児童生徒／教室に在籍した児童生徒）	学校復帰率：12．50%	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	④	自立支援教育指導員配置事業	H25～H28	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	市内中学校への自立支援教室指導員派遣率：100％	市内中学校への自立支援教室指導員派遣率：100％	◎
5	⑤	登校支援員配置事業	H25～H28	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等や適切な支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	市内小学校への登校支援員派遣率：100％	市内小学校への登校支援員派遣率：100％	◎
5	⑥	学習支援補助員配置事業	H26～H28	市内各中学校等の別室にてに不登校（心因性や遊び・非行型）や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。（主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。）	問題行動等改善率：30％ （補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数／補助員が関わった課題のある児童生徒数）	問題行動等改善率：78．8％	◎
5	⑦	パソコン教室整備事業	H25～H28	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上ため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品（パソコン）を整備する。	・2学校のパソコン教室のパソコン整備（サーバー機、先生機、生徒機42台） ICT機器等活用率：前年度比　+0.5ﾎﾟｲﾝﾄ （操作・理解、関心・意欲） 小学校＋0．5％ 中学校＋0．5％	・2学校のパソコン教室のパソコン整備（サーバー機、先生機、生徒機42台） ICT機器等活用率：（操作・理解、関心・意欲） 小学校－12．8％ 中学校－24．96％	△
5	⑧	電子黒板整備事業	H25～H26	平成25年度の普通教室への電子黒板設置に加え、理科等の特別教室で行う授業に対して、ICT活用で効果的に理解を深める授業展開を目標に、各小中学校の特別教室、普通教室（増加分）及び分離新設校へ電子黒板を整備する。	・電子黒板の整備：79台 今年度は、電子黒板の整備を行い、 ICT機器等活用率：前年度比　+0.5ﾎﾟｲﾝﾄ （操作・理解、関心・意欲） 小学校＋0．5％ 中学校＋0．5％	・電子黒板の整備：79台 今年度は、電子黒板の整備を行い、 ICT機器等活用率：（操作・理解、関心・意欲） 小学校－12．8％ 中学校－24．96％	△
5	⑨	外国人英語講師配置事業	H25～H28	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	市内小中学校への英語講師派遣率：100％ 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	市内小中学校への英語講師派遣率：100％ 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持を図った	◎
5	⑩	小学校英語活動講師派遣事業	H25～H28	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を配置する。	市内小学校への英語講師派遣率：100％ 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持	市内小学校への英語講師派遣率：100％ 児童生徒の英語学習や国際理解教育の関心度の向上・維持を図った	◎
5	⑪	児童生徒派遣費補助事業	H25～H28	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	H26年度：195名目標	H26年度：411名	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	⑫	青少年国際交流事業	H25～H28	市内在住の中高校生をハワイ州に派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供するため、派遣に係る旅費などの一部を補助し、次代を担う国際的な人材を育成する。	現地（ハワイ）研修終了後、自国文化と異国文化の違いによる体験談を交えながら、報告会を行う。 また、アンケート調査により団員の興味関心高まった生徒の割合を７０％にする。	現地（ハワイ）研修終了後、自国文化と異国文化の違いによる体験談を交えながら、報告会を行った。 また、アンケート調査により団員の興味関心高まった生徒の割合９３％。	◎
5	⑬	学校給食衛生管理機能拡充事業	H26	沖縄県の高温多湿な気候の中で、食中毒から安全性を確保し、安全安心な給食の提供を行うため真空冷却機を新機種にし、児童生徒の健全育成を図る。	真空冷却機１台設置	真空冷却機１台設置	◎
6	①	文化財説明板設置事業	H24～H27	本市に存する文化財の説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置件数：５基 ホームページへの紹介件数：計１９基平成２３年（基準年：０基）	市内文化財説明板設置件数：５基 ホームページへの紹介件数：計１９基	◎
6	②	組踊継承事業	H24～H26	組踊「雪払」は昭和４～５年頃までは隣接する旧小禄村宇栄原で上演されていた。内容的には、豊見城の地名などが登場するなど、本市にゆかりのある組踊である。その台本は一部欠落しているため、平成２４年度に沖縄振興特別推進交付金を用いて復元した。平成２６年度は復元した台本を用いて上演を行い、地域にゆかりのある組踊として鑑賞の機会を与える。あわせて沖縄の伝統芸能である組踊の継承を図るものとする。	組踊「雪払」出演者数２８名 組踊学校鑑賞会実施校：２校	組踊「雪払」出演者数２３名 組踊学校鑑賞会実施校：２校	○
7	①	すこやかスポーツ振興事業	H26	新設される市民体育館において、観光振興の観点から大会・スポーツイベント等の開催を推進するため、また、市民のスポーツへの参加意欲向上や健康増進と体力づくりを推進するため市民体育館の備品整備を行う。	・大会・イベント等実施数各種スポーツ大会：３回 プロバスケット公式戦：１回 ・トレーニングルーム利用者数：１，０００名（供用期間：Ｈ２７年１月～３月）	・大会・イベント等実施数各種スポーツ大会：２回プロバスケット公式戦：１回 ・トレーニングルーム利用者数：９３９名	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	企業誘致推進業務委託事業	H24～H33	当市への企業立地を効果的に促進するために、企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	目標企業誘致件数：2社程度	企業誘致件数：2社	◎
1	②	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～H27	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業（コンカレント人材養成事業など）を実施する。	金型技術者人材育成数：32名	金型技術者人材育成数：71名	◎
1	③	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H26	中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、新たな物流システムの構築及び貨物集積の仕組みづくりを実施する。	物流貨物集積アクションプランの策定	物流貨物集積アクションプランの策定	◎
1	④	商品開発プロモーション事業	H25～H27	市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、県内外をはじめ中国･台湾などにおける市産品の物産展やアンテナショップ事業を実施する。また、本市の豊かな農畜水産物を活かし、農商工連携による戦略的な商品開発と販路拡大に取り組む。さらに開発商品及び食のグルメなどのプロモーション活動を展開していく。	①出展者延べ数60社 ②物産展等売上額：1，500万円 ③特産品開発件数（2～3商品） ④商談成立件数2件	①出展者延べ数59社 ②物産展等売上額：1，566万円 ③特産品開発件数（7商品） ④商談成立件数26件	○
1	⑤	うるま市人材育成産業拠点整備調査事業	H25～H27	グローバルに活躍する高度な人材を育成することを目的とした人材育成拠点を整備するために、旧学校施設等の公共施設の利活用について、施設利用の可能性と運営方法、さらに、民間資金も活用した人材育成拠点整備にかかる基本計画を策定する。	･人材養成拠点整備に係る基本計画の策定	･人材養成拠点整備に係る基本計画の策定	◎
1	⑥	EV自動車コミュニティ構築事業	H25～H27	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンバートEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。「うるま市EV普及促進委員会」（仮称）を設立し、EV自動車を本地域で製造･普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	①EVをつくる（地域の産業振興）･つかう（普及による経済効果）に関するあり方を調査し、普及の方向性を見出す。 ②EV製造及び技術課題の抽出 ③EV社会実験により、一般普及車両との走行性能、車両機能の比較ができる。	①EVをつくる（地域の産業振興）･つかう（普及による経済効果）に関するあり方を調査し、普及の方向性を見出した。 ②EV製造及び技術課題の抽出 ③EV社会実験により、一般普及車両との走行性能、車両機能の比較ができる。（未達成）	△
2	①	うるま市地域雇用人材育成事業	H24～H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成（OJT等）を実施する。	H26年度当該事業における新規雇用者数：100人	H26年度当該事業における新規雇用者数：94人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	②	街角コンタクトセンター設置運営事業	H24～H33	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	①年間利用者数：4，365人 ②年間相談件数：1，440件	①年間利用者数：5，228人 ②年間相談件数：1，669件	◎
2	③	うるま市グッジョブ連携推進事業	H25～H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や商業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。	キャリア教育受講者数（生徒）：1，000人	キャリア教育受講者数（生徒）：3，442人	◎
3	①	観光商品開発流通促進事業	H24～H34	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営等を行うとともに、「世界遺産勝連城跡」や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。	満足度調査「非常に満足」＋「満足」の割合：60％（モニターツアー参加者へのアンケートにより把握）	満足度調査「非常に満足」＋「満足」の割合：92％	◎
3	②	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H28	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	情報接触者数：50万人	情報接触者数：234万人（推計）	◎
3	③	うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25～H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。	来場者総数：3，000人 うるま市外来場者：750人 市内団体出演数：3組	来場者総数：2，600人 うるま市外来場者：2，100人（推計） 市内団体出演数：7組	○
3	④	ゆいゆいウォーク事業（環金武湾ウォーキングフェスタ）	H25～H33	「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化の観点から、県内外のウォーカーが集い・交流する「環金武湾ウォーキングフェスタ」による西海岸リゾート地域との差別化を図ってきた。プロモーション等による新たな参加者を掘り起し、参加人数を増やすことにより、観光振興及び地域資源の知名度の向上を目指す。	①ゆいゆいウォーキング目標参加人数：2000人 ②講習会の参加者数：1200人（60回×20名）	①ゆいゆいウォーキング目標参加人数：1，441人 ②講習会の参加者数：100人	未
3	⑤	海中道路ライトアップ観光景観形成事業	H24～H26	知名度の高い海中道路の大橋をライトアップすることによって、当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図る。	①ライトアップの設備設置工事完了 ②自然エネルギー（風車）設置工事完了	－	繰
3	⑥	観光プロデューサー派遣事業	H26～H27	観光物産振興に関する専門的な知識、企画力及び実行力を有するとともにうるま市の観光物産産業を総合的にプロデュースできる優れた人材を招聘し、観光物産振興事業の企画運営のあり方等について指導助言を実施することで、多分野にわたる観光産業の連携の強化、継続的な観光産業の拡大、地域の地域活性化を図る。	①観光事業者連絡会議（仮称）の開催：3回 ②観光事業者連絡会議参加事業所数：延べ15団体 ③セミナー参加者数：延べ100名	①観光事業者連絡会議（仮称）の開催：2回 ②観光事業者連絡会議参加事業所数：延べ20団体 ③セミナー参加者数：延べ253名	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑦	石川イベント公園機能強化事業	H24～H30	観光誘客を促進するため、石川イベント公園（通称「石川ドーム」）において、多彩な伝統芸能・文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベント等の多種多様なイベント開催ができる施設環境整備を実施する。	①観客席ベンチ設置業務設計・工事完了 ②券売所整備業務設計・工事完了 ③物産販売施設業務設計・工事完了 ④便所設置業務設計・工事完了	－	繰
3	⑧	勝連城跡城郭内周遊環境整備事業	H26	世界遺産群に登録されてる「勝連城跡」に、当史跡のもつ魅力をより効果的に訴求するため、案内サインの設置及び公衆無線LANの整備を実施し、さらに、ICTを活用し、より効果的な勝連城跡の解説や、多言語化への対応を実施することで、観光客の受入体制整備を実施する。	①案内サイン整備：15基以上 ②公衆無線LAN設置：1基 ③多言語対応案内アプリ（仮称）制作	①案内サイン整備：16基 ②公衆無線LAN設置：2基 ③多言語対応案内アプリ（仮称）制作	◎
3	⑨	うるま市地域PRキャラクター制作事業	H26	うるま市を象徴するキャラクターをデザイン・着ぐるみ化し、市内外や県外で開催する各種イベント等において活用し、うるま市の認知度の向上を図る。	①キャラクター及び着ぐるみ制作：1体 ②イラスト制作：20種 キャラクター制作により、うるま市のイメージを発信する機会が増える。	－	繰
4	①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24～H32	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	①基本設計策定（文化観光拠点整備に向けた基本設計）	①基本設計策定（文化観光拠点整備に向けた基本設計）	◎
4	②	市内文化財総合整備調査活用事業	H24～H28	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。	①勝連城跡整備基本計画の策定（勝連城跡の史跡指定地を中心とした現状の把握と、近年の発掘調査成果や新たな知見を盛り込んだ中長期的な発掘調査と保存整備の計画を策定する。） ②市内文化財の調査（2箇所）（与那城監視哨跡、東恩納博物館跡） ③市内文化財環境整備（2箇所）（平敷屋製糖工場跡、仲原遺跡の環境整備工事）	①勝連城跡整備基本計画の策定 ②市内文化財の調査（1箇所） ③市内文化財環境整備（1箇所）	△
4	④	文化施設機能強化事業	H24～H26	当市の多様な伝統芸能・文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場の舞台機構等の機能強化を行う。	市民芸術劇場の舞台機構設備整備工事完成（総事業量に対する達成率100%）	市民芸術劇場の舞台機構設備整備工事完成（総事業量に対する達成率100%）	◎
4	⑤	南風原文書整理翻刻事業	H24～H28	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」等の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	①地域発見型学習会（歴史学編）参加者数（100人） ②南風原文書翻刻作業（総事業数に対する達成率60%） ③戦後史料の修復およびデジタル化（総事業量に対する達成率30%）	①地域発見型学習会（歴史学編）参加者数（72人） ②南風原文書翻刻作業（総事業数に対する達成率60%） ③戦後史料の修復およびデジタル化（総事業量に対する達成率40%）	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	⑥	マーラン船等復元活用事業	H24～H28	当市では、船大工のマーラン船建造技術を指定文化財とし、伝統文化の保存・継承に取り組んできた。その結果マーラン船は映画やドラマ、多くの番組に採用され、当市の広告媒体となっている。その人材を活用し、木造船（マーラン船・琉球伝馬船・サバニ）を復元することで、造船技術の継承と後継者育成を図り、うるま市ならではの郷土教育の実践を推進する。	①琉球伝馬船の建造復元（1艇） ②企画展入場者数（5，000人）（基準値H25年度実績値3，854人） ③学校教育関連イベント入場者数（300人）（基準値H25年度実績値：200人） ④生涯学習関連イベント入場者数（200人）（基準値H25年度実績値：100人）	①琉球伝馬船の建造復元（1艇） ②企画展入場者数（7，272人） ③学校教育関連イベント入場者数（1，235人） ④生涯学習関連イベント入場者数（647人）	◎
4	⑦	景観調査活用事業	H24～H28	勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に利活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。	①自然標本（50点） ②文化的景観等記録（2件） ③企画展入場者数（5，000人）（基準値H25年度実績値3，854人） ④学校教育に係る入場者数（300人）（基準値H25年度実績値：200人） ⑤生涯学習に係る入場者数（200人）（基準値H25年度実績値：100人）	①自然標本（200点） ②文化的景観等記録（2件） ③企画展入場者数（14，937人） ④学校教育に係る入場者数（1，077人） ⑤生涯学習に係る入場者数（217人）	◎
4	⑧	新沖縄型エンターテイメント事業	H24～H33	沖縄の結婚式で行なわれる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、沖縄の観光イベントとして開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。	イベント参加者：200名 来場者数：2000人	イベント参加者：93名 来場者数：31，000人	○
4	⑨	文化財標柱等設置事業	H24～H27	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。	①文化財標柱等新規設置数（30箇所程度）	①文化財標柱等新規設置数（31箇所）	◎
4	⑩	蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業	H24～H26	「伊計村遊草（イケイムラユウソウ）」と著者である蔡大鼎（サイタイテイ）に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー復刻本や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全・継承を図る。	①展示会・講演会の来場者数（600名）	①展示会・講演会の来場者数（562名）	○
4	⑪	勝連城跡周辺回遊観光整備事業	H26～H31	世界遺産「勝連城跡」周辺において、地域に点在する歴史・文化的な資源の調査・整備を行うことにより良好なまちなみ景観を創出しつつ、それに伴う「勝連城跡」を中心とした資源回遊ルート・サイン・休憩施設等の整備計画及び回遊プログラムの作成を目的とする。	・周辺回遊基本計画策定 ※回遊路観光の展開に関して、関係者（団体）等の意向の集約ができる。 ・周辺回遊基本計画概要版作成（1000部）	・周辺回遊基本計画策定 ・周辺回遊基本計画概要版作成（1000部）	◎
5		沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、市内2地区について景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察、景観重要公共施設指定等の景観・風景づくり推進に関する事業を実施する。	①景観地区等の指定（南風原地区） ②住民向け景観かわら版の作成・配布（浜比嘉地区）（300部） ③景観重要公共施設の指定（南風原地区）	①景観地区等の指定（未指定） ②住民向け景観かわら版の作成・配布（浜比嘉地区）（720部） ③景観重要公共施設の指定（未指定）	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	①	島アートプロジェクト事業	H24～H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート（造形物、オブジェ、美術など）による島おこしを実施する。	来場者数：30，000人	来場者数：21，511人	○
6	②	津堅・島おこし支援事業	H24～H27	津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために策定した「H24年度島おこし支援事業報告書」に盛り込まれた施策案をフォローアップ事業として着実に実施し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを推進する。	①住民WSや講習会等への参加人数（延べ45人） ②清掃活動イベントへの参加人数（150人）	①住民WSや講習会等への参加人数（延べ112人） ②清掃活動イベントへの参加人数（200人）	◎
7	①	肉用牛生産強化拡大事業	H26～H28	市内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用を一部助成する。	・年間140頭の優良母牛候補牛導入 ・予定導入率の35%を目標とする	・年間140頭の優良母牛候補牛導入 ・予定導入率35%	◎
7	②	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24～H27	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	①建築・外構工事実施設計等の作成 ②施設運営主体の選定	ー	繰
7	③	照間ビーグ活性化プロジェクト事業	H26～H28	生産農家の高齢化による農家数の減少や後継者不足の課題に対し、後継者や担い手等に魅力ある産業を目指し、照間ビーグ（い草）ブランドの周知や生産農家の意識向上と高収益商品の開発を生産者と協働で実施していく。	照間ビーク生産農家の生産意識高揚が図られる 「照間ビーグ（い草）」生産・販売戦略の策定	照間ビーク生産農家の生産意識高揚が図られた 「照間ビーグ（い草）」生産・販売戦略の策定	◎
8		産業集積戦略構築事業	H24～H27	沖縄科学技術大学院大学のキャンパスタウンエリアという地理的特性を生かし、災害へのリスクが低い新たな企業集積地を整備するため調査業務を実施し、産業振興を図る。	・産業集積に係る調査結果の報告（企業ニーズや関係機関の意向調査等）	・産業集積に係る調査結果の報告（企業ニーズや関係機関の意向調査等）	◎
9	①	小学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	①「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合（70%）（児童へのアンケートによる）	①「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合96%	◎
9	②	中学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語検定5級から準2級の合格者670人 平成24年度（合格人数：649人）合格率5級80．3%、4級52．8%、3級36．2%準2級18．9%2級36．4%	英語検定5級から準2級の合格者464人 平成24年度（合格人数：649人）	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
10	①	小学校学力向上対策推進事業	H24～H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	①沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率３０％未満児童の割合（沖縄県との差）（３年生：－２．０％、５年生：－２．０％）（基準値：２４年度３年生－０．７５年生－１．７％）	①沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率３０％未満児童の割合（沖縄県との差）（３年生：０．０％、５年生：０．０％）	未
10	②	中学校学力向上対策推進事業	H24～H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	①沖縄県の平均点との差（中２数学沖縄県到達度調査）：０（基準値：２４年度沖縄県の平均点との差（中２数学沖縄県到達度調査－１．６）	①沖縄県の平均点との差（中２数学沖縄県到達度調査）：－２．４（基準値：２４年度沖縄県の平均点との差（中２数学沖縄県到達度調査－１．６）	未
10	③	島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成２４年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し児童の学習支援を実施する。	年間１，２００時間	年間１，１６２時間	○
10	④	島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	平成２４年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し生徒の学習支援を実施する。	年間１，２００時間	年間１，１９１時間	○
10	⑤	ICTを活用した学習支援・人材育成事業	H26～H29	ICT機器（電子黒板等）を市内小中学校の全教室（４０３教室）へ配置することにより、ICT機器を活用した授業の頻度を高め、児童生徒の高度情報化社会に対応できる情報活用能力・コミュニケーション能力の育成を目指す。	ICT機器（電子黒板等）が整備されることにより、ICTによる新たな学習方法を提供できる環境が整備される。 ・うるま市小中学校全２８校普通教室（４０３台）	ICT機器（電子黒板等）の設置 ・うるま市小中学校全２８校（４０２台）	○
11	①	配慮を要する子巡回指導事業	H24～H33	公立・法人・認可外保育施設における「配慮を要する子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、保育施設職員に対して、保育等に関する技術的助言・支援を行う。また、各保育施設の保育の質の向上のため、平成２５年度に引続き巡回指導と合わせて保育施設職員を対象に研修を企画・実施する。	①巡回相談実施施設延数（５０件）（H２４年度実績：２１件） ②園訪問延数（１２０園）（H２４年度実績：２７園） ③保育施設職員研修における理解度（８０％）（H２５年度：９７％）	①巡回相談実施施設延数１７６件） ②園訪問延数（１７６園） ③保育施設職員研修における理解度９９％	◎
11	②	放課後児童クラブ支援事業	H24～H28	学童クラブの運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、学童クラブへの訪問指導や指導員の研修などを実施することにより、放課後児童クラブ運営の適正化と指導員の資質向上を図る。	①指導員研修における充実度（７０％） ②放課後児童クラブ加入児童数（１，４００人）（基準値H２５年５月１日現在：１，２６７人）（指標の説明）充実度については、研修参加者へのアンケート調査により把握する。	①指導員研修における充実度（９４．６％） ②放課後児童クラブ加入児童数（１，５２６人）	◎
11	③	母子家庭生活支援モデル事業	H25～H29	支援が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童の学習支援等を実施し、自立に向けた支援を行う。また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	①支援全般に対する満足度（７０％） ②学習支援の充実度（６５％） ③就労スキルアップ講座資格取得者数（４人）（指標の説明）満足度、充実度については、対象者へのアンケート調査により把握する。	①支援全般に対する満足度（９５％） ②学習支援の充実度（７８％） ③就労スキルアップ講座資格取得者数（４人）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
12	①	問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業	H24～H28	問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。	問題を抱える生徒に対する相談及び支援のべ件数４６０件	問題を抱える生徒に対する相談及び支援のべ件数５３１件	◎
12	②	中学校教育指導推進事業	H24～H28	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	問題を抱える生徒に対する相談及び支援のべ件数２，２００件	問題を抱える生徒に対する相談及び支援のべ件数２，３２２件	◎
12	③	教育相談事業	H24～H28	教育相談室に嘱託員を配置し、幼児･児童･生徒の不登校や、教師･保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	①教育相談対応延件数（１，４００件） （基準値Ｈ２４年度実績値１，６９７件＜来所１，１７４件、学校訪問５２３件＞）	①教育相談対応延件数（２，２７３件）	◎
12	④	適応指導教室事業	H24～H28	うるま市立小･中学校に在籍する心理的･情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	①チャレンジ登校できた割合（８０％） （基準値Ｈ２４年度実績値５７％）	①チャレンジ登校できた割合（５０％）	未
13	①	防災避難通路整備事業	H24～H27	当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全･安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。	①平成２７年度に整備する防災避難通路に係る設計業務の完了 ②平成２７年度に整備する防災避難通路に係る用地取得	－	繰
13	②	防災倉庫等整備事業	H25～H29	当市は沖縄本島中部東海岸に位置し東に金武湾、南に中城湾に接しているほか、東南に伸びる半島部の海上には有人５島があり、風光明媚な自然景観と観光資源が残されており観光客も多く訪れる。本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫（防災資機材や備蓄食糧等を備蓄する。）を整備し防災活動基盤を構築する。	①防災倉庫の整備率：４７％（Ｈ２５以降累積） 給水栓の整備率：１００％ ②備蓄品の整備率非常用毛布と非常用タオルの整備率：４０％（Ｈ２５以降累積） 備蓄食料と備蓄飲料水の整備率：４０％（Ｈ２５以降累積） 給水袋の整備率：２５％ 簡易トイレの整備率：５５％ 簡易テントの整備率：５１％	①防災倉庫の整備率：４７％（Ｈ２５以降累積） 給水栓の整備率：１００％ ②備蓄品の整備率非常用毛布と非常用タオルの整備率：４０％（Ｈ２５以降累積） 備蓄食料と備蓄飲料水の整備率：４０％（Ｈ２５以降累積） 給水袋の整備率：２５％ 簡易トイレの整備率：５５％ 簡易テントの整備率：５１％	◎
13	③	うるま市自主防災組織資機材整備事業	H25～H33	観光立県である本県の自主防災組織活動カバー率は全国平均７７．４％に対し、１０．５％と全国最低水準となっており、観光客の安心安全を確保するために防災体制の充実を図る必要がある。市民や地理的情報に乏しい観光客の避難支援等としても機能する自主防災組織に対し資機材整備等の支援を実施する。	自主防災組織４団体への防災資機材整備率 ①津堅自主防災会１００％ ②南風原自主防災会１００％ ③江洲自主防災会１００％ ④照間自主防災会１００％	自主防災組織４団体への防災資機材整備率 ①津堅自主防災会１００％ ②南風原自主防災会１００％ ③江洲自主防災会１００％ ④照間自主防災会１００％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	緊急物資備蓄事業	H24～H27	災害時の市民の生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う	緊急物資5,000人分の備蓄 ①非常食：5,000人分 ②毛布：300枚 その他、衛生用品等	非常食：7660食 毛布365枚	△
1	②	海抜表示設置事業	H24～H27	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海抜表示を市内各地区に設置する。	海抜表示板設置箇所数（累計） Ｈ２５　135箇所→Ｈ２６　205箇所	海抜表示板設置箇所数（累計）２１０箇所	◎
1	③	避難所看板設置事業	H26	本市が指定する避難所へ看板を設置することにより、避難所の把握と速やかな避難が出来る	避難所看板設置箇所数 Ｈ２５　0箇所→Ｈ２６　102箇所	避難所看板設置箇所数　102箇所	◎
1	④	伊良部地区津波避難施設整備事業	H25～H26	海沿いに面した海抜の低い伊良部南区に津波避難施設を整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	伊良部地区津波避難施設の整備完了	―	繰
1	⑤	池間地区防災センター整備事業	H26～H27	海沿いに面した海抜の低い池間地区に津波避難施設を整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	池間地区防災センターの実施設計完了	池間地区防災センターの実施設計完了	◎
2	①	熱帯植物園再生事業	H24～H27	熱帯植物園の集客機能を向上させるため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。	熱帯植物園の来客数の増加 H24　50,600人→H26　52,500人	熱帯植物園の来客数　36,870人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	②	伊良部島・下地島間入江整備事業	H24～H29	伊良部島・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水路作澪、希少生物の調査並びに、排水処理施設の実施設計を行う。	水路作澪工事(1区画）の完了 希少生物調査完了 排水処理施設実施設計完了	水路作澪工事(1区画）の完了 希少生物調査完了 排水処理施設実施設計完了	◎
2	③	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24～H33	現在、平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道（あやんつ）」を拠点とし、旧市町村の各地域に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。	・コースパンフレットの作成配布：12,000部 ・コース案内板等の設置箇所(累計) Ｈ２５　10基　→　Ｈ２６　15基 ・御嶽等への標柱設置箇所（累計） Ｈ２５　0本　→　Ｈ２６　10本 ・戦争遺跡への標柱設置（累計） Ｈ２５　0本　→　Ｈ２６　10本 ・土地の購入：1件 ・ウイピャームトゥの祭場籠屋復元 文化財ＷＥＢ公開システムポータルサイトアクセス数　5,000件	・コースパンフレットの作成配布：12,000部 ・コース案内板等の設置箇所(累計)　16基 ・御嶽等への標柱設置箇所（累計）　3本 ・戦争遺跡への標柱設置（累計）　16本 ・土地の購入：1件 ・ウイピャームトゥの祭場籠屋復元 文化財ＷＥＢ公開システムポータルサイトアクセス数　3,600件	○
2	④	与那覇湾環境総合整備事業	H24～H33	ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。	【水質改善（湾内6ポイントの調査地点）】 （環境省：生活環境の保全に関する環境基準） ＣＯＤ：0.5mg/L超過（1ポイント）→2mg/L以下 全窒素：平均0.11mg/L超過（5ポイント）→0.2mg/L以下 全りん：0.001mg/L超過（1ポイント）→0.02mg/L以下 【底質改善（湾内6ポイントの調査地点）】 （日本水産資源保護協会：水産用水基準） ＳＰＳＳランク：平均1.6kg/㎡超過（5ポイント）→6kg/㎡以下	―	繰
2	⑤	城辺総合公園機能強化事業	H26	毎年2～3月にかけて社会人・大学・高校の野球チームがキャンプ使用している城辺総合公園を、ブルペン等施設整備を行い充実させる。	稼働月数の増加 2月～3月→１２月～3月	稼働月数　2月～3月	未
2	⑥	スポーツ観光交流拠点整備事業	H24～H28	年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	用地所有権移転登記 実施設計に基づく建築確認 開発行為等必須法規手続きの完了 敷地造成及び進入路工事の完了	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	宮古島市スポーツ施設機能向上事業	H26～H33	宮古島市スポーツマネジメントプランに基づき、大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指し、スポーツ施設の機能強化及び施設整備等を行う。	防球ネットの整備完了 ブルペン整備設計完了	防球ネットの整備完了 ブルペン整備設計完了	◎
3	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	観光アクセス道路の環境美化路線数：３３路線	観光アクセス道路の環境美化路線数：３３路線	◎
3	②	観光地公園環境美化強化事業	H24～H34	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	観光地公園の環境美化 箇所数　東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園等6カ所 定期的美化作業：年4回～年12回（月１程度）を目標	観光地公園の環境美化 箇所数　東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園等12カ所 定期的美化作業：年4回～年12回（月１程度）を目標	◎
3	③	大嶽城址公園環境整備事業	H24～H28	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。	観光地の形成（観光公園の整備） 公園内の環境整備及び花木等植栽整備工事（本年度実施分）の完了	―	繰
3	④	花と緑のあふれる島づくり事業	H24～H33	花と緑のあふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。	苗畑施設の基盤強化に係る実施設計（かんがい施設等）の完了	基本設計及び総合検討委託業務	未
3	⑤	イムギャーマリンガーデン遊歩道等改修工事	H26	宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であり、遊歩道や展望台からは美しい海を見ることができ散策にも最適である。 しかしながら、平成5年の完成以来約20年が経過し、遊歩道や手すり等の経年劣化が著しいため、観光客が安心して散策出来るよう、遊歩道及び周辺設備の改修工事等を行う。	遊歩道等改修工事の完了	―	繰
3	⑥	花いっぱい推進事業	H26～H28	観光地としての魅力向上を図るとともに、観光客が快適に過ごせるよう中心市街地及び観光地等に花木、プランター等を設置し花いっぱいの空間を形成する。	中心市街地及び観光地等での花木・プランター等の設置による観光地としてのイメージ向上	中心市街地及び観光地等での花木・プランター等の設置による観光地としてのイメージ向上	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	観光プロモーション事業	H24～H33	観光情報発信力を強化するため、観光に特化したWEBサイトのコンテンツ等を整備するとともに、観光宣伝ツールを作成し、それらを活用した効果的な観光プロモーションを展開する。 また、本市の認知度を高めるため、県外における広告宣伝活動を実施するとともに、集客力の高いイベント等に参加し、本市の観光ＰＲを実施しながら、観光閑散期対策として、閑散期におけるコンテンツの創出に取り組む。	･観光WEBサイトを活用した情報発信 ･観光宣伝ツールを活用したプロモーションの展開 ･集客力のあるイベントを活用した観光ＰＲの実施 ･観光メニューの開発件数：1件	･観光WEBサイトを活用した情報発信 ･集客力のあるイベントを活用した観光ＰＲの実施 ･観光メニューの開発件数：1件	○
4	②	宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25～H29	観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を図るため、フラダンス全国大会の開催を支援する。	来場者数：4,100人（2日間）	来場者数：2,890人	○
4	③	エコアイランド宮古島マラソン大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	エコアイランド宮古島大会の参加者数 24年度参加者数：941人 25年度参加者数：1,261人 26年度参加者数：1,300人	エコアイランド宮古島大会の参加者数　1453人	◎
4	④	宮古島100kmワイドーマラソン大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドーマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	宮古島100kmワイドーマラソン大会の参加者数 24年度参加者数：1,146人 25年度参加者数：1,317人 26年度参加者数：1,350人	宮古島１００kmワイドーマラソン大会の参加者数　1626人	◎
4	⑤	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数 24年度参加者数：384人 25年度参加者数：415人 26年度参加者数：450人	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数　３６７人	○
4	⑥	平良港クルーズ等観光･人流計画調査事業	H26	平良港では平良港港湾計画書（平成20年11月改訂）において、漲水地区に貨物船と旅客船が供用可能な公共埠頭が計画されている。 クルーズ客船を誘致することが宮古島の経済及び国際観光の振興に大きく寄与するものと期待されており、本調査は、こうした状況にある平良港に大型クルーズ客船を誘致するための調査検討を目的として実施する。	クルーズ寄港促進に向けて課題の把握と今後の対応方針のとりまとめ	クルーズ寄港促進に向けて課題の把握と今後の対応方針のとりまとめ	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	①	エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業	H24～H26	本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できるＰＲ館を整備することにより観光振興を図る。 平成26年度においては、平成２５年度事業で整備したＰＲ館に係る展示物の充実及び各見学サイトにおける説明パネルや説明パンフレットの整備、普及啓発グッズの作成等を行う。	来場者数：1,000名	来館者数:1,009名	◎
5	②	バイオエタノール高効率製造･流通事業	H24～H28	当市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指して以下の事業を実施する。 ･バイオエタノールの高効率製造事業 ･バイオ燃料の流通安定化検証 ･付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等調査	バイオエタノールの製造（50kℓ/年）	バイオエタノールの製造　35.3kℓ	○
6	①	ヤソ防除事業	H24～H28	さとうきびをヤソの被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。	ヤソ被害からの防除剤の散布 1）航空防除：（宮古島市）池間、伊良部地区も含む　（12,100kg） 2)地上防除：（宮古島市）池間、伊良部地区も含む　（900kg）	ヤソ被害からの防除剤の散布 1）航空防除：（宮古島市）池間、伊良部地区も含む　（12,100kg） 2)地上防除：（宮古島市）池間、伊良部地区も含む　（900kg）	◎
6	②	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25～H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合（宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合）が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：255トン	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：184.2トン	○
6	③	資源循環型農業推進事業	H24～H26	本市は、資源リサイクルセンターにおいて、家畜糞尿や枝葉等を利用して有機質肥料を製造し、農地へ還元するとともに化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。しかし、家畜糞尿や剪定枝等以外の原材料に対し、既存の発酵槽では処理が十分に対応できない為、他の堆肥化原料の処理が行える発酵プラントを増設し、施設の機能強化を図る。	発酵プラントの整備及び稼働 （1.2倍増産）	発酵プラントの整備及び稼働	△
6	④	宮古島市海業センター整備事業	H24～H28	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図る為、取水管及び取水井戸、研修センターの建築に係る実施設計委託業務を実施する。	取水管測量設計完了 研修施設建築設計完了	取水管測量設計完了 研修施設建築設計完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	⑤	新技術実証栽培施設（ポットファーム栽培施設）整備事業	H26	新しい農業の形である、「育成ノウハウの共有・継承や環境情報・育成情報の整理及び履歴化などの環境変化や育成状況の見える化」、「再生可能なエネルギーの積極的な活用及びクリーンエネルギーを利用した停電対策などエコアイランドの推進」、「次世代の農業従事者の育成」を目標に実証施設を整備する。	栽培施設（ハウス）の整備完了 栽培施設（ハウス）作業棟の整備完了 再生可能エネルギ設備の整備完了	栽培施設（ハウス）の整備完了 栽培施設（ハウス）作業棟の整備完了 再生可能エネルギ設備の整備完了	◎
6	⑥	モズク加工施設機能強化事業	H26	本市水産業の主要品目である養殖モズクのさらなる振興を図るため、宮古島漁協が行うモズク加工施設の機能強化に向けた設備の整備・導入に対し、支援を行う。	加工場の機能強化による、モズク処理能力の向上 375kg/h → 462kg/h	ー	繰
6	⑦	側面透過型糖度計導入事業	H26	定品質のマンゴー出荷と宮古島産マンゴーのブランド化を推進する為、生産農家に対し側面透過型糖度計の導入支援を行う。	側面透過型糖度計導入完了と生産農家への指導方針のとりまとめ	側面透過型糖度計導入完了	△
7	①	離島急患搬送傭船事業	H25～H26	伊良部島及び大神島において定期航路や定期航路時間外に宮古本島の病院へ移送を要する急患が発生した場合、定期船及び傭船による搬送を行う。	急患搬送体制の安定的確保	急患搬送体制の安定的確保	◎
8	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通して、ニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	・スクールソーシャルワーカー配置数 教育委員会学校教育課：6人	・スクールソーシャルワーカー配置数 教育委員会学校教育課：6人	◎
8	②	問題行動等学習支援者配置事業	H24～H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	問題行動学習支援者配置数 中学校3人	問題行動学習支援者配置数 中学校3人	◎
8	③	選手派遣補助金交付事業	H24～H33	本市の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。	補助による保護者負担の軽減	補助による保護者負担の軽減	◎
8	④	宮古島市こども劇団設立事業	H24～H33	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミニュケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し宮古島を表現することで、地域のアイデンティティーを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。	○東京公演：3回公演 ○宮古公演：2回公演	○東京公演：3回公演 ○宮古公演：1回公演	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	①	水道水源流域保全調査及び啓発事業	H24～H26	H24～25年度において、本市水道水源流域で最も重要な白川田･東添道地下水流域について、地下水流域境界と同流域における地下水貯水量を明らかにするための調査を実施している。H26年度においては、調査結果を活用して「第3次宮古島市地下水利用基本計画」の改訂を行い、中長期スパンでの計画的な地下水利用と保全を図る。また水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。	(1第3次宮古島市地下水利用基本計画改訂版の発効及び運用開始 (2) 同計画印刷製本及び配布数：300部 (3) 水道水源保全地域表示看板設置数：60基	･第3次宮古島市地下水利用基本計画改訂版の発効及び運用開始 ･同計画印刷製本及び配布数：300部 ･水道水源保全地域表示看板設置数：31基	○
10	①	博物館図録等作成事業	H24～H28	本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、これらの幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データーベース化、デジタル化及び図録等を作成し、貴重な資料の半永久的な保存と、情報の共有化を図る。	データベースの整備率：60%	データベースの整備率：70%	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	市域景観形成強化事業	H24～H26	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市域内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	市道植樹帯防草工事実施完了 ・整備路線数　1路線 ・整備延長　L＝597m	市道植樹帯防草工事実施完了 整備路線　　1箇所 整備延長L=0.597km	◎
1	②	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24～H26	散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘致促進を図る。	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備完了	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業のうち樹木伐採・法面保護工完了	未
1	③	なんじょうハートプロジェクト推進事業	H24～H26	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光ＰＲ等を実施する。	ＰＲグッズ等の制作（3点） ＰＲイベントへの誘客（2,000人） ラッピングカーでの出動回数（10回）	ＰＲグッズ等の制作（6点） ＰＲイベントへの誘客（延 5,000人） ラッピングカーでの出動回数（212回）	◎
1	④	スポーツツーリズム推進事業	H24～H30	本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。	・芝生管理人の雇用（1人） ・サッカーキャンプ等の受け入れ （平成25年度受入チーム数　3チーム） ・平成26年7月なでしこリーグ公式戦開催予定（1試合）	・芝生管理人の雇用（1人） ・サッカーキャンプ等の受け入れ（1チーム） ・平成26年7月なでしこリーグ公式戦開催（1試合）	◎
1	⑤	観光交流サイン整備事業	H25～H28	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	・道路愛称板の設置工事完了　20箇所 ・サイン設置完了　8ヶ所 ・観光誘導案内板の整備完了：15ヶ所	・道路愛称板の設置工事完了　11箇所 ・サイン設置完了　6ヶ所 ・観光誘導案内板の整備完了：17ヶ所	○
1	⑥	デマンド交通実証実験事業	H24～H27	デマンド交通の運行実施計画案（H24策定）に沿って、試験運行（H25～H27年度）を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	・地域公共交通会議の開催：3回 ・乗車人数（1日）：１５０人 ・有償実証事業の委託先の選定	・地域公共交通会議の開催：3回 ・乗車人数（1日）：267人 ・有償実証事業の委託先の選定（有償実証委託）	◎
1	⑦	観光振興計画（前期・中期）評価・検証及びアクションプラン策定業務	H26	南城市観光振興計画（前期・中期）の評価・検証を行い、南城市観光振興計画における実施済みの取組みに対する評価・検証、実施課題の整理、観光客動態調査等を実施し、南城市として目指す観光の方向性を確実に実行していくための方策を位置づける。	・南城市観光振興計画の評価・検証 ・アクションプラン（実施計画）の策定	・南城市観光振興計画の評価・検証 ・アクションプラン（実施計画）の策定	◎
1	⑧	南城市クロスメディア情報発信事業	H26	南城市の観光産業振興に資するため、本市の有する「観光コンテンツ」を効果的に発信するための手段を構築し、南城市観光に関する情報を国内外へ配信することにより、南城市の魅力を広く伝えるとともに、周遊型観光の推進、歴史・文化、体験滞在、癒しをテーマとした観光振興を図る。	・南城市観光情報の配信開始 （事前・事中情報の発信） ・外国人観光客への情報の配信開始	・南城市観光情報の配信開始 ・外国人観光客への情報の配信開始	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26～H30	平成25年度で策定される予定の「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。平成26年度は尚巴志を普及していく事業、尚巴志スピリットを育成する事業、エコミュージアムの基礎を築く事業などを行う。	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりｺﾝｻｰﾄ＆ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ」 ・目標客数：200名 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・紙芝居の制作 ・市内9小学校のアウトリーチ 「文化講演会」 ・目標客数：100名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 ・合計観客動員数：200名 「観光タイアップ事業」 ・目標客数：500名 「琉歌募集事業」 ・応募者数：150首	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりｺﾝｻｰﾄ＆ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ」 （400名） 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・紙芝居の制作 ・市内9小学校のアウトリーチ 「文化講演会」（100名） 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」（延 120名） 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」（480名） 「観光タイアップ事業」（4事業：600名） 「琉歌募集事業」（応募者数：118首） 「地域孫会議事業」（120名） 「地域づくりのための歴史講座」（30名）	○
1	⑩	観光振興将来拠点地整備事業	H25～H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為の防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設（宿泊施設・レンタカー営業所等）の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・用地取得率87%（内H25繰越取得分28%） ・土地所有者及び利害関係者説明会の実施 ・事業認定申請の提出。	―	繰
1	⑪	観光交流・防災機能拠点整備事業（ムラヤー構想）	H25～H26	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。	観光交流拠点施設完成	―	繰
1	⑫	世界遺産「斎場御嶽」ガイダンス施設整備事業	H26～H28	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイダンス施設」として再整備する。 斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる“ことによって、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	・斎場御嶽調査及び測量業務の完了 ・3Dデータ化 ・映像コンテンツの作成	・斎場御嶽調査及び測量業務の完了 ・3Dデータ化の完了 ・映像コンテンツ作成	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24～H28	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	既存の農業用施設等の整備(20ヶ所)	既存の農業用施設等の整備(17ヶ所)	○
2	②	水溶性天然ガス利活用案策定事業	H25～H26	市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への活用案を策定する。	南城市水溶性天然ガス利活用案の詳細版策定完了	南城市水溶性天然ガス利活用案の詳細版策定完了（一式）	◎
2	③	つくり育てる漁業振興支援事業	H26	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、水産物の漁獲高や生産高を増やすことに対し支援を行う。	・漁場及び養殖場等の整備完了 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書完成。	・漁場及び養殖場等の整備完了 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書完成。	◎
2	④	優良繁殖牛リース支援事業	H26～H30	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛５０頭導入及び貸付開始 （導入初年度のため下記指標は次年度以降から） ・分娩間隔の短縮 ・繁殖雌牛の若齢化 ・飼養頭数の増加等	優良母牛５０頭導入及び貸付開始（50頭）	◎
2	⑤	畜産悪臭対策普及推進事業	H26～H27	畜産悪臭対策について実証実験を行う。その後、畜産農家に対し、悪臭対策に配慮した持続可能な経営技術の普及を行う。	実証実験の効果検証	実証実験の効果検証（2件）	◎
3	①	台風・大雨浸水被害対策事業	H24～H26	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。	南城市東部地区雨水流域調査完了 玉城・知念　A＝463ha	南城市東部地区雨水流域調査完了 玉城・知念　A＝463ha	◎
3	②	水難救助車整備事業	H26	各種水難救助用の資機材を装備した、水難救助車両を購入し、迅速・確実な水難救助活動を行うことで、観光客等を水難事故から守り、防災体制の強化を図る。	水難救助車の納車：1台 納車後は非常時に備え日頃から訓練を実施し、万全の対策を期する。	水難救助車の納車：1台	◎
3	③	久高地区津波避難施設整備事業	H26	久高島は標高が低く、津波災害が起きた際甚大な被害が想定されるため、津波避難施設（防災タワー）を建設し、住民や観光客の安全、安心を確保する。	津波避難施設（防災タワー）の完成	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24～H26	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	・幼稚園 保育室 1室 冷暖房設備2台設置完了 ・中学校 音楽室、美術室 冷暖房設備4台設置完了	・幼稚園 保育室 1室 冷暖房設備2台設置完了 ・中学校 音楽室、美術室 冷暖房設備4台設置完了	◎
4	②	小中学校パソコン機器整備事業	H25～H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	市立2小学校コンピューター教室パソコン及び附属機器等一式整備完了 ・ブートサーバー4台、ADサーバー4台、プリンター2台、プロジェクター2台、パソコン82台、ソフトウェア等付属品一式	左記のとおり機器整備完了	◎
4	③	学習支援員配置事業	H25～H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	小学校：8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。1授業当たり3名程度の児童を支援する。) 中学校：4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)	8小学校：学習支援員8名 支援児童実績数290名 4中学校：学習支援員4名 支援生徒実績数140名	○
4	④	特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25～H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育（特別支援教育）を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受入れ機会が増加しているところであります。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	・3幼稚園へ障害児ヘルパー（保育）8名、（預かり保育）3名配置 ・8小学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー24名配置 ・4中学校へ障害児ヘルパー10名配置	・3幼稚園へ障害児ヘルパー（保育）7名、（預かり保育）3名配置 ・8小学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー28名配置 ・4中学校へ障害児ヘルパー9名配置	○
5	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H29	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財のグスク等、歴史遺産や琉球王国時代から引き継がれた精神文化遺産が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的に、なんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・『御嶽・グスク』 調査個票の完成 ・『資料集戦争』 国立国会図書館より米国資料の収集	・『御嶽・グスク』 調査個票作成中 ・『資料集戦争』 国立国会図書館より米国資料の収集済	△
5	②	文化センター機能強化事業	H25～H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、空調及びホールの照明機器の整備を行う。	文化センター機能整備の実施、完了	文化センター機能整備の完了	◎
5	③	シュガーホール国際音楽祭事業（20周年記念事業）	H26	沖縄県内唯一の音楽専用ホールとして、これまで多くの創造的な文化事業を展開し、おきなわのシュガーホールとして知られるようになってきたこれまで実績を生かし、多様な目的をもって訪れる県内外の人々をターゲットととし、本市の自然・歴史とホールの文化芸術事業を連携させた全国的・国際的な一連事業を実施していく。	・新人演奏会受賞者による公演 ・優れた国内・海外演奏家による公演 ・市民合唱団と県内外合唱団の交流演奏会 ・オーケストラと伝統芸能の競演 ・海外伝統芸能と地域民俗芸能の競演 ・創作オペラの制作	左記の成果目標に基づいて13公演を実施した	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	①	健康づくり支援調査検証事業	H25～H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具等の設置及び、生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施及び効果の評価検証（34回） ・3公園等への健康器具の設置完了 ・中学生（約500名）を対象とした保健指導の評価検証	・講演会、健康体操等の実施及び効果の評価検証（25回） ・3公園等への健康器具の設置完了 ・中学生（約500名）を対象とした保健指導の評価検証：418人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	国頭トレイルランニング大会推進事業	H26～H30	本村の資産である「森林」を活用した新しいECOスポーツプログラムを開発・普及を図る。 スポーツを通じて「ECOスピリット（自然に畏敬の念を持ち、（古道を残した）先祖に感謝する気持ち（スピリット）」を伝承・普及啓発していく。	国頭トレイルランニング大会の開催 （大会参加人数：県内1,200人　県外300人）	国頭トレイルランニング大会の開催 （大会参加人数：県内1,520人　県外203人）	○
1	②	スポーツコンベンション観光振興事業	H25～H26	本村でのスポーツキャンプによる滞在人口の増加を図り観光振興に向けて、受け入れ施設の充実・強化を図るため、野球場のブルペン整備及び外柵の取り替え工事を行う。	ブルペン施設完了 外柵の設置	ブルペン施設完了 外柵の設置	◎
1	③	国頭村ブランディング推進戦略事業	H26～H27	「やんばるの希少動物」のレアキャラを構築するため、キャラクターのデザイン及びネーミング等を付け着ぐるみで県内の各種イベント及び関連施設でのロードキル防止のキャンペーンの他、各レアキャラのグッズ開発等、又、ヤンバルクイナ保護活動をメインに短編映画を制作し沖縄国際映画祭などでＰＲし、自然の保全を活かした観光づくりへ向けた取り組みと知名度アップを図る。	レアキャラ構築：1種類 デザイン商標登録：21種類 キャラバン隊：県内7箇所・県外2箇所で実施 国頭村PRのため沖縄国際映画祭・国頭村で短編映画を各1回上映	―	繰
2	①	くいなふれあい公園施設機能強化事業	H26	「安田くいなふれあい公園」内の「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」や「くいなパークゴルフ場」等の既存施設と、新たな拠点施設整備による公園利用者及び観光客の利便性向上等、有効な利活用及び良好な管理運営の充実を図るため、施設倉庫及び備品購入を整備し施設機能を強化する。	くいなふれあい公園の倉庫の設置 くいなふれあい公園備品の整備完了 （車両・厨房器具・テーブル・椅子等）	くいなふれあい公園の倉庫の設置 くいなふれあい公園備品の整備完了 （車両・厨房器具・テーブル・椅子等）	◎
2	②	ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H25～H30	「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に展示飼育してるヤンバルクイナの個体を自然状態で安定的に生育できる状態に保つため、適切な飼育技術向上及び飼育技術育成を図り、種の保存法に基づく保護・増殖の確立を目指した管理体制を構築する。	専門知識を有する飼育技術員の人材育成	専門知識を有する飼育技術員の人材育成 1名	◎
3	①	比地大滝歩道改修事業	H24～H27	観光客受入れ態勢に資するため、比地大滝遊歩道の起伏の激しい箇所を、既存の歩道も残しながら迂回路を整備した健常者以外の利用者も気軽に散策できるようにバリヤフリー化を施した歩道を整備し利用者への安全・安心を提供し施設の充実を図る。	透水性舗装の完了　（L=364m）	透水性舗装の完了（L=295m）	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	多自然川づくり事業	H24～H30	中心市街地を流れる辺土名川を整備し河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に生かした河川再生を図るとともに街づくりとリンクして、地域の活性化を図る為、他事業のボックス架替工事と隣接工事を行う。	測量調査設計の完了 用地の取得（7件　350.7㎡） 実施設計進捗率：66.6% （H26実施：700m　H27道路詳細:350m　全体延長：1,050m）	ー	繰
5	①	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26～H29	農家の経営安定化に向けて、国頭村ブランド牛基盤づくりの為、優良母牛の導入に対する支援を行う。	13農家×2頭＝26頭導入	20頭導入	○
6	①	平張網掛施設整備事業	H24～H28	国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の園地平張網掛施設を整備し、ノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。	平張網掛施設の設置率：43.8% （設置累計14/設置目標数32） （設置目標数：32件 H24：8件　H25：6件　H26予定：6件）	平張網掛施設の設置率　62.5%	◎
7	①	森林資源活用推進事業	H24～H28	森林資源のさらなる有効活用のため、新たな国頭型「森林業」創出するとともに、森林の癒し効果を活かした森林セラピーガイド育成、国頭村木材を活かした「木育」推進を行う。	セラピーガイドの育成：認定人数5人 「木育」人材養成講座修了者数：5人 有用樹種苗木開発数：500本	セラピーガイドの育成：認定人数2人 「木育」人材養成講座修了者数：7人 有用樹種苗木開発数：800本	○
8	①	辺戸岬周辺整備計画策定事業	H26～H30	沖縄海岸国定公園に位置する辺戸岬園地の特性を活かした施設機能や、観光地でのアクティビティ機能等を活かした観光地としての利活用及び観光施設整備の方針を明らかにする基本計画を策定し、地域の特色を活かした観光業の振興、国内外からの観光客の増大を目指す。	基本計画の策定	基本計画の策定	◎
8	②	辺戸岬周辺施設整備事業	H26～H30	沖縄海岸国定公園に位置する辺戸岬園地の特性を活かした施設機能や、観光地でのアクティビティ機能等を活かした観光地としての利活用を図るための施設を整備し、地域の特色を活かした観光業の振興、観光客の利便性の向上を図るため、今年度は辺戸岬公衆トイレの設置を行う。	辺戸岬公衆トイレの設置	辺戸岬公衆トイレの設置	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	①	国頭村減災地域社会形成事業	H24～H28	昨年度実施した地域防災計画の修正に引き続き、災害対応マニュアルを整備し、災害時の住民と観光客に対する安全対策の確保を図る。	災害対応マニュアルの作成 集落の課題整理：3集落	災害対応マニュアルの作成 集落の課題整理：2集落	○
9	②	集落別減災地域社会形成事業	H24～H28	津波対策としての避難経路を計画し、避難路を整備することで、災害時の住民と観光客の安全・安心を確保する。	避難経路の計画策定：3集落 桃原地区避難路整備：約320m	ー	繰
10	①	学習支援員配置事業	H25～H29	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を取りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	学習支援員を村内小学校3校（対象児童数264人）、中学校1校（対象生徒数150人）に配置 小学校：全国達成度75点（H26年度村平均） 中学校：全国達成度70点（H26年度村平均）	学習支援員を村内小学校3校（対象児童数264人）、中学校1校（対象生徒数150人）に配置 小学校：全国達成度51.3点（H26年度村平均） 中学校：全国達成度48.2点（H26年度村平均）	未
10	②	中学校英語指導員配置事業	H25～H29	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上に資することで、基礎学力の向上に繋げる。	英語指導員を村内中学校1校（対象生徒数150人）に配置 英語検定5級取得者：12名 英語検定4級取得者：16名 英語検定3級取得者：6名	英語指導員を村内中学校1校（対象生徒数150人）に配置 英語検定5級取得者：58名 英語検定4級取得者：25名 英語検定3級取得者：10名	◎
10	③	中学生海外短期留学派遣事業	H25～H29	中学生を英語圏に短期間派遣し英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	海外短期派遣生徒数　2人 ホームステイ報告発表の実施	海外短期派遣生徒数　2人 ホームステイ報告発表の実施　2回	◎
10	④	小学生県外体験学習派遣事業	H25～H29	小学生を県外に短期間派遣し、気候風土の異なった遠隔の地で見聞を広めるとともに、郷土意識の高揚を図り、新時代を担う視野の広い心身ともに健全なジュニアリーダーの育成を目指す。	事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会等の実施による児童の郷土意識の向上を図る	事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会等の実施による児童の郷土意識の向上	◎
10	⑤	児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H25～H29	小・中学校の児童生徒が、運動競技または文化関係大会に参加するため、県外に派遣する必要がある場合に補助金を交付する。	大会等派遣見込数 中学生：10人	大会等派遣見込数 中学生：34人	◎
10	⑥	ひとり親家庭の子育て応援事業	H25～H29	学習福祉支援員を配置し、母子・父子・養育家庭における子育ての相談対応の強化を行うと共に、学校・家庭・地域の連携を強化し、非行・不登校・発達障害や思春期うつなどの精神疾患・自殺対策など子どもが抱える問題に対する支援を行う。	学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。 巡回回数：150回 相談件数：75回	学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。 巡回回数：163回 相談件数：79回	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
11	①	地域資源継承・交流拠点整備事業	H24～H27	国頭村与那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム（海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等）等による観光客との交流・体験活動を促進する拠点整備を行う。	交流拠点整施設の整備完了	交流拠点整施設の整備完了	◎
12	①	幼保連携型総合施設整備事業	H26～H28	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	基本計画・基本設計の作成	基本計画の策定	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

大宜味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	大宜味村観光情報発信整備事業	H24～H28	観光資源（文化財、自然資源、特産品、体験事業）などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。	・産業まつり参加者数：5，500名	・産業まつり参加者数：5，000名	○
1	②	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26～H31	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化が図られる施策として、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。	・自然環境調査の実施 ・推進計画の制定	・自然環境調査の実施 ・未制定	△
1	③	大宜味村文化財活用促進事業	H25～H28	観光立県である沖縄振興に寄与することを目的に、地域資源文化財を活かした村内に現存する貴重な歴史民俗資料・野生生物の保存整備を行い、その展示・活用を行う事で村の魅力の1つとし、そこから文化資源を活かした観光振興・地域の活性化を図る。	・おおぎみの昔話の伝承 ・方言等の継承 ・保存・郷土学習等での活用	・おおぎみの昔話の伝承 ・方言等の継承 ・保存・郷土学習等での活用	◎
1	④	大宜味村歴史と文化検証事業	H26～H29	昭和５３年度に刊行された「大宜味村史」を再点検し、取り上げられていない分野（自然・沖縄戦・民俗・ことば・移民・出稼ぎ・映像記録・写真等）を新たに編纂し、村を訪れる人たちへの情報提供すると共に、沖縄本島最北の築城である根謝銘城趾を調査することにより観光資源として活用していく。	・戦争証言集発刊 ・戦争遺跡調査報告書の製本 ・根謝銘城趾調査計画の策定 ・海外移民調査の完了	・戦争証言集発刊 ・戦争遺跡調査報告書の製本（未実施） ・根謝銘城趾調査計画の策定 ・海外移民調査の完了（未実施）	△
1	⑤	「芭蕉布の里」整備事業	H26～H29	国の重要無形文化財である芭蕉布を県内外にＰＲするため、新築移転の検討を含めた「芭蕉布の里」基本構想を策定する。	「芭蕉布の里」基本構想策定の実施	―	繰
1	⑥	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24～H27	大宜味村の特徴ある観光資源（自然・文化・歴史・祭・文化財等）を連携させる観光周遊ルートを形成し、観光拠点施設や特産品の販売促進施設などを整備し、また、観光事業推進のためにインフラ整備を実施し、受入体制の強化による観光振興を図る。	・平南川駐車場等整備の完成 ・大保ダム湖面桟橋の完成 ・商業振興可能性調査の完了 ・空き家利用推進実態調査の完了	―	繰
2	①	学習支援員配置事業	H25～H27	将来の大宜味村を担う児童生徒の基礎学力の定着を図るため、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。	・支援を要する学校のうち、教育環境課が改善された割合８０％（アンケートを実施） ・支援を要する学校のうち、学習支援員が配置されている学級の割合１００％	・支援を要する学校のうち、教育環境課が改善された割合１００％ ・支援を要する学校のうち、学習支援員が配置されている学級の割合１００％	◎
2	②	地域支援員配置事業	H25～H27	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等のない学校教育を支援する地域支援員を配置する。	・地域支援員（村内1中学校に配置） ・不登校者出席率：現在２７％→４０％	・地域支援員（村内1中学校に配置） ・不登校者出席率：４８％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

大宜味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25～H28	各種団体の生涯学習及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習コーディネーターを配置する。	・生涯学習コーディネーター配置（教育委員会1人） ・生涯学習講座10回開催 ・講座受講者数H26年度：100名	・生涯学習コーディネーター配置（教育委員会1人） ・生涯学習講座10回開催 ・講座受講者数H26年度：202名	◎
2	④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26～H33	大宜味村に在住する児童・生徒（小学生・中学生・高校生）に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。	派遣対象生徒の大会派遣率100％	派遣対象生徒の大会派遣率100％	◎
3	①	沖縄特殊戸籍電算化事業	H26	福岡戸籍・臨時戸籍・受付帳は戸籍業務において、特殊な照会事例において用いられている基礎資料であり、当時の紙資料が保管されている。著しく劣化が厳しいため電子データ化及び管理システムの構築を図る。	沖縄特殊戸籍の電算化率：100％	沖縄特殊戸籍の電算化率：96．7％	○
4	①	結の浜安心安全な環境づくり整備事業	H26～H27	村の中心地区形成のために造成された公有水面埋立地「結の浜」には、公営住宅、村立診療所、賃貸工場が整備されており、現在、結の浜公園や小・中学校も整備中である。そこで、結の浜地区における津波や火災等の自然災害に対し、村民及び本村を訪れる観光客に安心・安全を提供するため、環境整備を行う。	調査測量設計・地質調査の完了	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	ブルーツーリズム体験施設等整備事業	H25～H27	東村内において新たな観光フィールドを開発するため、平成25年度に策定した基本計画をもとに宮城地区にブルーツーリズムの体験に必要な便益施設（トイレ、更衣室、シャワー、駐車場等）及び海へのアクセス道の整備を行う。	○便益施設の整備完了トイレ、シャワー、更衣室 ○駐車場の整備完了 ○海へのアクセス道の整備完了	－	繰
1	②	東村観光産業人材育成事業	H26	村内の観光関連事業所と連携のもと、必要なノウハウを実践的に身につけることにより、東村観光案内人（観光ガイド）や沖縄本島で唯一のプロジェクトアドベンチャー（冒険教育）のインストラクターを育成する。	観光ガイド育成1人 PAインストラクター育成2人 PA育成講習会参加者10人	観光ガイド育成1人 PAインストラクター育成2人 PA育成講習会参加者9人	○
1	③	東村の魅力PR事業	H26	観光、産業、特産品、文化、移住等に関する東村の魅力を大々的に県内外でPR活動を行い、本村への誘客及び人口増加に繋げる。	県内PRイベント1回（3日間開催予定） 県外PRイベント等の参加1回（東京予定）	県内PRイベント1回（3日間開催予定） 県外PRイベント等の参加1回	◎
1	④	観光基盤整備事業	H26	魅力ある観光資源の情報発信及び観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本村の観光情報等が入手できるよう、Wi－Fiスポットの環境整備などを行う。	主要イベント来場者数40千人 主要施設来場者数90千人	主要イベント来場者数43千人 主要施設来場者数229千人	◎
1	⑤	東村花いっぱい運動推進事業	H26～H28	一年をとおして花いっぱいの村づくりを推進するために、村内各種団体と連携して県道沿いへのプランター設置や、花の植え付けなどを行う。また、「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立する。	・「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立する。 ・村内主要道路沿いへのプランターの設置（250箇） ・村内各箇所への花の植え付け（参加者400人）	・「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立。 ・村内主要道路沿いへのプランターの設置（250箇） ・村内各箇所への花の植え付け（参加者418人）	◎
1	⑥	福地川河口周辺海岸環境調査	H26	本村では観光レクリエーション資源には、山や川を生かしたものが多く、太平洋に面しながらも海でのレクリエーションを楽しめる場が少ない。そのため、新たな観光産業の推進を図るため、福地川周辺及び平良湾の利活用を計画し、平良湾における赤土流出等における海域での現況調査、影響調査及び改善方策を検討し、観光フィールドの活用、保全を図っていく。	現状の把握をし、改善策を策定する。	現状の把握をし、改善策を策定した。（報告書作成）	◎
1	⑦	沖縄やんばるアドベンチャーラリー推進事業	H26～H28	「沖縄やんばるアドベンチャーラリー」は、東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用したアドベンチャーレースであり、当該イベントの実施・普及を図る。	沖縄やんばるアドベンチャーラリーの開催 （大会目標参加者210名うち県外参加者20名） （前回参加者143名うち県外参加者11名）	沖縄やんばるアドベンチャーラリーの開催 （大会参加者395名うち県外参加者36名）	◎
1	⑧	東村海洋資源活用推進事業	H26	修学旅行等による村の観光振興に向けて、受け入れ体制の強化を図るため、海洋資源を活用して行う新規事業の立ち上げに必要な初期経費の一部を補助するとともに、海岸の保全・活用の推進のためビーチクリーナーを整備する。	事業実施体制の整備完了（指定管理者による事業実施に係る備品等の整備完了） 海岸の保全・活用推進のための体制整備完了（ビーチクリーナー購入の完了）	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	村内小中学校電子黒板設置事業	H26	村内小中学校の普通教室に電子黒板を設置することにより、より解りやすく、より効果的な授業を展開し児童生徒の学習効果、学習意欲の向上を図る。	村内3小中学校の普通教室20カ所に電子黒板一式を設置	村内3小中学校の普通教室20カ所に電子黒板一式を設置	◎
3	①	東村ブロードバンド整備事業	H26	村内における情報通信の格差を解消するため、未整備である地域に無線LANのアクセスポイントを整備する。	村内の未整備である地域に2基の無線LANのアクセスポイントの設置を行い住民の利便性を図る。（既存カバー率95．2%⇒設置後カバー率100%）	村内の未整備である地域に2基の無線LANのアクセスポイントの設置を行い住民の利便性を図る。（カバー率100%）	◎
4	①	東村屋内運動施設機能強化事業	H26～H27	各種競技会・合宿・観光事業等の利便性向上を図るため、施設の機能強化を図る。	・調査測量設計の完了 ・壁面塗装、ジョギングエリアゴムチップ舗装の整備完了	―	繰
5	①	東村観光誘客施設（仮称）整備事業	H25～H28	観光振興を図るため、東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う施設を整備するため、調査や基本設計を実施する。	調査（測量、土質調査）の完了 基本設計（建築、展示）の完了	調査（測量、土質調査）の完了 基本設計（建築、展示）の完了	◎
6	①	東村文化交流施設機能強化事業	H26～H27	利用者のニーズに対応するため、施設の舞台周り（舞台照明、音響設備、ホール・舞台カーテン、控え室）の改修を行い、効率良く文化行事及び研修等が行えるよう施設の機能強化を図る。	改修設計の完了	改修設計の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24～H27	健康長寿体験滞在型観光を促進するため、これまでに実施された村民アンケート調査を基に、健康長寿作戦会議と健康づくりプログラムを村民と共に作成し実施する。また、村観光協会とヘルスツーリズム組織づくり、ツアープログラムづくりを推進する。	地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案と実施 プロジェクトチーム会議の開催（1回）	地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案（立案会議のみ3回） プロジェクトチーム会議の開催（2回）	△
2	①	人材育成事業	H24～H33	小学校を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行う。また、大都会の東京大学等を見学し、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	派遣生徒数：３６人 報告会の実施（1回）	派遣生徒数：３６人 報告会の実施（1回）	◎
2	②	東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24～H33	東ティモールの児童を招聘し、本村3小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。	国際交流活動による海外からの受入者数 受入児童数：2人、引率3人	国際交流活動による海外からの受入者数 受入児童数：4人、引率2人	○
2	③	芸術家招聘事業	H24～H27	本村の小学校校歌の作詞者関係者であるソプラノ歌手（講師）を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る公演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。	公演会に参加した児童生徒数：６００人	公演会に参加した児童生徒数：６１０人	◎
2	④	未来を担う人材育成事業	H24～H33	大学進学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	講座参加人数：１０人	講座参加人数：７人	○
2	⑤	学習支援者配置事業	H25～H33	学力向上のための学習支援員や、障害のある園児・児童生徒（多動性や情緒も含む）のための特別支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら支援を行うことで教育環境を充実させる。	（学習支援員及び特別支援員の配置人数） 幼稚園（学）０人（特）１人 小学校（学）３人（特）６人 中学校（学）１人（特）１人 学力や学習意欲の向上 村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率１００％	（学習支援員及び特別支援員の配置人数） 幼稚園（学）０人（特）０人 小学校（学）３人（特）７人 中学校（学）１人（特）１人 学力や学習意欲の向上 村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率１００％	○
2	⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25～H33	英語を学ぶことの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生3人及び北山高等学校に在学する高校生2人を対象に、夏季休学中にアメリカ（ハワイ2週間・シアトル4週間）で学習する機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 今帰仁城跡やさくら祭りなどで外国人観光客の通訳及びボランティア活動	古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 今帰仁城跡やさくら祭りなどで外国人観光客の通訳及びボランティア活動	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	児童生徒等の県外･国外派遣事業	H25～H33	小･中学生の児童生徒や県立高等学校の生徒が、県外･国外で開催される各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	県外少年団野球大会２０人 県外スポーツ大会１５６人	県外少年団野球大会１９人 県外スポーツ大会９８人	○
3	①	景観形成強化事業	H24～H28	村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入体制を整える。	快適な観光アクセスルートの整備 全体整備計画の２６％（４．２km）を整備	快適な観光アクセスルートの整備 全体整備計画の２６％（４．２km）を整備	◎
3	②	環境保全美化推進事業	H24～H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。	今帰仁城跡及び観光地の美化 観光ルートの美化全体計画の１３％（２７路線）完了 歴史的･文化的な松並木の景観保全 白アリの防除全体計画の３０％（５５本）を防除 樹木の強化全体計画の５０％（１１０本）を強化	今帰仁城跡及び観光地の美化 観光ルートの美化全体計画の１３％（２７路線）完了 歴史的･文化的な松並木の景観保全 白アリの防除全体計画の３０％（５５本）を防除 樹木５４本を強化	○
3	③	風景づくり推進事業	H24～H28	平成２５年度「今帰仁村風景づくり推進事業」モデル地区となった今泊地区における景観形成に係る行動計画の作成を受け、行動計画に位置付けられた地域で進めていくべき施策･事業等（ハード･ソフト）の実現化に向けた検討を行う。また、検討機関として庁内プロジェクトチームを設置し、事業内容等について調整･協議を行う。	景観形成に係るハード事業･ソフト事業の行動計画についてとりまとめる。（今泊地区）	景観形成に係るハード事業･ソフト事業の行動計画についてとりまとめの策定（今泊地区）	◎
3	④	観光力基盤強化事業	H24～H33	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊北山の風」、総合まつり、ハーリー、さくら祭り、三村交流事業などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	現代版組踊「北山の風」の開催来場数（１，０００人） 古宇利ハーフマラソン（参加者：２，５００人） 今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り（来場者：３９，０００人） 今帰仁総合まつり（来場者：１０，０００人） 今帰仁ハーリー大会（出場者数：７７０人） 三村交流事業（来場者：８００人）	現代版組踊「北山の風」の開催来場数（１，１５０人） 古宇利ハーフマラソン（参加者：３，５０３人） 今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り（来場者：４７，９２７人） 今帰仁総合まつり（来場者：１０，０００人） 今帰仁ハーリー大会（出場者数：８１４人） 三村交流事業（来場者：８００人）	◎
3	⑤	観光地安全強化事業	H24～H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	今帰仁城跡来訪者（約２６６，５００名見込み）の安全の確保（１２月～２月）	今帰仁城跡来訪者の安全の確保（１２月～２月）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24～H30	世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。	河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上。 観光客の安全･安心な観光基盤構築。 平成２６年度は延長５６０mの内下流左岸９０mの工事を実施する。（全体整備計画の１６%を整備）	･河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られた。 ･観光客の安全･安心な観光基盤構築が図られた。 河川延長５６０mの内下流左岸８８mの工事の実施	○
3	⑦	今帰仁村体験型観光振興事業	H24～H26	今帰仁村の体験型観光の振興に向けて、安心安全の民泊受け入れ体制づくり、村内の自然資源、文化資源を活かし体験型観光商品の開発、修学旅行、社会人研修、スポーツキャンプ、合宿の誘致及び今帰仁村の体験型観光の情報発信等を実施する。	簡易宿所営業許可取得済民泊受入家庭５０軒確保 修学旅行１５受入 新規体験型観光商品メニュー作成 体験型観光パンフレット、マップ作成	簡易宿所営業許可取得済民泊受入家庭５０軒確保 修学旅行１６受入 新規体験型観光商品メニュー作成 体験型観光パンフレットとマップ作成	◎
3	⑧	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25～H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来場者に無料ガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内１１，６００名目標（平成２５年度、案内した来訪者数１１，４００名）	ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内１２，６０３名	◎
3	⑨	金装宝剣拵事業（千代金丸：国宝の模造作成）	H26	尚家主尚裕より平成７年、８年、に同家伝承文化財が沖縄県那覇市に寄贈され、平成１４年に三振りとも「琉球王家尚家伝来品」の一つとして重要文化財に指定される。さらに、平成１８年歴史文書類を加えて「琉球国王尚家関係資料」として国宝に指定される。その宝剣の模造品を作成する。	歴史文化センター入館者１３３，０００人（H２５：１３１，０００人）	歴史文化センター入館者１２６，７６０人	○
3	⑩	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24～H28	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。	テニスコート（４面）の改築工事の完成 多目的広場設計業務の完了 テニスコート照明電気設備工事の完成	テニスコート（４面）の改築工事の完成 多目的広場設計業務の完了 テニスコート照明電気設備工事の完成	◎
4	①	今帰仁村地域安心･安全告知整備事業	H25～H26	近年では、地震発生･集中雨の頻発による土地災害への懸念や津波による大規模災害も想定されることから、緊急性の高い情報伝達、予測段階（注意喚起）での活用、また行政情報の住民への伝達など防災情報に特化せず幅広く活用するための情報伝達手段を整備する。	効果的な情報伝達システム構築（１９行政区小学校３校中学校１校）	―	繰
5	①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26～H33	安定した素生産地の確立のため今帰仁村和牛改良組合が沖縄県農業協同組合の貸付牛を導入する際に、１頭あたり５０万円を上限に導入牛の価格の半額を補助する。	繁殖牛２１頭（全体計画の１２．３%）導入	繁殖牛２５頭（全体計画の１４．７%）導入	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	①	墓地基本計画策定事業	H26～H27	墓地実地調査により、墓地分布図などを作成して墓地の立地特性の把握を行う。村で墓地等経営許可の事務を処理し、墓地利用に的確に対応するために、「今帰仁村墓地基本計画」を策定する。さらに、住民調査などによって、住民ニーズの把握を行う。	実態調査 （19字）村内の墓地分布図の作成	実態調査 （19字）村内の墓地分布図の作成	◎
7	①	地域活動拠点活性化事業	H25～H26	玉城地区は、県道72号線が通って北部の市街地の名護市へアクセスルートが便利な地域である。今後も地域住民の交流の場として利用できる施設が必要であり、かつ各種行事・伝統芸能（芸能祭等）の練習や料理講習、さらに都市及び観光客とも交流できる拠点としての施設を整備する。	地域活動拠点施設の完成	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24～H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に、プランターの設置やく花の植え付けを行う。実施は、「本部まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター設置率：８０．６％【５年間の設置目標に対するＨ２６年度までに設置する割合】（５年間設置目標：１１６０基Ｈ２４実績５４０基Ｈ２５実績２７０基Ｈ２６予定１２５基）	66基 (75.5%)	○
1	②	周遊観光実証調査事業	H24～H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光及び環境整備、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光のサポートを行う人材の育成を行う。	周遊タクシー利用客：７０名	周遊タクシー利用客：250名	◎
1	③	ハブ咬傷防止事業	H25～H29	タイワンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲数年間：２００匹	ハブ捕獲数年間：264匹	◎
1	④	本部町観光プラットフォーム構築事業	H25～H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・ワークショップの開催2回 ・観光ビジョンの構築 ・モニターツアーの実施3回	・ワークショップの開催3回 ・ビジョン構築 ・モニターツアーの実施1回	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑤	山里山百合増殖普及事業	H25～H27	在来種の山百合（鉄砲百合）を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	イベント実施による観客数：３００人【3年間の補植目標に対するH２６年度までに補植する割合】山百合の補植率：４１．６％	―	繰
1	⑥	伝統興行観光化事業	H25～H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。あわせて観光客へも広く伝統興行が鑑賞できる環境を整備し、観光資源化を促進させることで、伝統興行の担い手の経営安定化につなげていく。	伝統興行の実施による観客数（累計）：９００人	伝統興行の実施による観客数（累計）：1,377名	◎
1	⑦	本部町２大まつり事業	H25～H28	本部町の２大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り１０，０００人（２日間合計） ・桜まつり１０，０００人（期間中1日平均）	・海洋祭り3,043名 ・桜まつり10,528名	△
1	⑧	本部町フクギ集落整備事業	H25～H27	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	フクギ集落の排水・舗装・案内板等の実施設計の完了	フクギ集落内道路設計L=2,565m完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	本部半島カルスト案内板設置事業	H26	本部半島カルスト地域において、沖縄県による「ふるさと歩道の整備事業」が平成２３年度～平成２６年度の期間で行われている。沖縄県の整備する範囲以外の町管理道路（町道・農道）沿いに案内版（誘導版）を適所に設置することにより、来訪者がより一層、安心・安全に観光できる地域づくりを行う。	案内版（誘導板）設置率＝１００％（案内板等の設置が必要な箇所：３カ所Ｈ２６年度での設置予定箇所：３カ所）	案内版（誘導板）設置率＝１００％	◎
1	⑩	本部町民泊推進・発展事業	H26	本部町民泊事業の発展・向上のため、受入民家スキルアップを目的とする各種講習会の実施、充実した体験学習、本部町民泊ＰＲを行い、地域資源の活用や各種団体との連携を図り、地域の活性化へつなげる。	スキルアップ講習会参加延人数：１８０名 体験学習向上：７件 ＰＲ宣伝：パンフレット等作成	スキルアップ講習会参加延人数：１２１名 体験学習向上：８件 ＰＲ宣伝パンフレット作成5，000部 ＰＲ映像の作成	○
1	⑪	八重岳観光拠点整備事業	H25～H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜（緋寒桜）の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水工事の完了Ｌ＝３，３３１ｍ 伐採工の完了Ａ＝３７，６７５ｍ２	－	繰
1	⑫	本部町景観形成重点地区指定等事業	H26～H27	本部町景観計画の景観重点地区に新たに「名護本部線周辺地区（仮）」「八重岳桜の森公園（仮）」の指定に向け景観形成方針・景観形成基準（案）を検討し、住民ワークショップ等を開催して住民との合意形成を図り、景観審議会の意見も踏まえ景観形成方針・景観形成基準の案を作成する。	景観重点地区の景観形成方針及び基準についてとりまとめる	景観形成方針及び基準（案）の作成	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑬	観光漁業実証調査事業	H26～H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	中層型浮漁礁を2基設置し、観光プログラム確立に向けた計画策定及び実証試験の検証をとりまとめる	魚礁2基設置完了 計画策定完了 実証試験実施	◎
2	①	本部町キク拠点産地強化事業	H24～H26	本部町のキク栽培における現状は、栽培農家の高齢化による労働力不足や、新たな担い手の確保等が課題となっている。そこで、下葉とり、高さ揃え、重量選別、結束を同一機械で行う花き選別機の整備を図り、一連の出荷作業の機械化体系を確立することにより、品質及び生産性の向上、経営規模の拡大を進め、担い手農家の確保や、農家所得の向上を図る。	農家の選別作業の軽減を図り、キクの品質及び生産性を向上させる	労働時間479h/10a	◎
2	②	園芸農業防災施設整備事業	H24～H26	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくでるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	・自然災害や病害虫による農作物被害の低減化を図る ・ビニールハウスの活用により生産性の向上を図る	・自然災害や病害虫による農作物被害の低減化を図る5件 ・ビニールハウスの活用により生産性の向上を図る5件	未
2	③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24～H28	本町の果樹類については、カラス、ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、果樹農家の生産意欲が低下している。そこで鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	１０アール当たりのタンカン収量を８００ｋｇ目標	740ｋｇ/10a	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	④	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24～H28	観光文化の町である本町は、観光客向けのホテルやレストラン、飲食店等を数多く有しているが、地元産食材のまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため、地元産の食材はほとんど活用されていない。地元で生産されたものを地元で消費する『自産地消推進モデル』を構築し、年間３００万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせることで地域経済の活性化につなげる。	出品登録者数：６０人 町内取引先数：３０業者	出品登録者数：１６８人 町内取引先数：５０業者	◎
2	⑤	もとぶピージャー産地確立推進事業	H25～H26	沖縄県内で消費されている山羊肉の約8割が輸入山羊肉であるという事実から、本事業により県内産の山羊を改良増殖することで地産地消を推進する。	本部町内飼養頭数６４０頭 対象施設出荷頭数４０頭	－	繰
2	⑥	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25～H29	優良母牛の地域基盤創出のため、優良母牛導入につき補助金を交付する。	優良母牛導入頭数：３５頭	優良母牛導入頭数：３５頭	◎
3	①	もとぶのマーサムン・ミジラシムンづくり支援事業	H25～H28	本部町の特産品を開発するため、本部町内の企業等に開発を委託し、より多くの特産品をつくりあげる。なお、開発した特産品については、その製法・仕様を本部町内の企業等に無償で提供する。	開発した特産品の製法・仕様の公開	0社	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	音楽のまちづくり事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラッシク、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンルの音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。また音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。	音楽イベント来場者数４５０人	音楽イベント来場者数４７３人	◎
4	②	モトブンチュ人材育成事業	H25～H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	伝統文化継承教室開催数 三線・琉舞等２４０回 目標参加者数２，６００人 町内イベントでの体験型プレイショップ開催数3回 目標参加者数６００人	伝統文化参加者数 延148回 延1,732人 体験型プレイショップ 延4回 延229人	未
5	①	赤土流出防止検討調査事業	H24～H28	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている、海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び排水路でのフィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	現地調査事業：満名川支線流域：１流域 流出対策事業：調査済流域：１件 グリーンベルト植栽事業：１件	現地調査事業：満名川支線流域：２流域 流出対策事業：調査済流域：０件 グリーンベルト植栽事業：１件	△
6	①	本部町墓地基本計画策定事業	H26	沖縄県は、他県とは歴史的・文化的に背景が異なることから、個人で墓地を所有する習慣が根強く、これらの地域特性を考慮して個人墓地を認めてきた経緯がある。その結果、幹線道路沿いや住宅街などにも墓地の散在化が見られ、住環境や景観上の問題とともに都市計画や土地利用の面からも支障が生じている。このような墓地問題に的確に対応することが急務となっているため総合的な指針となる「本部町墓地基本計画（仮）」を策定する。	・本部町墓地基本計画一式 本町の墓地行政の指針を示すことにより、墓地に関する住民意識の向上及び墓地の散在化防止を図り、住環境の保全に努める	墓地基本計画策定	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	①	本部町学力向上学習支援事業	H26～H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちに対し学力向上の支援を行う。町内小、中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数･数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において県平均値以上を目標	107.29%	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

恩納村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	文化･観光情報発信拠点整備事業	H24～H26	恩納村の歴史･文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する拠点及び、地域住民が郷土の歴史･文化等を学習する場とし、新しい観光資源を活用した文化交流型産業を担う人材の育成を図る拠点として、「恩納村文化情報センター」の建設工事及び観光情報システムの整備を実施する。	文化情報センター建設工事の完了 文化情報センター観光情報システムの整備の完了	文化情報センター建設工事の完了 文化情報センター観光情報システムの整備の完了	◎
1	②	仲泊内海周辺活性化施設整備事業	H24～H28	恩納村及び西海岸リゾート地域の玄関口である仲泊内海を魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施するため、平成24年度に実施したプロムナードに引き続き、魅力あふれる観光地づくりとして駐車場拡充及び周辺外構等の整備を実施する。	仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計工事及び周辺外構工事の完了	仲泊内海周辺に隣接する駐車場改修設計工事及び周辺外構工事の完了	◎
1	③	県外観光客誘客促進事業（おんな村観光物産展事業）	H24～H26	東京池袋（サンシャインシティ）において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサー演舞や特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数：69，000人 基準年（H23）：48，000人	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数：75，300人	◎
1	④	恩納村「みどりの回廊」整備事業	H24～H28	魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線及び村内景勝地周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化へ繋げる。	植栽本数：400本 漂着ゴミ除去箇所：11箇所	植栽本数：666本 漂着ゴミ除去箇所：11ヵ所	◎
1	⑤	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	H24～H26	外来種のタイワンハブ等が観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道（歴史の道）周辺で頻繁に発見、捕獲され、観光地での散策者への咬症事故が予想されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。	ハブ捕獲器設置完了 ハブ捕獲数：180匹	ハブ捕獲器設置完了 ハブ捕獲数：165匹	○
1	⑥	恩納村観光ナビマップ（多言語）作成事業	H26	国内外から来訪する観光客や長期滞在者に対応するため、日本語を含めた4カ国語のナビマップを作成する。	恩納村観光ナビマップの作成 日本語＋英語：6万部 日本語＋韓国語：2万部 日本語＋中国語：2万部	恩納村観光ナビマップの作成 日本語＋英語：6万部 日本語＋韓国語：2万部 日本語＋中国語：2万部	◎
1	⑦	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24～H28	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。	万座毛周辺活性化施設の実施計画の策定	―	繰
1	⑧	保安林等環境整備事業	H26	海岸線や沿道沿いの保安林内の樹木による隣接する住宅、農地等への被害防止及び沿道の歩行者やビーチ利用者の安全･安心を確保するため、枯死･衰退した危険木の伐倒及び枝の剪定を実施する。	歩行者やビーチ利用者の安全性の確保 景観の保全 伐倒の完了（調査済み箇所の100%）	安全性の確保 景観の保全 伐倒の完了（調査済み箇所の100%）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24～H33	阪神春季キャンプの受入体勢の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源を開拓していく。	・阪神春季キャンプ継続受入 ・オープン戦の開催 ・キャンプ来場者（90,000人）	・阪神春季キャンプ開催 ・オープン戦無し ・キャンプ来場者（63,800人）	△
1	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24～H33	教育・観光振興、人材育成を図るとともに、宜野座村の魅力をアピールし村全体の活性化を図るために、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に、文化イベント事業の開催やお出かけアウトリーチ事業、国際交流イベント事業を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数 H24年：3940名 H25年：2200名余 H26年：2500名 ・お出かけ公演実対象者数 H24年：2565人 H25年：2151人 H26年：2650人 ・子ども育成事業人数（30名） （ストリートダンス教室）	・芸術文化・伝統芸能公演の開催集客数（5,257名） ・お出かけ公演実施集客数（4,626名） ・子ども育成事業人数（23名）	○
1	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25～H33	宜野座村の着地型観光を推進するため、地域資源を活用した地域発信の観光事業を展開するとともに、観光商品の事業化に向けた取り組みを推進する。また、地域企業との連携を密にし、地域コーディネーターの強化、PR活動に必要な情報媒体の整備、イベント事業展開等の支援を行う。	1．観光誘客プロモーション事業 （1）案内所来場者数：1,000名 （2）ＰＲ活動：ブースＰＲ展（5回） （3）観光ノベリティーグッズ ファイルでバッグ（1,000枚） 手提げ袋（1,000枚） スティック消しゴム（768個） タンブラー（60個） ふせん・メモセット（100個） ピンノックボールペン（100個） （4）媒体作成事業 パンフレット （1,000部）／Web（閲覧者36,000人年／情報 誌掲載（1回） （5）観光カレンダー（300部） 2．観光プログラム開発実施事業 （1）親子体験ツアー1回（４０人） 3．観光人材育成事業 （1）先進地研修（長崎県）1回、報告会（1回） 4．イベント事業 （1）第2回沖縄バーガーフェスタ（5,000人） （2）第1回フラワーロードフェスティバル（50,000人）	観光誘客プロモーション事業 (1)観光案内所設置（2,300人） (2)PR活動：ブース展（5回） (3)観光ノベリティーグッズ ファイルでバッグ（2,000枚） 手提げ袋（0枚） スティック消しゴム（0個） タンブラー（0個） ふせん・メモセット（3,000個） ピンノックボールペン（0個） (4)媒体作成事業 ・パンフレット作成（3,500部） ・WEB閲覧者（108,985人） ・情報誌掲載（1回） (5)観光カレンダー（300部） 観光プログラム開発実施事業 (1)親子体験ツアー（25人） 観光人材育成事業 (1)先進地研修（1回）、報告会（1回） イベント事業 (1)第2回バーガーフェスタ（8,000人） (2)第1回フラワーロードフェスティバル（63,800人）	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	④	リバーパーク整備事業（未来ぎのざ周辺整備）	H24～H33	平成23年度に作成した「漢那福地川リバーパーク基本計画」を素案として、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。一昨年はパークゴルフ場を整備し、昨年度は拠点整備用地（無地番地）について測量調査を実施した。本年度は当該地の用途廃止及び村有地化を図る。	・リバーパーク整備等検討委員会を設置し、漢那福地川周辺と宜野座村の観光振興に向けた施策について取りまとめる。 ・無地番地の村有地化を図る。	・検討委員会の開催(3回)整備方針を取りまとめた。 ・用地表題登記完了。 ・国有地を購入（村有地化を図った。）	◎
1	⑤	スポーツ施設機能高度化事業（総合体育館機能高度化事業）	H25～H26	観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進する為、又、青少年や競技者の技術向上に寄与し幅広い年齢層人々に対して健康増進及び地域のスポーツ振興に貢献する為施設の機能強化を図る。	地域のスポーツ振興に資するため平成26年度に おいて左記活動目標を実施し、機能強化を完了 する。	機能強化を完了（100%）	◎
2	①	小学校学力向上対策事業	H24～H33	児童一人一人へ確かな学力と生きる力を育成するとともにTT（チームティーチング）による指導で判断力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図るため、小学校に学習支援員を配置する。	支援児童数：４４９人 平成２６年４月２２日に実施される、全国学力学習状況調査における平均正答率目標 国語ＡＢ：60.0%（平成25年度結果：58.2%） 算数ＡＢ：65.5%（平成25年度結果：65.3%）	支援児童数：４４６人 平成２６年４月２２日に実施される、全国学力学習状況調査における平均正答率 国語ＡＢ：62.6% 算数ＡＢ：66.1%	○
2	②	中学校学力向上対策事業	H24～H33	中学校に学習支援員を配置し生徒一人一人へ確かな学力を身につけさせ、生きる力を育成するとともにTT（チームティーチング）による指導で判断力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図る。	支援生徒数：１９４人 平成２６年４月２２日に実施される度全国学力学習状況調査における平均正答率目標 国語ＡＢ：60.0%（平成25年度結果：57.9%） 算数ＡＢ：41.3%（平成25年度結果：36.3%）	支援生徒数：１９６人 平成２６年４月２２日に実施される度全国学力学習状況調査における平均正答率 国語ＡＢ：53.6% 算数ＡＢ：45.6%	○
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24～H33	幼稚園において、預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活が送れるような支援を充実させていく。	預かり保育希望園児の受入率：100% （預かり保育受け入れ可能園児数：６０人）	預かり保育希望園児の受入率：110% （預かり保育受け入れ可能園児数：６６人）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	④	学校ICT機器整備事業	H26	村内小中学校のICT機器の整備拡充及びその活用により児童生徒の基礎学力の向上充実を図る。	タブレットPC購入設置：２９台 タブレット収納保管庫購入設置：１台 タブレットを整備することにより、わかりやすい授業を行い児童生徒の学力向上につなげる。	タブレットPC購入設置：２５台 タブレット収納保管庫購入設置：１台 漢字の読書きができる90% 計算が正しくできる。96%	○
3	①	有機の里宜野座村確立事業	H24～H33	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施し、エコ農産物の有利販売を行う。	①宜野座村エコビレッジ推進協議会で、アドバイスを受けた農家数や農業技術営農指導体制・エコファーマー認定数・エコ農産物販売等の内容について報告し検討する。 ②アドバイスを受けた農家数：10農家 ③農業技術営農指導：5回実施 ④エコファーマーの認定数：2名 ⑤エコ農産物の有利販売量：H23　0トン→H26 80トン	①エコビレッジ推進協議会1回 ②アドバイスを受けた農家数：１０農家 ③農業技術営農指導：３２６回 ④エコファーマーの認定数：８名 ⑤エコ農産物の有利販売量：６２トン	○
3	②	宜野座村エコビレッジ推進事業	H25～H33	エコビレッジ構想を行うため、宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催やアドバイザーの設置、滞在型・日帰り型市民農園の開設の検討を行う。	農業体験や滞在型市民農園を中心とした宜野座村エコビレッジ構想について、協議会において取りまとめる。	宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催（1回）	◎
4	①	サーバーファーム設備機能高度化事業	H25～H28	宜野座サーバーファームについては現在、施設機能の旧式化が課題となっている。そのため昨年度実施した基本調査を踏まえ、今年度は空調設備の増設や付帯工事を行うことでバックアップデータセンターとしての施設機能の高度化を図り入居企業の誘致及び支援に寄与する。	・空調設備の増強による、ラック数増加に向けた入居企業の営業展開支援基盤の整備 ・データセンター機能の高度化と合わせた企業誘致活動への反映	・空調設備の増強 ・入居企業の営業展開支援基盤の整備（空調設備のみ） ・企業誘致活動への反映(今回の空調増強により、施設の機能高度化が成された)	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

金武町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	特用林産物（ぶなしめじ）販売促進事業	H26～H27	町内で年間２６０トン生産される「ぶなしめじ」の販売促進を行う為の冷蔵車備品購入と冷蔵倉庫施設実施設計業務委託を行い、林業の振興を図る。	冷蔵車2台の納車 冷蔵庫設計の完了	冷蔵車2台の納車 冷蔵庫設計の完了	◎
1	②	家畜排泄物有効利用事業	H26～H27	平成２０年７月に公表された「金武町バイオマスタウン構想」に基づき、液肥利用による減化学肥料による環境循環型農業を目指すものである。畜産農家と耕種農家の連携強化を図るため、バキューム車を購入する。事業の内容は、畜産農家から家畜排泄物を回収、町の貯留タンクを活用し嫌気発酵により液肥を製造、製造した液肥を耕種農家の畑地等に散布する環境循環型の農業を目指すものである。	平成２６年度液肥利用２，３１９ｔ／３台	平成２６年度液肥利用１，９０２ｔ／３台	○
2	①	金武町雇用対策事業	H25～H29	ギンバル訓練場跡地利用に係る進出企業等へ、運営開始等の新たなる雇用を促進するため、進出企業等が町民を雇用した場合の研修費用を支援する。①金武町雇用対策事業	雇用者数：５人	雇用者数：５人	◎
3	①	小中学校学習等支援事業	H24～H33	チームティーチング指導、電子黒板等による情報化教育、英語指導助手を活用した英語教育、習熟度別によりきめ細かな学習支援を実施する。	町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率 小：A問題（国語）59% 小：A問題（算数）65% 小：B問題（国語）42% 小：B問題（算数）49% 中：A問題（国語）67% 中：A問題（数学）47% 中：B問題（国語）63% 中：B問題（数学）23%	町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率 小：A問題（国語）64.9% 小：A問題（算数）74.3% 小：B問題（国語）45.4% 小：B問題（算数）48.7% 中：A問題（国語）61.5% 中：A問題（数学）36.2% 中：B問題（国語）32.7% 中：B問題（数学）22.1%	△
3	②	幼稚園預かり保育事業	H24～H33	子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	今年度の預かり保育受入率１００％	今年度の預かり保育受入率１００％	◎
3	③	特別支援教育支援事業	H24～H33	発達障害等を持つ幼児・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	就学指導委員会判定（特別支援）にかかる幼児・児童・生徒の在園、在学児童生徒数に対する減少率：４％	就学指導委員会判定（特別支援）にかかる幼児・児童・生徒の在園、在学児童生徒数に対する減少率：６．８％	未
3	④	ICT教育備品整備事業	H25～H29	児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室にパソコンを導入。情報教育による学力向上を図る。	IT教室パソコン整備進捗率３９％	IT教室パソコン整備進捗率３９％	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

金武町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	金武町青年海外派遣事業	H24～H33	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米に派遣する。	帰国後、対米請求権地域振興事業の助成金で受入れている金武町海外移住者子弟研修生（5名～6名）との交流の場をもうけ各国町人会との絆の発展を図る。（2回） 町内小・中学校での報告を兼ねた出前授業を実施することで児童・生徒の国際理解教育につなげていく。	帰国後、対米請求権地域振興事業の助成金で受入れている金武町海外移住者子弟研修生（5名～6名）との交流の場をもうけ各国町人会との絆の発展が図られた。（2回） 町内小・中学校での報告を兼ねた出前授業を実施することで児童・生徒の国際理解教育につなげていく。（未実施）	△
5	①	文化観光振興拠点施設機能強化事業	H25～H26	自然・スポーツ・各種イベント等の既存の地域観光資源と連帯した魅力あるまちづくりの形成及び本島北部地域（やんばる）、本県の観光振興に寄与することを目的に、地域文化の継承発展や生涯学習の振興など文化力の向上を図るため、文化振興拠点施設の機能強化を実施する。	照明器具の充実強化 （既存の照明器具をデジタル化することにより機能強化を図り、多種多様なイベントに対応できるよう整備し、施設利用者の増につなげる。）	照明器具の充実強化 （既存の照明器具をデジタル化することにより機能強化を図り、多種多様なイベントに対応できるよう整備し、施設利用者の増につなげる。）	◎
6	①	金武町防災情報システム整備事業	H25～H27	大規模災害等の発生に備え、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備することにより、災害に強く安全な町づくりを行う。平成26年度は、ネットワークの延長及び屋外スピーカーを19箇所整備する。	・屋外拡声子局放送周知エリアの拡大（人口比） H26　92.0% ・上記エリアの避難訓練参加率40%以上	・屋外拡声子局放送周知エリアの拡大（人口比） H26　92.0% ・上記エリアの避難訓練参加率22.10%	△
7	①	ギンバル地区電線地中化事業	H26～H28	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウエルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。そのギンバル訓練場跡地では電気や電話の電線を地中に埋設し景観に配慮した空間を整備し、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を目指すものである。	電線地中化総延長：2,414m 平成26年度L＝1,306m	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊江村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1		伊江村HPサービス拡充強化事業	H26～H27	観光客の誘客拡大を目指し、村のHPにおいて観光情報や防災情報など国内外に情報発信するため多言語対応や船舶予約システムなどコンテンツ開発やシステム構築を行いの機能拡充強化を図る。	・伊江村HPシステムの構築 ・車両航送予約システムの構築 ・車両航送業務システム構築	・伊江村HPシステムの構築 ・車両航送予約システムの構築 ・車両航送業務システム構築	◎
2		離島防災備蓄品設置対策事業	H26	本村の地域防災計画において、避難場所を数か所選定しているが、防災に関する備蓄品、備蓄倉庫が整っていないという状況である。地震・津波等で避難所となる場所に、非常食や生活必需品等の整備及び備蓄品の収納可能な備蓄倉庫を整備する。	・備蓄倉庫の整備8ヵ所完了 ・備蓄用品・資機材等の整備8ヵ所分完了 ・伊江村地域防災計画に基づき、非常用食糧の目標達成率100％（2250食）整備完了。【内訳：村の人口（観光客含む）の1／20の3日分】	・備蓄倉庫の整備8ヵ所完了 ・備蓄用品・資機材等の整備8ヵ所分完了 ・伊江村地域防災計画に基づき、非常用食糧の目標達成率100％（2250食）整備完了。	◎
3	①	フラワーロードプロジェクト推進業務	H24～H26	年間を通じて休耕地や沿道沿い等に四季を通じた植栽を行い、フラワーアイランドとして県内外へアピールし観光上の向上に努める。	・主要幹線道への配置計画整備率100％ ・プランター400個 （H24・25　300個、H26　100個） ・花の苗7，200本植栽 （H24・25　4，800本、H26　2，400本）	・主要幹線道への配置計画整備率100％ ・プランター400個 （H24・25 300個、H26　150個） ・花の苗7，200本植栽 （H24・25 4，800本、H26　2，400本）	◎
3	②	村花・世界のゆり植栽推進業務	H24～H28	村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。	伊江島ゆり祭り来場者（H24年33，000人→H26年34，000人）	伊江島ゆり祭り来場者　31，000人	○
3	③	名所・景勝地等案内板設置工事	H24～H26	観光地に施設名称板、観光説明板を設置し観光客受け入れ態勢を強化する。	村内観光地等導線の配置計画整備率100％（3年間設置目標） ・誘導案内板50基（H24　30基、H25　20基） ・施設名称板10基（H24　2基、H26　8基） ・説明案内板9基（H24　2基、H25　1基、H26　6基） ・総合案内板7基（H25　7基）	村内観光地等導線の配置計画整備率100％（3年間設置目標） ・誘導案内板50基（H24　30基、H25　20基） ・施設名称板10基（H24　2基、H26　8基） ・説明案内板9基（H24　2基、H25　1基、H26　6基） ・総合案内板7基（H25　7基）	◎
3	④	集客イベント活性化支援事業	H26	地域外からの集客を想定したスポーツ、文化、観光イベントの実施に付帯するテントや音響設備等の環境を整備し、集客の増加を図る。	・パワーテント、音響・照明機器購入	・パワーテント、音響・照明機器購入	◎
3	⑤	地域認知向上支援事業	H26	観光・物産の対外戦略を支援するため、地域キャラクターを公募等で選定し、認知工場戦略の一助として活用する。各種イベントや地域PRに向けたツールとして制作する。	・地域キャラクターの制作完了	・地域キャラクターの制作完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊江村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	観光客誘客環境整備事業	H26	観光客が安心、安全、快適に村内観光施設等を利用できるよう、炎天・雨天時の修学旅行、各種団体客が全体で入村、離村の集会が可能な全天候型の集会施設の整備や青少年旅行村内炊事場の設置、ハブクラゲネットの設置など観光地としての環境整備及び機能拡充を図る。	①キャンプや野外活動に必要な炊事・調理スペースを利用者のニーズに即したキャンプ場炊事場工事。②数々の原種、園芸品種を植栽展示する展示圃場施設の整備 ③利用者の利便性向上のため、村内各所の観光地のトイレを和式から洋式に整備 ④炎天・雨天時の修学旅行や各種団体観光客の全体で行う入村・離村等の集会を行うための施設を整備する。 ⑤ニーバンガジュマル施設を駐車施設の整備 ⑥アハシャガマにおける見学や交通の安全性を確保のため防護柵設置 ⑦伊江ビーチに海洋危険生物防護ネットを整備 ⑧伊江ビーチの海岸漂着物等を効率的に除去し、ビーチ及び旅行村内を整備するためのトラクター購入	①キャンプや野外活動に必要な炊事・調理スペースを利用者のニーズに即したキャンプ場炊事場工事。 ②数々の原種、園芸品種を植栽展示する展示圃場施設の整備 ③利用者の利便性向上のため、村内各所の観光地のトイレを和式から洋式に整備 ④炎天・雨天時の修学旅行や各種団体観光客の全体で行う入村・離村等の集会を行うための施設を整備する。 ⑤ニーバンガジュマル施設を駐車施設の整備 ⑥アハシャガマにおける見学や交通の安全性を確保のため防護柵設置 ⑦伊江ビーチに海洋危険生物防護ネットを整備 ⑧伊江ビーチの海岸漂着物等を効率的に除去し、ビーチ及び旅行村内を整備するためのトラクター購入	◎
4		衛星船舶電話購入設置補助事業	H26	現在、漁業者が所有する衛星船舶電話は通信方式の変更で平成26年3月末で使用する事ができなくなる。通信方式の変更に伴い、高額な衛星電話の購入が必要となるが、昨今の燃油コストの高騰や魚価の低迷のなか、漁業者への更なる経済的負担の軽減及び安全な操業を確保する為、漁船へ衛星電話の設置補助を行う。	船舶電話の設置：30台（艘） （対象：漁業組合所属96艘中、ソデイカ・マグロ漁を行う30艘）	船舶電話の設置：25台（艘） （対象：漁業組合所属96艘中、ソデイカ・マグロ漁を行う30艘）	○
5	①	乳用牛繁殖雌牛更新事業	H26 ～ H30	伊江村酪農経営の安定化及び村畜産業における乳生産量の向上を図るため、2産（4歳）以上した母牛を淘汰し地域保留や県外から導入した優良繁殖雌牛（素牛）に対して、補助金を交付し、安定した生乳出荷を行う事で、信頼性のある産地づくりを図る。	活動目標指数（年間：20頭更新）の達成 （今年度において、20頭の乳用経産牛を更新し、全体計画のうち20％の更新率を成果目標とする。またこれにより、泌乳量量増加や乳質改善が図られ本村の畜産業の振興に繋げる。）	活動目標指数（年間：16頭更新）の達成	○
5	②	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ～ H30	子牛の生産性向上並びに畜産業の新規担い手や後継者育成のため、県内・外の家畜セリ市場において優良繁殖素牛（雌）を購入した伊江村和牛改良組合員に対して、補助金を交付し、経営の安定化及び優良遺伝繁殖雌牛の生産を図る。	活動目標指数（年間：100頭導入）の達成 （今年度において、優良繁殖雌牛を100頭導入し全体計画のうち20％の導入率を成果目標とする。これにより飼養頭数拡大及び、優良遺伝生産子数の増加が期待され、市場性の向上並びに本村の畜産振興を図る）	活動目標指数（年間：106頭導入）の達成	◎
5	③	死亡獣畜冷凍輸送事業	H26	疾病や事故等で死亡した家畜については、島内に処理施設がないため、埋却処分を行っていたが、島外へ輸送する為の冷凍輸送型コンテナを導入することで、本島施設での焼却処分が可能となり、畜産環境整備や衛生管理の向上を図る。	冷凍装置付輸送コンテナ、ステンレス製バッカンを購入し、畜産環境整備や衛生管理の向上を図る。	冷凍装置付輸送コンテナ、ステンレス製バッカンを購入し、畜産環境整備や衛生管理の向上を図った。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊江村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6		伊江村海岸美化推進事業	H26	周囲を海で囲まれた村において、漂着ごみの処理及び自然環境の保全は重要であり、美しい景観を形成し観光振興を図るために小型焼却炉の導入及び付帯するスットクヤードの整備や大型のごみの破砕機を購入する。	小型焼却炉導入、建屋整備、破砕機購入を行う。	小型焼却炉導入、建屋整備、破砕機購入を行った。	◎
7		小型高速旅客船就航可能性調査	H26	離島住民の定住及び離島振興のためには交通手段の快適性･利便性の向上を図るとともに、船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制が重要である。既存カーフェリーと新たな小型高速船の航路体系の在り方の検討及びその採算性、小型高速船の就航に係る課題等の整理、本島への通勤･通学の可能性についての調査を行う。	小型高速船の航路体系の在り方の検討及びその採算性、小型高速船の就航に係る課題等の調査を行い、船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制等を検証する。	小型高速船の航路体系の在り方の検討及びその採算性、小型高速船の就航に係る課題等の調査を行い、船舶事業の健全経営による継続可能な運航体制等を検証した。	◎
8		伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26～H30	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送運賃コスト負担の軽減の助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する補助台数年間約1．6万台	車両航送に対する補助台数年間約15，954台	○
9	①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25～H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	･児童生徒（対象数：380人）個々の習熟度に応じた学習支援体制を整えることにより、学習意欲の向上･学力の底上げを図る。 ･県学力到達度調査において、正答率30％未満の児童生徒数の割合を減らし、村全体の学力向上を図る。	･児童生徒（対象数：384人）個々の習熟度に応じた学習支援体制を整えることにより、学習意欲の向上･学力の底上げを図った。 ･県学力到達度調査において、正答率30％未満の児童生徒数の割合を減らす。未達成。	△
9	②	各種大会派遣費助成事業	H25～H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。	･各種大会派遣人数：680人	･各種大会派遣人数：1，966人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	景観形成事業	H24～H28	読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のため、ヤチムンの里地区を景観地区に指定する。また、座喜味地区においては意見交換等を行い、景観地区（案）を作成する。	（ヤチムンの里地区）景観地区の指定 （座喜味地区）景観地区（案）の作成	（ヤチムンの里地区）景観地区の指定：法定手続中 （座喜味地区）景観地区（案）の作成	△
1	②	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24～H33	読谷村のスポーツ施設の状況や受け入れ体制のアピールをするとともに読谷村の観光資源や特産物をPRするイベント（仮称「読谷デイ」）を実施することにより、キャンプの継続実施とキャンプ開催時期における誘客を図る。	誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者（40，000人） 集客イベントの来場者数（2，000人） 観光PRチラシ配布3，000枚	誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者：45，000人超 集客イベントの来場者数：1，407人 観光PRチラシ配布：3，000枚	○
1	③	危険生物駆除事業	H25～H33	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。	捕獲数：100匹／年	捕獲数：130匹	◎
1	④	ヨミタンJOHO発信事業（読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業）	H25～H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。	FM放送番組の製作・放送（毎日） チラシ100，000枚配布	FM放送番組の制作・放送（毎日） チラシ68，500部配布	○
1	⑤	世界遺産座喜味城跡管理活用事業	H25～H29	読谷村（沖縄県）には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群（座喜味城跡）」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が所在する。これらを重層的に活用し、冬場の観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。	座喜味城跡のライトアップ来場者数150人／日 座喜味城跡ガイドリーフレットの配布45，000部 座喜味城跡の入場者計測日数（3回：計21日）	座喜味城跡のライトアップ来場者数：115人／日 座喜味城跡ガイドリーフレットの配布45，000部 入場者数計測（3回：計21日）	○
1	⑥	ヨミタンブランド力パワー・アップ大作戦事業	H25～H30	読谷村そのものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品をトータルで読谷ブランド品と位置づけ、その良さを全世界に発信するための取り組みを行う。平成26年度は、平成25年度事業において決定したブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開していく。	イメージキャラクター着ぐるみの完成 プロモーション事業の実施（3事業を予定）	イメージキャラクター着ぐるみの完成（2体） プロモーション事業の実施：3事業	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画策定事業	H26	平成２４年度に策定された第２次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画に示す運動施設の整備を進めるにあたり、本村及び沖縄県が推進するスポーツコンベンション等のスポーツと観光の融合を視野に入れた施設の整備を計画的、効果的に推進するため、各施設の整備計画を定めるなど、業務執行の指針を策定する。	基本計画の策定完了	基本計画の策定完了	◎
1	⑧	読谷まつり運営事業	H26	地域の伝統文化を継承・創造・発展するため、村民総参加により開催している読谷まつりを村内外、県外等へ広くＰＲするとともに観光誘客へ繋げるため、４０周年の節目として第４０回読谷まつり開催する。	来場者数：１０万人（Ｈ２５：７万人／２日） 県外団体受入：７団体（Ｈ２５：３団体）	来場者数：１１．２万人 県外団体受入：７団体	◎
1	⑨	スポーツコンベンション誘致促進事業（設備等強化事業）	H26	体育施設における利用者のニーズが高い設備等を設置し、利便性の向上を図るとともに、スポーツコンベンションの誘致促進に寄与する。	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	◎
1	⑩	読谷村地域振興センター（仮称）整備事業	H25～H27	読谷補助飛行場跡地における主な課題である「農業を主体とした６次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」の解決を図るため農漁商工の連携による地域振興と交流拠点づくりのため「読谷村地域振興センター（仮称）」を整備する。	建築物（地域振興センター）の一部完了（進捗率３５．５％）	-	繰
1	⑪	観光漁業推進事業	H26	観光漁業の推進及び漁業振興を図るため、増加する漁業研修や観光客の受入体制を強化する必要があることから、漁業協同組合集会施設の機能強化を図る。	空調設備設置 研修・視察対応機器等設置	空調設備設置 研修・視察対応機器等設置	◎
2	①	小中学校情報教育支援員配置事業	H24～H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	情報教育支援員を小学校（５校）、中学校（２校）で３名配置し、ICT関連機器の活用のため、児童生徒、教員へのサポートを行う。	情報教育支援員を小学校（５校）、中学校（２校）で３名配置	◎
2	②	日本語教育支援員配置事業	H24～H33	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。	日本語を習得していない外国籍児童や二重国籍児童及び帰国児童への対応でクラス全体の授業の進捗に影響が生じているなどの教育現場の課題解消に努めるため日本語教育支援員２名を配置する。	日本語教育支援員３名を配置	◎
2	③	小中学校学習支援員配置事業	H26～H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	担任教諭、算数・数学指導教諭と連携し、算数・数学等の学習に遅れのある児童生徒への支援を行う。	担任教諭、算数・数学指導教諭と連携し、算数・数学等の学習に遅れがある児童生徒への支援を行った	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	④	特別支援教育支援員配置事業	H26～H33	各幼稚園・小学校・中学校に在籍している、園児・児童・生徒で特別な支援が必要な子たちへの個別支援を行い、対象児に合わせた学校生活を送れるようにする。	支援が必要な子に合わせた支援を行う事で、在籍中の困り感をなくし、また、自立へ向けた支援を行う事で、通常学級への復帰、社会適正能力を高める。	支援が必要な子に合わせた支援を行う事で、在籍中の困り感をなくし、また、自立へ向けた支援を行う事で、通常学級への復帰、社会適正能力を高めた	◎
2	⑤	中学校ICTパソコン教室機能強化事業	H26	学校教育に資する学校教育用パソコンを中学校へ導入し、情報化社会に対応する上で必要な知識・技能の習得を図る。また、教科の中で活用するすることにより効率的な知識の習得定着に役立てる。	教育用PCを読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台設置整備する。	教育用PCを読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台設置整備	◎
2	⑥	小中学校日除け休憩所設置事業	H26	村内小中学校の屋外運動場に日除けになる休憩所を設置することにより、児童生徒等の熱中症予防を図る。	屋外運動場内に日除休憩所を中学校へ4箇所、小学校へ5箇所、計9箇所に設置完了（設置率：100%）	屋外運動場内に日除け休憩所を小学校に5箇所、中学校に4箇所、計9箇所に設置完了（設置率：100%）	◎
3	②	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定事業	H26	平成25年度実施の楚辺通信所跡地シムクガマ整備・保全基礎調査委託業務報告書に基づき、楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務を実施する。	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務報告書の完成	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務報告書の完成	◎
3	③	読谷補助飛行場返還の碑整備事業	H26	平成25年度に実施した読谷補助飛行場返還の碑基本計画策定業務に基づき、整備事業を実施する。	読谷補助飛行場返還の碑の完成	読谷補助飛行場返還の碑の完成	◎
3	④	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託事業	H25～H26	平成25年度に実施した読谷補助飛行場跡地地区広場（基本計画）策定業務」に基づき、地区広場の実施設計等支援委託業務を実施する。	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の完了	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の完了	◎
3	⑤	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計策定事業	H26	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する国道バイパスや区画整理地との整合を図るため、基本設計を行う。	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計委託業務報告書の完成	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計委託業務報告書の完成	◎
3	⑥	嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地（国道東南部地区及び周辺）都市計画決定図書等作成支援事業	H25～H26	多様な環境資源を保全する事で大規模駐留軍用地跡地等の利用推進を図るため、昨年度作成した説明書に基づき、公園と緑地の予定地にかかる都市計画道路を一部変更する事に向けた法定手続図書の作成を行う。	当該地区のまちづくりや、豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用の指針をとりまとめる。	当該地区のまちづくりや、豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用の指針をとりまとめた	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H28	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	文化財ガイドマップ設置完了：3箇所	文化財ガイドマップ設置完了：3箇所	◎
4	②	座喜味城跡駐車場整備事業	H25～H26	世界遺産座喜味城跡への来客者の利便性を図るために駐車場を整備する。	駐車場（普通車約30台収容）の整備完了	-	繰
4	③	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24～H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。	H25年度調査報告書完成 記録テープ数（100本）の反訳原稿の整理	H25年度調査報告書完成 記録テープ数（100本）の反訳原稿の整理	◎
4	④	沖縄語（しまくとぅば）保存継承事業	H25～H29	沖縄語で伝承されてきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材（絵本やDVD等）を製作する。また、これらを村内幼小中学校や図書館へ配布し、学校や家庭での活用を推進する。	絵本「読谷の民話（5話）」の発刊 DVD「読谷の民話（5話）」の発刊	絵本「読谷の民話（5話）」の発刊 DVD「読谷の民話（5話）」の発刊	◎
4	⑤	沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業	H26～H27	本村が所有する歴史的価値の高い戦後の教育や復帰運動に関する資料を整理し、デジタル保存するとともに、デジタルアーカイブとしてインターネットで公開を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。	資料のデジタル化：500箱	資料のデジタル化：664箱	◎
4	⑥	ユンタンザミュージアム建設事業	H26～H29	観光振興・地域振興を図るため、世界遺産座喜味城跡と連携した魅力ある博物館を建設し、世界遺産ガイダンスとして博物館機能の強化拡充を行う。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
5	①	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25～H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、中学生12人を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	海外短期派遣生徒数：12人	海外短期派遣生徒数：11人	○
6	①	長寿調査検証事業	H25～H26	地域の高齢者を支えるボランティア（レク担当、調理担当、健康チェック担当）と役場職員総勢30名を長寿日本一の長野県に派遣し、高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等、長寿日本一の地域や病院等を視察し、各公民館で行われているミニデイサービス「ゆいま～る事業」の充実と地域の健康基盤づくりの調査検証を行う。	調査報告会の実施（「ゆいまーる事業」を実施しているコミュニティ等：21カ所） 報告書の完成	調査報告会の実施：20回 報告書の完成	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	①	地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25～H29	年間を通した多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要（直売所、ホテル、飲食店など）への対応や、「食と農」を通した地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、ＪＡ等が設置する栽培施設の設置費の一部を補助する。	栽培施設の設置：面積３４８８．６㎡（予定） 導入農家：７人（予定）	栽培施設の設置：面積１，８３６㎡ 導入農家：３人	未
8	①	航空機騒音常時観測システム購入事業	H26	米軍機から発生する航空機騒音を測定する装置を設置する。	航空機騒音常時観測システムの設置１箇所	航空機騒音常時観測システムの設置１箇所	◎
9	①	地域にあったものづくり支援事業	H26～H28	読谷村の特産品や商品を県内外へＰＲするために物産展等への出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ補助を行う。	出店数（開発支援含）：５件	出店数（開発支援含）：５件	◎
10	①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26～H33	今後のヤチムン（琉球陶器）の持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成を図る。	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 展示会出店作家１５人	次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 展示会出店作家：６０人	◎
11	①	読谷村都屋漁港水産物展示販売等施設基本設計事業	H26	読谷村、唯一の漁業協同組合である読谷漁協の所在している都屋漁港に水産物展示販売等施設（荷捌き所、直売店等の複合施設）を整備するため、基本設計を行う。	水産物展示販売等施設（荷捌き所、直売店等の複合施設）基本設計の完了	水産物展示販売等施設（荷捌き所、直売店等の複合施設）基本設計の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	道の駅かでな機能拡充事業	H25～H29	道の駅かでなは、年間約５０万人の観光客が来場するが、展望場で米軍基地を展望した後、すぐ施設を退館する通過型の施設になっている。このような課題を解決し、道の駅かでなの観光誘客施設としての魅力を高めるために、道の駅かでな機能拡充基本計画を策定するとともに、観光客の受け入れに不足している駐車場用地を取得し、観光産業の推進による地域活性化を図る。	道の駅かでな機能拡充基本計画策定 用地取得（用地取得率：100%）	道の駅かでな機能拡充基本計画策定 用地取得（用地取得率：100%）	◎
1	②	フラワーロード景観整備事業	H26	観光客誘客に寄与するため、嘉手納町の中心市街地である嘉手納ロータリー周辺及び幹線道路沿いに色鮮やかな花を咲かせ、魅力ある景観を構築する。	花壇整備：２箇所 植栽の設置：３箇所	花壇整備：２箇所 植栽の設置：３箇所	◎
1	③	うたの日コンサート事業	H25～H26	沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を補助し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。	来場者数：8,000人 町特産品のＰＲ：5作品以上 町商工業者の出店：5店舗以上	来場者数：8,000人 町特産品のＰＲ：10作品以上 町商工業者の出店：6店舗以上	◎
1	④	屋良城跡公園総合再整備基本計画策定事業	H25～H29	観光資源に乏しい本町においても、屋良城跡公園及び比謝川沿岸部等風情のある場所を有しており、近年では自然を生かしたエコツアーや川祭りの開催等観光源となりうる素材が増えつつある。 そのようなことから、城跡の名勝や比謝川の自然を体験する設備を整備することで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指し、基本計画を策定する。	基本計画の策定	基本計画の策定	◎
1	⑤	比謝川緑地広場整備事業	H24～H27	本町は、米軍基地が町域の８３%を占める特異な地域であるが、比謝川等風光明媚な場所も有しており、近年では自然を生かしたエコツアーの開催等観光資源となりうる素材が増えつつある。 そのことから、古くからの景勝地で今ではエコツアーを開催している比謝川の自然を観光客に体験してもらうことで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指す。	緑地広場実施設計の完了（嘉手納町字水釜地内）	緑地広場基本設計の完了	未
1	⑥	嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光振興の基盤となる人材の確保・育成を目的としてこれからの嘉手納町を担う人材の育成を推進する。また、本事業を実施することにより、新たに本町を訪れた観光客に町の魅力をアピールすることで、観光客誘客の促進が図られる。	観光ガイドの育成人数：5名	観光ガイドの育成人数：10名	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	嘉手納野球場機能拡充事業	H26～H30	嘉手納町内外に周知されたプロ野球チームのキャンプ地である嘉手納野球場のスタンド･ベンチ及び防球ネット等を改修し、施設整備を行い観光資源の創出と拡充を図る。	機能拡充基本構想策定	機能拡充基本構想策定	◎
1	⑧	兼久海浜公園リニューアル基本構想策定事業	H26～H30	公園施設全体の機能強化を図ることにより、観光振興に資する施設として整備を図る。 その為、公園全体の整備方針の見直しを行うことにより、これまでの施設利用方法と利用者層に加え、プロスポーツ等の観戦客や公園を利用する観光客等の入域数の増加を図る。本事業の整備の影響が町への入域客数の増加に起因する地域活性化に連続することで、魅力的な嘉手納町の形成を果たす。	兼久海浜公園リニューアル基本構想策定	兼久海浜公園リニューアル基本構想策定	◎
1	⑨	かでな文化センター機能向上事業	H24～H27	観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。	かでな文化センターバリアフリー化実施設計策定完了 舞台設備操作の電動化の基盤を整備する。	かでな文化センターバリアフリー化実施設計策定完了 舞台設備操作の電動化の基盤を整備	◎
1	⑩	観光史跡等説明板整備事業	H24～H27	魅力ある観光地づくりを目指し、地域資源、文化資源を活用した観光振興を図るため、町内に点在する史跡、旧跡等への多言語表記した史跡等説明板を設置する。	史跡等説明板の設置により、町内外に観光に資する情報を発信することができる。 整備率59%	整備率59%	◎
2	①	学習支援員配置事業	H24～H33	算数、数学、国語中心に授業ではチームティーチング、習熟度別授業を行い、また、長期休業における個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。特に授業内容が定着していない児童生徒への対応を行い、漢字検定等の個別指導も行う。	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする	県到達度調査における国語算数正回答率を各学年とも県平均以上とする 小3　○ 小5　○ 中2　△	○
2	②	英語力強化事業	H24～H33	教育課程特例校としての特典を生かし、英語力を向上させるため、ネイティブスピーカーの講師の活用で、日常的に英語に親しむ環境をつくり、英会話を中心とした授業を展開する。また、英語力向上のために英語検定にむけた学習講座を実施し、目標級取得の支援を行うため中学校教員免許を所持した人材を活用する。	英語検定3級以上の合格者数　50人	英語検定3級以上の合格者数　53人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	③	ICT活用事業	H24～H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため,パソコン指導員を配置し、教師の授業の補佐･支援を行う。また、授業でのPC活用を推進するためフラシュ教材を活用した授業支援も行う。	（小学校）キーボード操作能力検定目標級の達成 3 学年 23 級（80 % 以上） 4 学年 17 級（60 % 以上） 5 学年 8 級（40 % 以上） 6 学年 初段（20 % 以上） （中学校）パソコン検定目標級の達成 1･2 年 5 ～ 4 級、 3 年 3 級	【小学校】 3学年83% 4学年32% 5学年7% 6学年3% 【中学校】 1･2学年 受検17名　内5級以上 合格12名（70.5%） 3学年 受検15名　内3級以上 合格12名（80%）	△
2	④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24～H33	不登校の生徒に対応するため、指導員による家庭訪問を行い、在宅確認及び本人と家族支援を実施することにより生活リズムの正常化を目指す。また、時差登校をする生徒へ相談の実施を行う。	不登校生徒数を全生徒数の 3.3%以下にする	不登校生徒数 3.28%	◎
2	⑤	スクールカウンセラー活用事業	H25～H33	青少年センターにスクールカウンセラー（臨床心理士）を配置し、児童生徒と保護者の相談業務を行い、教職員に対しては障害等への対応に関する研修会を実施する。また、適応教室相談員に助言や児童生徒のカウンセリングを通して学校復帰を支援する。	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数： 3 人	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数： 23 人	◎
2	⑥	秋田交流学習体験事業	H26～H28	全国学力･学習状況調査で高い学力を維持している秋田県へ町内の小中学校児童生徒及び教諭を派遣し、派遣先学校の授業に参加することで学習･指導を体験するとができ、学力向上に生かしていく。	各学校における児童･生徒の学校評価項目における発表力の向上、積極的授業への参加を醸成し学力(活用力)の数値をＨ２５年度(小学校37%、中学校26%）から向上させる。	小学校34.5% 中学校31.5%	○
2	⑦	学校ICT機器整備事業	H26～H28	電子黒板及び実物投影機等を町立小中学校普通教室及び特別教室へ整備し、教材の視覚化、明確化による魅力的かつ分かりやすい授業環境を整える。	電子黒板６４台、実物投影機５５台整備。 整備率100% ICT機器を活用した校内研修等を充実させ、ICTを授業の場で活用する機会を設け、魅力的かつ分かりやすい授業スタイルへの変化、効率的な知識の習得と学習意欲の向上に繋げる。	電子黒板６４台、実物投影機５５台整備。 整備率100%	◎
3		雇用促進事業	H25～H29	全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人･求職者を結ぶ就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。	相談人数：200人 就職人数：50人	相談人数：399人 就職人数：46人	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4		墓地整備基本計画策定事業	H25～H26	本計画は嘉手納町全域（米軍基地は除く）を対象とし町内に立地する墓地の状況や住民意向を把握し、墓地の集約や適正配置に関する計画を策定するとともに、住民に対して墓の建設や管理に関する規則の周知徹底を行い、嘉手納町における墓地の望ましいあり方の方針を示すため実施する。	墓地基本計画の策定	墓地基本計画の策定完了	◎
5		廃棄物リサイクル事業	H25～H33	本町では、一般家庭及び事業者から年間約600トン程度の木くず（草、剪定枝等）が排出されており、また、台風等での公園、街路樹の倒木処理は産業廃棄物として最終処分場で処理している状況である。一方、本町で策定されている一般廃棄物処理基本計画において、木くず等を焼却せずチップ化し、再資源化することで町内の土地づくりや堆肥に利活用する施作があり、これらの木くず等の再資源化を実施し、本計画の推進を図る	1　ごみの減量化（目標約5%削減） 2　処理費の節減	1　ごみの減量化　約6.2%削減 2　処理費の節減	◎
6	①	安全・安心、人にやさしく、災害に強いまち『嘉手納町』整備事業	H26	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、地域防災計画の整備を行い、合わせて避難マニュアルの作成、避難所の運営マニュアルの作成を行い、町民をはじめとする来町者に対する災害時の速やかな避難行動・避難誘導、避難所設置運営を図り、本町の安全・安心の確保と人にやさしく、災害に強いまちづくりを実施する。	・地域防災計画の整備 ・避難マニュアルの作成 ・避難所の運営マニュアルの作成	・地域防災計画の整備 ・避難マニュアルの作成 ・避難所の運営マニュアルの作成	◎
7	①	沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業	H25～H26	沖縄の伝統文化の継承を目的とし、ハワイで開催される「沖縄フェスティバル」へ町内の無形文化財保存団体を派遣し、ハワイ在住の県人会、町人会との伝統芸能を通しての交流を図るとともに、町内の無形文化財保存団体等の育成を図る。	・派遣団体の町内活動の強化 ・派遣報告書作成及び報告会の開催 ・現地での県人会・町人会との交流活動 ・フェスティバルへの派遣人数：35名	・派遣団体の町内活動の強化 ・派遣報告書作成 ・現地での県人会・町人会との交流活動 ・フェスティバルへの派遣人数：35名	○
8	①	ロータリープラザ照明機能向上事業	H26	低炭素島しょ社会の実現に向けて嘉手納町ロータリープラザ照明をＬＥＤ化するため、設計、工事を行う。	CO2削減量において、対前年度同月比のCO2削減量40%削減	対前年度同月比のCO2削減量　31%	○
8	②	嘉手納町防犯灯・街路灯ＬＥＤ化事業	H26～H30	低炭素島しょ社会の実現に向けて嘉手納町防犯灯・街路灯ＬＥＤ化するため、現況の調査及び設計をおこなう。	全防犯灯・街路灯の調査完了	全防犯灯・街路灯の調査完了	◎
9	①	食育まんが啓発推進事業	H26～H28	地域の高齢者から長寿といわれる戦前の食生活を聞き取りまんがを制作する。食育まんがを普及啓発することにより長寿の知恵を次世代へ継承し、健やか長寿のまちかでなの実現を図る。	平成26年度　町立保育所実施「食生活に関するアンケート」により「食育」の周知度や食生活の意識の向上度を測る。	「食育」の周知度や食生活の意識の向上度を測った。 ・「食育の日」の認知度　15.4% ・食育の言葉と意味を理解している者の割合57.7%	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24～H33	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	・国内プロモーションブース来場者：1，000人（アンケート回収：200人） ・国外プロモーションブース来場者：2，000人（アンケート回収：200人）	・国内プロモーションブース来場者：2，150人（アンケート回収：450人） ・国外プロモーションブース来場者：3，110人（アンケート回収：164人）	○
1	②	観光振興地域活性化事業	H25～H26	観光地としての景観形成のため本町の観光拠点地域において、ハローウィンやクリスマス、年末年始等で利用するイルミネーション装飾等の補助を行う。	・イルミネーション装飾日数：120日間（アンケート回収：200人） ・エンターテイメントイベント開催数：4回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施300名 ・多言語コンテンツ利用者数の目標指標：5000アクセス／4か月	・イルミネーション装飾日数：100日間（アンケート回収：800人） ・エンターテイメントイベント開催数：2回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施800名 ・多言語コンテンツ利用者数：4，218アクセス	○
1	③	海業振興事業	H25～H26	観光客誘客を図る施設整備の一環としてフィッシャリーナ地区へアプローチする道路の付帯施設整備（舗装、植栽等）、及び景観性向上を図るため西防波堤等景観整備を実施する。	①西防波堤等景観整備工事（西防波堤L＝300m） ②道路植栽等整備工事（植栽N＝約80本）	①西防波堤等景観整備工事（西防波堤L＝290m） ②道路植栽等整備工事（植栽N＝約79本）	○
1	④	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	H24～H27	県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装整備をする。H24年度からの継続事業であり、H26年度はH24～25年度で実施出来なかった場所を整備する。	景観に優れた護岸の整備 （インターロッキングブロック舗装A＝425㎡） ・全体計画のうち80．3%の整備が完了 西海岸周遊道路140m整備	景観に優れた護岸の整備 （インターロッキングブロック舗装A＝427㎡） 西海岸周遊道路131m整備	○
1	⑤	北谷公園野球場スコアボード改修事業	H26	中日ドラゴンズのキャンプ地として利用されている、北谷公園野球場の既存の手動スコアボードを、LEDによる新たなスコアボードに改修し、多機能表示を可能にすることで、オープン戦や練習風景を盛り上げ、来場者の満足度を高めリピート率を向上させる。	スコアボードを手動式から電光掲示板（LED）へ改修する。（画面面積A＝85㎡） 年間利用：中日ドラゴンズキャンプ24日間、オープン戦2日間、各種イベント7日間	建築改修工事、電気工事、スコアボード工事（画面面積A＝85㎡）の完了 中日ドラゴンズキャンプ24日間、オープン戦2日間、各種イベント2日間	○
1	⑥	北谷町文化発信拠点整備事業	H24～H30	キャンプ桑江北側米軍基地の返還に伴い発見された「伊礼原遺跡」は約7，000年前から連綿と続く集落跡として、国史跡として指定された。今後縄文時代に生活空間の具現化をテーマとし、住民の憩いの場、観光資源として公園整備を行う。また、隣接地に伊礼原遺跡の出土品等を含む町内に点在する文化財の公開活用を行うため、町立博物館を建設する。H26年度は、伊礼原遺跡保存整備事業、博物館整備事業の基本計画を策定する。	・伊礼原遺跡整備基本計画策定 ・北谷町立博物館基本計画策定	・伊礼原遺跡整備基本計画策定 ・北谷町立博物館基本計画策定	◎
1	⑦	コミュニティーバス導入調査検討事業	H26～H28	観光客や交通弱者（高齢者、障がい者、学生）にとっての公共交通に関する現状やニーズの把握により、課題を整理するとともに、地域間交流の活性化と観光客誘客推進のための持続可能なコミュニテーバスシステムについて検討する。	北谷町の公共交通実証実験等手順書作成。観光客や交通弱者にとっての公共交通に関する現状及びニーズを把握する。	手順書を作成した。 公共交通に関する現状及びニーズを把握した	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	英語指導助手派遣事業（小学校）	H24～H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。	・支援生徒数：全小学校合計2，104人 ・児童英語検定：前年の正答率と比較し1％向上（84.5％）	・支援生徒数：全小学校合計2，104人 ・児童英語検定：正答率　82.6％	△
2	②	英語指導助手派遣事業（中学校）	H24～H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	・支援生徒数：全中学校合計1，088人 ・沖縄県達成度調査（英語）：前年の正答率と比較し1％向上（51.7％）	・支援生徒数：全中学校合計1，088人 ・沖縄県達成度調査（英語）：正答率　47.5％	△
2	③	日本語指導学習支援員派遣事業	H25～H33	日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。	支援生徒数：10人	支援生徒数：15人	◎
2	④	学力向上学習支援員派遣事業	H26～H33	学習に遅れをとっている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実・強化を図る。	・学習形態は担任とのティームティーチングを主とし、習熟の遅い子への学習支援を行う。 ・放課後の補修の充実を図る。 ・小学生の沖縄県達成度調査（算数）：前年の正答率と比較し1％向上 ・中学生の沖縄県達成度調査（数学）：前年の正答率と比較し1％向上	日々の授業での学習支援及び放課後や夏・春休み期間に支援員が補習を行った。 ・小学生の沖縄県達成度調査（算数）：前年の正答率と比較し7.5％向上 ・中学生の沖縄県達成度調査（数学）：前年の正答率と比較し7.3％向上	◎
2	⑤	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26～H33	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境の問題（家庭、友人環境等）に働きかけ、問題を抱える児童に対して未然防止、早期発見、早期対応に努める。	・不登校等の問題行動の減少を図る。 ・学校内でのケース会議の推進や、関係機関、団体とのネットワークの構築、連携、調整を行う。	・不登校等の問題行動が増加した。 ・学校内でのｹｰｽ会議の推進、ﾈｯﾄﾜｰｸの構築を行った。	△
2	⑥	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25～H29	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会、県人会、ハワイ大学生との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナーンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。また、ハワイの文化・歴史関連施設等を視察学習することにより、異文化の国際理解や郷土文化の良さを再認識して相互理解を図る。	派遣に係る報告書の作成及び報告会の開催により、町内児童生徒のグローバルな視点の醸成を図る。	報告会の開催 報告書の作成 グローバルな視点が醸成された	◎
3		跡地利用推進事業	H24～H33	「キャンプ桑江南側地区」における将来の公共施設用地の確保に向けた地権者説明会及び跡地利用に関する情報提供を実施する。	・跡地利用に対する地権者等の理解促進、協力体制構築への寄与	跡地利用に対する理解促進・協力体制の構築	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4		北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25～H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、沖縄振興特別推進市町村交付金を財源とした基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	公共用地取得率：約２９．１％（取得予定（学校用地）面積４５，０００㎡）	公共用地取得率：29.1%	◎
5		墓地整備基本計画策定事業	H26	本計画は、北谷町全域（米軍基地を除く。）を対象とし、町内に点在する墓地の状況を把握し、墓地の適正配置や集約に関する計画を策定するとともに、町民に対して墓地の建設や管理に関する周知を行い、社会状況の変化や北谷町の墓地問題に的確に対応するため、総合的な墓地対策指針となる墓地整備基本計画を策定する。	墓地分布図･墓地台帳の作成 墓地整備基本計画策定	墓地分布図･墓地台帳の作成 墓地整備基本計画策定（100%）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	あやかりの社滞在型施設活用事業	H24～H28	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施する。	・体験交流人数：１５０人	・体験交流人数：５１２人	◎
1	②	歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24～H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備を実施する。散策遊歩道整備の実施個所は、重点地区となっている喜舎場・仲順地区とする。	・「喜舎場・仲順」地区の第１期整備工事の完了	・「喜舎場・仲順」地区の第１期整備工事の完了	◎
1	③	北中城まつり活性化事業	H24～H33	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	・三大祭りにおける来場者数：１１万人（Ｈ２４：１１万人） ・地元産業事業者及び村内団体参画数：４０事業所（Ｈ２４：３７事業所及び団体）	・三大祭りにおける来場者数：6.2万人 ・地元産業事業者及び村内団体参画数：４７事業所	○
1	④	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24～H28	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備を実施する。	・誘客等拠点施設配置計画の策定	誘客等拠点施設配置計画の一部策定	未
1	⑤	観光コミュニティバス導入事業	H24～H29	村内にある観光資源をターゲットととした観光コミュニティーバス導入に向け、本村の観光特性・交通特性・課題を把握し、地域間交流の活性化と観光客誘客推進のための公共交通構築を図る。	・交流活性化基本計画・実施計画の策定 ・コミュニティバス社会実験運行計画の策定	交流活性化基本計画・実施計画の策定 コミュニティバス社会実験運行計画（案）の策定	△
1	⑥	地域活性化キャラクター活用事業	H25～H33	本村の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、平成２５年度に誕生した地活キャラを村内地域イベント、県内外でのキャラクターを介したイベントに積極的に参加しＰＲ活動を行う。さらにキャラクターの運用を通して、本村内の観光案内人となる人材の育成を行う。また、ARアプリケーションについて、本村内の観光スポットを効率よく巡るための、地形高低表示機能等を追加する。	・ARアプリダウンロード数：１，０００回 ・キャラクター実働回数：５０回	・ARアプリダウンロード数：０回 ・キャラクター実働回数：７４回	△
1	⑦	公営墓地整備事業	H24～H28	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地の確保とともに、基本設計及び納骨堂等の実施設計を行う。	・公営墓地用地の取得率（３０％目標） ・納骨堂・管理棟の実施設計の完了	・公営墓地用地の取得率（１７％） ・納骨堂・管理棟の実施設計の完了	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	中城城跡アクセス（大城登又線）整備事業	H26～H27	世界遺産「中城城跡」を核とした県営中城公園整備が進んでいる中で、公園西側入口に面する村道大城登又線の拡幅整備を推進するための検討を行う。	・アクセス道路予備設計の完了	・アクセス道路予備設計の完了	◎
1	⑨	東海岸まちづくり整備事業	H24～H29	本村の東海岸地域における低未利用地（遊休農地等）の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地として都市的基盤整備を行う。	・基本計画策定にむけた土地利用（案）の策定と地権者合意形成	土地利用案の策定と地権者合意形成	◎
1	⑩	観光情報発信拠点推進事業	H26～H28	平成２７年春に開店する大型商業施設「イオンモール沖縄ライカム」内に、観光情報発信の拠点となる北中城村観光案内所（仮称）を設置し、北中城村のみならず、沖縄県内全域の観光案内・情報発信等のサービスを提供するとともに、当該商業施設を訪れる観光客等のおもてなしを充実させる。具体的には、平成２６年度において、商業施設内のブースの内装工事及び共益部分の工事負担金支出、備品・什器の購入と案内所の準備業務委託を行い、平成２７年度以降には観光協会や商工会、県内ホテル等との連携による観光商品（ツアー、イベント等）商品開発を行う。	・ブース設置完了 ・運営及び事業計画書の策定	・ブース設置完了 ・運営及び事業計画書の策定	◎
2	①	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業	H24～H28	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりを推進し、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査・計画策定を実施する。	・まちなみ景観及び標識等デザイン計画の完了	まちなみ景観・標識デザイン計画の完了	◎
2	②	アワセゴフル場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24～H30	アワセゴルフ場地区は、戦前は肥沃な土地に恵まれた比嘉集落が形成され、自作農で生産性も高く豊かな集落であったが、戦後、強制的に土地が収用され６０年余あまりにわたって米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成２２年７月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像記録、編集を実施する。	・アワセゴルフ場開発の記録映像の作成（３時間）	・アワセゴルフ場開発の記録映像の作成（３時間）	◎
2	③	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業	H24～H27	プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得て跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー（プロジェクトに関係しているあらゆる人々）との調整及び管理を実施する。	・全体工程の８０％完了	全体工程の80%完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	④	アワセゴルフ場地区公共用地取得マネジメント事業	H26～H28	駐留軍用地アワセゴルフ場跡地は、平成２５年度より造成工事が開始され、造成工事の進捗に合わせ平成２６年度より公共用地の取得を開始する。跡地利用の計画的な整備促進を図るため、公共用地の取得も計画的に進める必要があることから、用地アセスメントから買収・登記まで一連して計画的に進めるために用地取得マネジメントを行い跡地利用の迅速な推進を図る。	・公共用地取得計画策定の完了	用地取得計画作成	◎
2	⑤	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25～H29	駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用推進計画として、喜舎場スマートICのフルインター化に向けた、交通量調査、道路構造、跡地利用などの調査を実施する。	・喜舎場スマートIC周辺アクセス道及び跡地利用の検討	喜舎場スマートIC周辺アクセス道及び跡地利用の検討	◎
2	⑥	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25～H29	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ住宅地区の跡地利用を促進するための基金を創設し、公用地の先行取得に必要な費用を積み立てる。また、基金に積み立てた費用の円滑な執行及び先行取得に向けて、調査支援等を実施する。	・跡地の見通し作成・公表 ・基金の積立１１４，０００千円	見通し公表 基金積立114,000千円	◎
3	①	雇用サポートセンター事業	H24～H33	活力ある地域づくりを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊の世代の再就職希望対応など、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。	・失業者のマッチング人数：２４人 （H２４：７人） ・新規求人数：１５０件 （H２４：１０５件）	・失業者のマッチング人数：１４人 ・新規求人数：４６４件	○
4	①	地域ブランド構築事業	H24～H33	産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行うとともに、商品選定委員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う。また、本村の観光及びブランドプロモーションのためのパンフレットを作成し、ＰＲ強化を図る。	・販路拡大の為の県外物産フェア参加（１０品目販売モニター調査、販売額目標４０万円） ・量販店等への取引契約（チェーン展開する店舗１以上） ・新商品の開発２アイテム ・ポータルサイトアクセス数１０％増（H２５年度60,000アクセス）	・販路拡大の為の県外物産フェア参加（５品目販売モニター調査、販売額目標45.7万円） ・量販店等への取引契約：０件 ・新商品の開発：４アイテム ・ポータルサイトアクセス数：163,000アクセス	○
4	②	軟弱野菜生産支援事業	H25～H29	村内の農家は露地生産が多く、天候不良による影響を受けやすく計画生産が難しい状況にある。耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）を導入し、軟弱野菜の産地形成に取り組む。	・耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）の設置（３０ａ）	・耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）の設置（11.52ａ）	未
4	③	農業経営改善支援事業	H24～H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	・農家への経営指導及び技術支援の実施（４０件）	・農家への経営指導及び技術支援の実施（４０件）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	①	災害時要援護者避難支援事業	H24～H28	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び自主防災組織等への災害時の要援護者支援に活用する防災資機材を整備し、支援体制の整備・強化を行う。	・要援護者個別支援計画の新規策定件数：30件 ・自主防災組織設立：2団体 ・防災資機材整備：2団体	・要援護者個別支援計画の新規策定件数：24件 ・自主防災組織設立：1団体 ・防災資機材整備：1団体	未
6	①	全村植物公苑化推進事業	H24～H33	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみたて、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	・村内主要道路等の美化・緑化率：2，000㎡	・村内主要道路等の美化・緑化率：2，000㎡	◎
6	②	公共施設等エコアクション推進事業	H24～H29	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー（太陽光）の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替え、エコアクションプログラムの策定を行う。	・エコアクションプログラム策定の完了 ・太陽光発電システム設置：1箇所 ・村道へのLED街灯5本設置	-	繰
7	①	総合英会話指導支援事業	H24～H33	国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。	・英語検定合格率 （H25：53%→H26：54%）	・英語検定合格率（57%）	◎
7	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24～H33	国際化社会に対応できるよう、子どもから大人までを対象とした人材育成・教育方法等を教育現場に活かすため、米国の教育機関（ワシントン州立大学）とWEBシステムを活用して、米国大学教員による集中講座を行う。	・受講生人数（前期10人、後期10人）	・受講生人数（前期24人、後期24人）	◎
7	③	海外子弟青年交流事業	H24～H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多く経済発展を遂げている南米3カ国（ペルー、アルゼンチン・ブラジル）及び交流可能な海外村人会に研修生を派遣する。また、世代交代が進行する海外子弟の青年に、沖縄の文化・伝統芸能の習得によるウチナーンチュとしてのルーツを再確認してもらい、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る。	・研修報告会の開催（各研修1回） 報告会により、派遣者等の国際相互理解に対する意識向上	・研修報告会の開催（各研修1回） 報告会により、派遣者等の国際相互理解に対する意識向上	◎
8	①	琉球歴史風致資産調査事業	H24～H29	村内に所在する旧跡・文化財等の現況を把握するための現地調査（所見作成・写真等記録作成・位置測量等）を実施するとともに、調査成果や既存の資料について情報発信のための資料整理（台帳の整理とPC打ち込み・実測図作成・材質分析等）を行う。	・現地調査箇所数：200箇所 ・民俗祭祀行事調査：15件 ・過年度分補足調査：100箇所	現地調査：250件 祭祀調査：12件 過年度補足調査：89箇所	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	②	中城間切ノロ関係資料集作成事業	H24～H29	島袋ノロらが活動していたとされる近世～近代の中城間切（当時の行政単位で現在の北中城村・中城村）に焦点を絞り、ノロが執り行った祭祀実態などを明らかにするため、それぞれのノロが管轄した拝所の現地調査や、関連資料（古文書・位牌等）の収集や聞き取り調査を実施する。	・ノロ家系関係者への聞き取り調査→１０件 ・ノロに関連する祭祀場等の現地調査→3件	・ノロ家系関係者への聞き取り調査→１５件 ・ノロに関連する祭祀場等の現地調査→5件	◎
9	①	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	村内の幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児・児童・生徒のうち、特別に支援を要する子ども達に対し、支援員を配置することで、障害のある子どもが他の子どもと平等に教育をうけることができるよう環境の充実を図る。	・支援児童数（小）：３２名 ・支援生徒数（中）：７名 ・援園児数：９名	・支援児童数（小）：２８名 ・支援生徒数（中）：７名 ・援園児数：７名	○
10	①	健康長寿まちづくりアクション事業	H26～H28	本村は平成２６年３月、村民一人ひとりの健康づくりを通して「村民の楽しみ・生きがい増」「村民の所得増」「産業振興・観光振興」等、様々な良い効果が出ることを目標とした「北中城村健康長寿のまちづくり計画」を策定した。本年度においては、「女性長寿日本一のＰＲ事業」や「健康づくり村民会議」を実施するとともに、経済・産業・観光・教育・環境・都市基盤など様々な分野が連携し、「心と体」の健康づくりと「暮らし」の環境づくりについて、地域住民が一体となって取り組むためのアクションプラン策定を行う。	・アクションプラン策定の完了（明確な目標数値の設定）	・アクションプラン策定の完了（明確な目標数値の設定）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	②	防災体制整備事業	H26～H30	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、災害時に地域住民・観光客等が避難生活を送ることとなった際に、物資の搬送が再開されるまでの非常食や生活物資等の備蓄を行う。また、防災基盤整備の一環として、災害が起こった際に効率的・実働的な災害対策に当たることができるよう、災害対策本部の備品の拡充を図る。	非常食　1,000食 災害時用生活用品（毛布）　155枚 災害対策本部備品の拡充	非常食　1,000食 災害時用生活用品（毛布）　150枚 災害対策本部備品の拡充	○
1	③	災害関係表示板設置事業	H26～H28	災害に強く安心して暮らせるむらづくりを推進するため、普段から目につきやすい場所に海抜表示板や避難場所標識、避難場所までの誘導表示板等を設置し、地域住民や観光客等の防災意識高揚を図る。	海抜表示板　50枚	海抜表示板　50枚	◎
2	①	クラブハウス施設整備事業	H25～H26	スポーツコンベンションの推進を図る目的で当交付金の平成25年度事業として整備を行っている吉の浦公園周辺施設の一つであるサッカー場に、キャンプ誘致の受入基盤を更に強化整備するため、ミーティングルームやレフリールーム、選手控室、シャワールーム、更衣室等の設備を兼ね備えた「クラブハウス」を整備する。	クラブハウス建設工事の完了	クラブハウス建設工事の完了	◎
2	②	キャンプ誘致施設整備事業	H25～H28	プロサッカーチームの1次キャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて、公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有するサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。	村民体育館内トイレ・シャワー室整備工事の完了 サッカーチームのキャンプ受入に適した芝の整備	村民体育館内トイレ・シャワー室整備工事の完了 サッカーチームのキャンプ受入に適した芝の整備完了	◎
2	③	中城城跡プロジェクションマッピング事業	H25～H33	風光明媚な世界遺産中城城跡を観光振興の目玉として更に推進するため、世界遺産と伝統芸能を活かした中城城跡プロジェクションマッピング事業を実施する。光の演出による日没後の観光メニューを提供することにより集客増を目指す。	プロジェクションマッピングイベント来場者数6,000人	プロジェクションマッピングイベント来場者数13,319人	◎
2	④	プロサッカーキャンプ支援事業	H25～H33	本村や沖縄県のスポーツツーリズムの推進に向け、スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化する。	プロサッカーチームの誘致活動 2チーム キャンプの受入支援　2チーム	プロサッカーチームの誘致活動 3チーム キャンプの受入支援　3チーム	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	①	海外移住者子弟研修生受入事業	H25～H33	南米に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、ウチナーグチ、沖縄の歴史や三線、琉球舞踊、エイサーなどの伝統文化を取得し、企業等での技術研修や村民との交流を通して、社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	受入研修生数：年間3名 （ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、ﾍﾟﾙｰ、ブラジル、各1名）	受入研修生数：年間3名 （ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、ﾍﾟﾙｰ、ブラジル、各1名）	◎
4	①	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24～H26	「郷土の歴史・文化についての学習」の充実を図る為に、「護佐丸」「中城城跡」を通して中城村の歴史と文化を学ぶカリキュラムを編成し、効果的な指導体制の構築のために副読本・教材等の整備を図る。	中学校教材の出版 脚本の出版 小学校用カリキュラムの出版	中学校教材の出版 脚本の出版 小学校用カリキュラムの出版	◎
4	②	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H33	児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、適切に活用出来るように情報機器環境を構築する。また、情報教育対応補助者を配置し、きめ細かな指導を行う。	情報教育対応補助者配置数　1名 情報機器整備　中学校1校　41台	情報教育対応補助者配置数　1名 情報機器整備　中学校1校　41台	◎
4	③	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H33	個々に応じた特別な教育的支援が行えるよう個別のサポートを行い、該当児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう支援員等を配置をする。	不登校児童生徒数　0人	不登校児童生徒数　4人	未
4	④	国際理解人材育成事業	H24～H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身につける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	英語指導員配置数　小中学校1人 英検受験者数　80人	英語指導員配置数　小中学校1人 英検受験者数　117人	◎
4	⑤	ごさまる学力パワーアップ事業	H25～H33	沖縄の学力向上策は、県の主要施策の「にぬふぁ星プランⅢ」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査においては、全国平均と比較してマイナス5．7と全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習を中心に、生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるため、「学習定着のための機会」の提供として平日講座等を開催する。	受講生の事前テスト・事後テストの平均10点の 向上 県到達度調査の数学・英語の県平均を上回る	受講生の事前テスト・事後テストの平均3点の 向上 県達成度調査の数学・英語の県平均を上回ることが出来なかった	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	①	文化まつり事業	H26	当該事業は、文化まつり実行委員会に補助金を交付し、11月の土･日を利用して2日間「文化まつり」を実施する。まつりは「保存、継承、発展」をテーマに掲げ、中城村文化協会を中心に一般個人やプロの芸術家、各種団体に参加してもらい中城組踊「護佐丸」・民俗芸能･古典舞踊･古典音楽などの舞台部門、書道･絵画･生花などの展示部門に会場を分けて実施する。	文化まつりの実施 ＜展示部門＞ ･出展者（出展団体）数：１３０名 基準年（H23）：出展者数９１名 ＜舞台部門＞ ･出演団体数：１３団体 基準年（H23）：１０団体	文化まつりの実施 ＜展示部門＞ ･出展者（出展団体）数　１３２名 ＜舞台部門＞ ･出演団体数：１３団体　１３団体	◎
6	①	吉の浦会館施設機能強化事業	H24～H26	伝統芸能や学習、サークル活動の発表の場として活用する等、人材育成や生涯学習を推進する施設となっている吉の浦会館を、村民が安心して利用できるための施設の機能強化整備を行う。	吉の浦会館空調整備工事の完了	吉の浦会館空調整備工事の完了	◎
7	①	文化財悉皆調査事業	H25～H29	5ヵ年計画で民俗調査専門員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況等を把握し、それを整理公開していくことで村民の文化財の保護意識高揚と活用を図っていく。	調査概報（各字パンフレット）の作成	調査概報（各字パンフレット）の作成	◎
7	②	古道ハンタ道保全活用基本計画作成事業	H25～H26	中城村では平成14年から内閣府や文化庁の補助を得て村内を横断する古道「ﾊﾝﾀ道」の整備を行っており、平成25年度に整備が完了する予定である。整備後の保存や活用についての基本計画を2ヵ年かけて作成し、今後の観光振興につなげていく計画である。	保全活用基本計画の策定 報告書の発刊	保全活用基本計画の策定 報告書の発刊	◎
8	①	ごさまるエネルギー活用に向けた調査研究事業	H24～H26	「ごさまるエネルギープロジェクト」として産学官連携による共同研究の結果、冷凍粉砕製品を利用した商品開発等の可能性について成果が得られた。そこで、更なる中城村の地域振興･産業振興を図るため、冷凍粉砕及び製氷実験の結果に基づく事業化へ向けた取組の可能性について調査事業を実施する。	事業化計画の提案	事業化計画の提案	◎
9	①	（仮称）護佐丸歴史資料図書館の整備事業	H24～H27	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、歴史資料図書館の建設を行う。当該施設は、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として整備する。	（仮称）護佐丸歴史資料図書館の建設工事（進捗率：60～65%）の実施	-	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

中城村

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
10 ①	世代間交流･人材育成センター整備事業	H26～H27	世界遺産「中城城跡」をはじめとした数多くの有形･無形の文化遺産を次世代へ継承していくため、また、「地域の子は地域で育てる」という意識を養い、地域の各世代の特性を生かした子育て支援･人材育成を行える環境を整備するため、世代間交流･人材育成センターを整備する。	世代間交流･人材育成センター基本設計の完了	世代間交流･人材育成センター基本設計の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	公園樹木等環境整備事業	H24～H28	観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	樹木等や芝管理、雑草等の除草作業を行うことで、沖縄らしい景観・美観の保全する町内公園の美化・緑化実施：3箇所 ①西原運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	樹木等や芝管理、雑草等の除草作業を行うことで、沖縄らしい景観・美観の保全する町内公園の美化・緑化実施：3箇所 ①西原運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	◎
1	②	文化財及び文化財周辺環境保全事業	H25～H33	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境整備を行う。	・対象文化財及びその周辺の清掃の実施：17件 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ（サガリバナ）」の診察：1回（前年度の状態からの経年変化観察を実施する。）	文化財17箇所×3回 診察1回、土壌試験	◎
1	③	文化財保存活用事業	H26～H30	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境整備を行う。	・文化財記録保存（10%）	・文化財記録保存（10%）	◎
2	①	小学校英語活動指導員派遣事業	H24～H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	・町内小学校への英語指導員派遣率：100% ・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%を超える。 ・児童英検（ブロンズ）の平均正答率：小5で60%、小6で70%	・町内小学校への英語指導員派遣率：100% ・英語の授業が「好き」と答えた児童：94% ・児童英検（ブロンズ）の平均正答率：小5で62%、小6で76%	◎
2	②	中学校英語活動指導員派遣事業	H26～H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。生徒の国際感覚を育むため、町立中学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	・町内中学校への英語指導員派遣率：100% ・中1で英検5級程度、中2で4級程度、中3で3級合格程度の英語力をつける。	・町内中学校への英語指導員派遣率：100% 中1：英検5級取得率15% 中2：英検4級取得率18% 中3：英検3級取得率60%	△
2	③	教育相談員配置事業	H24～H33	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	・教育相談員への相談件数：700件 ・児童生徒の不登校数を前年度より減らす。（H25年度39人→H26年度30人）	・教育相談員への相談件数：670件 ・児童生徒の不登校数 （小学校15人、中学校26人）	未
2	④	学習支援員配置事業	H25～H33	全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員を町内全小中学校に配置：6校 ・全国学習状況調査の平均点：町平均点が全国並み（小学校）、町平均点が全国平均より下限5%以内（中学校）	・学習支援員を町内全小中学校に配置：6校 ・全国学習状況調査 小：全国平均以上 中：全国平均下限5%以内	◎
2	⑤	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	教育振興の観点から、特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。	特別支援教育支援員を町内小中学校に配置 小中学校（6校）：20人 ・支援員の町内研修を2回以上実施し、資質の向上を図る。	特別支援教育支援員を町内小中学校に配置 小中学校（6校）：19人 ・支援員の町内研修：4回実施	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑥	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26～H33	心身の発達に支援を必要とする幼児を幼稚園に受け入れ、集団保育の中で支援児に対する適切な指導を実施するために必要な幼稚園特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育実施幼稚園数：4園（町立幼稚園全園） ・支援児の状況に応じて支援員を配置する。	・特別支援教育実施幼稚園数：4園 ・支援児の状況に応じて支援員を配置できた。	◎
2	⑦	児童生徒県外派遣助成事業	H26～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、県外大会派遣費用の助成を行う。	地理的要因及び低所得県ゆえの経済負担を軽減する 大会等派遣生徒数：２００人	地理的要因及び低所得県ゆえの経済負担を軽減する 大会等派遣生徒数：１４９人	○
2	⑧	西原町中学生海外短期留学派遣事業	H26～H33	西原町の中学生を海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習及びホームスティ等の活動を通して、国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図る。	海外短期留学派遣生徒数：８人 帰国報告会実施 町スキットコンテストへの参加 国際社会への意識の向上	海外短期留学派遣生徒数：８人 帰国報告会の実施 町スキットコンテストへの参加 国際社会への意識が向上した。	◎
2	⑨	教育情報化支援事業	H25～H30	将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上を図るため、各小中学校に電子黒板やタブレット等のICT環境を整備する。また、各小中学校へICT支援員を定期的に派遣し、ICT機器の効果的な活用を支援する体制を整え、「分かる授業」を実現する。	①ICT機器・教育用ソフト整備進捗率：１００％ ②教職員のICT活用能力底上げの有効策を見出す。 ※ICT機器・教育用ソフト整備進捗率とは、全教室（普通教室・理科室等）整備を１００％とした場合の整備状況	①ICT機器・教育用ソフト整備進捗率：１００％ ②教職員のICT活用能力底上げの有効策を見出せなかった。	△
2	⑩	しまくとぅば継承・推進事業	H26～H28	大人から幼時までしまくとぅばを話せるようにするために、町内の幼稚園・小学生・中学生・高校生（学生と教師）・自治会・老人会を募り、うちなー芝居へ出演する。これにより、しまくとぅばを話せる者が増え、また、うちなー芝居を見に来た人に興味や良さを認識してもらい、自らしまくとぅばを話したい、学びたいという意識高揚も図り、沖縄のことば文化を大切に継承していくことを目指す。	・親子しまくとぅば講座の開催（受講者２０名） ・うちなー芝居（立方）の講座の開催（受講者２０名） ・うちなー芝居の上演1回（観客数５００人）	・親子しまくとぅば講座の開催（受講者９名） ・うちなー芝居（立方）の講座の開催（受講者１４名） ・うちなー芝居の上演1回（観客数４２０人）	未
2	⑪	町立小学校空調設備設置事業	H26	教室内の熱中症対策及び快適な学習環境づくりを行うため、空調設備を設置する。	坂田小学校音楽教室へ空調機器を設置（学習環境の改善が必要な教室に空調機器の設置を行う）	坂田小学校音楽教室へ空調機器を設置	◎
3		ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	H24～H27	ICTを活用して、観光サイト観光アプリ等を構築し、観光キャラクターを作成する。また、本町の観光情報を広く発信していくために、IT人材育成講座を開催し、動画作品を制作できる人材を育成するとともに、観光客等が利用できる公衆wifiを整備する。	・観光サイト・アプリに掲載する店舗数５０件 ・IT人材育成講座の開催年5回定員２０名 ・観光キャラクター製作 ・公衆wifiの整備	・観光サイト・アプリに掲載する店舗数１０３件 ・IT人材育成講座の開催年5回　１３名 ・観光キャラクター製作 ・公衆wifiの整備：3拠点	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	西原町平和推進プロジェクト事業	H25～H29	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催や、町非核反戦平和都市宣言碑を整備する。	西原町平和音楽祭観客動員数1，660人 非核反戦平和都市宣言碑の完了	西原町平和音楽祭観客動員数1，650人 非核反戦平和都市宣言碑の完了	○
5	①	認可外保育施設支援事業	H25～H28	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育士が保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。 ・定員空き状況の集約（月1回）	・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。（12回） ・定員空き状況の集約（12回）	◎
5	②	放課後児童クラブ障害児保育支援事業	H26～H33	西原町内にある学童クラブに対し、潜在的な障害児童を把握しその児童に携わる支援員を配置することで、障害児童の学童保育ニーズにこたえることができる放課後児童クラブの実現を目指す。	・発達障害がある子どもの、学童受入れの支援体制を整備するため支援員を配置し、サポートプラン（個別指導計画）を作成し児童の全体像をとらえながら、障害児童の学童保育ニーズに応えることができる学童クラブ実現を目指す。	支援員配置 サポートプラン作成 学童クラブ実現	◎
6		地域健康づくりモデル事業	H26～H28	沖縄の健康課題である肥満を解決するために、フードモデルを活用した体験型栄養教育を行い、住民が自らの力で肥満を予防するための食を選択できるスキルの習得を目指す。	・健康教育の実施：7回 ・自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解できた人の増加 ・自分の食生活に問題があると思う人のうち、改善意欲がある人の増加	・健康教育の実施：13回 ・自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解できた人の増加 ・自分の食生活に問題があると思う人のうち、改善意欲がある人の増加	◎
7		農家経営安定支援事業	H26～H30	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置することにより、既存農家の栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに、新規就農者や農業後継者の育成を図る。	農家への経営指導及び技術支援の実施（50件）	農家への経営指導及び技術支援の実施（120件）	◎
8		防災道路整備事業	H26	災害時に車両や歩行者及び交通弱者、障がい者が避難場所まで安全円滑に避難を行うために防災道路整備を行う。	町道与那城4号線（全長170メートル）の舗装完了 （車両や歩行者及び交通弱者の安全確保）	町道与那城4号線（全長170メートル）の舗装完了（100%）	◎
9		スポーツ環境整備事業	H24～H26	西原町陸上競技場は、毎年プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め観光資源としても活用するため、芝管理用トラクターやその他の備品を整備し、機能強化に取り組む。	芝刈機、トラクター、目砂散布機等の整備し、芝管理の向上、機能強化を図る	芝管理の機能強化ができた	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	地域活性化イベント支援事業	H24～H33	商店街大通りにおいてイベントを開催して誘客活動を活発に行うことにより商業・観光活性化につなげていく。そのイベント実施に要する経費助成を行い、観光振興と商業振興を図る。	ちゃんぷる～市・軽便市を6回開催 集客数6，000人（基準値：H24年3，350人）	ちゃんぷる～市・軽便市を4回開催 集客数4，700人	未
1	②	滞在型観光構築推進事業	H25～H33	本町に滞在し集客できる仕組みを構築するため、町内観光ガイドの育成等人材育成事業、地域特性を生かした体験メニューの開発、民泊家庭の発掘を行う。	民泊受入家庭の発掘：5軒 町内観光ガイド養成数：5人 体験メニュー開発数：2メニュー	民泊受入家庭の発掘：0軒 町内観光ガイド養成数：スキルアップ実施12人 体験メニュー開発数：2メニュー	△
1	③	商工会青年部南北交流支援事業	H24～H33	若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに将来のリピーターを生み出すことで誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北少年少女体験交流」事業へ支援を実施する。	交流事業以外で，浜中町からの観光来町者数30名以上を目標とする。 交流事業以外で平成26年度中に浜中町から本町を訪れる観光客数30名	事業以外での来町54名	◎
1	④	地域特産品開発・販路開拓支援事業	H26～H28	本町の滞在型・体験型観光の推進を図るため、地域資源を活用した特産品の開発と販売促進、販路開拓を図る活動支援を行う。	特産品の開発2品	特産品の開発5品	◎
1	⑤	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24～H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	散策コース（10km）を年2回以上美化清掃を行い、美化を保つ。 散策コース内の本年度緑化予定箇所の工事（0．6km）を完了する。	散策コース（10km）を年2回以上美化清掃実施 散策コース内の本年度緑化予定箇所の工事（0．6km）完了	◎
1	⑥	大綱曳倉庫・作業場整備事業	H26～H27	仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱づくり作業場となる倉庫建設にかかる用地取得のための事業認定業務を行う。	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き完了後、速やかに用地購入を完了する。	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き・用地購入完了	◎
1	⑦	与那原町観光計画実施計画基礎調査事業	H26	本町の来町観光客の現況を把握し、今後策定する観光計画実施計画をより実情に沿った、効果的なものとするため、町内にレンタカーで訪れた方や、斎場御嶽等の近隣市町村の観光地でのアンケート調査を行う。	与那原町への観光来町者の人数・目的の把握	与那原町への観光来町者の人数・目的の把握	◎
2	①	軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	H24～H27	与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。平成26年度においては、平成25年度に建築した建築物の内部の展示スペースの整備や映像記録作成・事務室内の備品の購入及び公園追加整備に伴う物件補償・用地取得をおこなう。	内部展示室の完成及び一部施設共用開始	内部展示室の完成及び一部施設共用開始	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3		与那原町景観形成強化事業	H24～H27	本町は、沖縄らしい風景を象徴する赤瓦の県内唯一の生産地であることから、赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを形成し観光振興を図る為の景観計画を策定する。	景観計画（案）の策定（住民の合意形成を行い、良好な景観形成に関する行為の制限に係る事項、良好な景観形成の方針に係る事項を定める） 景観行政団体への移行	景観計画（案）の策定 景観行政団体への移行	◎
4		与那原町親水性護岸修景施設整備事業	H26～H27	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間には水路が創出され、新たな観光資源としての東浜水路を活かした観光産業の育成を図るための拠点として、水路沿い親水性護岸に修景施設（東屋）を整備する。	修景施設・便所の詳細設計及び土地鑑定評価の完了	修景施設設計 土地鑑定評価	未
5	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H29	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。	パソコンの基本的操作を行える児童の割合75％以上	パソコンの基本的操作を行える児童の割合76％	◎
5	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H28	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、スクールカウンセラー・学習支援員・特別支援員を配置する。	全国学力調査等での、全国との学力差縮小させる。 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善 目標年間1～2名減	小学校は全国平均を超え、中学校は6．2ポイント開いた 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善　目標年間15名増	未
5	③	国際理解人材育成事業	H24～H28	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員（ALT）の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	英語検定取得（1～4級）135人（平成26年度中）（参考年度実績平成24年度116人）	英語検定取得（1～4級）125人	○
5	④	沖縄文化推進事業	H24～H28	沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承するため、地域人材を生かした音楽教室を開催し、地域イベントへの積極的な参加をはかる。	講習会参加人数520人（延人数） 地域イベントでの発表実施回数4回	講習会参加人数582人（延人数） 地域イベントでの発表実施回数6回	◎
6		ほっとハート子育て応援事業	H24～H33	0歳児童の待機児童対策を目的に、看護師を雇用する認可保育所へ、その経費の一部を助成する。	0歳児待機児童減 看護師を未設置の受入可能人数（50名） 看護師を配置の受入可能人数（75名） 対象保育園へ看護師を配置することで、25名の待機児童数減。	0歳児待機児童増	未
7		災害時避難道整備事業	H26～H27	想定される津波等の災害に対して、里道を活用して安全に高台まで避難できる災害時避難道の整備に向けて実施設計を行う。	災害時避難道の実施設計完了	災害時避難道の実施設計完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8		防災拠点機能強化事業	H26～H27	町内の学校や公民館等の避難拠点を災害時にも継続して使用できるよう調査し、さらに災害時の活動拠点となるよう整備していく。平成26年度は継続使用可能調査及び改修設計を行う。	継続使用可能性調査完了 改修設計の実施完了	-	-
9		与那原町地域防災計画策定事業	H25～H26	本町は太平洋に面し、住宅街が低海抜に密集した地勢にあるため、平成25年度末には南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定される予定である。大規模地震・津波災害に備え、町民と来訪者の安心と安全を確保するため、平成25年度事業で整備した避難所台帳、地区別カルテ、避難計画等を踏まえ、町地域防災計画を全面的に見直し、減災対策の充実を図る。	地域防災計画の策定完了 （避難勧告指示基準策定） （総合防災マップ作成） （災害対策本部運営マニュアル作成） （避難所開設・運営マニュアル作成） （職員災害時初動マニュアル作成）	地域防災計画の策定完了 （避難勧告指示基準策定） （総合防災マップ作成） （災害対策本部運営マニュアル作成） （避難所開設・運営マニュアル作成） （職員災害時初動マニュアル作成）	◎
10		与那原町魅力発信事業	H26	与那原町の魅力を県内外に発信するため、各種事業を行う。平成26年度においては、沖縄県営鉄道の営業開始から100年を迎える平成26年度を記念の年として位置付け、同年オープン予定となっている一括交付金で整備する「軽便鉄道与那原駅」にて記念事業を行うことで、県内外へ同施設と与那原町の魅力を発信し、観光客の誘致を図る。	記念事業に、より多くの観光客、町民に参加していただき、与那原町の魅力を県内外へ発信する。目標延来場者数：950名	延来場者数：13，468名	◎
11		来訪者と町民の交流施設整備事業	H24～H27	来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備し、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。また、台風や地震といった災害時には来訪者の避難施設として活用し、安全安心な観光受け入れ体制を整備し本町の観光振興を図る。	観光交流施設の完成	観光交流施設の完成	◎
12		与那原町東浜水路憩いの広場整備事業	H25～H27	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間には水路が創出され、新たな観光資源としての東浜水路を活かした観光産業の育成を図るための拠点として、東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を整備する。	事業認定後、用地取得（裁決に係る土地を除く、2，088㎡） 裁決申請図書作成及び裁決申請	事業認定後、用地取得 裁決申請図書作成及び裁決申請	◎
13		与那原町墓地整備基本計画実施計画策定事業	H26～H27	市街地と墓地区域が混在・近接しており墓地の整備について策定した「与那原町墓地整備基本計画」を推進するため実施計画を策定する。	墓地分布図の作成 墓地整備基本計画実施計画策定委員会の開催1回	墓地分布図の作成 墓地整備基本計画実施計画策定委員会の開催1回	◎
14		地球温暖化を防止するための循環型社会形成事業	H26～H27	異常気象の要因や、生態系への影響が懸念される地球温暖化への対策として策定された「与那原町地球温暖化防止実行計画」を達成する取組みの一つとして、町内全域の防犯灯、街路灯をLED化する。	現在の防犯灯・街路灯を現地調査のうえ、配置図面面を作成する。 防犯灯・街路灯LED化するための設計業務委託	現在の防犯灯・街路灯を現地調査のうえ、配置図面面を作成。 防犯灯・街路灯LED化するための設計業務委託	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
15		与那原町海抜表示整備事業	H26	今年、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定され、これまで以上の避難対策を促すことが求められているため、避難誘導対策の充実を図るため町内の主要な施設や道路標識へ海抜表示板を設置する。	海抜表示板の設置完了により、より安全な地域への避難誘導が可能となる。 海抜表示板の設置完了（町内施設１０３箇所、道路標識１６箇所）	海抜表示板の設置完了（町内施設１００箇所、道路標識１６箇所）	○
16		与那原町緊急防災会議システム整備事業	H26	複数の通信インフラ利用によるリスクの分散及び緊急時における情報錯誤を回避し円滑な情報収集・配信体制を実現するため、災害情報伝達系統図の連絡機関等を瞬時に呼び出すシステムを導入する。	システム構築完了により、緊急時における情報錯誤を回避し円滑な情報収集、配信体制の実現が可能となる。 システム構築完了	システム構築完了により、緊急時における情報錯誤を回避し円滑な情報収集、配信体制の実現が可能となった システム構築完了	◎
17		与那原町歴史・文化資料保管施設整備事業	H26	本町の町史編纂室において調査・収集した貴重な文化的・歴史的資料を良質な状態で後世まで伝えていくために、資料や文献の保管・管理に適した保管管理施設を整備する。	保管管理施設の整備完了により貴重な資料文献の長期保存が可能となる。また、保管された資料を活用し企画展などを実施することで歴史、文化の継承を図る	保管管理施設の整備完了により貴重な資料文献の長期保存が可能とった 保管された資料を活用し企画展などを実施することで歴史、文化の継承を図った	◎
18		与那原町観光客受入に係る交通状況調査事業	H26	現在、与那原町では観光客を誘致する為の事業を実施しており、観光客の受け入れ態勢の取組を実施する必要がある。今後の観光客受入体制整備に係る施策を実施するため、交通体系を中心とした現状調査実施と、課題を抽出する。	与那原町交通状況の把握 観光客受入をする為に必要な課題の把握	与那原町交通状況の把握 観光客受入をする為に必要な課題の把握	◎
19		軽便鉄道開通１００周年記念事業	H26	軽便鉄道開通１００周年を記念し、町子ども会をはじめとする町内各種団体を中心に軽便鉄道にちなんだ種目でギネス記録に挑戦するイベント等を開催する。このたび復元された与那原駅の落成をアピールするために町内外へ広く参加をよびかける。	ギネスワールドレコード更新によるギネスレコードの登録目標参加者数1，１００人以上	ギネスワールドレコード更新によるギネスレコードの登録目標参加者数1，４２５人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	青少年国際交流事業	H24～H33	町内の青少年リーダーを海外（ハワイ）へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。研修を通して国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図る。また、参加した青少年達に対して事後活動を定期的に行い、地域で自主的な活動を行えるようサポートする。	・研修後報告会の開催 ・報告会の実施などを通した参加者の意識向上を図る。	・研修後報告会の開催 ・意識向上を図った。	◎
1	②	小学校英語指導助手配置事業	H24～H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	英語を話す児童の割合６０％以上（アンケート）	英語を話す児童の割合６１．５％以上（アンケート）	◎
1	③	学力調査等事業	H24～H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。	標準学力調査結果正答率（国語・算数・数学・英語）前年度結果の０．１％増 （理科・社会）正解率４０％ 【比較数値】平成２５年度正答率小学校：国語７０．３％算数６７．３％中学校：国語６５．８％数学４９．２％英語４７．９％）※理科・社会については、今年度から新たに実施により比較数値が無い為。今年度は正解率を目標とする。	【小学校】 国語　2.07％増（前年比） 算数　3.67％増（前年比） 理科65.6％（正答率） 【中学校】 国語　－1.67％（前年比） 数学　1.93％増（前年比） 英語3.45％増（前年比） 理科50.6％（正答率） 社会55.4％（正答率）	○
1	④	学習支援員配置事業	H24～H33	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。	・標準学力調査結果正答率（国語・算数・数学）０．１％増	小学校国語 ２．０７ 小学校算数 ３．６７ 中学校国語－１．６７ 中学校数学 １．９３	○
1	⑤	特別支援教育支援員配置事業	H24～H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども（学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒）の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート（介助や安全確保）などを教師と連携して行う補助員を配置する。	・標準学力調査結果正答率（国語・算数・数学）０．１％増	小学校国語 ２．０７ 小学校算数 ３．６７ 中学校国語－１．６７ 中学校数学 １．９３	○
1	⑥	学校ICT推進事業	H24～H28	沖縄県は学力テスト結果が下位に位置し、低所得者も多く、パソコン所有世帯数も全国的にみても低い状況である。学校においてパソコン等機器を充実させ、わかりやすい授業を行なうことで、教育の質の向上を図り、学力向上やより良い人材の育成を行うための環境を整備する。また、ICT機器を活用した魅力ある授業を支援するため、ICT支援員を配置する。	・標準学力調査結果正答率（国語・数学）０．１％増 ・教職員に対するICT環境におけるアンケート	小学校国語 ２．０７ 小学校算数 ３．６７ 中学校国語－１．６７ 中学校数学 １．９３ アンケート実施	○
1	⑦	児童生徒健全育成事業	H24～H33	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	・標準学力調査結果正答率（国語・数学）０．１％増	中学校国語－１．６７ 中学校数学 １．９３	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	教育相談支援事業	H24～H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。	・町教育相談員配置数：1人 ・心の教室相談員配置数：4人 ・発達支援心理士配置数：1人 ・スクールカウンセラー配置数：1人	・町教育相談員配置数：1人 ・心の教室相談員配置数：4人 ・発達支援心理士配置数：1人 ・スクールカウンセラー配置数：0人	○
1	⑨	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24～H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	・標準学力調査結果正答率（英語）0．1%増	・標準学力調査結果正答率（英語）3．45%増	◎
1	⑩	南風原町青年海外派遣事業	H25～H33	本町の青年達を、特に移民先の南米やハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成する。その成果を今後の町の将来を担うリーダーとしての自覚を持って活動をしてもらう。	・研修後の報告会の開催・報告書の作成を通して研修生の社会貢献、国際理解の意識向上を図る。 ・ハワイ南風原クラブ、海外移住者子弟研修生OBとのネットワークの構築	・研修後の報告会の開催・報告書の作成を通して研修生の社会貢献、国際理解の意識向上を図った。 ・ハワイ南風原クラブ、海外移住者子弟研修生OBとのネットワークの構築	◎
1	⑪	南風原町各種大会派遣助成事業	H25～H33	小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の補助をする	・大会派遣児童・生徒数31人	・大会派遣児童・生徒数57人	◎
1	⑫	南風原町県外等派遣助成事業	H25～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動に対して必要な派遣費用の助成を行う。	派遣児童・生徒数（累計）：140人	派遣児童・生徒数（累計）：129人	○
1	⑬	魅力的な体験学習事業	H25～H33	沖縄振興に資する人材育成のため、机上の学習だけではなく体験学習を取り入た授業を行うことで児童生徒の探究心や想像力を育て学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらう。	サイエンスショー開催後にアンケートを実施し、理科への興味・関心度の調査を行う。 理科への関心度：70%（H25年度実績97%）	サイエンスショー開催後にアンケートを実施し、理科への興味・関心度の調査を行う。 理科への関心度：93%（H25年度実績97%）	◎
1	⑭	南風原町児童生徒県外交流事業	H25～H33	徳島県のサマーキャンプに南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流会、つるぎ町及び徳島市での自然・文化体験プログラムで文化交流や自然学習等を体験する派遣費の補助をする	・派遣者にアンケートや報告書（感想文）を実施し集計結果や分析を報告。 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 「次回も継続して欲しいこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。	「楽しかったこと・びっくりしたこと」の回答に民泊交流・中学校交流と答えた割合52%。 「次回も継続して欲しいこと」の答えの回答に民泊交流・中学校交流と答えた割合68%。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	南風原町観光景観美化整備事業	H24～H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施し、クリーンな南風原町を目指す。	観光ルート延長Ｌ＝１２，６００mの町道メンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を実施	観光ルート延長Ｌ＝１２，６００mの町道メンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を実施	◎
2	②	かすりの道景観活性化プロジェクト	H24～H33	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、地域の観光資源である「かすりの道」に観光客誘客をねらう。地域住民参加による色鮮やかな花の植栽等の緑化活動、地域ガイド活動、道並などの整備を行い滞在型観光客の受け入れ体制を整える。誘客策としてイベントを開催するなどし、かすりの道の来訪者（観光客・地元客）が安心・安全に散策できる散策体験プログラムや地域住民と協働で整備を行う。	・イベント参加者：１８０人 ・かすりの道散策ツアー参加者３００人	・イベント参加者：２２２人 ・かすりの道散策ツアー参加者２８４人	○
2	③	やさしい観光地づくり事業	H24～H26	滞在型ツアーなど観光客が求める情報提供を行うため、観光パンフレット等の紙媒体とスマートフォンの連携をし、興味換起から現地の誘導までをワンストップで提供し、地域における滞在制の向上を目的とし、スマートフォンが活用しやすいよう、野外ホットスポット（ワイファイアンテナ）を建て、スムーズな情報提供を行い、町独自の観光案内システム（アプリケーション）制作を地域における滞在制の向上を目的として実施する。	・Ｗｉ－Ｆｉ接続数３５００／月 ・観光ポータルサイト接続数９６００／年 ・観光アプリダウンロード数６００／年	・Ｗｉ－Ｆｉ接続数３３０９／月 ・観光ポータルサイト接続数９６８５／年 ・観光アプリダウンロード数７１５／年	○
2	④	デザイン・くくり担い手育成事業	H24～H33	本町の琉球絣は伝統工芸品として有名だが、現在不足している「デザイン・くくり」の継承者を育成する必要がある。デジタル方法で新しいデザインを生み、管理できる新たな道を開く。若い担い手の活動の場を提供し、かすりの伝統工芸の継承を促進しつつ、新しい分野での発展の可能性を向上させる。絣の基礎知識、全行程も学びながら、デザインくくりの技術を習得させ「デザインくくりの担い手」として、即戦力になるまで3年間育成する。	・デザインくくりの担い手技術者育成人数：6名	・デザインくくりの担い手技術者育成人数：6名	◎
2	⑤	担い手経営戦略事業	H24～H26	琉球絣に携わる担い手が、生産をするだけではなく、グローバルな視点をもち、全国、世界に対応できる人材を育成し、産業として成り立つよう経営戦略を長期的に学ぶ。新たな絣工芸品の開発及び二次加工製品の新技術との融合により付加価値のある製品開発を行い、成果展を開催する。	・経営戦略学習者：6名	・経営戦略学習者：6名	◎
2	⑥	伝統工芸と観光戦略事業	H24～H33	伝統工芸品である琉球絣は貴重で町民誰でも憧れの品です。南風原町民だけではなく、町内外の方々にも絣の良さを知ってもらうため、滞在型観光につながる絣体験のコンテンツをプログラムを化し、南風原町でしか経験できない体験をつくる。さらに、絣事業の拠点でもあるかすり会館を観光客のニーズに対応したディスプレイのレイアウトづくりを行う事で、町内外から観光客の増加を目的とする。	・モニター参加者目標１０名／月	・モニター参加者目標８．１名／月	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	町独自の商品開発技術力強化事業	H24～H26	地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い、産業展開する。異業種があつまり、プロジェクトチームを組み、南風原らしい商品開発を行い、生産、販路まで展開し、競争力を高める。H24年度はターゲットを2点に絞り、H25年度は実際に商品を作る。H26年度は、開発した商品の販路を開拓、拡大させる。	販売先の確保：5箇所	販売先の確保：2箇所	未
2	⑧	南風原町地域農業活性化事業	H24～H33	野菜、花卉、果樹等の露地栽培では、本県特有の気象条件（台風、長雨、干ばつ等）や病害虫、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっている。それらの被害、影響の軽減を図る為、耐候性施設（強化型パイプハウス）を設置する経費に対し補助を行う。	スターフルーツ生産目標：10t	スターフルーツ生産目標：0t	未
2	⑨	南風原名人制度創設事業	H25～H27	観光の国際化や多様な観光ニーズに対応するため、南風原町の地域人材を活用した地域発の観光商品を事業化に向けた取組を推進する。南風原町の体験ツールを増やす目的で、南風原町内の名人（得意なこと）制度を創設する。具体的内容としては、南風原町民対象に得意なことがあれば、その名人として認定委員会より認定し、認定書を発行。認定した後は、名人名簿に登録し、体験学習のプログラムをつくり、滞在型観光を支援する。	・体験学習プログラム数：7件 ・名人登録者（累計）：15人	・体験学習プログラム数：10件 ・名人登録者（累計）：18人	◎
2	⑩	民泊啓発推進事業	H25～H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行って、観光推進体制を強化していく。	・宿泊体験受入数：25名	・宿泊体験受入数：80名	◎
2	⑪	南風原地域発信力強化事業	H24～H28	ヘチマ生産日本一を誇る本町では、南風原産ヘチマの愛称を「はえばる美瓜（ビュウリー）」と名付け、本町のブランド化を図るため、ビュウリーズダンスユニットを結成した。そのビュウリーズダンスユニットを活用し、物産展やイベント等で、販売促進活動を行い、南風原産ヘチマ及び本町の観光PRを図り、本町の魅力等情報発信を行う。	・南風原町物産展等の販売促進活動5回	・南風原町物産展等の販売促進活動15回	◎
2	⑫	ヒーローのまちづくり事業	H25～H33	全国的ヒーローである「ウルトラマン」の生みの親である金城哲夫さんは本町出身者である。本町の観光振興、地域活性化のため、金城哲夫さんにちなんだまちづくりを行う。町民主体に誘致活動を行い、金城哲夫さんのフォーラムやウルトラマン映画上映、脚本コンペ、映像化を定期的に行い、地元客及び観光客を本町へ誘導し、活性化を図る。	・イベント、フォーラムの参加人数：1，000人 ・脚本賞のイベント参加人数：1，000人	・イベント、フォーラムの参加人数：2，950人 ・脚本賞のイベント参加人数：50人	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑬	シマじまガイド事業	H24～H33	着地型観光メニューとして「シマじまガイド」（町内ディープな名所案内巡り）を実施し、本町の観光まちづくりを推進している南風原町観光協会に委託する。「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、これまでにない新しいまち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していく。	シマじまガイド事業利用者数：1，250人	シマじまガイド事業利用者数：321人	未
2	⑭	南風原町観光PR促進事業	H25～H33	南風原町のイメージキャラクターと伝統工芸の琉球絣を観光PRツールとして有効活用し、各種イベントやマスメディアへのPRを始め、観光施設・町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をし、南風原町の観光振興に繋げる。また、観光案内所の充実化を図る事で、南風原町の観光情報を一元化し、より充実した観光サービスができ、南風原町の観光振興に繋げる。	・イベント活動：40回 ・物産展来場者：12，000人 ・南風原町観光案内所の利用者数5000人 ・南風原町観光案内所周辺でのイベント開催6回	・イベント活動：118回 ・物産展来場者：12，000人 ・南風原町観光案内所の利用者数5，557人 ・南風原町観光案内所周辺でのイベント開催9回	◎
2	⑮	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25～H26	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により観光と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため、「黄金森公園陸上競技場」のトレーニング機器等と受入体制の整備を行う。	スポーツ合宿・キャンプ利用者数：450人 （比較値）H23：395人、H24：383人、H25：146人（トラック改修工事有り）	スポーツ合宿・キャンプ利用者数：1，123人	◎
3	①	はえばるリサイクルループ事業	H24～H28	町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物（生ごみ、廃食用油含む）を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：60トン	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：33トン	未
3	②	環境学習支援事業	H24～H28	児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	環境学習「買い物ゲーム」体験者数：440人	環境学習「買い物ゲーム」体験者数：332人	○
3	③	草木リサイクル事業	H24～H28	「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。	草木のリサイクル量：431トン	草木のリサイクル量：488トン	◎
4	①	防災体制強化事業	H24～H28	近年、全国的各地では地震や大雨、土砂災害などによる自然災害が発生しており、亜熱帯気候である沖縄県でも毎年多くの台風が接近・襲来している。そのため、島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、独立してしまう恐れがある。そのことから、町独自で長期保存ができる食糧等の備蓄を行い、防災体制の強化を図る。	・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16，200食（36，000人×1／20×3日分×3食）に対する充足率：61．3%	・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16，200食（36，000人×1／20×3日分×3食）に対する充足率：64．4%	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	②	災害時等避難施設改修事業	H24～H28	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	施設整備補助件数：5件	施設整備補助件数：2件	未
4	③	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26～H29	築30年以上経過し、通路や法面の滑りがみられコンクリート舗装や擁壁に亀裂などを起こしている。そのため避難通路、通学路として安全に活用するための整備を行う。本校西側集落の避難通路として整備する。	避難路調査・測量完了：5，014㎡	-	繰
4	④	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26～H29	災害時に避難所として指定されており、本校南側集落よりの避難通路（道路）が未整備のために整備を行う。	避難路調査・測量完了：149．1m	避難路調査・測量完了：149．1m	◎
4	⑤	災害時等避難施設整備事業	H26	災害に強いまちづくりを推進するため、災害時、非常時に地域住民の緊急避難所として、避難所の無い地区へ施設を整備する。	避難所建設費補助件数：1件	-	繰
5	①	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24～H33	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、町内の学童クラブ10園中、民間施設を借用し運営を行っているクラブに対して一月50，000円の上限で家賃補助を行う。	児童の放課後の居場所を継続的に確保することにより、児童の健全育成を図る。	児童の放課後の居場所を継続的に確保することにより、児童の健全育成を図ることができた。	◎
5	②	預かり保育事業	H24～H33	幼稚園の教育時間修了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を配置する。	・預かり保育率（入園者に対する預かり保育申込園児数）69．6％（前年度＋0．5％増）	・預かり保育率（入園者に対する預かり保育申込園児数）70．0％（前年度＋0．5％増）	◎
5	③	幼稚園保育充実支援員配置事業	H25～H33	平成25年度より町立幼稚園の保育時間を正午までから午後2時まで延長し、併せて給食の提供を行う。給食の提供は通常保育の担任と預かり保育教諭の2名体制で対応する予定ですが、預かり保育は保護者の選択制のため、クラス数が減る場合もあり、支援する職員を配置し安心・安全な給食時間を提供する。	・幼稚園就園率72％（前年度＋1％増）	・幼稚園就園率73％	◎
5	④	認可外保育施設環境整備事業	H25～H27	子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させる。	児童が安心・安全に過ごせるよう建物の安全性・快適性を確保することにより、児童の健やかな成長を促す。	児童が安心・安全に過ごせるよう建物の安全性・快適性を確保することにより、児童の健やかな成長を促すことができた。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	①	陸軍病院壕公開活用事業	H24～H33	本町は沖縄戦で人口の4割以上が犠牲になった。戦中は後方陣地として町全域に日本軍陣地が構築され、沖縄陸軍病院も置かれた。町では悲しい歴史を二度と繰り返してはいけないという強い決意をもって、陸軍病院壕群20号を整備した。県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行う。	見学者数10，000人	見学者数10，160人	◎
6	②	資料の公開活用事業	H24～H29	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。	データベース化割合（H26年度）：100％	データベース化割合（H26年度）：100％	◎
6	③	子ども平和学習交流事業	H24～H33	町内の小学校4校から6年生を12人選考し、事前学習で、戦争と平和（太平洋戦争の歴史、沖縄戦の状況や広島原爆の様子など）や差別・人権（ハンセン病に関すること、被差別部落など）を学習し、歴史の中での戦争や差別の問題を考える。平成26年度は学童疎開70周年にあたるため疎開地へ赴き、学童疎開者たちの歴史を学ぶ予定である。	・事前学習、本研修の後その報告会の開催や報告書の作成を通して、学習したことのまとめ、各自の考えを整理し、平和への意識向上、社会への洞察力を高める。	・事前学習、本研修の後その報告会の開催や報告書の作成を通して、学習したことのまとめ、各自の考えを整理し、平和への意識向上、社会への洞察力を高めた。	◎
6	④	伝統芸能保存育成事業	H24～H33	町内には数多くの伝統芸能がある。各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に必要な衣装や獅子舞などの道具の補修や買い換えに対し助成を行うことで伝統芸能継承を推進する。	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H26年度：67回	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H26年度：68回	◎
6	⑤	南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業	H24～H33	文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の歴史と文化を学習させる。	・研修成果の報告会の開催を通して、関係者へのつながりの再認識と各自の役割を確認し移民の歴史や国際貢献の意識向上を図る。 ・自国の研修生OB会への加入	・研修成果の報告会の開催を通して、関係者へのつながりの再認識と各自の役割を確認し移民の歴史や国際貢献の意識向上を図った。 ・自国の研修生OB会への加入	◎
6	⑥	伝統文化交流施設活性化事業	H24～H26	地域交流センターは、各地域に伝わる伝統芸能の発表の場、本土の中高生の平和学習の講演会・演奏会等に活用されているが、施設の備品の配置が不十分であるため、備品の整備を行うことにより施設の充実及び機能の強化を図り、今後の文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げる。	利用来場者数研修会・大会・フォーラム等 H26：12，000人 伝統文化交流イベント等 H26：3，700人	利用来場者数研修会・大会・フォーラム等 H26：15，851人 伝統文化交流イベント等 H26：4，420人	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	⑦	南風原町クサティ森等保全事業	H25～H30	南風原町の集落は首里の近郊にあり、王朝時代の集落形態を今に残している。集落のクサティ森には遺跡や御嶽（ウタキ）、殿（トゥン）、拝所などの史跡が多数ある。字津嘉山のクサティ森は沖縄戦で軍司令部壕が建設され戦跡としても重要である。これらの歴史文化の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、旧軍司令部壕の一部復元、説明板・散策道・休養施設整備等を行う。平成26年度は、整地等の工事と便益施設（トイレ）の設計を行う。	・整地工事の完了 ・便益施設（トイレ）の設計の完了	・整地工事の完了 ・便益施設（トイレ）の設計の完了	◎
6	⑧	南風原町民俗芸能交流会開催事業	H26～H33	平成15年度までに25年間継続し、一旦終了した事業であるが、伝統芸能が各地で盛んになり、復活を期待されている演目も多々ある。これまでの実績を踏まえ、新たな世代に地域の伝統芸能を継承することを願い、また地域の伝統芸能を創造する。他地域との出会い・交流は喜びと知恵を生み、日常生活の生きる糧として地域の活性化を図る。	・芸能交流会参加者450人以上	・芸能交流会参加者500人	◎
6	⑨	プロジェクトヒュート補助事業	H26～H33	平成24年度に、南風原町のローカルヒーロー「かぼっちゃマン」を引き継ぐ形で、新しいキャラクター「南風原新伝説飛勇人（ひゅーと）」が誕生し「チームTHE飛勇人（ひゅーと）」として活動している。南風原町の伝説、課題や話題などをモチーフにしたショーを通して、多くの人々に町の伝承文化や行事などの普及に努めている。その活動意義は大きく、新たな地域活性化、人と人との交流を生み出すためにその活動に対して支援を行う。	・地域の伝説や民話の理解を深めた：60％ ・新しいキャラクターに楽しさや親しみを覚えた：60％（イベント開催時に実施するアンケート回収結果） ・町内各字の伝承文化の啓発を図る	・地域の伝説や民話の理解を深めた：未達成 ・新しいキャラクターに楽しさや親しみを覚えた：未達成 ・町内各字の伝承文化の啓発を図った	△
6	⑩	戦争証言資料管理システム導入事業	H26～H27	国内で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行われた沖縄においては多くの住民が火の海、銃砲弾の雨にさらされ悲惨な状況の中で傷病を受け、また死亡し、戦闘参加者となった。そういう過去を風化させず後世に語り継ぐことができるよう、援護業務で得られた戦時中の生の証言資料を整理し、平和事業や平和学習に活用する。そのため、南風原町で保管する紙ベースの戦没者台帳をデータベース化し戦没者遺族等から得られた戦没時の悲惨な実態証言を加えたシステムを構築し管理する。	・戦争証言資料管理システム基礎データ整備率：100％	・戦争証言資料管理システム基礎データ整備率：80％	○
7	①	長寿県復活食の応援事業	H25～H26	「健康長寿おきなわ」の復活に向けて、町民へ沖縄県や南風原町の食習慣の実態や課題を伝え、生活習慣病の発症や重症化を予防するために食習慣の改善方法を提供する。ライフサイクルに応じたバランス食の啓発や広報等の取り組みを行うことにより、日常の食生活の改善及び生活習慣を再構築するための支援を行う。	・講演会参加者数：100人 ・野菜の必要性、野菜の基準量、野菜を多く摂取する方法等の認知度：30％	・講演会参加者数：100人 ・野菜の必要性、野菜の基準量、野菜を多く摂取する方法等の認知度：29．9％	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「ー」

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業	H24～H26	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した管区情報の発信及び外国人観光客に対応するため観光パンフレットを刷新し多他言語版を制作する。	県外高校修学旅行受け入数H26年度20校（H25年度15校） 離島フェアーブース来場者数3，000人 アイランタブース来場者数2，000人 観光パンフレット作成40，000部（4言語各10，000部） 観光情報誌への広告掲載1誌	県外高校修学旅行受け入数H26年度18校 離島フェアーブース来場者数3，000人 アイランタブース来場者数2，000人 観光パンフレット作成100，000部（5言語各20，000部） 観光情報誌への広告掲載1誌	◎
1	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24～H26	観光地としてのイメージアップを図るため、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設の景観浄化を図る。	渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、観光施設の除草及び清掃作業を周年実施。	渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、観光施設の除草及び清掃作業を周年実施	◎
1	③	渡嘉敷村観光受入体制整備事業	H26	観光客の受け入れ態勢整備のため、慶良間諸島間内航路運航を実施し交通手段を確保する。また、修学旅行誘致のため村営キャンプ場の備品を整備し、観光振興を図る。ホームページ多言語案内システムを構築し、外国人観光客への情報発信の充実を図る。	内航船運航開始により慶良間諸島周遊観光の利用者数H26年度3，000人（H25年度2，450人） バーベキュー機材購入完了及び貸出開始大セット（10台）小セット（10台）イス（60脚） ホームページ7ヶ国語構築完了及びシステム開始（日本語・英語・中国語（簡体・繁体）韓国語・スペイン語・ドイツ語）	内航船運航開始により慶良間諸島周遊観光の利用者数H26年度3，115人	△
1	④	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25～H33	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を補助する。	運航回数及び搭乗人数110回、385人（H25年度実績（6月～12月）79回、303人）	利用人数：126人	未
1	⑤	渡嘉敷村観光施設整備事業	H26	渡嘉敷村青少年旅行村施設案内板の設置、キャンプ場に隣接する老朽化したトイレ、炊事棟、シャワー棟の撤去及び、渡嘉志久海岸公園内の木製人道橋の改修を行い、利用客の安全確保及び景観の美化を図る。	①村青少年旅行村施設案内板制作設置完了 ②老朽化施設の撤去工事完了 ③木製人道橋改修工事完了 ④バス停留所設置完了（2箇所） ⑤島の模型制作完了 ⑥渡嘉志久ビーチ水難監視員3名（常時2名）配置 ⑦木製長いす制作完了（40脚作成）	①2基、1枚 ②3棟 ③ー ④バス停1箇所 ⑤模型一式 ⑥ー ⑦40台	△
2		渡嘉敷村農地保全事業	H24～H33	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して農産物を生産させ、農業振興を図るため、イノシシの捕獲駆除を行う。	箱罠の設置により、年間100頭前後のイノシシを捕獲している。26年度の捕獲頭数を120頭とする。	122	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「ー」

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24～H33	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。	村内小学校への支援者派遣率：１００％	１００％	◎
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25～H33	村外で実施されるスポーツ大会や、文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な体験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。	派遣児童・生徒数（累計）：１８５人	１６７人	○
3	③	幼稚園預かり保育事業	H25～H33	保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。	入園児全員の預かり保育が可能となる。保護者のニーズに合った対応が可能となる。 預かり保育利用児童数２０人	２０人	◎
3	④	小学校学習補助員配置事業	H26	渡嘉敷小学校1学年入学児に多動性障害児が在籍しており、教科学習の支援や集団行動支援、及び他児童との平穏な活動体制を維持していくため学習補助員を配置する。	当該児童及び他児童の健全な学習環境の維持。 支援サポートした児童数６人	６人	◎
4	①	避難道整備事業	H26	本村は年間１０万人を越える観光客が来島するため、災害発生時における地理的条件等を把握してない観光客を安全に避難場所まで誘導するために、避難道の整備を行う。	避難道整備完了	整備未完了	未
4	②	避難場所案内版設置事業	H26	災害発生時における避難場所への誘導経路を観光客等でも対応出来るよう避難場所、避難経路の案内板を設置する。	避難場所案内板の設置完了（６箇所）	設置未完了	未
4	③	集落内衛生環境保全事業	H26～H32	観光客や地域住民に快適な衛生環境の提供と、集落内の環境保全を図るため、蚊の発生を防ぐ防虫剤を定期的に散布する。	１２回散布完了	―	-
5		渡嘉敷村保育所整備事業	H26～H27	本村のへき地保育所は築３０年以上経過しており、老朽化が進行している。幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準を満たす保育所を整備し、多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保し、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。	設計委託業務の完了 磁気探査業務の完了	工事設計完了 磁気探査業務完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「ー」

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6		渡嘉敷村福祉対策事業	H26	渡嘉敷村高齢者生活福祉センターを一部改修し、地域の高齢者福祉介護事業を総合的、包括的に支援する体制の強化を図る。老人クラブ活動、自治区活動、諸会議等の拠点づくりにより活動促進を図る。災害時や台風時の一時避難所及び福祉避難所としての場所を確保することにより、障害者、高齢者等の方が安心して生活できるよう整備する。	増改築工事完了(１２２㎡)	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	座間味村海域安全隊事業	H24～H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員を配置する（4月～10月）	村内3ビーチへのライフセイバー配置 4月から10月 ビーチでの遊泳無事故	・村内3ビーチへのライフセイバー配置 5/2～5/6、8/1～10/31配置 ・死亡事故1件	未
1	②	座間味村がんばる観光支援事業	H24～H33	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充や、新規イベント開催及び観光大使による県内外周知活動、県外アミューズメント施設での誘致活動等を実施し、県内外へ広くＰＲする情報発信をおこない誘客促進を図る。	座間味村観光客入域数 目標：85000人 【基準年度】 Ｈ２４年：約７万人	座間味村観光客入域数　90000人	◎
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24～H33	365日対応の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次案内をスムーズに行い、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ補助を行い、観光客の誘致と満足度向上を図る。	・観光メニュー開発：３本 ・観光客満足度： 　アンケートの実施 　宿の食の資質の向上（講習会） 　インバウンド講習会の実施	・観光メニュー開発：１本 ・観光客満足度：アンケートの実施 ・インバウンド講習会の実施	未
1	④	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24～H28	観光客の受け入れ態勢の整備と満足度向上を図るため既存港公園内へ拡張整備を行う。本年度は東屋、ベンチの取付け、人工芝、グランド整備を行い、ビジタセンター建築に向けた詳細設計及び地質調査を行う。	・公園整備 （東屋・ベンチ・3on3コート・健康器具等の設置） ・ビジターセンター実施設計書を取りまとめ建築費用の把握。 （ＰＣ又はＲＣ造り地上３階建見込み） ・予定用地の土地状況を把握すること	・東屋・ベンチ人工芝等 ・実施設計書の作成 ・地質調査の実施（ボーリング調査）	△
1	⑤	座間味村美ら島づくり花の森整備事業	H24～H28	観光誘致と受入体制の整備のため特定公園である本村の自然を生かした魅力ある景観形成促進のため、フラワーパークの構築や、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間をとおして花と緑で観光客を迎え入れる。	座間味区の港周辺の植栽工事着手 （コンテナ（ブーゲンビレア20個・ブッソウゲ18個クロトン17個）設置） 座間味区の高月山の植栽工事着工 （土壌改良49㎡・シャリンバイ植栽100本） 阿佐区の避難道及び集落周辺の植栽工事着工 （コンテナ（ブーゲンビレア3個・ブッソウゲ3個クロトン1個）設置）土壌改良165㎡・その他植栽1224本 阿嘉・慶留間島の実施計画の策定	座間味区の港周辺の植栽工事着手 （コンテナ（ブーゲンビレア20個・ブッソウゲ18個クロトン17個）設置） 座間味区の高月山の植栽工事着工 （土壌改良49㎡・シャリンバイ植栽100本） 阿佐区の避難道及び集落周辺の植栽工事着工 （コンテナ（ブーゲンビレア3個・ブッソウゲ3個クロトン1個）設置）土壌改良165㎡・その他植栽1068本 阿嘉・慶留間島の実施計画の策定	○
1	⑥	座間味村ホェールネットNEXT事業	H25～H26	観光地として観光客の安心と安全の確保と災害時におけるいち早い対応を構築するためIP網を屈指した防災無線の取付と、離島の離島である阿嘉・慶留間及び隣村の渡嘉敷村を結ぶ高速無線LAN設備を増強し、質の高い情報網の構築を図る。	村内防災無線の一層の聞こえの向上。観光客への防災情報サービス提供。	村内防災無線の一層の聞こえの向上 観光客への防災情報サービス提供	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	阿嘉地区観光道路整備事業	H26～H27	観光客の国際化や多様なニーズに対応するためハブが生息していない、国指定天然記念物ケラマジカが生息している地域特性を活用した昼夜問わず安心で魅力ある癒しの観光メニュー開発を目的とした山林観光道路を整備する。	阿嘉地区観光道路の整備設計委託業務完了	阿嘉地区観光道路の整備設計委託業務完了	◎
1	⑧	ダイバーズ・エッグ・プロジェクト	H26～H28	ダイビング観光客誘客のため、閑散期に（10月～2月の間3カ月程度）トライアルプログラム実証調査事業（体験ダイビング）としてダイバーのタマゴを育てるため、調査を効果的に行うことにより、観光産業の活性化につなげる。	・体験ダイビング（定員５００名）を実施し、各種調査、実証検証、課題作成等をおこない、閑散期のダイビング観光客の増加およびリピーターの増加、産業の活性化。	331名回収分析 課題抽出	未
2	①	座間味村鮮魚美食事業	H24～H29	地元で採れる新鮮な水産物の食材を観光客や宿泊施設へ提供と流通を図る。また、阿嘉島に直売所を開設し、離島の特色を生かした観光・産業振興を推進するとともに村ブランドの確立等に取り組み地産地消を推進する。	・今まで、阿嘉島には無い加工食品直売所の施設整備と機能強化による観光環境の充実 ・安定的な生産と供給体制の確立、地産地消の推進	・施設整備と機能強化による観光環境の充実 ・安定的な生産と供給体制の確立、地産地消の推進	◎
2	②	座間味村サンゴ（海の花）育成・植付事業	H24～H33	白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協職員及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動のノウハウを学び、人材支援活動事業費の補助を行う。	・サンゴが減少、少ない海域への植付２回 ・種苗の生産の拡大　2,000本	・サンゴが減少、少ない海域への植付１回 ・種苗の生産の拡大　2,200本	○
3	①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24～H33	離島交通ネットワーク手段の確保として、船の欠航時やダイヤ変更時に、チャータヘリコプターを利用した場合、運賃の一部補助を行う。	慶良間空港～那覇空港間フライト数：290回	慶良間空港～那覇空港間フライト数：182回	未
3	②	座間味村村内運航に係る対策事業	H24～H33	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員２名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。	定期船運航 座間味～阿　嘉：1日４便(目標運航1300回) 座間味～渡嘉敷：１日２便（目標運航590回）	定期船運航 座間味～阿　嘉：運航1418回 座間味～渡嘉敷：運航468回	○
3	③	座間味村慶留間・阿嘉地区避難路整備事業	H25～H27	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難路整備を行い災害に強い村づくりを図る。	慶留間地区避難道路の整備（１工区） 阿嘉地区避難道路に関しては、Ｈ２共用開始を目指す。	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	④	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25～H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である本島⇔座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃補助を実施し、高い交通コストの改善を図る。	自動車航送運賃の低減：年間約369台	自動車航送運賃の低減：年間約385台	◎
3	⑤	座間味村救急対応車両整備事業	H26	安全安心な村、観光地づくりを推進するため、急患が発生した際の対応のため救急搬送車両を購入する。	急患発生時の患者の搬送	急患発生時の患者の搬送	◎
4	①	座間味村外来植物討伐事業	H24～H33	自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化した外来植物「モクマオウ木、ギンネム木」繁殖の抑制を図るため討伐事業を実施する。	外来植物の討伐（村内一円） 討伐本数年間６００本（モクマオウ木、ギンネム木）	外来植物の討伐（村内一円） 討伐本数年間517本（モクマオウ木、ギンネム木）	○
4	②	座間味村環境衛生処理事業	H26～H27	本村では、可燃ごみと生ごみを別々に分けて収集しており、生ごみについては堆肥化を図り循環型社会の形成を図ってきました。しかし処理中に発生する臭気やそ族昆虫の発生により衛生面の問題が指摘され、併せて、クリーンセンターが遊泳ビーチや道路と隣接していることから観光客へ与えるマイナスイメージは避けられず、また、可燃ゴミとして処理した場合処理コストが高くなり、環境へ与える負荷も大きくなるため、これらを解決するため処理機導入を図る必要がある。	阿嘉島の生ごみ処理体制の確立	阿嘉島の生ごみ処理体制の確立	◎
5	①	座間味村沖縄戸籍電算化事業	H26	米軍施政権下で県独自の戸籍関係書類（仮戸籍、福岡戸籍）において、現在保管の老朽化した紙ベースから電子データ化を行う。	沖縄関係戸籍の電子化率１００％、情報資産の劣化、滅失防止	沖縄関係戸籍の電子化率１００％、情報資産の劣化、滅失防止	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	環境美化促進事業	H24～H33	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化･緑化活動を重点的に実施する。	観光地及びアクセス道路の美化　20カ所 植栽により、粟国の玄関口である港や空港等にて彩りのもてなしを行い、景観整備を図る。	観光地及びアクセス道路の美化　20カ所 植栽により、粟国の玄関口である港や空港等にて彩りのもてなしを行い、景観整備を図った。	◎
	②	東ヤマトガー周辺環境整備事業	H25～H26	パワースポット的な観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事の完了 安全柵設置等により、安全面が改善され、観光スポットとしての定着を図る。	東屋、安全防止柵の機能強化、駐車場等工事の完了 安全柵設置等により、安全面が改善され、観光スポットとしての定着を図る。	◎
	③	あぐにデジタルアーカイブ化事業	H25～H26	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約･管理し、利便性を向上させることで、村民及び観光客の郷土学習に付加価値をつけ、粟国観光の質を高める。	島の歴史資料、有形･無形文化財などを収集し、各種資源のデータベースの完成	島の歴史資料、有形･無形文化財などを収集し、各種資源のデータベースの完成	◎
	④	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26～H28	島の自然や伝統文化などの地域資源として広めていくため、マスコミやマスメディアを活用し、イベント等への誘客を図り、イベントの開催、観光ツアーを実施する。	イベント来場者数：３００人 観光ツアー参加者：１０人 観光ツアー参加者満足度調査：満足と答えた人７０％	イベント来場者数：６８０人 観光ツアー参加者：３１人 観光ツアー参加者満足度調査：満足と答えた人９０％	◎
	⑤	ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業	H25～H26	粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマハナ崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう周辺環境整備工事を行う。	階段、駐車場、トイレ工事の完了 階段設置により安全に海岸散策を行うことができ、観光スポットとしての定着を図る。	階段、駐車場、トイレ工事の完了 階段設置により安全に海岸散策を行うことができ、観光スポットとしての定着を図った。	◎
2	①	定住促進住宅整備事業	H25～H26	産業振興に向けた担い手確保を目的に、若者のIターン、Uターン者の定住施設を充実するため、集合住宅を整備する。	集合住宅（６世帯）整備率１００％		繰
3	①	和牛改良支援事業	H25～H28	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外からの優良仔牛（母牛になる素牛）の導入を支援し、仔牛の付加価値を高めていくことで、畜産業の振興を図る。	優良仔牛（母牛になる素牛）導入率６０％ （Ｈ２５～Ｈ２６累計）	優良仔牛（母牛になる素牛）導入率６０％ （Ｈ２５～Ｈ２６累計） （H25：20頭　H2610頭　目標：50頭(H25～H28累計)	◎
4	①	多目的施設整備事業	H24～H26	村民や観光客の交流場所並びに災害時の避難施設として,平成24年度及び25年度事業で整備し、26年6月に完成した「多目的施設（東ふれあいセンター）」の1階ピロティ部分に倉庫を整備する。	倉庫3部屋を整備し、機材等の収納スペースを確保することで施設の利便性を向上させる。		繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

渡名喜村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	環境保全･美化推進事業	H24～H33	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物（ギンネム等）の駆除及び在来植物の保全育成を図る。	･緑化及び美化活動：28箇所 ･外来植物駆除：8箇所 ･在来植物保全育成実施：14箇所	･緑化及び美化活動：28箇所 ･外来植物駆除：8箇所 ･在来植物保全育成実施：14箇所	◎
2	①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25～H33	離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を補助する。	渡名喜村ヘリポート～那覇空港間フライト回数：５０回	渡名喜村ヘリポート～那覇空港間フライト回数：３９回	○
3	①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26～H27	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預り所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	多目的拠点施設基本設計の完了	多目的拠点施設基本設計の完了	◎
4	①	渡名喜村観光ＰＲ事業	H26	島の魅力やイメージを積極的に発信し、島の知名度を高めるため、オリジナルキャラクター及び観光ＰＲ用ビデオなどを制作する。	･オリジナルキャラクター完成：１体 完成後、村内公民館等での一般住民向けお披露目イベント開催などにより村のＰＲが可能となる。 ･ＰＲ映像完成：ＢＤ，ＤＶＤ各３０枚 完成後、住民向け放映会の開催や、ユーチューブ、フェイスブックへの掲載で村のＰＲが可能となる。	―	繰
5	①	里御嶽参道整備事業	H26	本村の観光名所である里御嶽の観光客受入体制を強化するため、里御嶽への参道周辺の整備を行う。	休憩所設置完了１箇所 転落防止柵設置完了４００ｍ 案内板設置完了１基 標識柱設置完了５基 手すり設置完了４００ｍ	―	繰
6	①	「砂の道」景観保全事業	H26	島独自の豊かな自然環境の一つであり、観光資源ともなっている「砂の道」が飛散することを防ぐため、散水車を購入し景観の保全を図る。	･散水車両の購入完了 ･散水車の購入により、砂の飛散防止のための砂の道への散水が可能となる。	･散水車両の購入完了 ･散水車の購入により、砂の飛散防止のための砂の道への散水が可能となった。	◎
7	①	東浜ビーチ公衆便所･シャワー室整備事業	H26	島を訪れる観光客が安心･安全･快適な観光ができるように、観光に不可欠なトイレ、シャワー室の施設を整備し、観光地として評価されるまちづくりを形成する。	･東浜ビーチ公衆便所･シャワー室を整備することで、島外からの観光客の受入体制の強化が図られる。	―	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

渡名喜村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	①	児童・生徒の教育活動助成事業	H26～H33	離島のハンディを克服するため、児童生徒の村外での教育諸活動（スポーツ・文化）及び交流学習への派遣費用等を助成する。	・スポーツ大会参加（小学生26名、中学生56名） ・文化発表会等（小学生16名、中学生17名） ・交流学習（小学生13名、中学生9名）	・スポーツ大会参加（小学生31名、中学生14名） ・文化発表会等（小学生2名、中学生8名） ・交流学習（小学生9名、中学生2名）	未
9	①	渡名喜村水産振興事業	H26	漁業の安定操業や水産業の振興を図るため、製氷設備・貯氷設備の改修・機能強化を実施する団体へ補助する。	・製氷機1基、貯氷施設1基（取替・設置） ・製氷機・貯氷施設（各1基）の整備による氷の安定供給	・製氷機1基、貯氷施設1基（取替・設置） ・製氷機・貯氷施設（各1基）の整備による氷の安定供給が図られた。	◎
10	①	渡名喜村南利便施設機能強化事業	H26	渡名喜漁港を利用する漁業者、村民、島を訪れる観光客や釣り人等が安心・安全に漁業や観光ができるよう、漁港に隣接する地域にトイレ施設を整備し観光地として評価されるまちづくりを形成する。	・南公衆便所を整備することで、島外からの観光客の受入体制の強化が図られる。	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	健康診査用機材搬送事業	H24～H33	特定健診等集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料、検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整える事により定住促進を図る。	集団健診受診者数：360人（41．0%）	集団健診受診者数：397人（45．2%）	◎
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25～H33	沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。	専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者115人付添人55人	専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者240人付添人52人	○
1	③	南大東村多目的交流拠点整備事業	H25～H28	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。今年度は既存施設の解体整地を実施する。	危険既存施設の除去、整地、基礎工事を実施し、多目的拠点施設建設への条件を整える	ー	繰
2	①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25～H33	観光地としての景観整備を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の植栽・美化清掃を行う。	・観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上 ・観光施設の清掃による利用度の向上	・観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上 ・観光施設の清掃による利用度の向上	◎
2	②	大池地区水辺環境保全事業	H24～H28	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	①水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 ②水路汚泥浚渫による水流の再生 ③水路の一部供用開始	①水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 ②水路汚泥浚渫による水流の再生 ③水路の一部供用開始	◎
2	③	南大東村観光振興計画策定事業	H26	南大東村観光振興発展の為、専門家及び関係機関の意見を反映した中期・長期的な観光推進計画書を作成する。	①講演会、意見交換会による地域資源等の再発掘 ②観光振興計画書の作成により今後の振興に繋げる	①講演会、意見交換会による地域資源等の再発掘 ②観光振興計画書の作成により今後の振興に繋げる	◎
2	④	観光誘致強化人材育成プロモーション事業	H26	観光関連専門家による観光産業の人材育成及びプロモーション活動等を実施し、観光産業振興発展に寄与する。	①専門員の指導により資質の向上 ②観光産業への指導、助言よる接客・接遇等の改善 ③ホームページ作成により村の魅力を発信し誘客を図る	①専門員の指導により資質の向上 ②観光産業への指導、助言よる接客・接遇等の改善 ③ホームページ作成により村の魅力を発信し誘客を図る	◎
2	⑤	星野洞楽々歩道整備事業	H25～H26	観光施設として人気の高い星野洞は、入洞帰路が急勾配なため、入洞者に不便を来たしている。高齢者等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができる移動式歩道及び音声ガイド・照明器具等を整備をする。	・年間利用者の増加 ・利用者の満足度の向上 ・施設のPR、観光客誘致	・年間利用者の増加 ・利用者の満足度の向上 ・施設のPR、観光客誘致	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

南大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑥	シュガートレイン復活夢実現事業	H25～H29	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った"さとうきび列車"は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン（100万人）等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。	基本設計書の完成	基本設計書の完成	◎
3	①	生きがいづくり安心安全強化対策事業	H26	介護・福祉サービスの拠点である高齢者福祉センターのバリヤフリー化と緊急災害時の避難誘導路を整備して高齢者、要介護者の安心安全と福祉サービスの充実を確保し、生きがいある社会福祉づくりをめざす。	高齢者福祉センター内のバリヤフリーによる安心安全の確保 避難通路の設置による安心安全の確保	未実施	未
4	①	人材育成派遣事業	H25～H33	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を助成する。	・各大会等をとうして多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養う ・各大会において練習の成果を発揮する。	・各大会等をとうして多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養った ・各大会において練習の成果を発揮した。	◎
4	②	人材育成環境強化事業	H26～H33	村営学習支援塾に講師を配置して、パソコンを導入しての細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。	講師の配置による学力向上 パソコン等機器を活用して学ぶ環境・勉学意欲を高める	講師の配置による学力向上 パソコン等機器を活用して学ぶ環境・勉学意欲を高めた	◎
5	①	南大東村安らぎ空間整備事業	H24～H26	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。	墓地区画（9．1坪タイプ）300．0㎡の完了墓地区画（4．5坪タイプ）300．0㎡の完了墓地区画（1．8坪タイプ）180．0㎡の完了合葬墓地（9．1坪タイプ）30．0㎡の完了 進入車路503．0㎡の完了 トイレ・広場91．0㎡の完了 墓通路430．0㎡の完了 緑地広場の整備782．0㎡の完了	トイレ・広場91．0㎡の完了	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24～H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・文化資源の担い手育成数：1人・文化交流のイベント参加者数：40人	・文化資源の担い手育成数：1人・文化交流のイベント参加者数：40人	◎
1	②	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24～H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施：2,500m	・アクセス道路及び周回道路の美化実施：2,500m	◎
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25～H33	地理的条件によって、遠隔地である離島において教育環境格差は、大きな課題である。そこで、都市部と同様の学びを受ける事が可能なオンライン双方向授業を行う。	・学力向上率を7～10ポイント伸ばし全国平均レベルまで設定	4～5ポイント	未
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24～H33	待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。	・預かり保育を利用する園児数：10人 ・村営塾受講者数：50人	・預かり保育を利用する園児数：10人 ・村営塾受講者数：50人	◎
3	②	離島の児童の交流促進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学習における渡航費の一部を負担する。	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数（延べ数）：30人	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数（延べ数）：30人	◎
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。	・妊婦検診助成回数（延べ数）：30回 ・H25年度：5回/1人	・妊婦検診助成回数（延べ数）：60回 ・H25年度：4回/1人	○
4	①	北大東村複合型福祉施設整備事業	H25～H26	本村は、地理的条件や小規模人口の自治体という社会的条件等が相まって、福祉サービスの基盤整備が立ち遅れ、高齢者の福祉サービス等を村外に依存せざるを得ず、島を離れる状況が増加している。そこで、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていく事が出来るように、複合型福祉施設を整備する。	・福祉施設設計監理・工事の完了	・福祉施設設計監理・工事の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

北大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	①	北大東養殖産地協議会養殖事業	H25～H26	離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為に、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる『バイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム』での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。	・孵化飼育施設整備の完了・非常用発電機施設整備の完了	－	繰
6	①	北大東村景観形成事業	H26～H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	村一周海岸道路の植樹環境整備 ・測量・設計の完了：全長 9,000m ・雑木伐採等の完了：50m	村一周海岸道路の植樹環境整備 ・測量・設計の完了：全長 9,000m ・雑木伐採等の完了：50m	◎
7	①	北大東小中学校渡り廊下建設事業	H26	雨天時の移動の利便性向上、安全の確保など教育環境の充実のため、小中学校校舎・体育館・図書館等への渡り廊下を整備する。	・北大東小中学校渡り廊下の完成による教育環境の向上	・北大東小中学校渡り廊下完成	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	商工観光産業支援事業	H24～H28	伊平屋島の安住を支える重要な産業である観光を振興するため、島内サービス産業の支援強化や、各種イベントの開発能力の向上を図る。それにより、リピーター及び新規顧客の獲得による観光消費額の増大を目指す。	･観光推進委員会設立 ･観光推進委員会職員の雇用 ･視察研修･業務調整 ･人材育成講座観光協会設立までの基盤の強化を図る。	･観光推進委員会設立 ･観光推進委員会職員の雇用1人 ･視察研修2回 ･業務調整１２回 ･人材育成講座3回	○
1	②	観光地イメージアップ推進事業	H24～H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	観光アクセス道路の美化清掃：２９．５km観光関連施設の美化作業5カ所	観光アクセス道路の美化清掃：２９．５km 観光関連施設の美化作業5カ所	◎
1	③	誘客イベント推進事業	H24～H28	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用した、イベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、伊平屋村の認知度を高め、入域観光客数の増加を目指す。	①ウェルカムイベント ②特産品フェア ③キャンプツアー ④沖釣り大会 ⑤登山ツアー ⑥イルミネーション ⑦離島フェア芸能団派遣 ⑧サッカー交流事業 ⑨いへやまつり ⑩ムーンライトマラソン ⑪三村交流 実施によるイベントに係る入域観光客数の増 H２５年度４０００人→H２６年度４５００人程度	①ウェルカムイベント実施 ②特産品フェア実施 ③キャンプツアー実施 ④沖釣り大会実施 ⑤登山ツアー中止 ⑥イルミネーション実施 ⑦離島フェア芸能団派遣実施 ⑧サッカー交流事業中止 ⑨いへやまつり実施 ⑩ムーンライトマラソン中止 ⑪三村交流実施 実施によるイベントに係る入域観光客数の増H25年度4000人→H26年度3327人	○
1	④	伊平屋村イメージキャラクター開発事業	H26	村内の小学生を対象に制作企画をして頂き、現役芸大生、教授と共同で村マスコットキャラクターを制作する。	･イメージキャラクター完成	一体	◎
1	⑤	海浜公園植栽等整備事業	H24～H28	沖縄らしい原風景の創出と安心、安全で利便性、快適性の高い観光地づくりを目指し、台風や塩害に強く、緑陰機能に優れた在来樹種への植栽転換を実施する。また、ハブ対策として防蛇網の整備を行う。	緑陰植物植栽整備（南側）の完了	緑陰植物植栽整備（南側）の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	堆肥利用促進事業	H25～H26	堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。	堆肥センター機能強化及び更新等の完了	堆肥攪拌機の購入	◎
2	②	病害虫防除事業	H24～H27	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化H２３年度１，７５８t→H２６年度２，７００t	3,441t	◎
2	③	干ばつ対策事業	H24～H26	夏場や作付け時期となる秋期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。また、近年、慢性化する干ばつに対応するため、小規模ため池等、水源確保を図る。	マリンタンク設置及び配管工事（L＝２０００m）送水ポンプ一式の完成	配管2,406m 送水ポンプ一式の完成	◎
2	④	特産品等販路拡大推進事業	H24～H26	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出店を支援する。	島外イベントによる商談等3回	島外イベントによる商談等2回	未
2	⑤	輪作・転作等促進農業用排水施設整備事業	H25～H26	台風等の風災害により、減少した2期作農家を支援するため、輪作・転作が可能な水田排水施設の整備を行う。また、輪作・転作による農家主体の集団営農化を目指し課題の抽出と行動計画を定めた事業推進計画を策定する。	水田の輪作・転作対応工事設計の完了 輪作・転作対応配水工事（2ha）の完了	工事設計の完了	◎
2	⑥	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26～H30	本村の畜産業の振興を図る為、計画的に優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛繁殖農家へ導入費用の一部を助成することで肉用牛の増頭と飼育農家の経営の安定化を取り組み推進する。	優良繁殖雌牛の飼育頭数の増H２６年度１６９頭→１８４頭	15頭	◎
3	①	伝統文化継承支援事業	H24～H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	伝統文化教室の参加者数：１００名 伝統芸能際等開催H２６年度島内1回	伝統文化教室の参加者数：１５０名 伝統芸能際等開催H２６年度島内1回	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	②	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	本事業は、各小中学校にある特別支援学級に支援員を配置し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	児童生徒への支援（6名）	児童生徒への支援（6名）	◎
3	③	英語学習支援事業	H25～H33	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成をするため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	･留学終了後ムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ･実践発表会などを通じた参加者の意識向上	･留学終了後、ムーンライトマラソン等ボランティア協力及び実践発表会開催1回3名 ･実践発表会などを通じた参加者の意識向上1回 9名	△
3	④	島発ち教育支援事業	H26～H33	１５歳にして島を離れ高校へ進学する生徒への島発ち教育の一環として、自立心や社会規範の習得を目指し、職場体験学習を行う。対象は村内小学校6年生から中学3年生までとし、研修先は接遇や協調性、顧客サービス向上関連で学生向けプログラムを実施して評価の高い東京ディズニーランドとする。	研修参加による生徒の自立心などの意識向上	1回	◎
3	⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26～H30	本村は離島村という地理的条件下、中学を卒業すると高校進学等のため、子供達は村外へと巣立っていくという必然的な状況がある。また、島の将来を担う子供達の多数は帰郷すること無く島外、県外での就職等で島の産業等を活性化させる人材が少ない状況となっている。そのため、島の活性化に欠かせない人材育成を中学卒業までの間に実践及び経験等を交え島での産業発掘をテーマに起業する力を身につけさせる必要がある。	3種類程度の特産品開発	1種	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	伊平屋島児童･生徒島外派遣等支援事業	H26～H33	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会、交流等による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	村内3校児童･生徒の島外での教育的交流 村外で行われるスポーツ大会及び技術向上を目的としたイベントへの参加することによる児童･生徒の心身等の向上 小学校　：　児童107名 中学校　：　生徒58名	村内3校児童･生徒の島外での教育的交流 村外で行われるスポーツ大会及び技術向上を目的としたイベントへの参加することによる児童･生徒の心身等の向上 小学校　：　児童180名 中学校　：　生徒178名	◎
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	預かり保育対象児童数６名程度	8名	◎
4	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	妊婦健診に係る渡航費助成：１２名	17名	◎
4	③	慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25～H33	専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	慢性疾患児童等通院時渡航助成：８名（親同伴）×１２回	6名×5.5回	未
4	④	地域自立支援推進事業	H24～H26	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出･解決策の検討、行動計画の策定を行う。	地域自立推進実施計画策定	先進地調査 講演会	未
4	⑤	集落環境整備事業	H25～H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを推進するため、集落環境整備計画の策定と協働による主体的な取り組みについて助成を行う。	集落環境整備計画調査（５集落）の完了 集落環境整備（５集落）の完了	集落環境整備計画調査（５集落）の完了 集落環境整備（５集落）の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	⑥	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	自動車航送運賃の低減：Ｈ２６年度月２４５台（Ｈ２４年度実績値１０６台）	380.8台	◎
4	⑦	障がい者自立支援事業	H25～H29	本村の社会福祉法人によるサービス管理者等の人材育成について助成することにより、島内での人材育成、人材確保を推進する。それにより、障害者等の雇用環境や生活環境の充実を図る。	サービス管理者資格取得1名 施設設計委託業務一式完了	－	―
4	⑧	高齢者福祉施設整備事業	H24～H26	島内に一箇所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の改修を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築により、8名分の増床を行うとともに事務所及び相談室を新たに増設する。	施設機能強化工事の完了	施設機能強化工事の完了	◎
4	⑨	スポーツコンベンション推進事業	H26～H28	村民の健康増進や生涯スポーツの拠点のみならず、ムーンライトマラソンのメイン会場や県内アマチュア団体の合宿、各プロスポーツ団体との交流イベント、講習会の開催場所として活用している友愛と健康の広場を本村のスポーツコンベンション推進拠点施設と位置づけ、さらに取り組みを強化するため、施設の機能強化を行う。	・ムーンライトマラソン参加者の増加参加者1，２００名→1，４００名 ・ナイター施設を活用したスポーツイベントの開催Ｈ２５：0回→Ｈ２６：2回	・ムーンライトマラソン参加者の増加参加者0名 ・ナイター施設を活用したスポーツイベントの開催3回	△
4	⑩	伊平屋村火葬場機能強化事業	H26～H27	本村の火葬場は整備後２４年が経過し老朽化が進んでおり、斎場としてのスペースが無く、トイレ・待合室などもバリアフリーとなっていない。そのため、葬儀に係る住民負担の軽減と定住条件の向上に向け、火葬場の機能強化の為の改修及び増築を行う。	施設改修等設計業務の完了 火葬炉更新工事の完了	施設改修等設計業務の完了 火葬炉更新工事の完了	◎
5	①	伊平屋村救急対応整備事業	H25～H26	緊急時の医療機関（診療所）への緊急搬送を迅速に行うため、緊急搬送車両等を整備する。また、台風や季節風の塩害による腐食防止、飛来物等にる車両の破損から車両を守るため、保管庫を整備する。	設計委託業務の完了 緊急搬送者用保管庫整備工事の完了	設計委託業務の完了 緊急搬送者用保管庫整備工事の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	②	伊平屋島災害時避難所施設整備事業	H26～H28	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民･観光客等が避難する避難指定場所のライフライン等の機能強化により、避難者が安全に安心して避難できる施設の整備を図る。	村内各避難施設の機能強化工事設計の完了　施設強化工事　5カ所の完了 非常用電源施設整備　2カ所の完了	－	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24～H33	本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽等の美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。	美化緑化箇所：１５カ所 内訳：まつり会場（1カ所）、フットパスコース（1カ所）、集落内外（5カ所）、フラワーロード（4カ所）、観光施設等（4カ所）	美化緑化箇所：１５カ所 内訳：まつり会場（1カ所）、フットパスコース（1カ所）、集落内外（5カ所）、フラワーロード（4カ所）、観光施設等（4カ所）	◎
1	②	いぜな尚円王まつり支援事業	H24～H33	いぜな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し観光客の誘致を図る。	いぜな尚円王まつりの来場者数：約２０００名	いぜな尚円王まつりの来場者数：２０００名	◎
1	③	いぜな８８トライアスロン大会支援事業	H24～H33	毎年日本全国から選手６００名・家族や関係者２００名ほどが来島し、トライアスロン大会を盛り上げ本村の活性化に寄与しているが、大会のPR活動や受入体制強化など更なる観光振興を図ることを目的にトライアスロン大会開催に伴う運営費の一部を支援する。	・トライアスロン参加選手：６００名・ボランティア・関係者及び観戦者：４００名	―	―
1	④	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	H24～H28	本村は、第一尚氏王統の元祖及び第二尚氏王統の始祖尚円王生誕の地であり、数々の王家ゆかりの史跡・文化遺産が多く残されている。平成２７年度に尚円王生誕６００年を迎えるため、尚円王に関する史跡等の整備・復元や関連行事を行う。本村から琉球の歴史を県内外へ発信することで更なる誘客による観光振興を図る。	尚円王をキーワードにした取り組みを実施することにより、琉球国王生誕地・伊是名島の認知度向上を図る。	尚円王をキーワードにした取り組みを実施することにより、琉球国王生誕地・伊是名島の認知度向上を図った。	◎
1	⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26～H33	場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を誘致し、選手をはじめそのサポーターや観光客の誘致を促進するため、モータースポーツ大会開催に伴うレースカーの輸送費など運営費の一部を支援する。	・ドラックレース大会来場者数：３００名（2回） ・スーパードリフト大会来場者数：３００名（2回）	・ドラックレース大会来場者数：６８４名（3回） ・スーパードリフト大会来場者数：６１４名（3回）	◎
1	⑥	伊是名島民泊受入体制構築事業	H26	修学旅行生等による伊是名島での民泊受入体制を整えるため、いぜな島観光協会へマリン体験に必要な備品整備費用を補助し、より質の高い受入を目指す。	・受入体制の充実 ・強化・民泊受入数：５，８００名	・受入体制の充実 ・強化・民泊受入数：８，０１７名	◎
1	⑦	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26～H33	伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村交流事業である「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26～H33	本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生するむらづくりを目指し、地域一体となった魅力的な景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、また、個人が実施する外観形成に有効な赤瓦屋根の新設または葺き替え、サンゴ石垣による屋敷囲い等に要する経費を助成する。	○景観形成への助成 ・赤瓦助成→整備進捗率８％ ・石垣助成→２団体（２集落）	○景観形成への助成 ・赤瓦助成→整備進捗率０％ ・石垣助成→２団体（２集落）	△
1	⑨	観光情報発信事業	H26～H33	観光振興を図ることを目的に、お土産袋、観光カレンダー等を制作し観光情報発信の推進を図り、受入体制を強化する。	・お土産袋制作・配布（配布率１００％） ・観光カレンダー制作・配布（配布率１００％）	・お土産袋制作・配布（配布率１００％） ・観光カレンダー制作・配布（配布率１００％）	◎
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	離島の定住条件の向上を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。	自動車航送コストの負担軽減：５，０００台	自動車航送コストの負担軽減：５，７０５台	◎
2	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	村内には専門医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて１泊２日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心で安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・交通費及び滞在費を助成する。	妊婦健診に要する渡航費・交通費及び宿泊費の助成： 渡航費・交通費・・・１６８件 滞在費・・・２人	妊婦健診に要する渡航費・交通費及び宿泊費の助成： 渡航費・交通費・・・９８件 滞在費・・・２人	○
2	③	人工透析医療受給者助成事業	H24～H33	人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。	人工透析に係る交通費・宿泊費の助成件数：４人	人工透析に係る交通費・宿泊費の助成件数：３人	○
2	④	伊是名らしい古民家修復・復元事業	H25～H29	本村における貴重な資源である古民家の修復や、古民家が消失し空き屋敷となっている敷地に古民家（赤瓦屋根・サンゴ石垣・屋敷林）を復元し、Uターン・Iターン者向け定住住宅として定住促進を図るとともに観光地としてのイメージアップを図る。	古民家改修と復元をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅２世帯の供給と同時に伊是名らしい景観形成の創出。	―	繰
2	⑤	伊是名村救急体制強化事業	H26	救急時の救命救急措置として診療所への救急搬送及び本島へのヘリ搬送を迅速に行うため、救急搬送車両１台を整備する。	・救急体制の充実・強化（救急搬送車両の整備：１台）	・救急体制の充実・強化（救急搬送車両の整備：１台）	◎
3	①	伊是名村人材育成推進事業	H24～H33	幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネーターを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に努める。	教育コーディネーターの配置：１人	―	―

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	②	人材育成事業（日高小との交流事業）	H24～H33	生まれ育った島の良さを再発見させ島への思いを醸成するため、日頃体験することのない厳しい環境のもとでの日高小学校との交流やスキー体験などを実施する。	日高小学校との交流会参加児童：１９人・引率６人	日高小学校との交流会参加児童：１６人・引率５人	○
3	③	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24～H33	離島である本村の児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から島外への移動をスムーズに行えるよう実施する。	島外教育活動への派遣児童生徒数：８６名	島外教育活動への派遣児童生徒数：８６名	◎
3	④	学習支援員配置事業	H24～H33	学校の教育活動支援及び学習に遅れのある児童生徒の学習支援を行う。	学習支援員の配置数：１人	学習支援員の配置数：１人	◎
3	⑤	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H33	離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。	預かり保育を利用する幼児数：Ｈ２６年度：１５人	預かり保育を利用する幼児数：Ｈ２６年度：７人	未
3	⑥	学校外学習支援事業	H25～H33	高校受験対策の一環として、生徒の学校外での学習を支援することにより、学校の授業でカバーできないきめ細かい学習を支援するため、村営の学習塾を開設する。	学習塾利用生徒数：６２人	学習塾利用生徒数：６３人	◎
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24～H33	肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	堆肥導入数量：２，０００t	堆肥導入数量：１，０２７t	未
4	②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25～H29	本村における畜産業の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を助成することにより、肉用牛の飼育頭数増加と農家経営の安定化に向けた取組を推進する。	優良繁殖雌牛導入頭数：５０頭	優良繁殖雌牛導入頭数：３８頭	○
5		環境に優しいリサイクル事業	H26	本村で大量に出る段ボールごみの資源化を行うための段ボール破砕機を導入し、ごみの処分量の減量化、環境に優しい循環型社会の形成を図る。	段ボール破砕機の導入：１台 段ボール処理量：４，０００kg	段ボール破砕機の導入：１台 段ボール処理量：１，５２０kg	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24～H29	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行う。	10アール当たりの収穫量把握 生産コスト等の課題抽出	未実施	未
1	②	漁港施設機能強化事業	H25～H27	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要3漁港にセルフ式給油施設POSシステム導入及び主要漁港の一つである大田漁港に漁船巻揚機（ウインチ）を設置する団体へ支援を行う。	給油施設POSシステム整備率100% 巻き上げ機整備率33%	給油施設POSシステム整備率100% 巻き上げ機整備率33%	◎
1	③	モズク加工場機能強化事業	H24～H26	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上と適正な衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体へ支援を行う。	モズクカゴ洗浄機利用組合員数：24名	モズクカゴ洗浄機利用組合員数：26名	◎
1	④	久米島町循環型農業促進事業	H25～H27	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。	・自走式破砕機による副資材の割合：10%（基準年：H25年度0%）	・自走式破砕機による副資材の割合：5%	未
1	⑤	優良雌牛導入事業	H26～H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	・優良雌牛導入率：13%（導入予定：240頭）	・優良雌牛導入率：13%	◎
1	⑦	農産物出荷貯蔵施設整備事業	H26	本町の輪ギクは拠点産地として認定され振興を図っているが、出荷商品の品質保持のため花卉園芸用冷凍庫ユニットの機能強化する。また、露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷凍庫の設置を行う。	・出荷商品の品質保持体制の確立	・出荷商品の品質保持体制の確立	◎
1	⑧	農産物直売所整備事業	H26	本町の農産物の地産地消を推進し農業の振興に繋げるため、余剰農産物・規格外農産物を集約し供給する直売所の整備を行う団体へ支援を行う。	農産物直売所利用農家数：8戸	-	繰
1	⑨	くめじま山羊振興活性化事業	H25～H27	本町の山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、優良品種山羊の導入と普及、山羊牧場の建設、「くめじま山羊」のブランド化を確立し全町的な肉用山羊生産供給体制の整備を行う。	優良山羊生産頭数40頭 優良品種山羊生産体制の強化 山羊舎の整備完了	-	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	①	久米島紬販売促進事業	H24～H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	・反物売り上げ額7，000万円 ・小物売り上げ額1，000万円	・反物売り上げ額7，100万円 ・小物売り上げ額1，000万円	◎
2	②	海洋深層水全国展開事業	H24～H28	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。	・商談会面談者数200人 ・商談（取引）成立数3件	・商談会面談者数100人 ・商談（取引）成立数1件	未
2	③	久米島特産品販路開拓事業	H24～H27	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施する。	・特産品の新商品開発9品 ・乳酸菌を有効活用した新商品の開発2品 ・物産展等における販売額20，000千円	・特産品の新商品開発6品 ・乳酸菌を有効活用した新商品の開発未実施 ・物産展等における販売額23，100千円	△
3	①	久米島観光誘客支援事業	H24～H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光産業の振興を図る。	参加人数1，000名 広報推進事業広報活動7件／久米島の認知度向上 修学旅行誘致4校 バスツアー利用者数2，020人	参加人数880名 広報推進事業広報活動4件／久米島の認知度向上 修学旅行誘致7校 バスツアー利用者数1，929人	○
3	②	久米島観光プロモーション事業	H25～H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、観光ビデオ制作や大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・情報発信件数：4件・PR映像製作件数：2件	-	繰
3	③	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26～H28	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・修学旅行入域者数400人 ・体験プログラム利用者数1，200人	・修学旅行入域者数598人 ・体験プログラム利用者数1，283人	◎
3	④	スポーツ合宿誘致事業	H26～H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	陸上合宿4件 パークゴルフ大会1件 （島外参加者数100人）	陸上合宿4件 パークゴルフ大会2件 （島外参加者数131人）	◎
3	⑤	航空路線拡充対策事業	H26～H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	チャーター便運行数17便 新規航空会社のニーズの把握	チャーター便運行数28便 新規航空会社のニーズの把握	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24～H26	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島多目的グラウンド及び仲里野球場関連施設の整備を実施する。	仲里野球場施設使用→4団体 久米島多目的グラウンド→2団体	-	繰
4	②	安心安全な観光まちづくり事業	H25～H28	安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の整備を行う。	避難階段を設置し、避難経路を確保する。	-	繰
4	③	バス停上屋整備事業	H26～H28	快適な観光地づくりを目指し、観光施設周辺のバス停の雨天及び直射日光の強い日差し対策としてバス停上屋の整備を行う。	バス停上屋整備率：３３％（整備予定：６カ所）	バス停上屋整備率：３３％	◎
4	④	ビーチクリーナー整備事業	H26	本町の自然景観を代表し日本の渚百選に選定されているイーフビーチ等の環境美化を促進し観光産業の振興を図るため、ビーチクリーナーを導入する。	・ビーチクリーナー導入：１台 ・ビーチ清掃回数：１０回	・ビーチクリーナー導入：１台 ・ビーチ清掃回数：１０回	◎
4	⑤	自動運転実証フィールド支援事業	H26～H28	人が運転せずとも自動車（モビリティ）の走行を制御できる自動走行技術の実証フィールドを整備し、観光産業などに活用するため、関連施設の整備を行う。	走行用道路の整備：Ｌ＝５１０ｍ	-	繰
4	⑥	Ｗｉ－Ｆｉアンテナ設備導入事業	H26	ＩＣＴによる観光客の受け入れ態勢の構築、産業観光への取組、安心・安全な街づくりによりを図るため、全島Ｗｉ－Ｆｉシステムを構築した。このシステムを継続活用するためＷｉ－Ｆｉアンテナを購入する。	スポットアクセス数：２，０００件	スポットアクセス数：１２８，９３３件	◎
5	①	赤土等流出防止対策事業	H24～H28	農地保全はもとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト（ベチバー）の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。	ベチバー植栽：１，０００ｍ	ベチバー植栽：３００ｍ	未
5	②	球美の島エコアイランド化推進事業	H24～H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のＬＥＤ化事業等を実施する。	約２３０灯のＬＥＤ防犯灯を設置	２０４灯のＬＥＤ防犯灯を設置	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
5	③	球美の島緑化推進事業	H24～H27	久米島に自生している花や花木（クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等）の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	サクラゾーンの完成及び一部供用開始 ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事の完了	サクラゾーンの完成及び一部供用開始 ツツジゾーン造成工事の完了	△
6	①	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成する。	・行政担当者の育成 ・景観活動団体の育成 ・景観形成の推進	・行政担当者の育成 ・景観活動団体の育成 ・景観形成の推進	◎
6	②	個性豊かな文化の振興事業	H24～H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	・3団体（具志川、大田、真謝）の強化 ・出演者１３０名、来場者６００名 ・団体の島外派遣（兼城）２４名	・3団体（具志川、大田、真謝）の強化 ・出演者１１７名、来場者２００名 ・団体の島外派遣（兼城）２１名	○
6	③	文化遺産保存活用事業	H24～H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書（博物館資料）の修復及び貴重生物のはく製の制作を行う。	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合１４％（１６２５件中２３２件（累計）の修復） ・鳥類剥製資料制作５０体	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合１８％（１６２５件中２９２件（累計）の修復） ・鳥類剥製資料制作４７体	○
6	④	久米島現代版組踊り創作事業	H24～H28	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的文化観光資源を創出する。	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的文化観光資源を創出した。	◎
7	①	英語指導員配置事業	H24～H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員の配置小学校：１名町内全６小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力を図る。	英語指導員の配置小学校：１名町内全６小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力が向上した。	◎
7	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26～H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ２名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率３０％未満の児童生徒の数を減少させる。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ２名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率３０％未満の児童生徒の数を減少させる。（小３未達成　小５達成）	未
7	③	特別支援教育支援員配置事業	H26～H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率３０％未満の児童生徒の数を減少させる。	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率３０％未満の児童生徒の数を減少させた。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24～H33	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催する。	・H26年度受講者数4幼稚園269人、4小学校（5・6年生）646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標	・H26年度受講者数4幼稚園269人、4小学校（5・6年生）646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中5．5割合格	○
1	②	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～H33	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	・H26年度受講者数4小学校1，940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	・H26年度受講者数4小学校1，940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中7．4割合格	○
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25～H33	小・中学校に児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実を図る。	・各小学校：年間の授業及び補習時間：980時間（年間平均値） ・各中学校：年間の授業及び補習時間：1，077時間（年間平均値）	・各小学校：年間の授業及び補習時間：980時間（年間平均値） ・各中学校：年間の授業及び補習時間：1，077時間（年間平均値）	◎
1	④	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24～H33	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演会を開催する。	特別授業終了後の発表会参加生徒数：642人	特別授業終了後の発表会参加生徒数：642人	◎
1	⑤	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24～H33	教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。	・現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。 ・事後報告書：英文・日本文での感想等を掲載した冊子（50冊）	・現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。 ・事後報告書：英文・日本文での感想等を掲載した冊子（100冊）	◎
1	⑥	謝花昇紙芝居事業作成委託事業	H26	「自由民権運動の父」とよばれ、明治時代に沖縄で参政権運動を獲得するために活動した八重瀬町出身の謝花昇の生涯を紙芝居・絵本にし、町内の小中学校、県内の教育機関へ配布する。また、町HPで公開、読み聞かせの会を開催することにより多くの人に活用してもらう。	・町内各小中学校6校×10セット＝60セット ・県内公立図書館等70セット ・八重瀬町各自治会33セット ・八重瀬町37セット ・HP閲覧数：10PV／日（年間3，500PV換算） ・紙芝居の読み聞かせ1回開催（40人）	・町内各小中学校6校×10セット＝60セット ・県内公立図書館等70セット ・八重瀬町各自治会33セット ・八重瀬町37セット ・HP閲覧数：10PV／日（年間3，500PV換算） ・紙芝居の読み聞かせ1回開催（40人）	◎
1	⑦	ICT教育強化事業	H26	児童生徒の情報教育及び学力向上を図るため、小中学校の各普通教室に電子黒板等のICT環境を整備し魅力的な学習環境を整える。	町内小中学校普通教室の電子黒板導入率（小学校100%中学校100%）	町内小中学校普通教室の電子黒板導入率（小学校100%中学校100%）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26～H33	風土、文化の違う他県の子どもたちと交流することにより、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活を通して、規律･協調･友愛･奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図る。	生徒受入数１０人 生徒派遣者数４３人 事後報告会を開催し、報告書を作成する。	生徒受入数１０人 生徒派遣者数４５人 事後報告会を開催し、報告書を作成した。	◎
1	⑨	切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26～H28	県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬふぁ星プランⅢ」のもと推進されてきたが、未だ全国学力･学習状況調査では全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習補中心に本事業を行い学力向上を図る。	土曜講座東風平地区１２０人具志頭地区４０人 長期休業中東風平地区１２０人具志頭地区４０人 定期テスト前対策東風平地区１２０人具志頭地区４０人	土曜講座東風平地区４４７人具志頭地区４２０人 長期休業中東風平地区２０５人具志頭地区１３４人 定期テスト前対策東風平地区０人具志頭地区０人	△
1	⑩	渡嘉敷リーダー研修事業	H26～H33	風土、文化の異なる、多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律･協調･友愛･奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな少年少女の健全育成を図る。	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与する。	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与した。	◎
2	①	八重瀬町イベント事業	H24～H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のＰＲ等を実施する。	･八重瀬桜祭り来場者数5，０００人 ･こいのぼりあしび来場者数2，５００人	･八重瀬桜祭り来場者数6，０００人 ･こいのぼりあしび来場者数3，０００人	◎
2	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24～H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	･観光地：８箇所･アクセス道路：４０路線	･観光地：８箇所･アクセス道路：４０路線	◎
2	③	八重瀬さくらのまち整備事業	H25～H33	八重瀬公園を主として、町内各施設のさくらの整備、重点的な維持管理を行い、南部のさくらの名所としてアピールすることで地域の知名度向上と観光地としての魅力向上をはかる。	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの、根本土流出保護のため、土留め壁工事を行う。 また、それと並行して全体の施肥･枝打ち等の育生保全を進める。	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの、根本土流出保護のため、土留め壁工事を行った。 また、それと並行して全体の施肥･枝打ち等の育生保全を進めた。	◎
2	④	玻名城の郷整備事業	H24～H28	玻名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。	遊歩道の整備Ｌ＝６１０ｍ 駐車場の整備 用地取得	遊歩道の整備Ｌ＝２７５ｍ 駐車場の整備 用地取得	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑤	八重瀬まちあるきブック作成委託事業	H26	八重瀬町には旧石器時代の人骨「港川人」の出土地「港川フィッシャー遺跡」、県内の村落獅子として最大最古の「富盛の石彫大獅子」をはじめ、100種類を超える植物が生息する「具志頭遊歩道」など多くの観光資源を有している。町の魅力をアピールし観光客の誘致を図ることを目的に「まちあるきマップ」を作成し配布する。	まち歩きマップ配布 県内公共機関等1，000部 町内観光施設･飲食店9，000部 町内でまち歩きする観光客10，000部	まち歩きマップ配布 県内公共機関等1，000部 町内観光施設･飲食店9，000部 町内でまち歩きする観光客10，000部	◎
2	⑥	八重瀬町コンビニAED設置事業	H26	災害時等において、住民や本町を訪れる観光客等に重篤な傷病者が発生した場合に、その場に居合わせた方がAEDを利用して救急措置が行えるようにするため、町内で24時間営業しているコンビニエンスストアへAEDを設置する。	整備率：100％	整備率：100％	◎
2	⑦	八重瀬町戦跡整備事業	H25～H27	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内で確認されている戦争遺跡を整備し歴史･平和学習等へ活用する。	駐車場の整備（大型バス4台、普通乗用車4台、障がい者用1台） 手洗い場及びトイレ設置	駐車場の整備（大型バス2台、普通乗用車2台、障がい者用1台） 手洗い場及びトイレ設置	○
2	⑧	便益施設等整備事業	H26	南部地区の通過ルートにもある富盛地区において便益施設等がないため、集落内の既設公園内に公衆トイレ及び休養スペースを設置するとともに公園施設の機能向上を図り、地域観光の振興を図る。	トイレ利用による観光客の地域への誘致、休憩スペース、防球ネット整備によりスポーツ大会会場での利用客増加が見込め、案内看板の設置により地域観光への案内、誘致を図ることができる。年間利用見込み者数：8，000名	トイレ利用による観光客の地域への誘致、休憩スペース、防球ネット整備によりスポーツ大会会場での利用客増加が見込め、案内看板の設置により地域観光への案内、誘致を図ることができた。 年間利用見込み者数：6，000名	○
2	⑨	コミュニティFM放送エリア等事前調査検討事業	H26	観光情報、町内のイベント情報、地震や台風等の緊急時には災害情報等を提供する事を目的に、八重瀬町におけるコミュニティFM方法局開設の実現性に向けて送信所･演奏所の設置箇所や放送エリア等の事前調査を行う。	コミュニティFM放送エリア等事前調査検討業務報告書の作成。	コミュニティFM放送エリア等事前調査検討業務報告書の作成。	◎
2	⑩	運動公園施設等整備事業	H24～H29	プロチーム･大学のキャンプでも利用されるサッカー場･野球場･ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	県外からの野球チーム（2チーム）、サッカーチーム（2チーム）のスポーツキャンプを受入	県外からの野球チーム（2チーム）、サッカーチーム（4チーム）のスポーツキャンプを受入	◎
2	⑪	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26～H30	サッカーJリーグビッククラブチームキャンプの誘致活動を行う。サッカーキャンプで県内外から誘客を行い、観光関連事業創出事業につなげる。サッカースクール等の交流事業やスポーツ活動拠点「八重瀬町」を町内外に積極的に情報発信を行う広報事業等を関係団体と連携を図りながら進めていきます。	･Jチーム3チーム以上の誘致 ･地域交流：サッカースクール町内小学生50名 ･イベント：ファン感謝まつり等開催 ･キャンプ来客数：8，000人（基準年24年：0人）	･Jチーム3チームの誘致 ･未実施 ･未実施 ･キャンプ来客数：1，000人	△

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑫	八重瀬町観光拠点施設周辺活用構想検討事業	H26	八重瀬町観光拠点施設周辺の立地条件を生かした、観光活用構想の作成と、拠点施設等の細部検討を実施する。	・八重瀬町観光拠点施設周辺活用構想を作成する。 ・公募要項等の作成	・八重瀬町観光拠点施設周辺活用構想を作成する。 ・公募要項等の作成	◎
2	⑬	八重瀬町スポーツコンベンション推進事業	H26	八重瀬町の充実した体育施設の情報を発信し、スポーツコンベンションを充実させる為、体育施設のパンフレットを作成し配布する。	キャンプ誘致1チーム	キャンプ誘致1チーム	◎
2	⑭	富盛石彫大獅子周辺整備事業	H24～H27	沖縄県指定有形民俗文化財で県の村落獅子として最大で最古である富盛の石彫大獅子が鎮座する勢理城（ジリグスク）の整備測量設計業務を行う。	勢理城（ジリグスク）整備測量設計委託の完了	勢理城（ジリグスク）整備測量設計委託の完了	◎
3	①	八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業	H24～H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・掘り起こし、そして魅力を伝えるための観光資源の安心・安全なプログラム化、ガイドの育成を図る。さらに八重瀬観光ブランドの戦略構想を計画しその集大成として観光イベントを実施する。	講演会：3回 安全マニュアル作成	講演会：4回 安全マニュアル作成	◎
3	②	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	H24～H33	カラベジ製品を初めとする町の特産品の開発とブラッシュアップ及び販路開拓を支援する。同時に、カラベジブランド向上のためのイベントを開催し、顧客との接点作りを強化する。また、アンテナショップでの試験販売も実施する。	・新規カラベジ製品等の開発3品 ・物産展等参加（町内、那覇市、東京各1回） ・デパートリウボウでのカラベジフェアー1回 ・カラベジスタンプラリー1回 ・ブランド作りのためのイベント1回 ・販促用媒体制作１２，０００部	・新規カラベジ製品等の開発2品 ・物産展等参加（町内、那覇市、東京各1回） ・デパートリウボウでのカラベジフェアー1回 ・カラベジスタンプラリー0回 ・ブランド作りのためのイベント5回 ・販促用媒体制作２００，０００部	○
3	③	八重瀬町観光プロモーション事業	H26～H33	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務委託、発地への観光プロモーション等の旅費及び営業車両の購入を行う。	・イベントへの観光ＰＲ出展2回 ・各種観光イベントへのＰＲ随時	・イベントへの観光ＰＲ出展1回 ・各種観光イベントへのＰＲ　3回	○
3	④	体験観光受入施設強化事業	H26	八重瀬町には2万２０００年前の港川人をはじめ、沖縄県最大最古の村落獅子富盛の石彫大獅子、平和教育に活用できるガマ等、観光資源が豊富な地域である。しかし、それらを活用するための人材育成の研修施設及び宿泊施設を兼ね備えた拠点施設が無いため、これまでセミナーハウスとして活用していた施設を新たに観光及び人材育成研修拠点施設としてリニューアルする。	観光及び人材育成の拠点施設供用開始により、体験交流及び研修の受入体制の確保	-	繰

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
4	①	八重瀬町和牛改良支援事業	H26～H30	農家の経営の安定化･質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入頭数30頭	優良母牛導入頭数30頭	◎
4	②	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業	H26～H27	沖縄の亜熱帯気候に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育苗し、公共施設や住民に配布し、緑化思想の普及啓発を図る。また、地域農業の活性化に体験農場や農業塾･教室を開き農業経営者の育成を図るため種苗センターの整備を行う。	種苗センター及び体験農場の建設に向けた基本設計完了	種苗センター及び体験農場の建設に向けた基本設計完了	◎
4	③	農業用機械施設整備事業	H25～H27	さとうきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械（農業用パワーショベル）を整備する。	･パワーショベル1台導入 H26年度整備率60%→80%	･パワーショベル1台導入 H26年度整備率60%→80%	◎
4	④	八重瀬町地産地消フェア事業	H26～H30	本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物･水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	･地産地消フェア来場者数：2，000人	･地産地消フェア来場者数：2，900人	◎
5	①	教育施設省エネ化推進事業	H25～H27	環境にやさしい教育施設を推進するため、照明設備をLED化し省エネ化を推進する。公立学校施設の照明設備LED取替工事を行う。	小学校施設1校中学校施設1校 実施設計･取替工事の実施 取り替え工事により、消費電力の削減率が約59%となる。	小学校施設1校中学校施設1校 実施設計･取替工事の実施 取り替え工事により、消費電力の削減率が約64%となった。	◎
6	①	やえせの民俗芸能啓発資料作成事業	H26	地域の民俗芸能が楽しめる態勢を構築し、お互いの芸能を共に励ましあい継承と発展にこれまで取り組んできた。地域と地域、人と人を結ぶ文化のあり方についてこれからも地域コミュニティの繋がりを醸成させ、経済活用、地域振興としてますます八重瀬町の発展、沖縄県の発展に寄与する。地域力である民俗芸能にスポットをあて、地域民俗芸能を次世代に「つなぐ側」と「継承する側」の双方の姿を取り上げ啓発資料を作成し配布普及啓発を図る。	町民用パンフレット：15，000部 県内外へのPR用パンフレット：12，000部 カレンダー2，000部	町民用パンフレット：15，000部 県内外へのPR用パンフレット：12，000部 カレンダー2，000部	◎
7	①	八重瀬の歴史（町史概要版）作成事業	H26	八重瀬町史が今後作成されるにあたり、新たな取り組みとして八重瀬町の歴史をダイジェストで取り上げた概要版を作成し、町史を広く普及させることにより地域に対する意識の高揚を図る。	12，000部発刊 八重瀬町内世帯10，500世帯配布 町外または官公庁等1，500部配布	12，000部発刊 八重瀬町内世帯10，500世帯配布 町外または官公庁等1，500部配布	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
8	①	水難救助車整備事業	H26	水難救助車は海や川などの水に関する事故や災害に対応するための車両で、今回の計画車両は各種水難救助用の資機材を装備し、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得者や水難救助訓練を積んだ隊員が躊躇することなく車両に乗り込み出動できる車両である。当消防の出動体制は、出動車両や資機材の選定・ウエットスーツの着替え等でかなりの時間を要している。水難救助車を整備することにより迅速・確実な水難救助活動が可能となる。	水難救助車両1両配備	水難救助車両1両配備	◎
8	②	八重瀬町地域防災計画策定事業	H26～H27	本町には海岸、河川沿いに面した集落があるが、本町地域防災計画において津波に対する考えが十分ではなく、想定外の被害をもたらした東日本大震災のような大規模災害に備え、住民と本町を訪れる観光客の安心・安全を確保するため、国の防災基本計画や沖縄県地域防災計画を踏まえ、指定避難所の見直しや避難計画の策定を含めた地域防災計画の強化を図る。	八重瀬町地域防災計画の策定	八重瀬町地域防災計画の策定	◎
8	③	防災備蓄品整備事業	H26～H28	亜熱帯気候である沖縄県では毎年多くの台風が接近・襲来しており、平成24年度にいたっては、大型で猛烈な台風が何度も接近、襲来している。また島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあります。そのため、町独自で災害に備え、避難所に避難してきた住民に対し食糧や飲料水、応急給水袋、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。	目標備蓄数に対する達成率（平成26年度） ①カンパン：100％ ②保存水：100％ ③飲料水袋100％ ④災害用トイレ袋：33％ ⑤トイレットペーパー：36％ ⑥ウォーターバルーン：100％ ⑦連結給水栓：100％ ⑧毛布：33％	目標備蓄数に対する達成率（平成26年度） ①カンパン：100％ ②保存水：100％ ③飲料水袋100％ ④災害用トイレ袋：33％ ⑤トイレットペーパー：36％ ⑥ウォーターバルーン：100％ ⑦連結給水栓：100％ ⑧毛布：33％	◎
9	①	やえせの民俗芸能公演	H26	伝統の年中行事にある民俗芸能の連絡協議会が平成26年3月に発足した。その協議会を主体とした民俗芸能の事業を展開する。各地域で継承されている民俗芸能が一堂に会し発表の機会を企画することにより八重瀬町の特色ある民俗芸能を町内外へ発信する。	やえせ民俗芸能公演来客数：800名	やえせ民俗芸能公演来客数：1，100名	◎
9	②	やえせの物産展民の賑い	H26	特産品や八重瀬ブランドの発信を民俗芸能と同様に、地域特有のものである。その物産展と民俗芸能の共同実施により「見て、味わい、八重瀬を感じる」といった町のPR事業を展開する。	物産展来客数：500名	物産展来客数：1，000名	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
9	③	ハーレー振興事業	H26～H27	毎年、旧暦の5月4日（ユッカヌヒー）に行われる港川ハーレー（爬竜船競争）は、海人（ウミンチュ）の豊漁と航海の安全、集落の安泰を祈願して行われています。しかし、ハーレー舟の老朽化や保管場所がないため、新たにハーレー舟の造舟、ハーレー舟保管の格納庫を整備する。	材料を約半年間乾燥させ、次年度整備に向けた条件を整える。	材料を約半年間乾燥させ、次年度整備に向けた条件を整えた。	◎
10	①	衛星船舶電話通信機器設置補助事業	H26	沖縄県漁業生産量のうち、マグロ漁やソデイカ（セーイカ）漁が1、2番目の生産量を誇り、全国生産量でもソデイカ（セーイカ）漁は、沖縄県が半分以上を占めている。マグロ、ソデイカ漁は遠距離の操業になり安全を確保する為、衛星船舶電話（デジタル式）を整備する。	衛星船舶電話設置が必要な船舶への整備率１００％	衛星船舶電話設置が必要な船舶への整備率１００％	◎
11	①	健康いきいきウォーキングマップ作成事業	H26～H30	近年、平均寿命の低下、生活習慣病の増加等で「健康美ら島おきなわ」のイメージが失われつつある。「沖縄・八重瀬でスポーツ健康長寿！」の復活をめざし、ウォーキングマップを作成・配布する。	ウォーキング大会にて配布１，０００部	ウォーキング大会にて配布０部	未
12	①	浮魚礁設置事業	H26～H27	新たに中層浮漁礁を設置することにより、マグロ、カツオ等の水揚げ量を増やし、漁業経営の安定化を図るとともに、遊漁船による観光振興も推進する。その為、次年度に中層浮漁礁を設置するために必要な地形、水深を確認する為の測量を実施する。	ニーズの把握、設置基数・箇所の決定 中層浮魚礁設置測量の完了	ニーズの把握、設置基数・箇所の決定 中層浮魚礁設置測量の完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

多良間村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	多良間多目的拠点施設整備事業	H24～H26	島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安全安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交流拠点、離島の人材育成拠点として活用できる複合施設を整備する。	多目的拠点施設の整備による地域の交流拠点施設として活用する。	多目的拠点施設を整備し、地域の交流拠点施設として活用している。	◎
1	②	水納島津波避難施設整備事業	H24～H26	海抜が非常に低い水納島に、住民や観光客の安全安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地として本村のブランド力向上を図る。	施設の整備による地域の避難施設及び観光スポットとして活用する。	施設を整備し、地域の避難施設及び観光スポットとして活用している。	◎
2	①	観光関連施設整備事業（東屋等）	H25～H26	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等に東屋等を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	観光関連施設の東屋、公衆トイレの供用開始	観光関連施設の東屋、公衆トイレの供用開始	◎
2	②	美化緑化推進事業	H25～H33	観光地形成に向け、公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化：必要箇所１００％	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化：必要箇所１００％	◎
3	①	イネヨトウかく乱法防除事業（フェロモンチュウブ）	H25～H30	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質の向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がる。	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質の向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がった。	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	子育て支援事業	H24～H26	保育サポーターの養成講座を開催し、各地域において育児の援助を行いたい者と援助を受けたい者の会員制相互援助活動を支援し、地域の中で安心安全に子どもを生み育てることができる環境を整備する。	育児サポーター養成講座終了者数：６名（竹富町ファミリーサポートセンターおたすけ会員（子どもを預かる人）登録） 保育依頼件数５５０件	１０名 ３９６件	○
1	②	妊婦支援事業	H24～H33	妊婦が安心して出産が迎えられるよう妊娠出産にかかる経済的負担軽減を図るため、妊婦が船舶及び航空機を利用した場合における運賃並びに出産待機宿泊費について助成する。	妊婦助成件数：６０件	妊婦助成件数：４８件	○
1	③	健康診査用機材搬送事業	H26～H33	健康増進法における検診「住民健診・胃がん検診・婦人がん検診」を行う際に発生する、検診車の海上輸送運賃等の負担軽減を行い、島嶼における定住促進を図る。	検診機材搬送年３回（検診３回×６島＝計１８件） 総受診者数１，７００名	検診機材搬送年３回（検診３回×６島＝計１８件） 総受診者数１，１８７名	○
1	④	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26～H30	高齢者や障害者等の外出機会の増加による自立生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るためのお出かけサポート事業を西表西部地区を対象に実施する。また利用実績等を基に、他地区への展開や有償化の可能性について検証する。	（西表島西部地区）利用者数見込み平成２７年１月～３月実施：延べ１２０人	３名	未
2	①	うなり崎公園整備事業	H24～H27	旧太陽の村（観光施設）跡地の公園等整備を図り、優れた景観を活かした新たな観光スポットとして利活用を図る。	公園等整備工事の実施整備率６９％ Ｈ２６年度：２工区（工事内容）野外ステージ、トイレ、東屋、コンビネーション遊具、芝広場、遊歩道、浸透井戸、ボードウオーク、縁台、外柵等の整備	公園等整備工事の実施整備率６９％	◎
2	③	黒島観光関連事業	H25～H26	黒島の観光地である伊古桟橋へ通じる路線は降雨後は通れない状況にあり、支障をきたしている。また日陰等の休憩所もないことから、本事業により道路と東屋の整備を行い、より良い観光名所を目指す。Ｈ２５年度に作成した設計をもとに今年度着工する。	道路整備及び東屋整備完了	整備完了	◎
2	④	竹富島観光関連事業	H26～H27	カイジ浜に訪れる観光客の増加に伴い、観光地のトイレが不足のため、トイレの整備を行う。用地買収５０㎡委託設計一式	トイレの設計の実施完了 用地買収完了	―	-
2	⑤	観光誘客・受入対策事業	H26	本町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動と観光ＰＲ動画静止画の撮影及び受け入れ体制強化・整備を行う。	宿泊システムの導入完了（２０事業者） 観光客誘致活動各会場の総来場動員数１０万人 次年度編集に向けた動画素材の確保	７事業者 １０５万人 動画・静止画素材の確保	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	⑥	鳩間島音楽祭会場整備事業	H26	鳩間島で毎年開催されている「鳩間島音楽祭」で使用するステージ及び客席会場の整備を行い、出演者、来場者の利便性向上と更なる島の活性化を図る。	既存施設解体・撤去、ステージ、膜屋根施設等整備（出演者及び来場者の利便性向上）	―	繰
2	⑦	文化財説明板整備事業	H26～H29	国内外から訪れる観光客等に町内に所在する指定文化財を分かりやすく説明するため、多言語（日本語、英語、中国語）による説明板を整備し、観光振興を図る。	文化財説明版設置完了町指定文化財：４箇所	―	-
2	⑧	忘勿石進入道路等整備事業	H26～H27	「忘勿石之碑」への最短道路及び、駐車場等の整備のための測量・調査委託を行い、必要とされる周辺土地等の取得を行う。	用地取得及び測量・調査の実施完了	調査実施	△
2	⑨	やいまぴとぅ人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした組織化作業やそれらを結びつける人材ネットワークづくりを実施する。	①人材ネットワーク構築基本構想策定 ②郷友等諸団体のリサーチ（５０団体） ③郷友等諸団体の組織化（７団体） ④人材情報ネットワークシステムの構築	基本構想策定 ４４４団体 ０団体 システム構築	○
2	⑩	竹富島海底温泉活用調査整備事業	H26	観光地としての受入施設整備（海浜における公共「足湯」施設）を目的に、竹富島北東部の浅海域に存在する海底温泉について、実用に向けて必要と思われる各種調査を実施する。	自然環境、採掘許可等条件整備調査完了	調査完了	◎
3	①	観光道路美化推進事業	H24～H33	町内の歩道と植樹帯を有する観光路線を美化し、散策に訪れる人の満足度を向上させ、竹富町の観光基盤水準を高める。	観光道路（４路線）の美化および植栽整備完了 竹富一周線：３，２８５ｍ 細崎線：３，０３３ｍ 住吉１号線：２，５１２ｍ 波照間海岸線：４，０７８ｍ 植栽本数８，７００本	観光道路（４路線）の美化および植栽整備完了 竹富一周線：３，２８５ｍ 細崎線：３，０３３ｍ 住吉１号線：２，５１２ｍ 波照間海岸線：４，０７８ｍ 植栽本数８，７００本	◎
3	②	観光地文化財美化保全事業	H24～H33	本町が有する文化財の美化保全を推進し、本町の特有の歴史文化や景観を観光資源として利活用し観光産業の振興を図る。	観光景観地 指定文化財美化保全完了 国指定文化財：４箇所 県指定文化財：１箇所 町指定文化財：８箇所	１７箇所	◎
3	③	黒島主要路線ギ木化事業	H24～H26	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、ギ木とその背景の牧場風景を活かした県道２１３号線は「日本の道１００選」にも選定され観光道路となっていることから、島全体を観光地として魅力向上を図る為、県道以外の主要道路にもギ木柵を設置する。	町道黒島１周線及び農道線ギ木柵設置完了 設置延長７８０ｍ	７３６ｍ	○

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	④	墓地景観形成事業	H25～H26	沖縄特有の文化により、墓地が散在化してる状況であることから、墓地計画の策定により墓地集約化や観光地としてのまちなみや優れた自然景観を保全する。	竹富町墓地整備基本計画の策定	基本計画策定済	◎
3	⑤	ピサダ道保存整備事業	H26～H27	竹富町指定史跡ピサダ道の保存整備を実施し、文化遺産的な観光資源として活用するとともに、津波災害時の避難道としても利用可能な道となるように整備を行う。	保存修理工事の実施設計の完了	実施設計の完了	◎
4	①	ペット適正飼養推進事業	H24～H33	本事業は西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコの生息･生育を保全するため、西表島におけるペット適正飼養を推進する。	①ペット適正飼養推進会議を年1回開催 ②逸出ペット保護収容を10頭以内 ③普及啓発講演会等を4回開催	1回 16頭 5回	◎
5	①	和牛生産推進事業	H24～H33	優良母牛の導入助成（購入費の1／2以内、上限30万円）及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町の基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化し、産業の振興を図る。	離島港湾靴底消毒用マット設置完了 優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数：80頭（導入進捗率46．5%）	消毒用マット設置完了 93頭	◎
6	①	読書支援事業	H24～H33	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書室を地域へ開放する取り組みとして、学校図書室へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	図書支援員2名配置 黒島学校図書室利用人数（地域住民）75人／年 基準年度（平成24年度31人／年） 小浜学校図書室利用人数（地域住民）100人／年 基準年度（平成24年度80人／年）	2名配置 57人 143人	○
6	②	児童生徒派遣事業	H24～H33	児童生徒のスポーツ等の各種大会等への派遣費を助成し、保護者の負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成、また沖縄本島等と離島の格差是正を図る。	児童生徒選手等派遣人数：470人	630人	◎
6	③	学校ICT支援員派遣事業	H26～H30	極小規模校というハンディを乗り越え、児童生徒のICT機器活用能力及び学力の向上を目指す。そのため教育用PC･電子黒板･タブレットPC等のICT機器を授業で効果的に活用するため、ICT支援員派遣業務を行う。	ICT支援員1名の全小中学校巡回 小中学校13校	ICT支援員1名の全小中学校巡回 小中学校13校	◎
6	④	学校ICT環境整備事業（コンピューター整備）	H26	情報に関する基礎的･基本的な知識及び技術を習得させるさせるとともに、情報に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響等について、理解を深めるための授業に使用するコンピュータの整備を行う。	コンピューターの導入完了（授業でのコンピューター充足率100%）	コンピューターの導入完了（授業でのコンピューター充足率100%）	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
6	⑤	教育環境整備事業	H26～H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、教育施設の空調設備の整備を行う。	全体計画の進捗率：１０％	１０％	◎
7	①	防災無線整備事業	H26	本町区域内において、災害時の通信連絡を確保し災害情報伝達を敏速かつ適確に行うため、無線エリア外であった観光地に防災行政無線屋外拡声子局の整備を図る。	防災行政無線屋外拡声子局２基整備完了	完了	◎
7	②	防災マップ整備事業	H26	竹富町民や観光客の生命･財産･安全を確保するために、防災マップを作成･配布し、防災意識の高い町づくりを図る。	防災マップ作成４，２００部 町民･学校･観光事業者へ配布完了	防災マップ作成４，２００部 町民･学校･観光事業者へ配布完了	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
1	①	地域振興対策事業	H24～H28	既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進する。	イベント開催月入域観光客数 Ｈ２５年度３，０００人 基準年度（平成２３年：２，３００人）	ｶｼﾞｷ釣り大会開催月入域観光客数：2,299人 一周マラソン大会開催月入域観光客数：2,861人	○
1	②	ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備事業	H26	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、現在、未整備ままであるウブドゥマイ浜へのアクセス遊歩道の整備を実施する。	ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備工事の完了	-	繰
1	③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25～H29	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のＰＲを行って県内及び県外への販路開拓を図る。また、前年度に引き続き参加事業所には更なるレベルアップした店舗レイアウトや陳列方法、ＰＯＰの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを実施する。	特産品の県内及び県外の物産展への出展の実施 物産展へ出店：５事業者	出店事業者数１０事業者	◎
1	④	やいまぴとぅ人材ネットワーク事業	H26	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした。組織化作業やそれらを結びつける人材ネットワークづくりを実施する。	①人材ネットワーク構築基本構想策定 ②郷友等諸団体のリサーチ（５０団体） ③郷友等諸団体の組織化（７団体） ④人材情報ネットワークシステムの構築	①人材ネットワーク構築基本構想策定 ②郷友等諸団体のリサーチ（４４４団体） ③郷友等諸団体の組織化（０団体） ④人材情報ネットワークシステムの構築	○
2	①	与那国町農業用水対策事業	H24～H26	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するためかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道（石粉道路）の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。	かんがい施設整備箇所数：２箇所	かんがい施設整備箇所数：０箇所（調査業務２箇所）	未
2	②	与那国町さとうきびイネヨトウ防除事業	H25～H29	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、夏植え７０ｈａ、春植え２０ｈａ、株出し３０ｈａを対象に農薬購入に対し、購入費補助を実施する。	農薬購入費の補助の実施 基準年（Ｈ２４）平均単収：４t 補助件数：９０農家 平均単収：５t	農薬購入費の補助の実施：５４農家 平均単収：3.5t	未

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
2	③	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25～H28	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充･強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援し、購入費用の1／2以内、1頭当たり300千円を上限として助成するものとする。与那国町の繁殖雌牛頭数800頭の約10%で見込んだ80頭（年間20頭）を目標に4年計画で導入する。	優良牛繁殖雌牛導入：年間20頭	優良牛繁殖雌牛導入：年間21頭	◎
2	④	水産物輸送コスト負担軽減事業	H25～H29	水産物の県内輸送にたいして、流通条件の不利益を解消するため与那国町漁業協同組合に、沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料に対し補助金を交付する。	生鮮水産物の出荷量増：前年度比5パーセント増	生鮮水産物の出荷量増：前年度比2%減	未
2	⑤	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26～H33	小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に補助を行い、新規･既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。	漁業担い手新規就業者増：1人 既存漁業従事者数の維持確保：32人	―	繰
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24～H28	U･Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施する。	･学習塾受講率（中学生）H26年度50%（基準年（H23）：40%） ･学習塾受講率（小学生）H26年度45%基準年（H23）：0%	･学習塾受講率（中学生）H26年度45% ･学習塾受講率（小学生）H26年度47%	○
3	②	教育諸活動助成事業	H24～H28	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費（航空運賃等）を助成することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力･才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣人数：H26年度　350人	各種大会派遣人数：379人	◎
3	③	地域国際交流事業	H24～H28	本事業では、本町の姉妹都市である台湾･花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	･台湾「花蓮市」へﾎｰﾑｽﾃｲ生徒数：10人 ･学力向上推進実践報告会：ﾎｰﾑｽﾃｲ報告 ･異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミニュケーション能力を備えた人材の育成	･台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数：11人 ･学力向上推進実践報告会：1回 ･体験文･台湾新聞発行等、国際感覚を身につけた人材に成長1回	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24～H28	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修（短期ホームステイ）の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	・海外語学研修派遣事業 アメリカ：２人 イギリス：２人 ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミニュケーション能力を備えた人材の育成	・海外語学研修派遣事業 アメリカ：４人 ・英検3級取得増加や体験文等により、国際感覚を身につけた人材に成長	△
4	①	地域文化の継承と生涯学習支援事業	H24～H28	与那国語（方言）の保存・継承のために、関連イベントの開催や参加、与那国語の講演会等を実施する。また、用例が豊富で意味と用法の詳しい「与那国語（方言）辞典」の発刊に向け、様々なジャンルの資料（テキスト、音声、映像）の収集・記録に取り組む。昨年度までに収集した資料をもとに「方言カルタ」「方言ラジオ体操」「わらべ唄工工四」を作成・活用し、方言を日常生活に取り込み、親しむことのできる環境作りを促進する。	消滅危機言語に指定された地域とのネットワークの構築 与那国語（方言）講演会来場者数：300名 方言大会出場者数：20名（基準年H25：20名） スンカニ大会出場者数：25名（基準年H25：25名） 与方言カルタの町内各家庭への配布：100% 方言ラジオ体操、わらべ唄工工四を町内各学校での郷土学習授業に活用	与那国語（方言）講演会来場者数：120名 方言大会出場者数：未実施 スンカニ大会出場者数：未実施 与方言カルタの町内各家庭への配布：100% 方言ラジオ体操、わらべ唄工工四を町内各学校での郷土学習授業に活用	△
5	①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25～H28	就学前児童を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援する。	子育支援臨時職員雇用：２人 支援人数（利用者数）：２４人	子育支援臨時職員雇用：３人 支援人数（利用者数）：３１人	◎
6	①	少子高齢化対策事業	H24～H28	本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいない。本事業では、妊娠から出産までに島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を実施する。	妊産婦一人当たり受診回数：１０回／人	妊産婦一人当たり受診回数：９回／人	○
7	①	公共交通路線支援事業	H24～H28	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行便数：２，５００便／年	公共交通路線バス運行便数：２，５５５便／年	◎
7	②	ドゥナン・ファンド推進事業	H24～H28	ばんたドゥナン島基金の資金を提供している、ふるさと納税者への情報公開とＰＲ活動、ファンド運用にあたっての、監査・事業審査を適正に実施する体制づくりと同ファンドの運用・管理事業に必要な、『ドゥナンファンド』の情報発信の仕組みづくり・運営体制づくりを行う	どぅなん町民活動支援事業者ファンドのスタート	どぅなんファンド支援スタート	◎

平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」　「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「遂行困難」・・・「ー」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H26成果目標（指標）	H26成果実績（指標）	総合評価
7	③	与那国町情報推進事業	H26～H27	沖縄県による離島地区における情報格差是正を図るため、未整備の与那国島を含む全県地域への海底光ファイバーケーブルの整備決定に伴い、本町内の光ファイバーによるブロードバンド網による情報通信基盤の基本計画を策定する。	与那国町情報推進基本計画の策定完了 与那国町情報推進実施設計の策定完了	与那国町情報推進基本計画の策定完了 与那国町情報推進実施設計の策定：未実施	△
7	④	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26～H29	平成２４年度に「与那国町古民家及び空き家再生事業計画」を策定、担い手として「与那国いとなみネットワーク」が設立され、古民家の保全活用に向けた取り組みが進められている。これと連動し、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた創造的民家移築モデルとして古民家の改修整備を行う。整備した古民家はIターン・Uターン者の受け皿、及び交流型観光に供する。これらの施策に基づき、持続可能な建築技術の継承にも取り組む。	与那国町古民家活用型定住促進実施計画の策定完了	与那国町古民家活用型定住促進実施計画の完了	◎
8	①	与那国町安全基盤対策事業	H25～H26	現在設置されている防犯灯（２５８基）は、毎年襲来する台風により塩害や強風等で損傷が激しいため、長寿命で経済性に優れたＬＥＤ防犯灯に取り替えを実施する。	防犯灯設置：町内３集落内２５８基	地域からの要望箇所を中心に一部ＬＥＤ化（14基）	未
8	②	与那国町地域防災計画（津波編）策定事業	H25～H26	平成２３年度に策定された「与那国町地域防災計画」を補完するため、与那国町地域防災計画（津波編）を追加作成する。現在計画では、津波被害想定及び予防対策を記載しているがＨ２５年３月新たに津波浸水予測が発表されたことと、集落ごとの実情に即した避難計画と具体案が示されていないため、新ためて検討委員会により必要事項を検討する。	与那国町地域防災計画の策定の完了（１００冊）	与那国町地域防災計画の策定の完了（１００冊）	◎